

八王子市公共施設白書

持続可能な行財政運営のために

平成27年4月に東京都初の中核市に移行した本市は、豊かな自然環境、都心部から40km圏内という地理的優位性と交通の利便性に恵まれ、大学や先端技術産業が集積する首都圏西部の中核都市として発展を続けています。

昭和30年代に近隣町村と合併を重ね、昭和39年に面積約186㎢を擁する多摩地域最大の都市となりました。高度経済成長期以降は、急激な人口増加と市街地拡大に伴い、義務教育施設や都市インフラ施設整備を行ってきました。安定成長期に転じてからは多様化する市民ニーズに対応するため、文化・コミュニティ・福祉施設等の充実に努めてまいりました。

これらの施設は、老朽化が進み大規模修繕が必要となるものや更新の時期を迎えるものもあります。少子高齢化が進み、人口減少に転じるこれからは、中長期的な視点に立った公共施設の複合化・統廃合・長寿命化などを図っていく必要があります。

本市では他自治体に先駆けて、平成14年3月に「施設白書」を、平成18年7月に「新たな施設展開～有効利用と効率的運用をめざして～」を公表し、施設管理のあり方を見直しつつ、市民ニーズに合った施設経営の確立に向け取り組んでまいりました。私が市長に就任した平成24年以降においては、平成26年3月に策定した「第8次行財政改革大綱」で施設マネジメントを重点取組事項の一つと位置づけ、将来人口推計を踏まえたさらなる取組に着手することといたしました。

そして、公共施設の現状について、建物を中心に資産情報や利用状況、維持管理コスト、事業運営コスト、職員費、減価償却費を分析した「公共施設白書」と、これを踏まえ今後のあり方を示す「公共施設マネジメント基本方針」をまとめました。

本市は平成29年に市制施行100周年を迎えます。大きな節目を迎えようとするこの時期に、市民の皆様とともに今後の公共施設のあり方について議論を深め、新たな100年に向けたまちづくりを進めていくうえで、本書がその一助となれば幸いです。

平成27年10月

八王子市長

たかゆき
石森孝志

目次

第1章 公共施設白書について

1	公共施設白書の目的	1
2	施設管理のこれまでの取組	2
(1)	「施設白書」(平成14年3月策定)	2
(2)	市民ニーズの薄れた施設の廃止とその活用	3
(3)	既存施設を活用した新たな市民ニーズへの対応	3
(4)	「新たな施設展開」(平成18年7月策定)	4
3	本白書で対象とする施設	5
4	本白書と公共施設等総合管理計画との位置付け	6
5	本白書の掲載データについて	7
(1)	施設の種類	7
(2)	物件データ	7
(3)	コストデータ及び端数処理	7
(4)	施設コストの内訳	8

第2章 八王子市の概要

1	市のプロフィール	9
(1)	市域の変遷	9
(2)	市勢の概況	10
(3)	地域区分	13
2	人口・世帯数の推移	15
(1)	総人口・世帯数と年齢別人口の推移	15
(2)	年齢(3区分)別人口割合の推移	16
(3)	将来の人口推計	16
3	小・中学校数及び児童・生徒数の推移	18
(1)	小学校数の推移	18
(2)	児童数の推移	18
(3)	中学校数の推移	19
(4)	生徒数の推移	19
4	地域ごとの小・中学校数及び児童・生徒数の推移	21
(1)	地域ごとの小・中学校数と児童・生徒数の推移	21
(2)	児童数のピーク時からの減少率	29
(3)	生徒数のピーク時からの減少率	29
(4)	小・中学校の保有教室の状況	30

5 財政状況	31
（1）財政規模の推移	31
（2）歳入決算額の推移	31
（3）歳入決算の構成割合	32
（4）歳出決算の構成割合	33
（5）性質別歳出決算額の推移	33
（6）市税収入額の推移	34
（7）市税収入率の推移	35

第3章 施設整備の推移と現状

1 施設整備計画	36
2 投資的経費の推移	37
（1）投資的経費の推移と用地取得費の推移	37
（2）投資的経費の目的別構成割合	38
3 施設整備の推移	40
（1）土地・建物の年度末現在高の推移	40
（2）平成12年度末と平成25年度末の貸借対照表の比較	43
（3）道路・橋りょう・下水道・公園整備の推移	45
4 施設の現状	47
（1）延床面積	47
（2）市民1人当たりの施設延床面積と市債残高	48
（3）施設の整備状況	50
（4）地域ごとの施設の配置状況	51
（5）建築後30年を超える建物の延床面積	52

第4章 施設の利用状況・コスト分析

1 施設の利用状況・コスト分析	53
（1）庁舎	53
（2）清掃施設	56
（3）消防・防災施設	58
（4）その他公用施設	63
（5）学校教育施設	65
（6）市営住宅	76
（7）交通公園	78
（8）文化・生涯学習施設	80
（9）コミュニティ施設	86

(10) スポーツ施設	92
(11) 子育て支援施設	96
(12) 産業振興施設	106
(13) 保健衛生施設	111
(14) 福祉施設	113
(15) 駐車場	118
(16) その他公共用施設	123
(17) 貸付財産	125
(18) 普通財産	128

第5章 施設コスト・公債費

1 施設類型別コストと修繕費	130
(1) 施設類型別コスト	130
(2) 過去5年間の修繕費の推移	132
2 公債費・市債残高の推移	133
(1) 公債費の推移	133
(2) 市債残高の推移	136

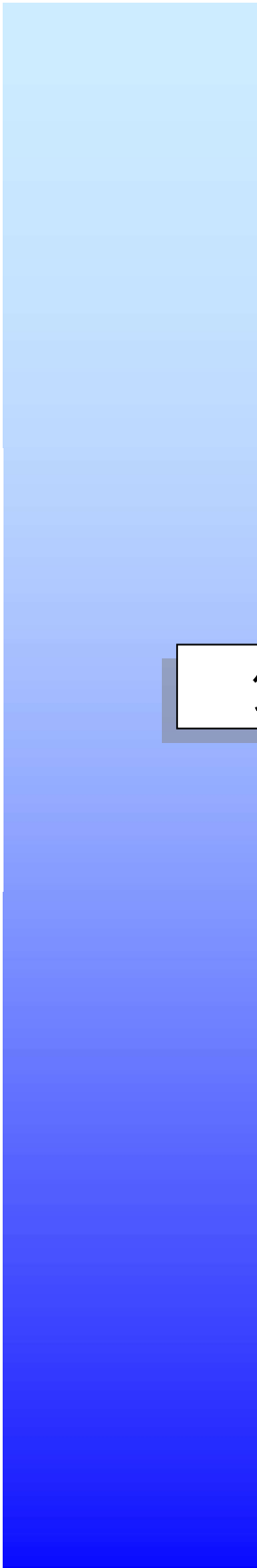
第6章 将来負担と課題

1 将来の維持管理コスト	137
(1) 対象施設	138
(2) 算出の方法	146
(3) 用語の定義	148
(4) 中長期修繕コスト	156
(5) 中長期保全計画コスト	157
(6) 中長期保全計画コストに改築コストを加えた試算	158
(7) 市民1人当たり負担額の推計	159
2 本市における公共施設の課題	160
(1) 施設の更新時期	160
(2) 人口減少と年齢構成割合の変化	160
(3) 財政状況	160
(4) 本白書のデータから	161
おわりに	162

データ編（第4章で使したデータ）

庁舎	163
----	-----

清掃施設	163
消防・防災施設	163
その他公用施設	165
学校教育施設	165
市営住宅	167
交通公園	167
文化・生涯学習施設	168
コミュニティ施設	168
スポーツ施設	169
子育て支援施設	169
産業振興施設	171
保健衛生施設	172
福祉施設	172
駐車場	172
その他公共用施設	174
貸付財産	174
普通財産	174



第 1 章 公共施設白書について

第1章 公共施設白書について

1 公共施設白書の目的

本市では、昭和40年代から50年代にかけての、著しい人口増加やその行政需要に応えるため、学校教育施設を中心に様々な公共施設やインフラを整備してきました。今後これらの施設の多くが次々と大規模修繕や更新時期を迎えることとなるため、集中的に発生する修繕や更新などのための費用が財政上の大きな負担となります。このことについては、将来における重要な課題であると早くから認識し、施設を取り巻く現状と課題を明らかにした「施設白書」を平成14年3月に発行しました。

また、平成14年5月には「施設白書行動基準」を定め、平成15年度から毎年一定の大規模修繕費を確保し、全庁的な視点で対象施設を選択しながら施設改修を進めてきました。これにより、単に建設時からの年限による選択ではなく、具体的な劣化度合いに着目するとともに、市民の利用度を基準とし優先順位を定めて修繕を行ってきました。同時に、単に経費削減のみを追求するのではなく、社会環境の変化に伴う新たな市民ニーズに対応するため、設置目的の薄れた施設の改廃、既存施設を活用した新たな市民サービスの展開、向上にも取り組んできました。

しかし、本格的な人口減少社会の到来を迎え、少子高齢化の進展や生産年齢人口（15～64歳）の減少等による人口構造の変化は、市税収入の伸び悩みや扶助費の増加などにつながる事が予測され、今後は更に厳しい財政状況になると考えられます。したがって、公共施設全体の状況を把握したうえで、計画的な修繕等により施設の長寿命化を図り、財政負担を軽減・平準化させることや、人口減少や年齢構成の変化に伴い、施設に対する需要の変化も想定されることから、公共施設の適正規模と適正配置を検討することが必要です。

これらのことから、平成26年3月に策定した「第8次行財政改革大綱」において、施設マネジメントを重点取組の一つとして掲げました。施設マネジメントに取り組むに当たり、まず公共施設における整備状況の推移と現状を把握するため、建物を中心に資産情報、利用状況、維持管理コスト等を明らかにしました。また、将来負担額の見込みとして、今後想定される修繕コストの試算と、これに法定点検費や光熱水費等の維持管理コスト、解体、改築に伴うコストを加えた今後30年間に必要となる施設コストの試算をしました。

本白書は、各施設の修繕、長寿命化等の今後の方向性や、将来の施設配置のあり方、将来負担額の平準化、施設の有効活用などを定める基本方針や施設マネジメント推進計画を策定するための基礎資料として活用することを目的としています。

2 施設管理のこれまでの取組

(1) 「施設白書」(平成14年3月策定)

平成14年3月に策定した「施設白書」では、財政面から施設を取巻く現状と課題を明らかにするとともに、平成13年度までの施設の整備状況と今後の維持管理経費を示し、新たな施設管理のあり方について提言しました。

施設白書7つの提言

- ① 改修すべき施設を厳選すること
- ② 特に老朽化の著しい施設、市民ニーズの薄れた施設については、建替えや廃止について 具体的に検討すること
- ③ 施設改修計画を作成すること
- ④ 修繕積立基金を設置すること
- ⑤ 施設の保全管理を所掌する組織体制の強化・見直しをすること
- ⑥ ライフサイクルコストを十分検証すること
- ⑦ 新たに施設を建設する場合には、単に用地を求め建設することなく、既存施設や廃止施設の活用を図ること

これらの提言を踏まえ、これまでも下記の取組を行ってきました。

①施設管理体制の強化

施設を財産と捉え、総括的に管理する部署として、それまで建設部(現道路交通部)にあった建築課を平成15年8月に財務部に移管しました。これは、施設改修の優先順位の決定等、計画と実施を一体で管理するため、施設の保全管理を所掌する組織体制を見直し、その強化を図ることを目指したものです。

②「施設白書行動基準」の策定

限られた財源のなかで、改修すべき施設を厳選し、計画的に維持補修するための手順をルール化した行動基準を策定し、改修の優先順位を決定したうえで、実施計画で確保した一定枠の財源の中から計画的な保全を行ってきました。

③ライフサイクルコスト¹の検証

建物の設計、建設から解体までにかかる費用(ライフサイクルコスト)のうち、施設を安全かつ快適に維持する費用となる保全費は、通算すると建設費の1.5倍から2倍に及ぶと言われています。ライフサイクルコストを低減するためには保全費の軽減が必要です。そこで、平成15年12月に作成した「保全マニュアル」では、各施設の管理担当者が日常業務のなかで、事故防止や大きな支出を伴う事後保全の防止につながる点検を行うこととしました。

¹ ライフサイクルコスト(LCC): 建物を設計、建築し、その建物を維持管理して、最後に解体・廃棄するまでの建物の全生涯に要する費用の総額。

(2) 市民ニーズの薄れた施設の廃止とその活用

平成14年3月の「施設白書」で示した方向性を基に、特に老朽化の著しい施設や市民ニーズの薄れた施設については、建替えや廃止について具体的に検討してきました。ただし、単なる施設の廃止では、行政サービスの低下につながる可能性もあるため、既存施設を活用した代替サービスや跡地利用を図ってきました。【図表1-1】

【図表1-1】 廃止施設とその活用

廃止した施設	廃止の理由	跡地利用と代替サービス
平成15年3月 八日町駐車場	新規施設の整備 利用率の低下	平成15年4月 民間事業者が経営
平成16年3月 三本松小学校	児童数の減少による統廃合	平成18年4月 デジタルハリウッド大学の入居
平成16年9月 富士森公園プール	老朽化 同様施設の存在 他の施設でサービス提供可能	平成17年7月 学校プールの開放拡大（6校→12校）
		平成18年3月 フットサルコートとして整備

(3) 既存施設を活用した新たな市民ニーズへの対応

財政負担を抑制しつつも、新たな市民ニーズに応えるため、新規施設の開設にあたっては、既存施設の有効活用や複合化を図ってきました。【図表1-2】

【図表1-2】 複合化及び既存施設の活用

設置した施設	用途・目的等	活用した施設等
子ども家庭支援センター・ 地域子ども家庭支援センター	要保護児童に対する相談と支援 養育上の問題を抱える家庭に対する 相談と支援 児童虐待の防止と対応 関係機関との連携強化など	平成16年10月 生涯学習センター（クリエイトホール）・子育て相談センター 平成17年10月 元八王子市民集会所・南大沢地区会館 平成18年10月 館市民集会所 平成18年12月 石川市民集会所
八王子駅南口総合事務所	八王子駅前事務所の機能を拡充して移転	平成22年11月 サザンスカイトワー八王子4階
由井市民センターみなみ野分館	みなみ野地区における地域交流拠点の整備	平成22年11月 学校法人が設置した学生会館の一部に設置
市民会館（オリンパスホール八王子）	市民会館の建て替えに伴い、八王子駅南口に移転	平成23年4月 サザンスカイトワー八王子4～10階
戸吹スポーツ公園	日本最大級のスケートパーク等を設置	平成23年4月 戸吹最終処分場跡地
消費生活センター	機能強化及び利便性の向上	平成23年4月 生涯学習センター（クリエイトホール）地下1階
小児・障害メディカルセンター	小児医療と障害者に対する支援の充実	平成23年4月 都立八王子小児病院跡地

(4)「新たな施設展開」(平成18年7月策定)

平成18年7月に策定した「新たな施設展開」は、施設白書策定後の本市における施設管理の取組を再検証するとともに、施設の選択と集中や役割の終えた施設の転用など市民ニーズに合った「施設経営」の確立に向けた方向性を示すことをねらいとして策定されました。

この中では、施設マネジメントを確立するための視点として、①市民(利用者)の視点、②財務の視点、③業務の視点、④チームワークの視点の「4つの視点」を掲げ、公共施設を取り巻く環境が変化するなかで、さらに具体化した施設マネジメントプランを策定することで、効果的かつ効率的な施設経営を実現することとしています。

施設マネジメントを確立する4つの視点

- ① 市民(利用者)の視点
 - ・ 市民ニーズを把握し、利用者が求めるサービスを導き出す手法の導入
 - ・ 利用申込機会の拡大や手続時間の短縮
 - ・ 新たに求められるサービスに対応できる施設環境づくり
- ② 財務の視点
 - ・ 施設ごとの行政コスト計算書の作成
 - ・ 正確な土地価格も含めた資産情報、コスト情報、劣化から見た改修経費及び施設の性能が把握できる環境の整備
 - ・ 施設の不具合を総合評価できる指標の導入と修繕計画の作成
- ③ 業務の視点
 - ・ 施設規模や利用実態を分析し、清掃委託や法定検査の標準化
 - ・ 施設利用者の快適度の向上と施設管理費の経済性の追求
 - ・ 施設を財産と捉え、管理と活用をそれぞれ一元化する部署の検討
- ④ チームワークの視点
 - ・ 施設の「将来像」と「役割」の明確化と共有
 - ・ 多様な雇用形態の職員それぞれの役割を明確にし、創意工夫を活かせる環境整備
 - ・ 施設に携わる者すべてが情報共有できるしくみづくり

3 本白書で対象とする施設

地方自治法上、本市の財産は【図表 1-3】のとおり分類されます。

「公有財産」とは、市が保有している土地、建物、動産、有価証券などの財産をいい、その使用目的によって「行政財産」と「普通財産」とに分類されます。

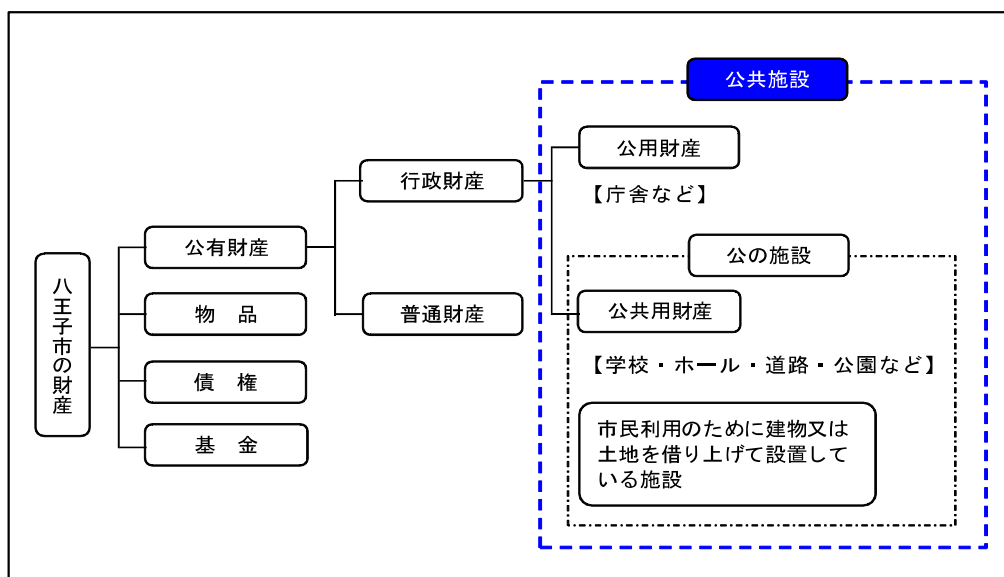
行政財産は、庁舎、事務所など市が直接使用する「公用財産」と、学校、ホール、道路、公園など市民の皆様が一般的に利用する「公共用財産」の2つに区分され、「普通財産」は行政財産以外の公有財産をいい、特定の用途又は目的を持たないため、貸付や売却、交換などが可能です。一般的に「公共施設」とは、行政財産のことを指しますが、一部の普通財産についても、その用途などから公共施設に含める場合があります。

本白書で対象とする施設は、基本的に全ての公共施設とし、「第3章 施設整備の推移と現状」では、いわゆるハコモノの他、道路・橋りょう等の土木構造物や公園、下水道等のインフラ系施設、清掃施設や下水道処理場等のプラント系施設を対象に整備状況の推移や現状の分析を行いました。

また、「第4章 施設の利用状況・コスト分析」では、庁舎や学校教育施設、スポーツ施設など主に公有財産台帳に記載されている 653 施設を対象に、利用状況や単位当たりコストなどを明らかにすることで、量（ストック）、利用状況（サービス）、管理運営費（コスト）の3つの視点から各施設における現状と課題を明らかにしていきます。

なお、普通財産の一部についても、その用途に応じて対象とするほか、指定管理者が管理している施設や民間等から借り上げている施設についても対象としています。

【図表 1-3】 市の財産分類



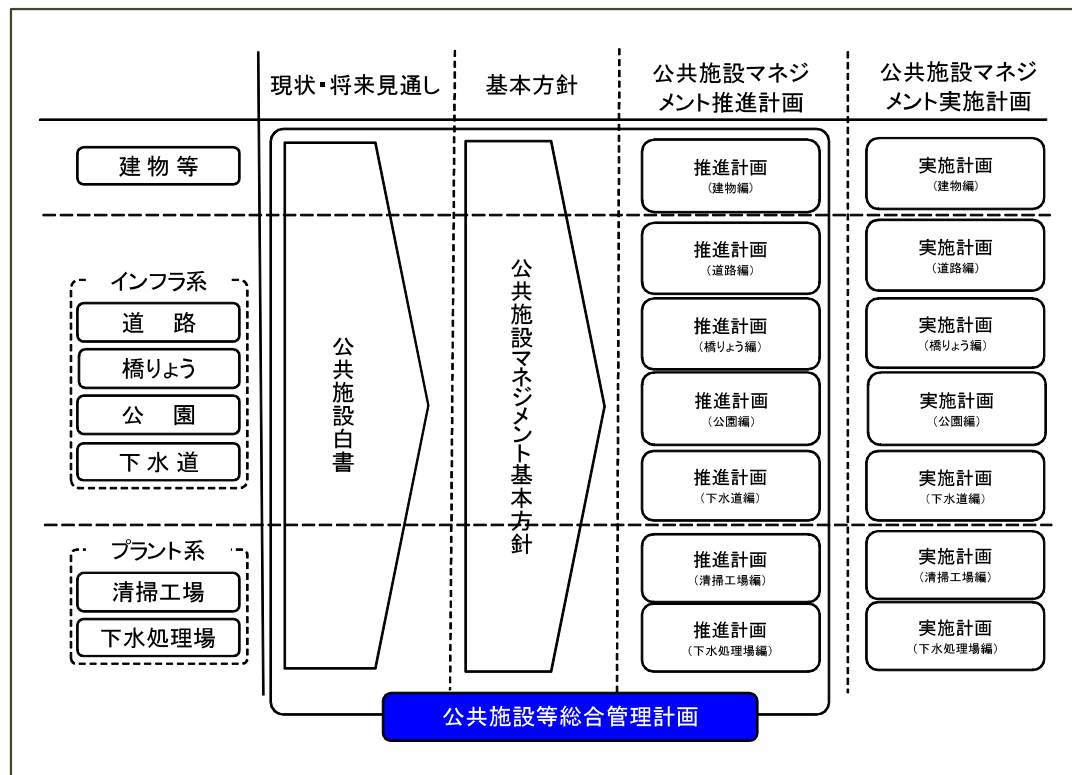
4 本白書と公共施設等総合管理計画との位置付け

本市の施設マネジメントの取組は、平成 26 年 3 月に策定した第 8 次行財政改革大綱の重点取組の一つとして実施するもので、計画期間を平成 27 年度から平成 29 年度までと定めた第 8 次行財政改革推進計画では、具体的な取組として、公共施設の実態把握や全体計画の策定等を掲げています。本白書は、公共施設の資産情報や利用状況、維持管理コスト等についての実態を把握することにより、施設マネジメントの基本方針や推進計画を策定するための基礎資料として活用するためのものです。

一方、国からは、第 8 次行財政改革大綱の策定とほぼ同時期に、公共施設等²の総合的・計画的な管理を推進するための計画となる「公共施設等総合管理計画」の策定に取り組むことを要請されました（平成 26 年 4 月 22 日付総財務第 74 号総務大臣通知）。この要請自体は、本市の施設マネジメントと目的を同じくするものであり、本白書に続いて策定する基本方針や推進計画とが一体となって、国が要請する「公共施設等総合管理計画」に対応するものとなります。【図表 1-4】

施設マネジメントの推進計画及び実施計画については、主に市有建物を網羅した建物編とは別に、インフラ系として「道路編」、「橋りょう編」やプラント系として「清掃工場編」などのように、公共施設の一定の種類ごとに検討を進めていきます。

【図表 1-4】施設白書と公共施設等総合管理計画との位置づけ



² 公共施設、公用施設、その他の当該地方公共団体が所有する建築物、その他の工作物を言います。

5 本白書の掲載データについて

本白書で掲載する数値、金額等は、特に注記のない限り平成 25 年度末（平成 26 年 3 月末）時点の各種データを基にしており、それ以外の年度、あるいは暦年でのデータを使用する場合は、注釈等でその旨を記載しています。

建物の築年数についても平成 25 年度末時点での経過年数としていますが、第 4 章では平成 27 年 10 月末時点の経過年数としています。

また、図表などをわかりやすくするため、データの性質や種類によって金額表示を「億円」、「百万円」などの単位に変えており、表示単位未満を四捨五入するなどの端数処理を行っていますので、既に公表されている数値と一致しない場合や、各図表における足し上げ数値が合計額と一致しない場合があります。

（1）施設の分類

掲載している施設の分類については、財産に関する調書（以下「財産調書」という）の分類を基に、本白書における分析の視点から独自に分類を行っているものもあります。例えば、財産調書上で「その他の施設」に分類されている施設を、本白書では「産業振興施設」、「保健衛生施設」、「福祉施設」、「駐車場」、「その他公共用施設」と更に分類し、類似施設を一定程度まとめることで施設類型ごとの分析や比較が容易に行えるようにしました。

（2）物件データ

本白書で使用する物件データは、原則として「財産調書」を基にしています。

また、これ以外のデータについては、特に記載のない限り、平成 25 年度末時点における各所管課から提供されたものを基にしています。

複数棟からなる施設（小・中学校など）については、その棟数に関わらず 1 施設とし、1 棟の建物を複数の異なる行政目的で使用する施設や民間の建物の一部を借り上げている施設については、それぞれを 1 施設として計上しています。

（3）コストデータ及び端数処理

本白書で使用するコストデータは、「八王子市財政白書」や平成 25 年度「主要な施策の成果・事務報告書」等の決算データを基に作成していますが、表や図で使用している数値は、端数処理の関係で一致しない場合があります。

また、コストの把握については、決算データを基に各所管課を通じて施設ごとに行っていますが、例えば複数施設の管理委託を一括契約している場合や消耗品などを一括して発注している場合など、必ずしも施設単位でコストを把握することができない例もあります。こうしたケースについては、該当する施設ごとに面積按分す

るなど、適正なコストを把握するための一定の整理を行っています。

(4) 施設コストの内訳

施設に係るコストをまず「事業費」と「その他コスト」に大別し、事業費として①「維持管理コスト」と②「事業運営コスト」を、その他コストとして③「職員費」と④「減価償却費」を計上しています。【図表 1-5】

【図表 1-5】施設コストの内訳

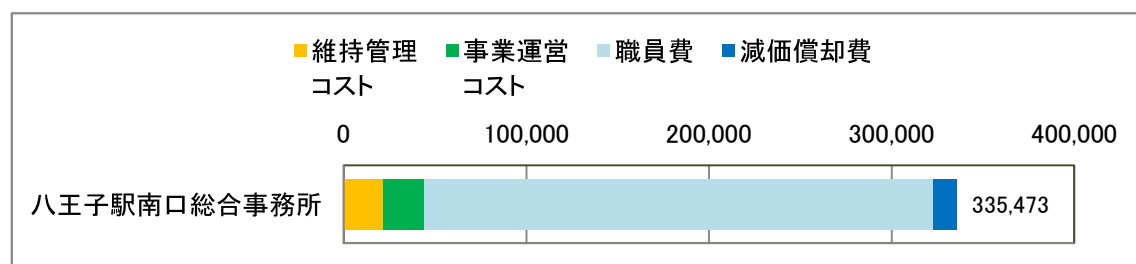
事業費	①	維持管理コスト	施設を維持管理する経費（維持管理費）です。この中には、設備等の保守、清掃、光熱水費や施設の修繕費、借上料などが含まれます。
	②	事業運営コスト	施設において実施される事務事業経費（事業運営費）です。この中には、講座や教室などの経費が含まれます。
その他コスト	③	職員費	直接施設でサービスを提供する職員に係る人件費です。
	④	減価償却費	施設の取得（土地を除く）に要した経費を耐用年数に応じ減価償却し、毎年の価値減少分をコストとみなしています。

上記の区分で算出したコストを、第4章では【図表 1-6】のような横棒グラフを用いて表記しています。

対象となる施設コストの合計金額を棒グラフの末尾に記載していますので、維持管理コストや事業運営コスト等のそれぞれの内訳は、巻末のデータ編を参照してください。

【図表 1-6】施設コストのグラフ（例）

単位：千円





第2章 八王子市の概要

第2章 八王子市の概要

1 市のプロフィール

八王子市は、東京都心から西へ約 40 キロメートル、新宿から電車で約 40 分の距離に位置しています。地形はおおむね盆地状で、北・西・南は海拔 200 メートルから 800 メートルほどの丘陵地帯に囲まれ、東は関東平野に続いています。



年間 300 万人もの観光客が訪れるミシュラン三つ星観光地の「高尾山」をはじめ豊かな自然に恵まれ、国指定史跡の「滝山城跡」や日本 100 名城の「八王子城跡」、国の無形民俗文化財である「八王子車人形」など、歴史と伝統に育まれたまちです。

また、市内には 21 の大学等が立地し、約 10 万 5 千人の学生が学ぶ全国有数の学園都市でもあります。

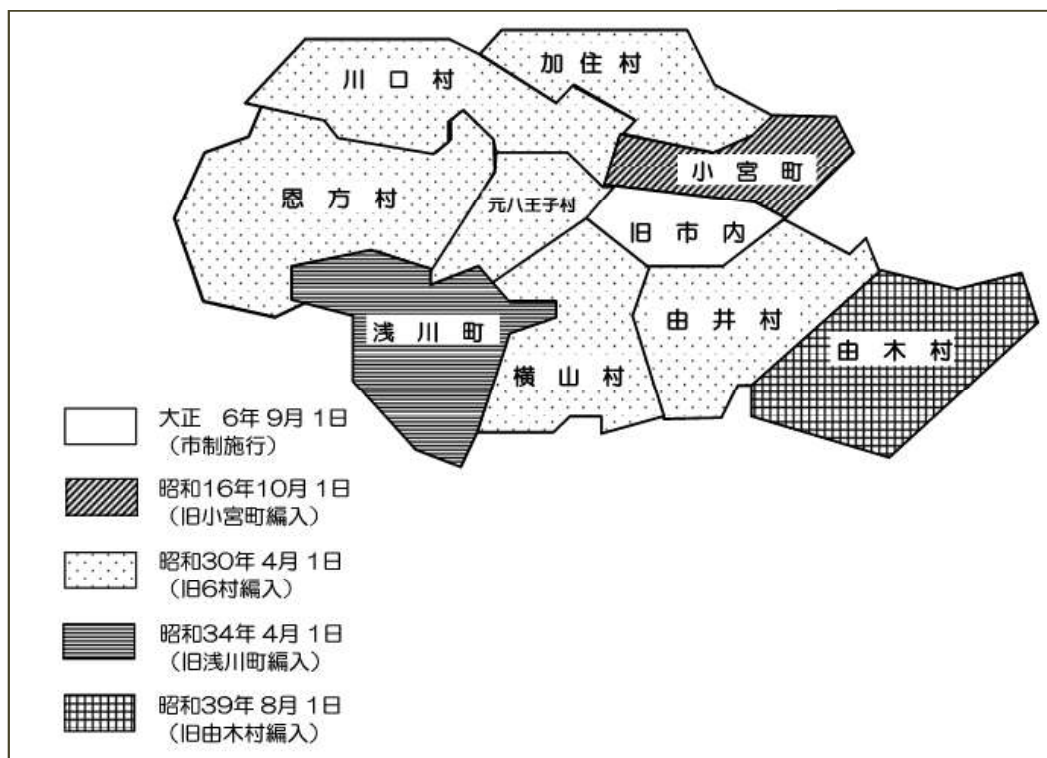
平成 27 年 4 月からは東京都初の中核市となり、平成 29 年には大正 6 年の市制施行から 100 年を迎えるなど、人口 56 万人の多摩地区のリーディングシティとして発展を続けています。

(1) 市域の変遷

明治 22 年 4 月 17 日	町制施行（神奈川県南多摩郡八王子町）（人口：20,000 人）
明治 26 年 4 月 1 日	神奈川県から東京府に編入
大正 6 年 9 月 1 日	市制施行（人口：42,043 人）
昭和 16 年 10 月 1 日	小宮町を編入（人口：79,768 人）
昭和 30 年 4 月 1 日	横山村、元八王子村、恩方村、川口村、加住村、由井村の 6 か村を編入（人口：132,796 人）
昭和 34 年 4 月 1 日	浅川町を編入（人口：152,226 人）
昭和 39 年 8 月 1 日	由木村を編入（人口：193,346 人）
昭和 49 年 10 月 29 日	人口 30 万人突破（住民基本台帳）
昭和 58 年 4 月 4 日	人口 40 万人突破（住民基本台帳）
平成 7 年 10 月 1 日	人口 50 万人突破（国勢調査）
平成 27 年 4 月 1 日	東京都初の中核市へ移行

出典：統計八王子（平成 26 年度版）

【図表 2-1】 市域の変遷



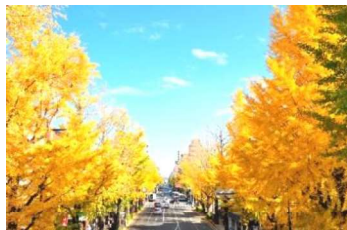
出典：統計八王子（平成 26 年度版 図表 1 市域の変遷）

（2）市勢の概況

位置	都心から西へ 40 km
規模	面積：186.38 km ² 周囲： 95.8 km ひろがり： 東西 24.3 km 南北 13.4 km 海拔： 最高 862.7m 最低 63.0m 市街化区域：79.971 km ²
住民基本台帳人口（うち外国人住民人口）・世帯数 （平成 26 年 4 月 1 日現在）	住民基本台帳人口：561,985 人（9,061 人） 男：281,648 人（4,053 人） 女：280,337 人（5,008 人） 自治体別人口順位：全国 29 位（特別区を含む） 世帯数：255,051 世帯
国勢調査数値（昼間人口） （平成 22 年 10 月 1 日現在）	人口：580,053 人（578,039 人） 男：293,462 人（288,721 人） 女：286,591 人（289,318 人） 世帯数：249,893 世帯

出典：八王子市の概要（平成 26 年度版）

市の木、市の花、市の鳥



市の木：イチョウ



市の花：ヤマユリ



市の鳥：オオルリ

姉妹都市

苫小牧市（昭和 48 年 8 月 10 日）
日光市（昭和 49 年 4 月 1 日）

海外友好都市

中国 泰安市（平成 18 年 9 月 23 日）
台湾 高雄市（平成 18 年 11 月 1 日）
韓国 始興市（平成 18 年 11 月 7 日）

決算状況

（平成 26 年度決算）

歳出決算額：1,923 億 6,500 万円
経常収支比率：87.1 %
財政力指数：0.932

不動産保有状況

（平成 26 年度末現在高）

土地：約 999 万 m²
建物：約 114 万 m²

八王子の一日

八王子の一日

平成25年度（1日平均）

出 生 	10.7 人	死 亡 	13.0 人
結 婚 	6.6 組	離 婚 	2.7 組
転 入 	67.3 人	転 出 	66.0 人
火 災 	0.6 件 (25年)	救 急 車 	73.2 件 (25年)
交通 事故 (人 身 事 故) 	5.2 件 (25年)	犯 罪 	16.7 件 (25年)
ご み (1 人 当 た り) 	442g	水 道 ※ 	140,900t (25年10月1日)

※八王子市内の施設より配水される量。町田市
と日野市の一部も含む

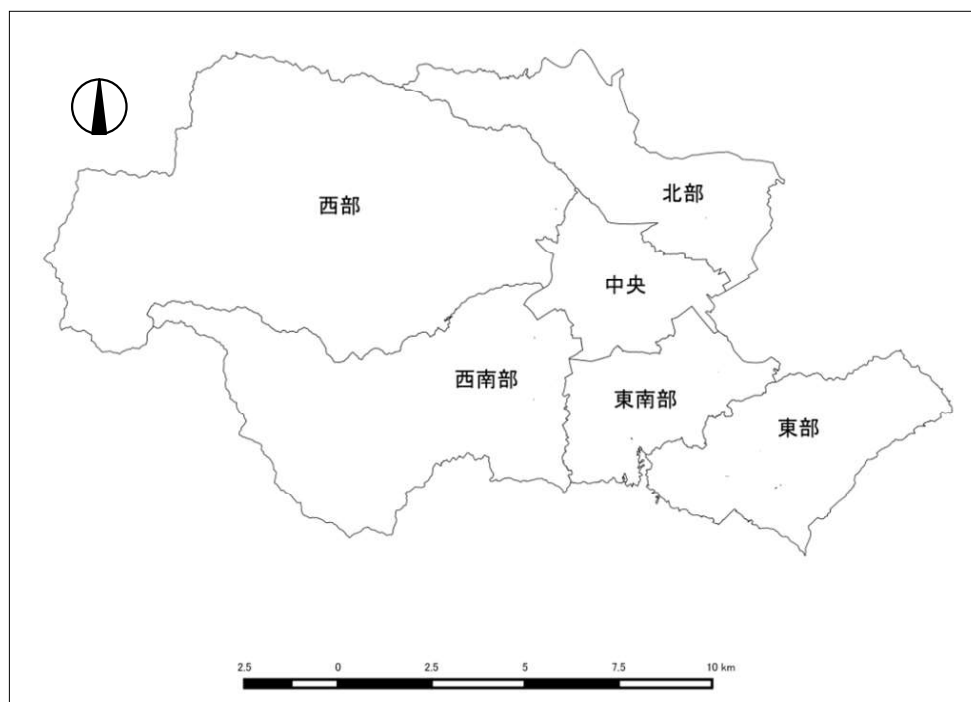
出典：八王子市の概要（平成 26 年度版）、八王子市財政白書（平成 27 年度版）

八王子八十八景から	
	No.28 長池見附橋（別所二丁目） 長池公園内の池にかかる橋。文明開化時の面影が偲ばれる橋梁として親しまれてきた四谷見附橋を移設しました。
	No.50 八王子車人形（下恩方町 1566） ロクロと呼ばれる箱車に腰掛け、一人一体の人形を操る人形芝居。江戸時代末期に考案され、西川古柳座が伝統を受け継ぎ、幅広い活動を行っています。
	No.66 スクエアビル（旭町 9-1） 八王子駅前の再開発ビル。多くの人々で賑わっており、八王子の新しいランドマークとなっています。
	No.73 首都大学東京（旧東京都立大学） 首都大学東京は、平成 17 年 4 月に、都立の 4 つの大学「東京都立大学」「東京都立科学技術大学」「東京都立保健科学大学」「東京都立短期大学」を再編・統合して設置した新しい大学です。
	No.80 甲州街道 追分から高尾まで続く 763 本のイチョウの並木道。日本三大並木の一つといわれ、八王子のシンボルとなっています。
	No.82 多摩都市モノレール 平成 12 年 1 月に上北台から多摩センター間が全線開通。多摩地域を南北に結ぶ新しい交通手段となっています。

(3) 地域区分

平成 25 年 3 月に策定した基本構想・基本計画「八王子ビジョン 2022」では、本市の特長を活かしたまちづくりをすすめる観点から、市域を「中央地域」、「西部地域」、「西南部地域」、「北部地域」、「東南部地域」、「東部地域」の 6 つに区分し、それぞれの地域が持つ個性や魅力を活かして、地域に応じたまちづくりを推進することとしています。【図表 2-2】

【図表 2-2】 八王子市の 6 地域区分



「中央地域」は、甲州街道（国道 20 号）や国道 16 号などの主要な幹線道路と、J R 中央線や横浜線、京王線が地域内を交差する交通の要衝として、長い歴史を持つ商業地域を中心に市街地を形成している地域で、市役所や文化施設をはじめ、主要な公共公益施設が立地しています。

「西部地域」は、秋川街道や陣馬街道などの主要な幹線道路が地域内を横断し、圏央道八王子西 I C もあることから広域的な交通利便性が高い地域となることが予想されている一方、陣馬山をはじめとした山並みなどの豊かな自然環境と八王子城跡などの歴史・文化資源が存在する地域です。

「西南部地域」は、中央道や圏央道、甲州街道などの主要な幹線道路、J R 中央線と京王高尾線が地域内を通り、高尾山や甲州街道のいちょう並木などの自然環境と景観資源、多摩御陵をはじめとした歴史・文化資源などの豊かな地域です。

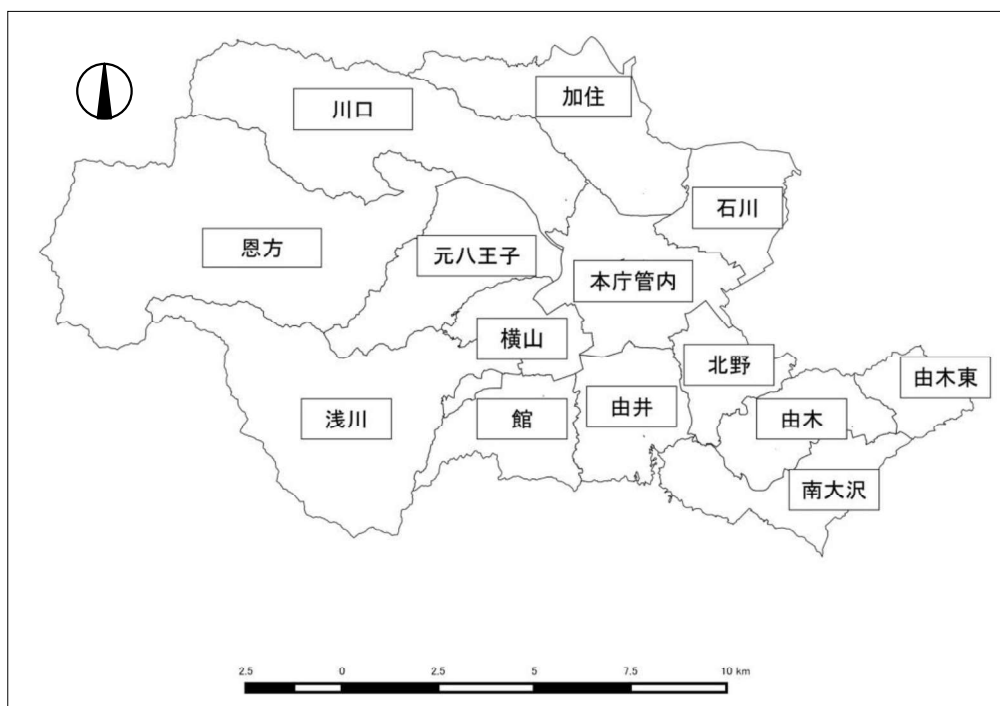
「北部地域」は、中央道八王子 I C が設置されているほか、国道 16 号と国道 16 号バイパス、滝山街道、新滝山街道が結節する広域的な交通の要衝であり、北八王子駅周辺には、本市を代表する先端技術産業を中心とした高度な研究・開発機能が立地しています。

「東南部地域」は、国道 16 号や国道 16 号バイパスなどの主要な幹線道路と、J R 中央線や横浜線、京王線が地域内を縦横に通る交通利便性の高い地域であり、八王子ニュータウンには、八王子みなみ野駅を中心に様々な生活機能・サービスが集積し、産業と居住、自然環境が調和した市街地を形成しています。

「東部地域」は、多摩ニュータウン通りなどの主要な幹線道路と京王相模原線が通り、交通利便性が高く、都心や相模原方面とのつながりが強い地域です。また、様々な学術・研究領域を有する大学が多く立地している地域で、南大沢駅や京王堀之内駅を中心に様々な生活機能やサービス、産業・業務機能が集積しており、周辺のみどり豊かな自然環境と調和した住宅市街地を形成しています。

また、かつて市民部事務所が管轄区域を定めていた頃の地域区分として、14 の地域がありました。事務所の中には、昭和 30 年代に合併した町村役場の所在地にある事務所もあることから、歴史的にも一つの基本単位となる地域区分となっています。【図表 2-3】

【図表 2-3】 八王子市の 14 地域区分



2 人口・世帯数の推移

(1) 総人口・世帯数と年齢別人口の推移

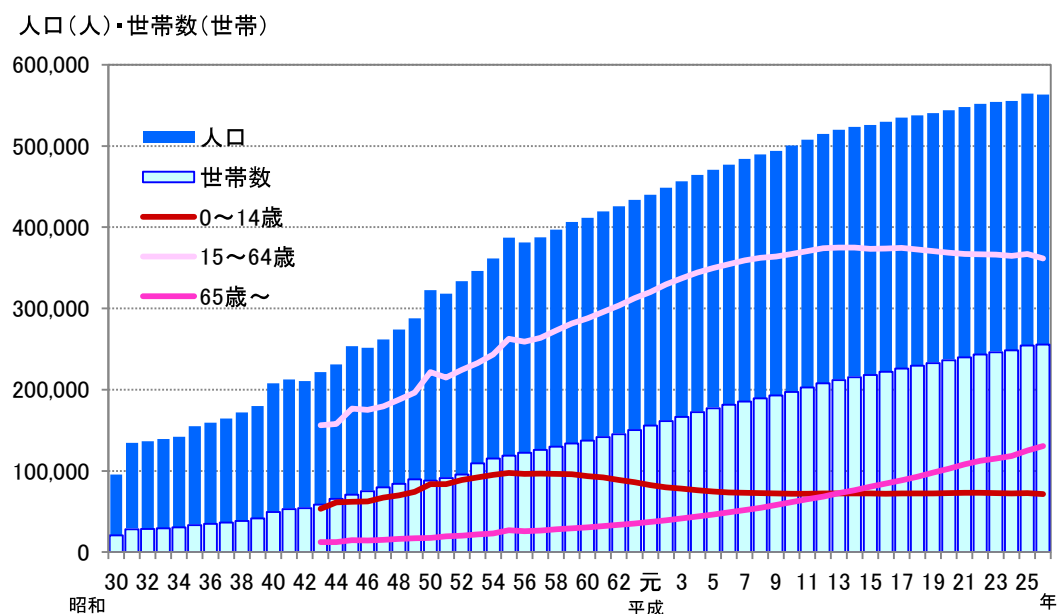
昭和 39 年 8 月に由木村を編入した翌年（昭和 40 年 1 月 1 日現在）の人口と世帯数は、それぞれ 201,968 人、49,398 世帯でしたが、人口、世帯数ともにほぼ毎年のように増加し、平成 25 年度末の人口と世帯数はそれぞれ 561,985 人、255,051 世帯となっています。

本市のオープンデータ「人口の推移」（各年 1 月 1 日現在のデータ）によれば、人口の伸び率は、昭和 43 年から昭和 54 年までは毎年 4%を超えていましたが、昭和 60 年以降は 2%以下となり、平成 13 年から平成 24 年までは 1%以下の僅かな伸びとなっています。住民基本台帳法の一部改正により、平成 25 年から外国人住民も含むことになったため、平成 25 年における対前年の人口伸び率は 1.6%となっていますが、平成 26 年では 0.2%の減となっています。【図表 2-4】

0～14 歳の年少人口は、昭和 55 年の 97,505 人をピークに減少してきましたが、平成 8 年以降は 72,000 人程度でほぼ横ばいとなっており、平成 26 年では 71,397 人となっています。

15～64 歳の生産年齢人口は、平成 13 年の 375,127 人をピークに減少傾向にあり、平成 26 年では 361,370 人となった一方で、65 歳以上の老年人口は昭和 44 年の 12,211 人から年々増加し、平成 20 年には 10 万人を超え、平成 26 年には 130,715 人となりました。

【図表 2-4】 人口・世帯数と年齢（3 区分）別人口の推移



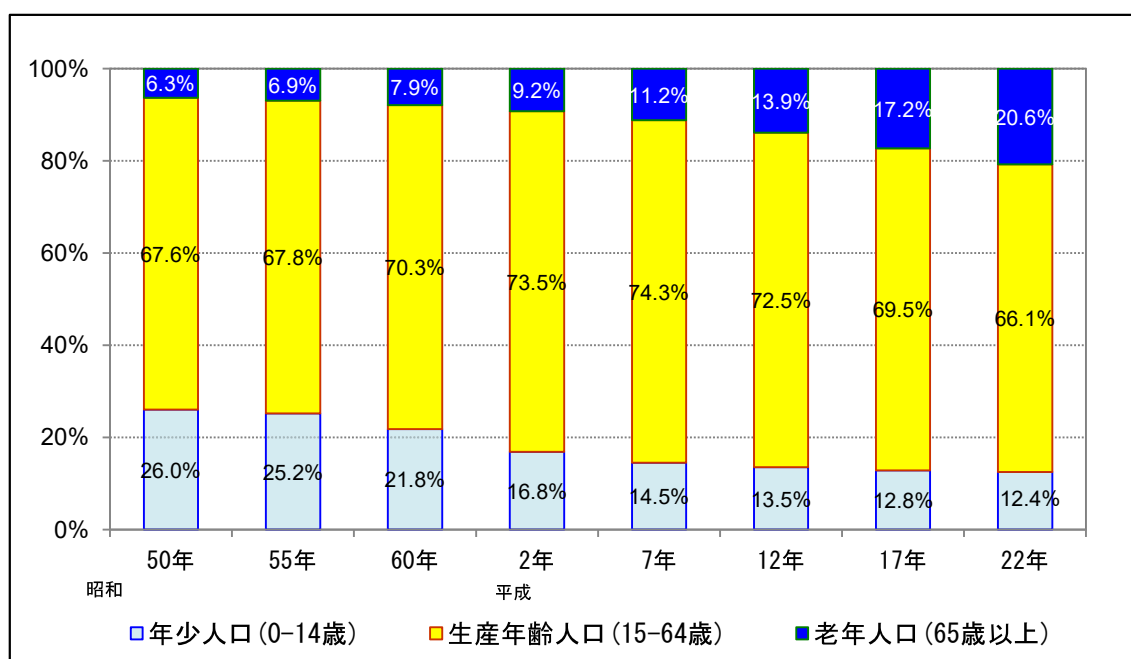
出典：八王子市ホームページ オープンデータ「人口の推移」（各年 1 月 1 日現在）

(2) 年齢（3区分）別人口割合の推移

国勢調査の結果から、5年ごとの年齢（3区分）別人口割合の推移を表したものが【図表2-5】です。

年少人口の割合は、昭和50年の26.0%をピークに減少を続け、平成22年には12.4%とピーク時から半減しています。生産年齢人口の割合は、平成7年の74.3%をピークに減少しており、平成22年には66.1%となっています。年少人口と生産年齢人口が減少を続ける一方で、老年人口の割合は年々増加しており、平成22年は20.6%となっています。

【図表2-5】 年齢（3区分）別人口割合の推移



出典：国勢調査

(3) 将来の人口推計

国は、平成26年12月27日に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」¹及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」²をそれぞれ閣議決定しました。

そこで、本市においても国の長期ビジョン及び総合戦略を勘案しつつ、本市の人口の現状と将来の展望を提示し、今後5年間（平成27～31年度）の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

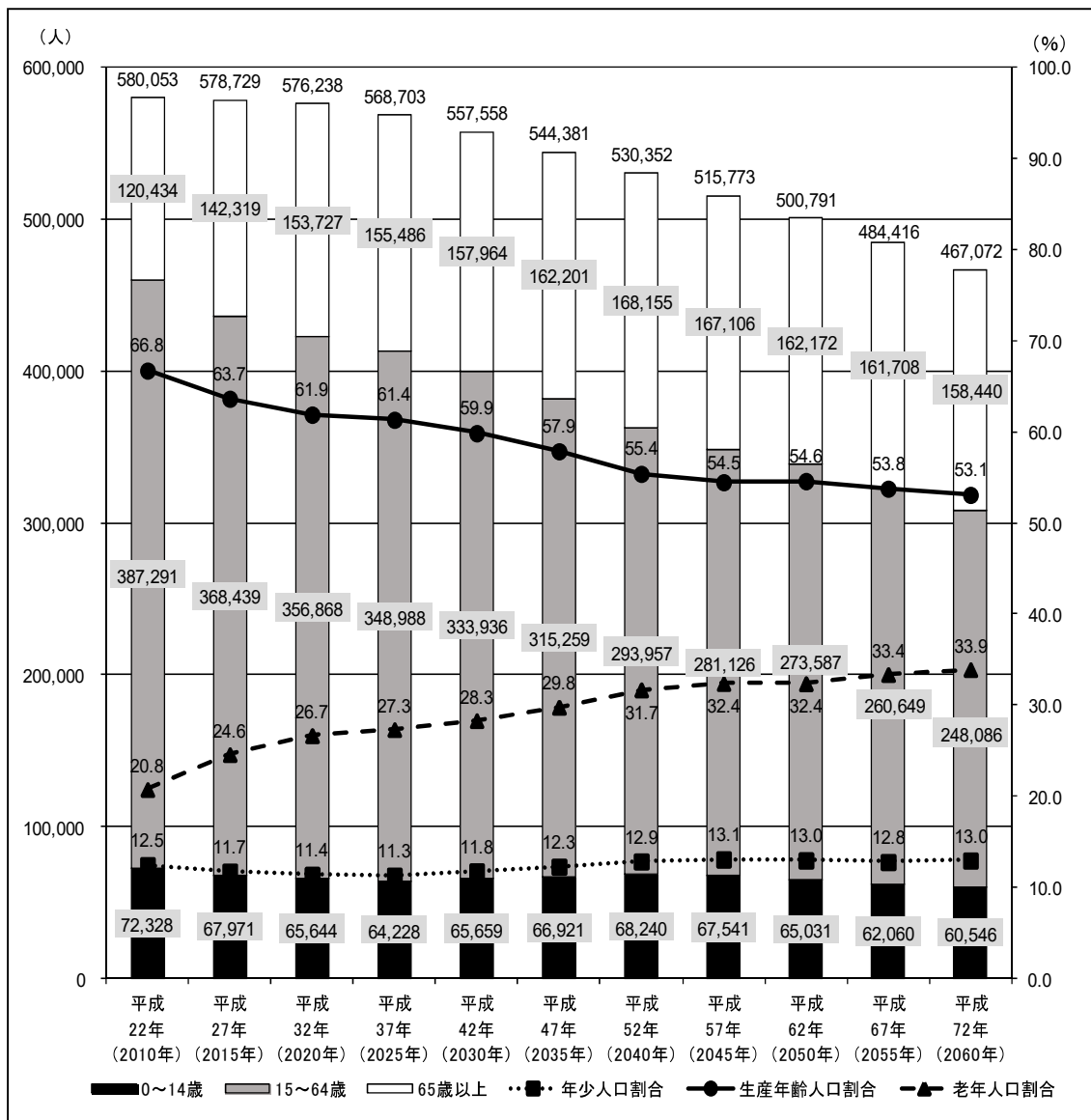
この「八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で定めた「人口ビジョン」では、平成72年に現状の8割の人口を維持することを目標としています。平成32年

¹ 2060年（平成72年）に1億人程度の人口を確保する中長期展望を提示したものの。

² 「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」で示された中長期の展望を実現するための基本目標と政策パッケージをとりまとめたもの。

までに若年層の市外流失を4分の1に抑制し、平成52年までに出生率1.8を達成することを前提として、総人口と年齢区分ごとの人口割合の長期的な見通しを【図表2-6】のようにシミュレーションしたものを本市が目指す将来展望としています。

【図表 2-6】本市が目指す将来展望



出典：八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略

本市の総人口は減少局面に入っており、年少人口は一旦減少した後に微増に転じ、平成52年には68,240人と平成27年と同程度の水準となります。生産年齢人口は、平成27年に368,439人でしたが、平成57年には281,126人と約24%減少するものの、その後の構成割合は53%程度で安定していきます。老年人口は平成52年まで増加を続け、老年人口割合は平成52年以降、30%を超えたまま推移していきます。

3 小・中学校数及び児童・生徒数の推移

(1) 小学校数の推移

昭和 40 年度に 28 校あった小学校は、その後の本市の人口増加に合わせて整備を進め、昭和 50 年代には新たに 24 校が開校し、昭和 60 年度には 60 校になりました。平成に入ってから、多摩ニュータウンや八王子ニュータウンの大規模開発に伴う整備が続き、平成 10 年度に鑑水小学校が開校して 70 校となった後は、統廃合等もあったため一時的に 69 校になった年もありましたが、平成 19 年度以降は再び 70 校となり、現在に至っています。

小学校については大正 6 年の市制施行以前からあった学校が 23 校あり、明治 22 年の町制施行以前からあった学校まで遡ると 18 校あります。開校から 100 年以上の歴史ある学校が 22 校ある一方で、平成に入ってから開校した学校も 15 校あるなど、小学校整備における歴史的な背景は地域によって大きく異なります。

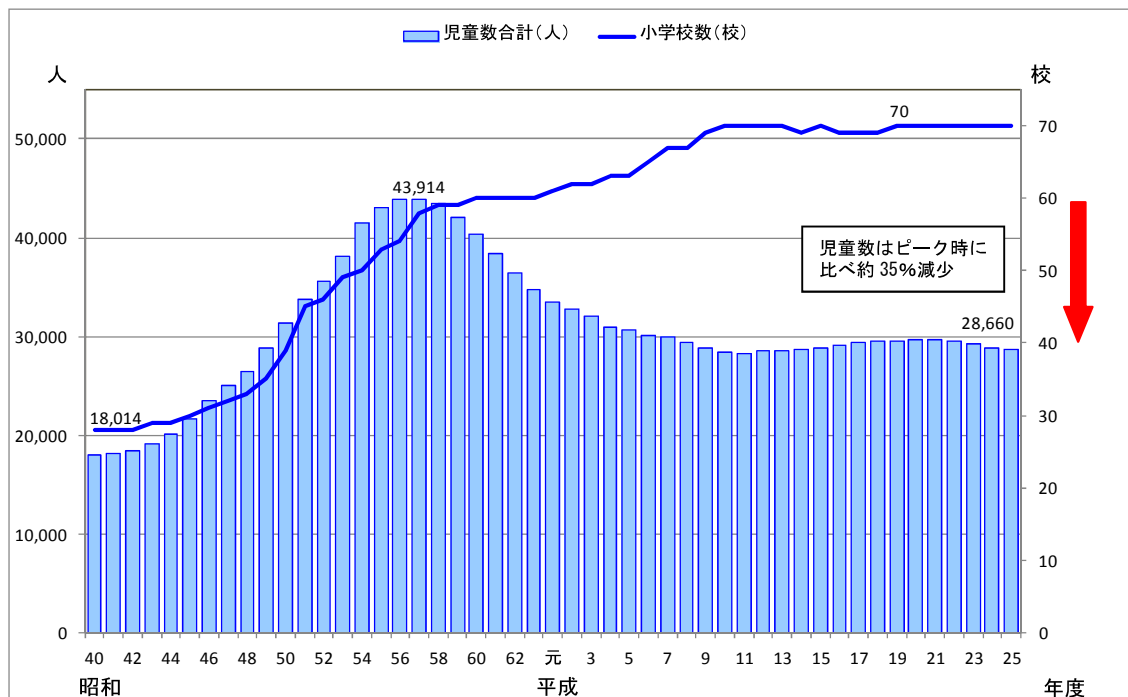
(2) 児童数の推移

昭和 40 年度に 18,014 人だった児童数は、昭和 44 年度に 2 万人を超えると昭和 50 年度には 3 万人を超え、その 4 年後の昭和 54 年度には 4 万人を超えました。しかし、昭和 57 年度の 43,914 人をピークに、平成 11 年度まで毎年のように減少を続け、近年では 29,000 人前後で推移しています。

また、学校別の児童数は、50 人に満たない学校がある一方で 800 人を超える学校もあるなど、地域によって児童数に相当の差があります。特にニュータウン地域では、600 名から 700 名前後の児童を抱える小学校と 200 名に満たない小学校があり、隣接する小学校区でも大きな差があります。

【図表 2-7】小学校数と児童数の推移

児童・生徒数は平成 25 年 5 月 1 日現在



出典：はちおうじの教育統計（平成 26 年度）

小学校数と児童数の推移を表したものが、【図表 2-7】です。児童数は平成 25 年度に 28,660 人と、昭和 57 年度のピーク時（43,914 人）に比べると約 35%減少している一方で、学校数は昭和 57 年度（58 校）より 12 校増加しています。

（3）中学校数の推移

昭和 40 年度に 15 校だった中学校は、昭和 50 年代に新たに 12 校を整備し、昭和 60 年度には 30 校となりました。その後、ニュータウン地域において整備が続き、平成 16 年度に高尾山学園中学部が開校して 38 校となり、現在に至っています。

昭和 22 年の学制改革によって創立した中学校が中心市街地や旧町村地域などに 14 校ある一方で、平成に入ってから 8 校を開校しました。小学校同様に市街地の発展に応じた整備を進めながらも、ニュータウンなどの大規模開発に伴い整備を行ってきました。

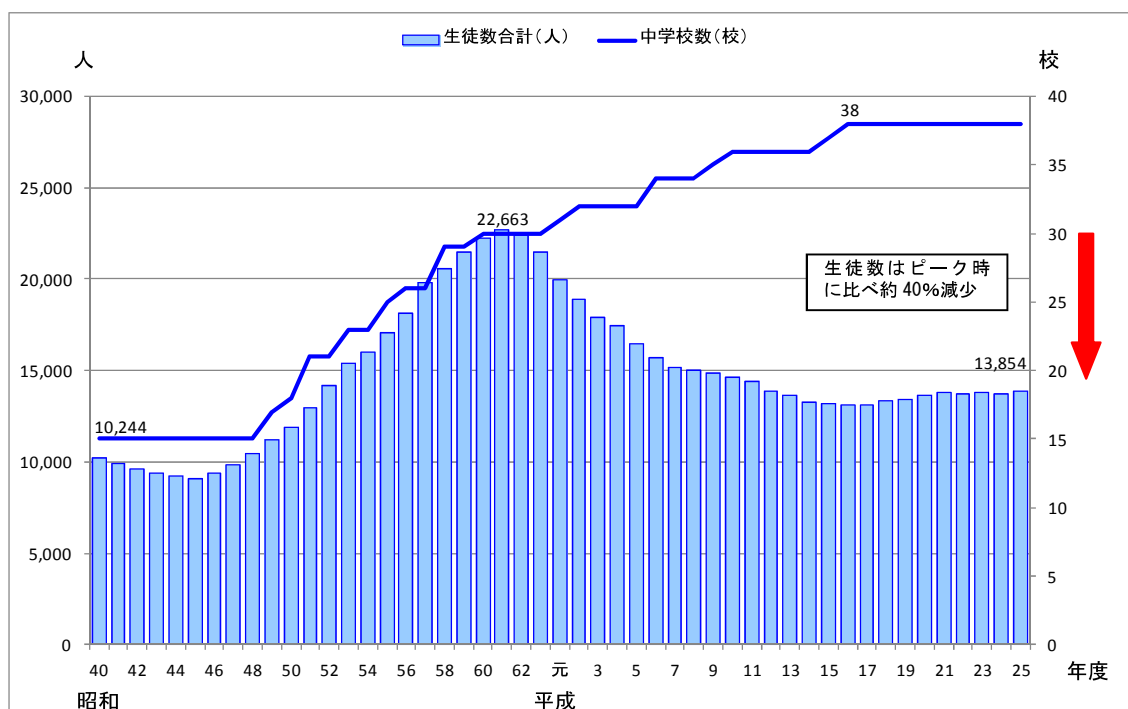
（4）生徒数の推移

昭和 40 年度に 10,244 人だった生徒数は昭和 58 年度に 2 万人を超えましたが、昭和 61 年度の 22,663 人をピークに年々減少し続け、平成 12 年度以降は 13,000 人台で推移しています。

また、学校別の生徒数は 100 人程度の学校がある一方で、600 人を超える学校もあるなど、地域によって生徒数に差があります。

【図表 2－8】中学校数と生徒数の推移

児童・生徒数は平成 25 年 5 月 1 日現在



出典：はちおうじの教育統計（平成 26 年度）

中学校数と生徒数の推移を表したものが、【図表 2－8】です。

生徒数は平成 25 年度に 13,854 人となり、昭和 61 年度のピーク時（22,663 人）に比べると約 40%減少していますが、学校数は、昭和 61 年度に 30 校だったものが 38 校と増加しています。

なお、平成 25 年度の児童・生徒数合計は 42,514 人で、ピーク時の昭和 58 年度の 64,067 人からは 34%の減少となっています。昭和 49 年度が 40,034 人、昭和 50 年度が 43,224 人だったので、ほぼ 40 年前の水準と同程度の児童・生徒数となっています。

4 地域ごとの小・中学校数及び児童・生徒数の推移

小・中学校の所在地を14ページの【図表2-3】で示した14の地域区分ごとに分け、各地域の小・中学校数と児童・生徒数の推移を表したものが以下の図表です。学校選択制もあり、また、そもそも事務所の管轄区域が通学区域と一致するわけではありませんが、学校施設は子どもたちの教育施設であると同時に、地域コミュニティ活動や地震等の非常災害時に避難場所としても利用されるため、一定の地域ごとにおける小・中学校の数やそこに通う児童・生徒数の推移を把握することにより、地域の特性を計るひとつの目安とするものです。

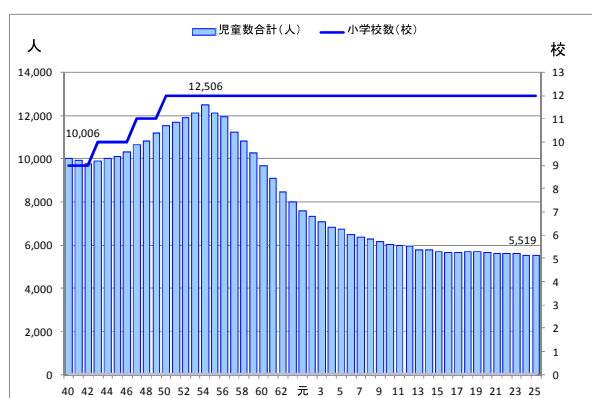
(1) 地域ごとの小・中学校数と児童・生徒数の推移

ア 本庁管内

小学校の数は、昭和50年度に清水小学校が最後に開校してから12校（第一小、第二小、第三小、第四小、第五小、第六小、第七小、第九小、第十小、中野北小、清水小、大和田小）で、児童数は昭和54年度の12,506人をピークに平成25年度は5,519人となり、ピーク時から56%の減少となっています。

中学校の数は、昭和56年度に甲ノ原中学校が最後に開校してから7校（第二中、第三中、第四中、第五中、第六中、ひよどり山中、甲ノ原中）で、昭和40年度に4,730人だった生徒数は、昭和46年度まで減少した後は上昇傾向に転じ、昭和58年度に4,564人となりました。その後は再び減少傾向となり、平成25年度は2,247人と昭和40年度のピーク時から52%の減少となっています。

【本庁管内】小学校数と児童数の推移



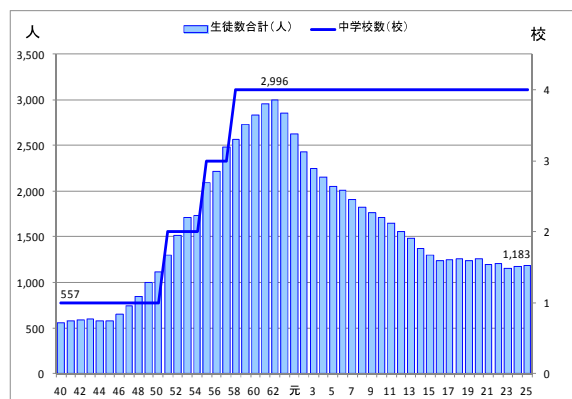
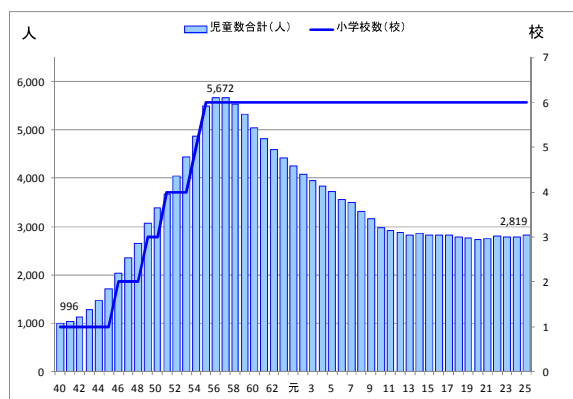
イ 元八王子地域

小学校の数は、昭和 55 年度に横川小学校が最後に開校してから 6 校（元八王子小、元八王子東小、上壺分方小、城山小、式分方小、横川小）で、児童数は昭和 57 年度の 5,672 人をピークに平成 25 年度は 2,819 人となり、ピーク時から 50% の減少となっています。

中学校の数は、昭和 58 年度に城山中中学校が最後に開校してから 4 校（元八王子中、四谷中、横川中、城山中）で、生徒数は昭和 62 年度の 2,996 人をピークに平成 25 年度は 1,183 人となり、ピーク時から 61% の減少となっています。

【元八王子地域】小学校数と児童数の推移

【元八王子地域】中学校数と生徒数の推移



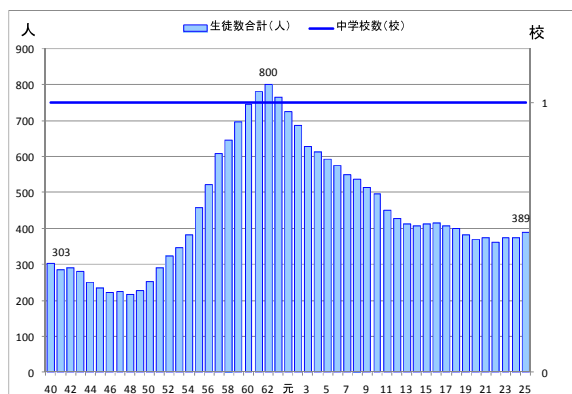
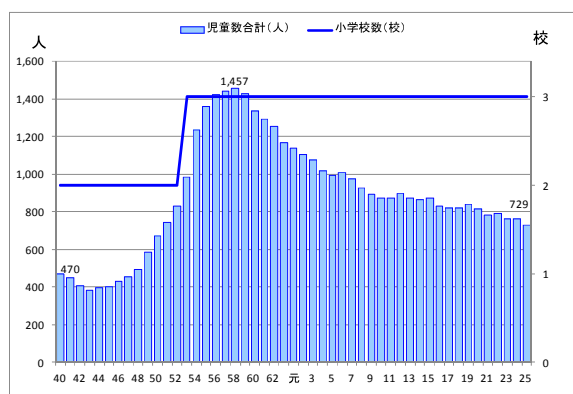
ウ 恩方地域

小学校の数は、昭和 53 年度に元木小学校が最後に開校してから 3 校（恩方第一小、恩方第二小、元木小）で、児童数は昭和 58 年度の 1,457 人をピークに平成 25 年度は 729 人となり、ピーク時から 50% の減少となっています。

中学校の数は、昭和 22 年度に恩方中学校が開校して以来 1 校で、生徒数は昭和 62 年度の 800 人をピークに平成 25 年度は 389 人となり、ピーク時から 51% の減少となっています。

【恩方地域】小学校数と児童数の推移

【恩方地域】中学校数と生徒数の推移

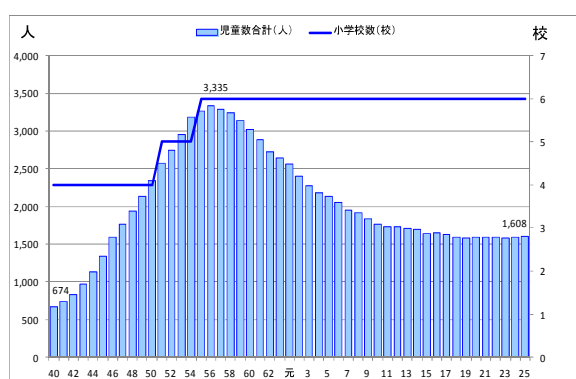


エ 川口地域

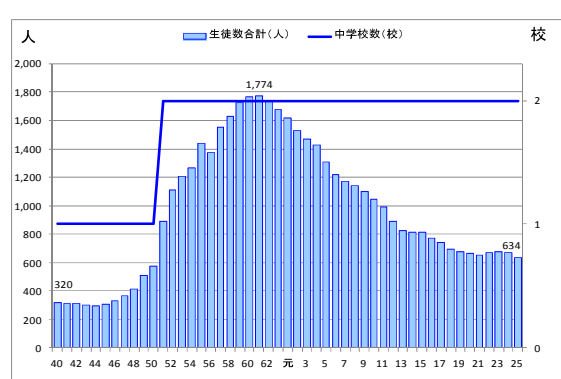
小学校の数は、昭和 55 年度に松枝小学校が最後に開校してから 6 校（川口小、陶鎔小、上川口小、美山小、檜原小、松枝小）で、児童数は昭和 56 年度の 3,335 人をピークに平成 25 年度は 1,608 人となり、ピーク時から 52% の減少となっています。

中学校の数は、昭和 51 年度に檜原中学校が最後に開校してから 2 校（川口中、檜原中）で、生徒数は昭和 61 年度の 1,774 人をピークに平成 25 年度は 634 人となり、ピーク時から 64% の減少となっています。

【川口地域】小学校数と児童数の推移



【川口地域】中学校数と生徒数の推移

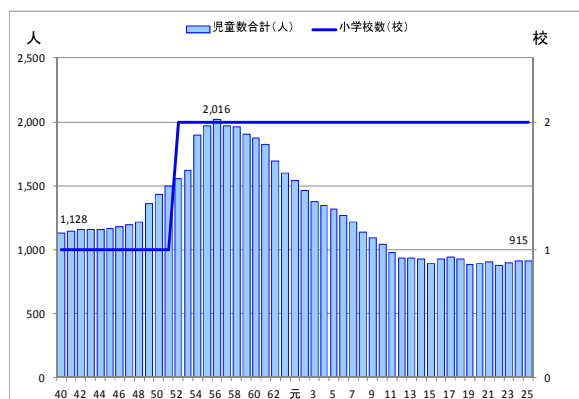


オ 浅川地域

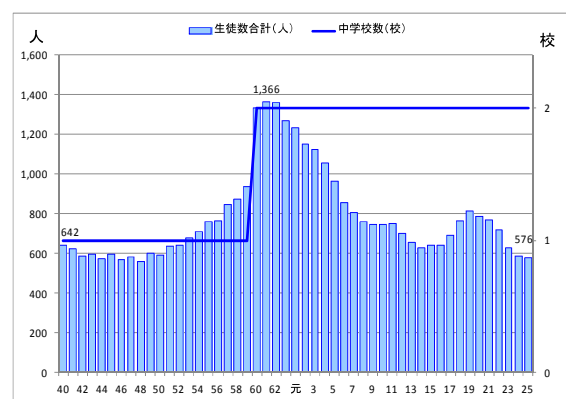
小学校の数は、昭和 52 年度に東浅川小学校が最後に開校してから 2 校（浅川小、東浅川小）で、児童数は昭和 56 年度の 2,016 人をピークに平成 25 年度は 915 人となり、ピーク時から 55% の減少となっています。

中学校の数は、昭和 60 年度に陵南中学校が最後に開校してから 2 校（浅川中、陵南中）で、生徒数は昭和 61 年度の 1,366 人をピークに平成 25 年度は 576 人となり、ピーク時から 58% の減少となっています。

【浅川地域】小学校数と児童数の推移



【浅川地域】中学校数と生徒数の推移

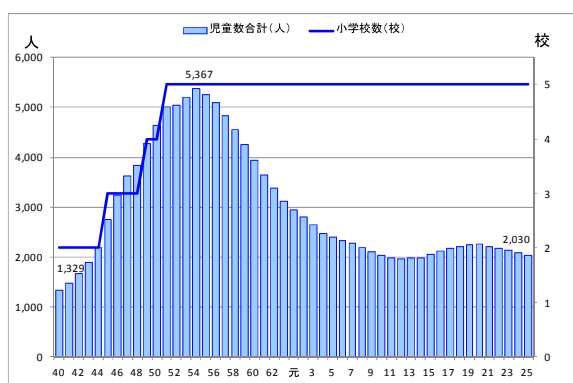


カ 横山地域

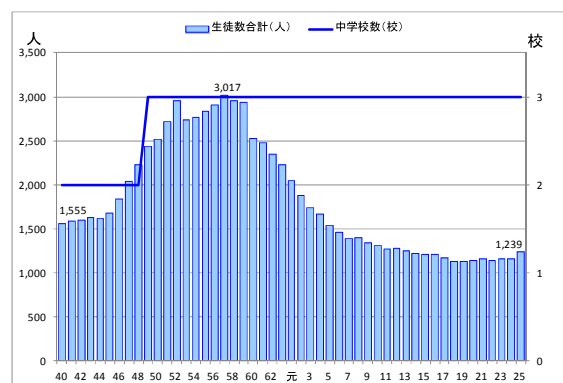
小学校の数は、昭和 51 年度に山田小学校が最後に開校してから 5 校（横山第二小、散田小、長房小、船田小、山田小）で、児童数は昭和 54 年度の 5,367 人をピークに平成 25 年度は 2,030 人となり、ピーク時から 62% の減少となっています。

中学校の数は、昭和 49 年度に長房中学校が最後に開校してから 3 校（第七中、横山中、長房中）で、生徒数は昭和 57 年度の 3,017 人をピークに平成 25 年度は 1,239 人となり、ピーク時から 59% の減少となっています。

【横山地域】小学校数と児童数の推移



【横山地域】中学校数と生徒数の推移

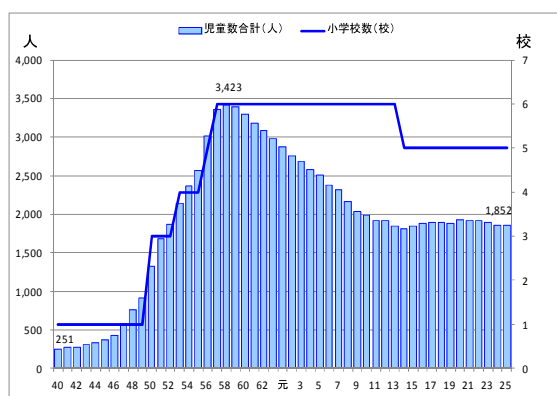


キ 館地域

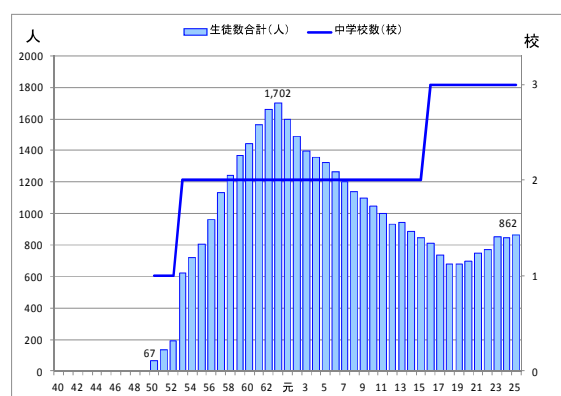
小学校の数は、平成 13 年度末に上館小学校と殿入小学校が廃校となり、平成 14 年度に館小学校が開校してから 5 校※（横山第一小、館小、櫛田小、緑が丘小、高尾山学園小学部）で、児童数は昭和 58 年度の 3,423 人をピークに平成 25 年度は 1,852 人となり、ピーク時から 46% の減少となっています。

中学校の数は、平成 16 年度に高尾山学園が開校してから 3 校（館中、櫛田中、高尾山学園中学部）で、生徒数は昭和 63 年度の 1,702 人をピークに平成 25 年度は 862 人となり、ピーク時から 49% の減少となっています。

【館地域】小学校数と児童数の推移



【館地域】中学校数と生徒数の推移



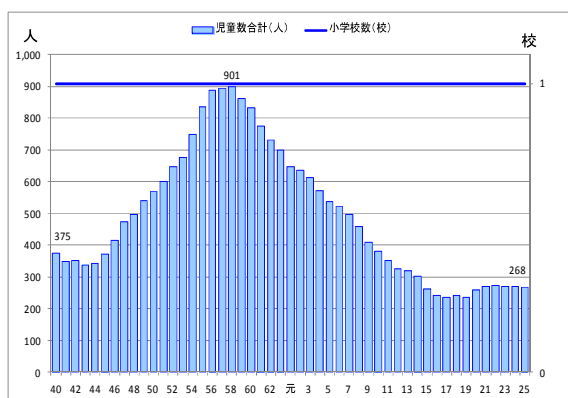
※ 平成 15 年度末に寺田小、稲荷山小が廃校になり、平成 16 年度に緑が丘小、高尾山学園小学部が開校しています。

ク 加住地域

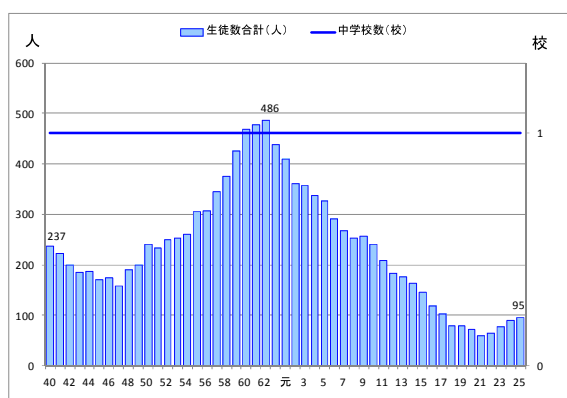
昭和 40 年度当時は、加住小学校のほかに分校が 3 校ありましたが、昭和 46 年度末で各分校は廃校になりました。児童数は昭和 58 年度の 901 人をピークに平成 25 年度は 268 人となり、ピーク時から 70% の減少となっています。

中学校の数は加住中学校 1 校で、生徒数は昭和 62 年度の 486 人をピークに平成 25 年度は 95 人となり、ピーク時から 80% の減少となっています。

【加住地域】小学校数と児童数の推移



【加住地域】中学校数と生徒数の推移

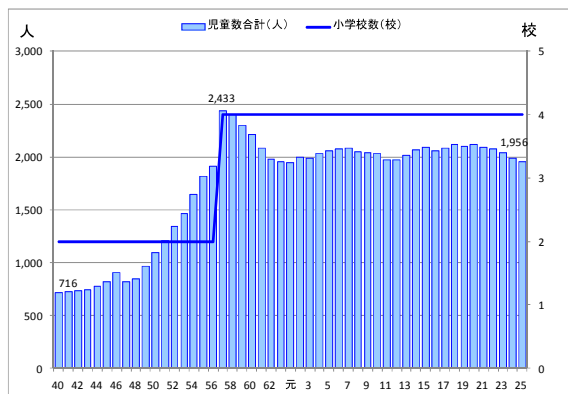


ケ 石川地域

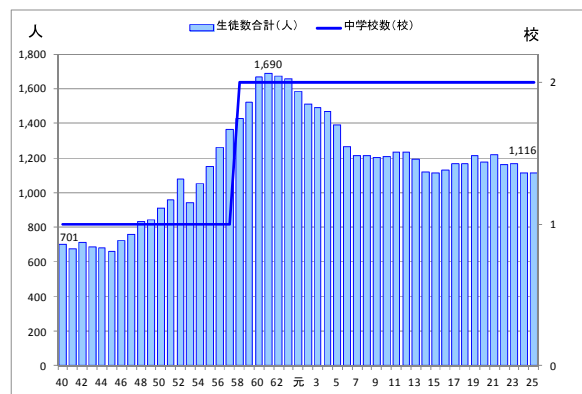
小学校の数は、昭和 57 年度に高倉小学校と宇津木台小学校が開校してから 4 校（第八小、小宮小、高倉小、宇津木台小）となっており、児童数は昭和 57 年度の 2,433 人をピークに平成 25 年度は 1,956 人となり、ピーク時から 20% の減少となっています。

中学校の数は、昭和 58 年度に石川中学校が開校してから 2 校（第一中、石川中）となっており、生徒数は昭和 61 年度の 1,690 人をピークに平成 25 年度は 1,116 人となり、ピーク時から 34% の減少となっています。

【石川地域】小学校数と児童数の推移



【石川地域】中学校数と生徒数の推移

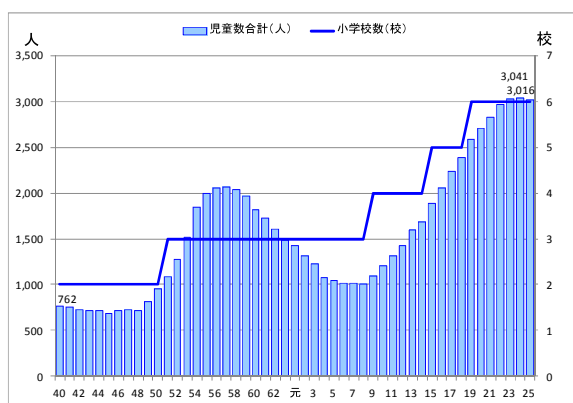


コ 由井地域

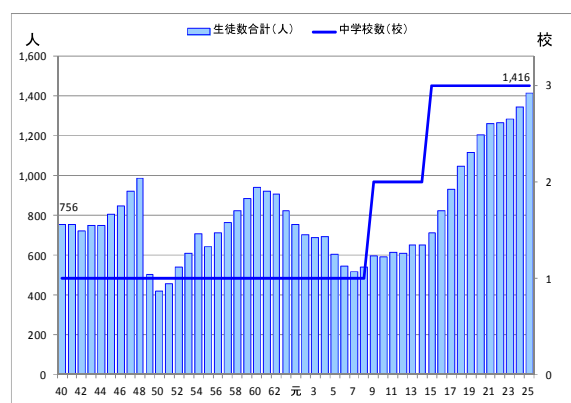
小学校の数は、昭和 51 年度に片倉台小学校が開校してから 3 校（由井第二小、由井第三小、片倉台小）でしたが、八王子ニュータウンの開発に伴って、平成 9 年度にみなみ野小学校、平成 15 年度に七国小学校、平成 19 年度にみなみ野君田小学校が開校し、現在では 6 校となっています。児童数は平成 24 年度の 3,041 人がピークとなっており、平成 25 年度は 3,016 人と僅かな減少となっています。

中学校の数は、昭和 22 年度に由井中学校が開校してから 1 校でしたが、平成 9 年度にみなみ野中学校が、平成 15 年度に七国中学校が開校してから 3 校となり、生徒数は、平成 25 年度の 1,416 人がピークとなっています。

【由井地域】小学校数と児童数の推移



【由井地域】中学校数と生徒数の推移

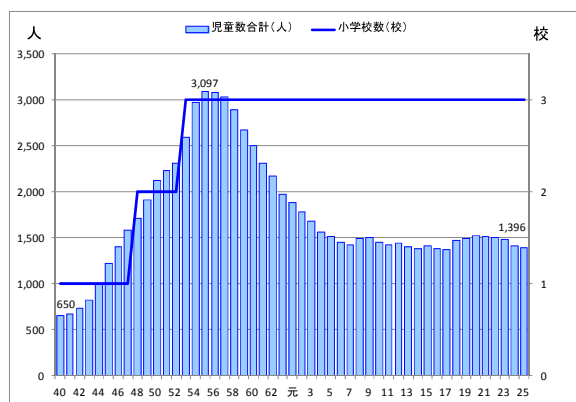


サ 北野地域

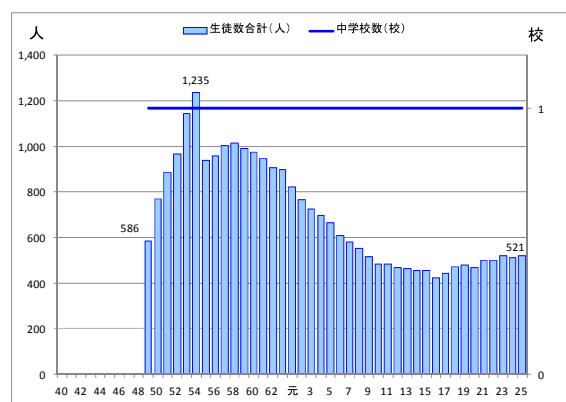
小学校の数は、昭和 53 年度に高嶺小学校が最後に開校してから 3 校（由井第一小、長沼小、高嶺小）で、児童数は昭和 55 年度の 3,097 人をピークに平成 25 年度は 1,396 人となり、ピーク時から 55% の減少となっています。

中学校の数は昭和 49 年度に打越中学校が開校して以来 1 校で、生徒数は昭和 54 年度の 1,235 人をピークに平成 25 年度は昭和 49 年度の開校時より少ない 521 人となり、ピーク時から 58% の減少となっています。

【北野地域】小学校数と児童数の推移



【北野地域】中学校数と生徒数の推移

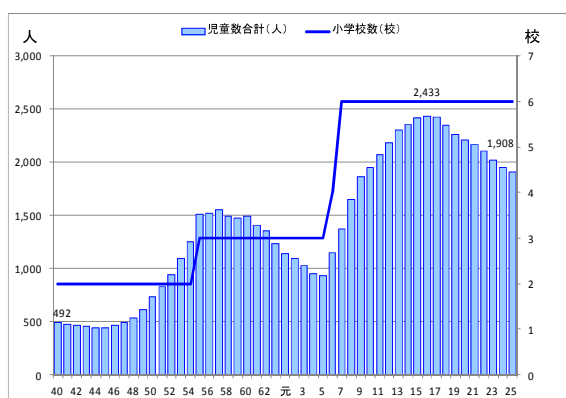


シ 由木地域

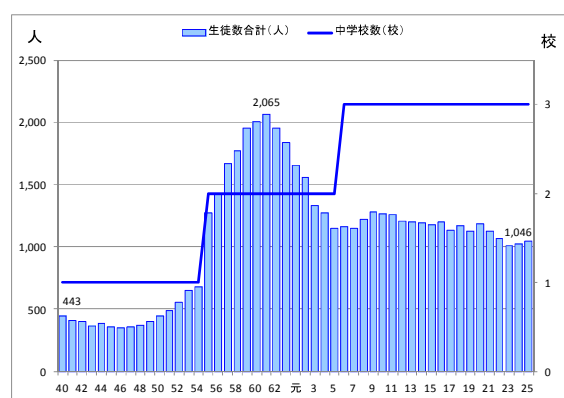
小学校の数は、平成7年度に下柚木小学校と上柚木小学校が開校してから6校(由木中央小、由木西小、中山小、愛宕小、下柚木小、上柚木小)で、児童数は平成16年度の2,433人をピークに平成25年度は1,908人となり、ピーク時から22%の減少となっています。

中学校の数は、平成 6 年度に上柚木中学校が最後に開校してから 3 校（由木中、中山中、上柚木中）で、生徒数は昭和 61 年度の 2,065 人をピークに平成 25 年度は 1,046 人となり、ピーク時から 49%の減少となっています。

【由木地域】小学校数と児童数の推移



【由木地域】 中学校数と生徒数の推移

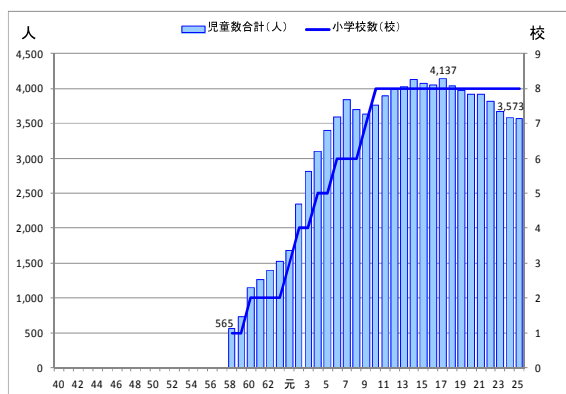


ス 南大沢地域

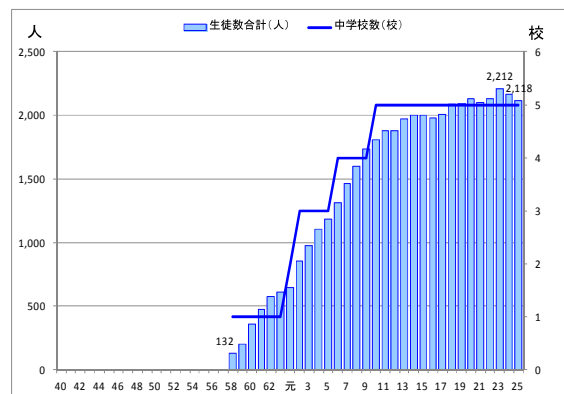
この地域の小・中学校数は、昭和 58 年度に柏木小学校と南大沢中学校が開校して以来、多摩ニュータウン開発が進むにしたがって増加し、小学校は 8 校（柏木小、南大沢小、宮上小、秋葉台小、別所小、松木小、長池小、鑑水小）、中学校は 5 校（南大沢中、宮上中、別所中、松木中、鑑水中）となっています。

児童数は平成17年度の4,137人をピークに平成25年度は3,573人となっており、ピーク時から14%の減少となっています。生徒数は平成23年度の2,212人がピークで、平成25年度は2,118人とピーク時から4%減となっています。

【南大沢地域】 小学校数と児童数の推移



【南大沢地域】 中学校数と生徒数の推移

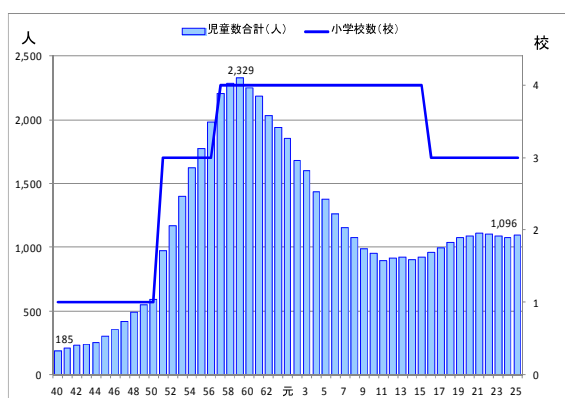


セ 由木東地域

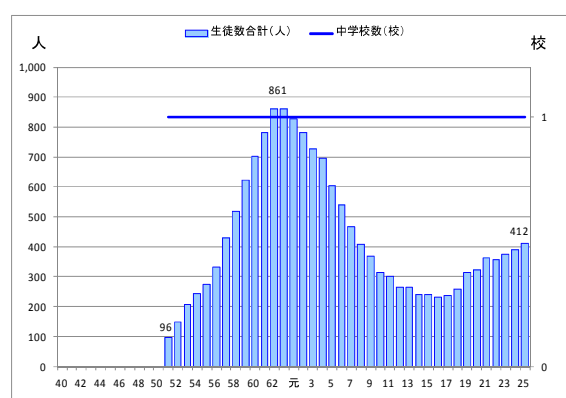
小学校の数は、昭和 57 年度に三本松小学校が開校してから 4 校でしたが、平成 15 年度に同校が廃校となってから 3 校（由木東小、鹿島小、松が谷小）で、児童数は昭和 59 年度の 2,329 人をピークに平成 25 年度は 1,096 人となり、ピーク時から 53%の減少となっています。

中学校の数は、松が谷中学校が昭和 51 年度に開校してから 1 校で、生徒数は昭和 62 年度の 861 人をピークに平成 25 年度は 412 人となり、ピーク時から 52%の減少となっています。

【由木東地域】小学校数と児童数の推移



【由木東地域】中学校数と生徒数の推移

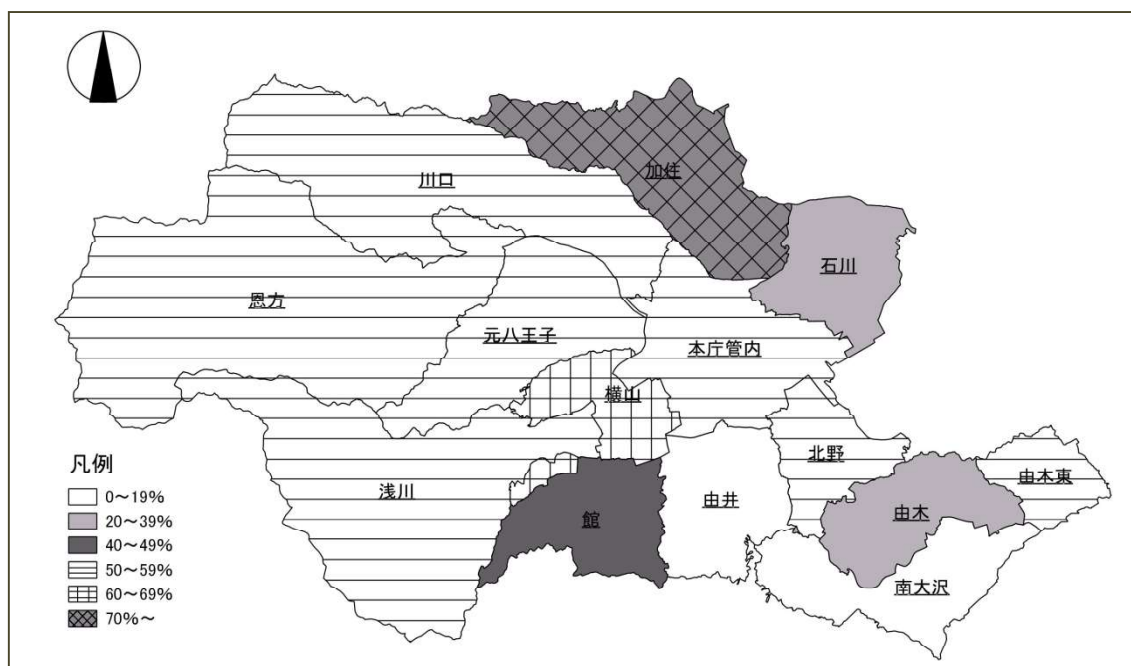


(2) 児童数のピーク時からの減少率

児童数のピーク時からの減少率を 14 の地域ごとに表したものが【図表 2-9】です。

八王子ニュータウンを抱える由井地域と多摩ニュータウンを抱える南大沢地域の減少率は 20%未満ですが、本庁管内、元八王子地域、恩方地域、川口地域、浅川地域、北野地域、由木東地域の 7 地域で 50%以上、横山地域で 60%以上、加住地域では 70%となっています。

【図表 2-9】 児童数のピーク時からの減少率

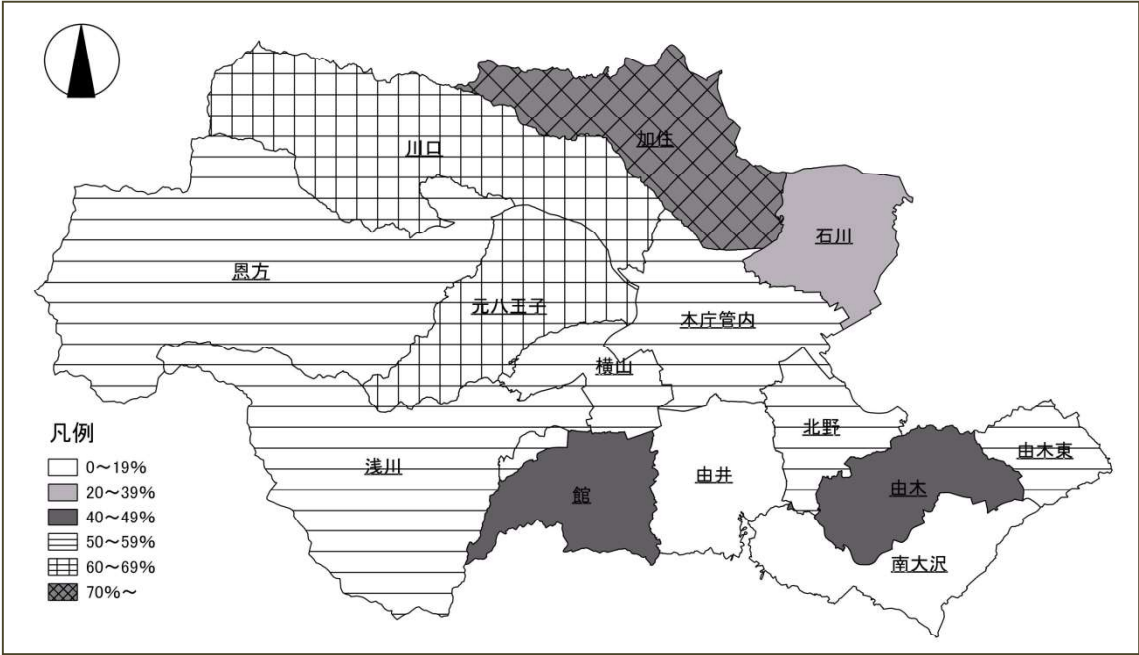


(3) 生徒数のピーク時からの減少率

生徒数のピーク時からの減少率を 14 の地域ごとに表したものが【図表 2-10】です。

八王子ニュータウンを抱える由井地域と多摩ニュータウンを抱える南大沢地域の減少率は 20%未満ですが、本庁管内、恩方地域、浅川地域、横山地域、北野地域、由木東地域の 6 地域で 50%以上となっており、元八王子地域と川口地域で 60%以上、加住地域では 80%となっています。

【図表 2－10】生徒数のピーク時から減少率



(4) 小・中学校の保有教室の状況

小学校と中学校が保有する教室と、その用途を示したのが【図表 2－11】です。普通教室や、理科室、音楽室等の特別教室のほか、会議室、相談室など他の用途に使用されている教室、学童保育所、地域防災倉庫等に活用されている教室があります。

【図表 2－11】教室の保有状況

児童・生徒数は平成 25 年 5 月 1 日現在

		学校数 (校)	児童・生徒数 (人)	保有教室数 (室)	普通教室	特別教室(理科室、音楽室、 特別支援学級、教育相談等)	他用途の教室(会議室、 準備室教材室、相談室等)	学校教育以外の用途に活用(学 童保育所、地域防災倉庫等)
小学校		70	28,660	2,159	1,017	923	144	75
中学校		38	13,854	1,240	436	688	95	21
小学校	1校あたり平均 (保有教室に占める割合)		415	31	14.5 (47.1%)	13.2 (42.8%)	2.1 (6.7%)	1.1 (3.5%)
中学校	1校あたり平均 (保有教室に占める割合)		365	33	11.5 (35.2%)	18.1 (55.5%)	2.5 (7.7%)	0.6 (1.7%)

出典：はちおうじの教育統計（平成 26 年度）、教室数は学校教育部データ

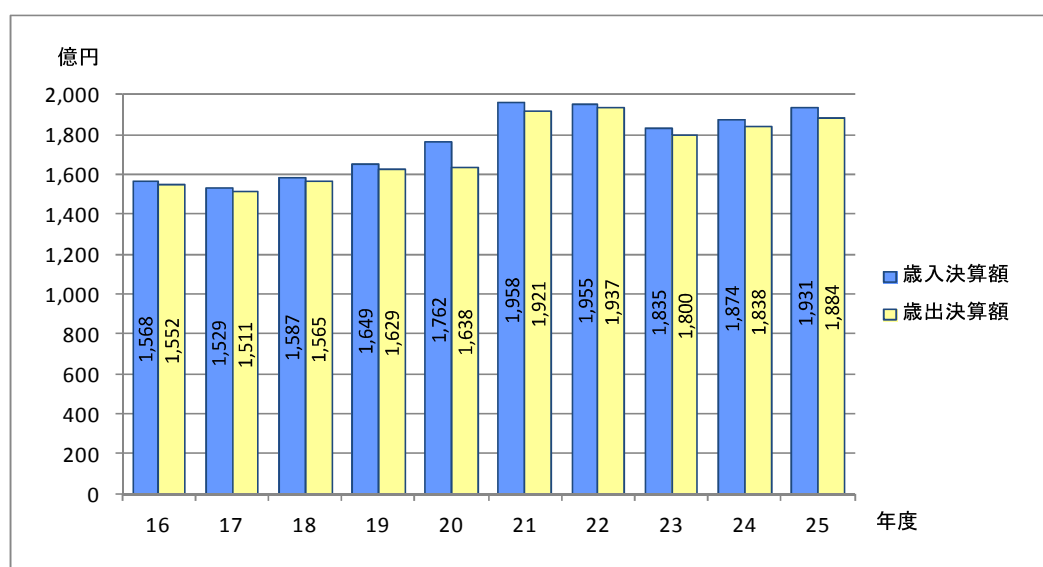
5 財政状況

(1) 財政規模の推移

平成 16 年度からの財政規模（普通会計）を見ると、平成 18 年度までは 1,500 億円台で推移していましたが、平成 19 年度に 1,600 億円を超え、平成 22 年度には歳入が約 1,955 億円、歳出が約 1,937 億円と平成 16 年度から平成 25 年度までの 10 年間では最大の財政規模になりました。

平成 23 年度以降は、歳入が平成 25 年度に 1,900 億円を超えたものの、概ね 1,800 億円台で推移しています。【図表 2-12】

【図表 2-12】歳入・歳出決算額の推移（普通会計）



出典：各年度の決算状況一覧表（決算カード）より作成

※数値は、千万円単位を四捨五入している。

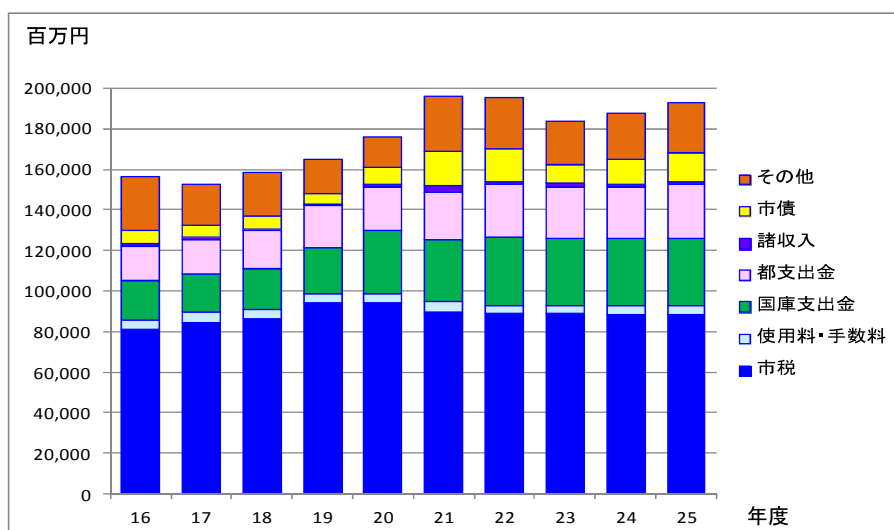
(2) 歳入決算額の推移

平成 16 年度からの歳入決算額（普通会計）の推移を見ると、市税歳入は 813 億円だったものが平成 19 年度に 942 億円を超え、平成 21 年度に 900 億円を下回り、平成 22 年度以降は 880 億円台で推移しています。

受益者負担でもある使用料・手数料については、平成 17 年度に 50 億円を超えましたが、それ以降は減少傾向にあり、平成 22 年度以降は 40 億円台前半で推移しています。【図表 2-13】

なお、普通交付税については、平成 21 年度までは不交付団体でしたが、平成 22 年度から交付団体となり、22 年度に 50 億 3,800 万円、23 年度に 60 億 7,600 万円、24 年度に 59 億 5,900 万円、25 年度は 49 億 6,400 万円の交付を受けています。

【図表 2-13】歳入決算額の推移（普通会計）



区 分	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
市税	81,304	84,473	86,517	94,291	93,945	89,958	88,698	88,741	88,370	88,517
使用料・手数料	4,686	5,038	4,629	4,608	4,507	4,628	4,355	4,186	4,229	4,273
国庫支出金	19,140	18,923	20,121	22,283	31,287	30,432	33,297	33,084	33,203	33,197
都支出金	17,064	17,063	18,289	20,807	21,737	23,627	25,946	25,106	25,323	26,414
諸収入	1,401	861	946	1,088	1,122	3,383	1,299	1,826	1,421	1,500
市債	6,378	6,133	6,661	4,882	8,267	16,607	16,388	9,666	12,541	14,513
その他	26,810	20,370	21,579	16,977	15,312	27,145	25,526	20,882	22,287	24,713
歳入総額	156,783	152,861	158,742	164,936	176,177	195,780	195,509	183,491	187,374	193,127

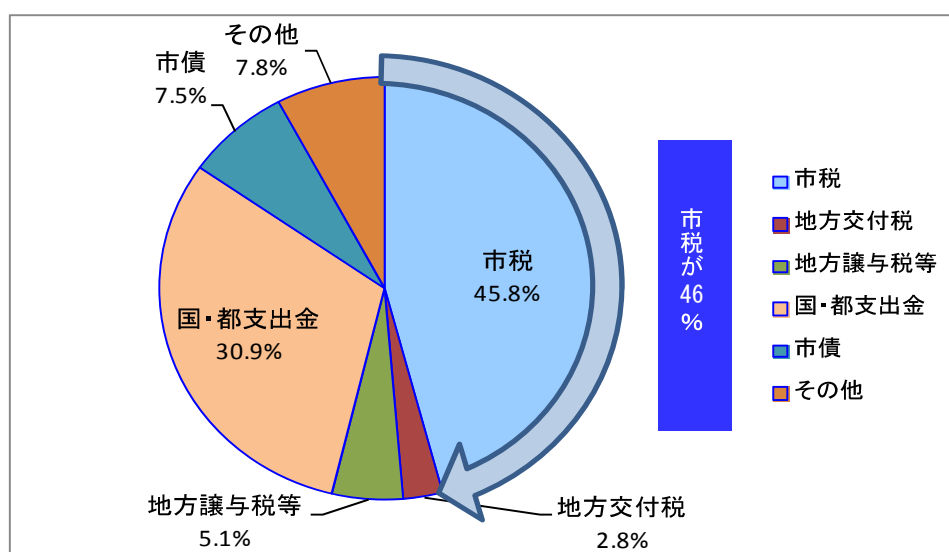
出典：「八王子市財政白書」平成 26 年度版（平成 25 年度決算）

単位：百万円

（3）歳入決算の構成割合

歳入決算（普通会計）の構成比を見ると、市税の割合が 45.8%と 5 割近くを占めており、次いで国・都支出金の 30.9%、市債の 7.5%と続きます。【図表 2-14】

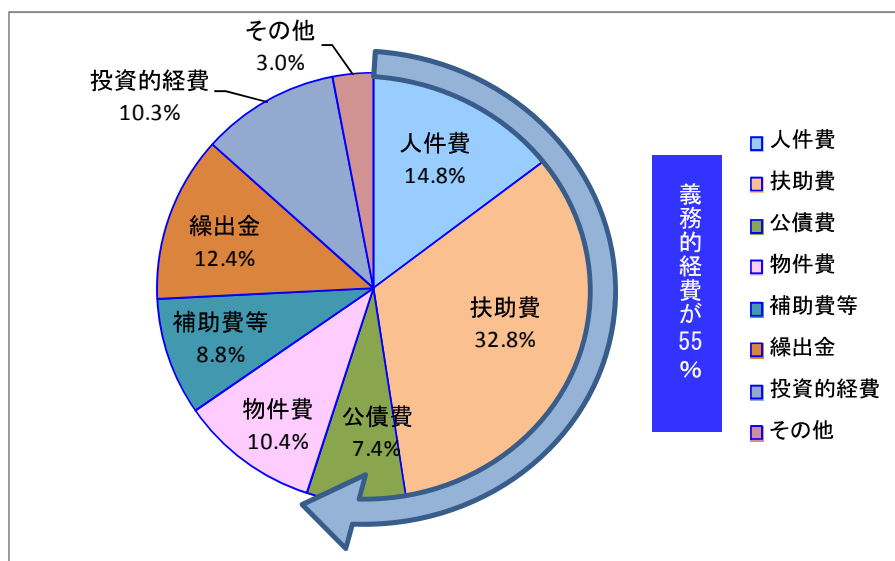
【図表 2-14】平成 25 年度 歳入決算構成割合（普通会計）



（４）歳出決算の構成割合

歳出決算（普通会計）の性質別の構成比を見ると、最も支出割合の高いものは、児童福祉や生活保護など社会保障制度に基づいて支出する扶助費の 32.8%となっています。人件費の 14.8%と市が借入れた市債の元金の返済及び利子の支払いなどに要する経費である公債費の 7.4%と合わせると、義務的経費が総支出の 55%を占めています。【図表 2－15】

【図表 2－15】平成 25 年度 歳出決算構成割合（普通会計）

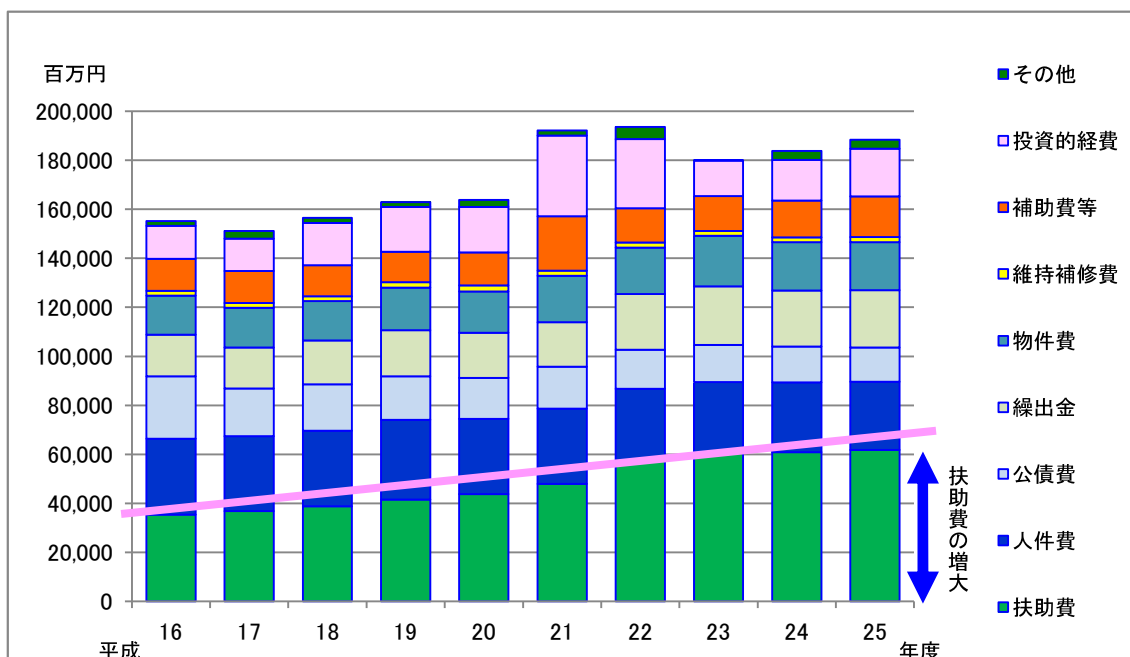


（５）性質別歳出決算額の推移

性質別歳出決算額（普通会計）の推移を見ると、人件費については、職員数の削減や手当の支給要件の見直しなどにより減少傾向にあります。一方で扶助費については増加しており、平成 16 年度に 353 億 6,000 万円だったものが、平成 25 年度には 617 億 7,200 万円と 10 年間で 1.7 倍の支出となっています。

また、国民健康保険事業会計や介護保険事業会計等への繰出金も増加傾向にあり、平成 16 年度に 170 億円だったものが平成 25 年度には 234 億 4,800 万円と 1.4 倍の支出となっています。【図表 2－16】

【図表 2-16】性質別歳出決算額の推移（普通会計）



区 分	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
人件費	30,948	30,553	30,778	32,494	30,613	30,663	29,304	28,998	28,432	27,808
公債費	25,558	19,431	19,012	17,769	16,801	17,068	15,865	15,143	14,629	13,984
補助費	35,360	36,865	38,788	41,591	43,801	47,962	57,453	60,510	60,919	61,772
繰出金	17,000	16,715	17,863	18,740	18,364	18,277	22,739	23,916	22,832	23,448
物件費	15,949	16,189	16,044	17,406	16,893	18,877	19,018	20,559	19,806	19,571
維持補修費	1,857	2,047	2,072	2,204	2,440	2,067	2,004	1,964	1,951	2,044
補助費等	13,073	13,035	12,676	12,463	13,456	22,233	14,065	14,239	15,054	16,629
投資的経費	13,448	13,206	17,156	18,301	18,539	32,875	28,204	14,523	16,543	19,426
その他	2,052	3,094	2,125	1,899	2,898	2,091	5,013	129	3,631	3,680
歳出総額	155,244	151,135	156,514	162,867	163,805	192,113	193,665	179,981	183,797	188,362

出典：「八王子市財政白書」平成 26 年度版（平成 25 年度決算）

単位：百万円

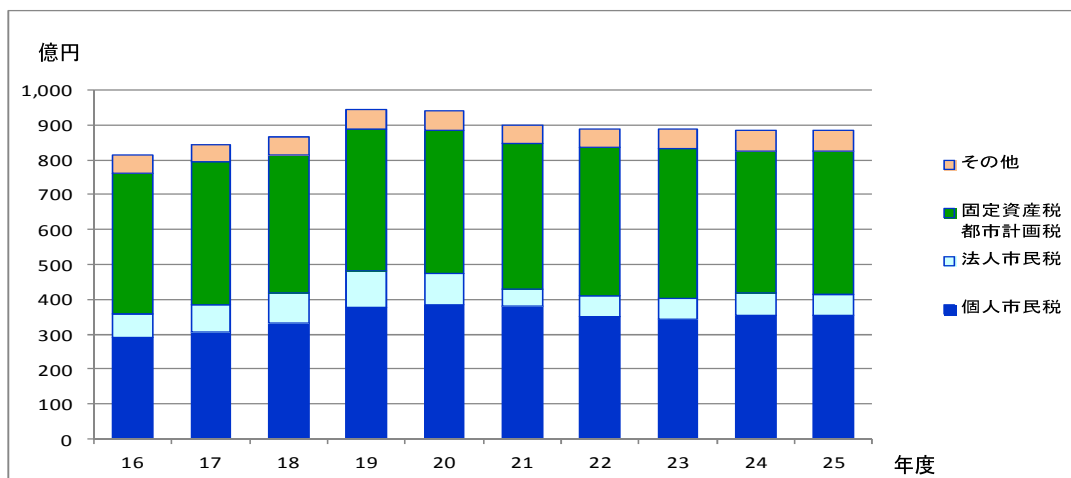
（6）市税収入額の推移

歳入の柱となっている市税収入額の推移を表したものが【図表 2-17】です。

平成 16 年度から平成 18 年度までは 800 億円台で推移していましたが、平成 19 年度の市税収入は前年度に比べ 78 億円増の 943 億円となりました。これは税源移譲や定率減税廃止をはじめとする税制改正等による個人住民税の増収と法人の業績が好調だったことによる法人市民税の増収などが大きな要因で、過去最高額となっています。

しかし、平成 20 年 9 月の世界的な金融危機である、いわゆるリーマン・ショックによる急激な景気後退の影響を受け、平成 20 年度については法人市民税が 15 億円的大幅減となったことを主な要因として 939 億円となり、前年度を下回りました。平成 21 年度は法人市民税が更に 39 億円減となったため、900 億円台を割り、その後は平成 25 年度まで 880 億円台で推移しています。

【図表 2-17】市税収入額の推移（平成 16～25 年度）



年 度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
個人市民税	29,125,857	30,495,659	33,167,805	37,953,204	38,327,411	37,896,596	35,081,887	34,345,332	35,408,095	35,332,323
法人市民税	6,607,505	7,951,808	8,691,870	10,618,977	9,117,730	5,173,308	5,855,900	5,963,632	6,474,401	6,194,954
固定資産税 都市計画税	40,431,299	40,948,952	39,349,238	40,401,912	41,129,595	41,769,075	42,506,613	42,730,430	40,742,657	40,917,855
その他	5,139,228	5,076,197	5,308,331	5,316,616	5,369,809	5,119,116	5,253,464	5,701,146	5,744,750	6,071,399
合 計	81,303,889	84,472,616	86,517,244	94,290,709	93,944,545	89,958,095	88,697,864	88,740,540	88,369,903	88,516,531

出典：「市税白書」平成 26 年度版

単位：千円

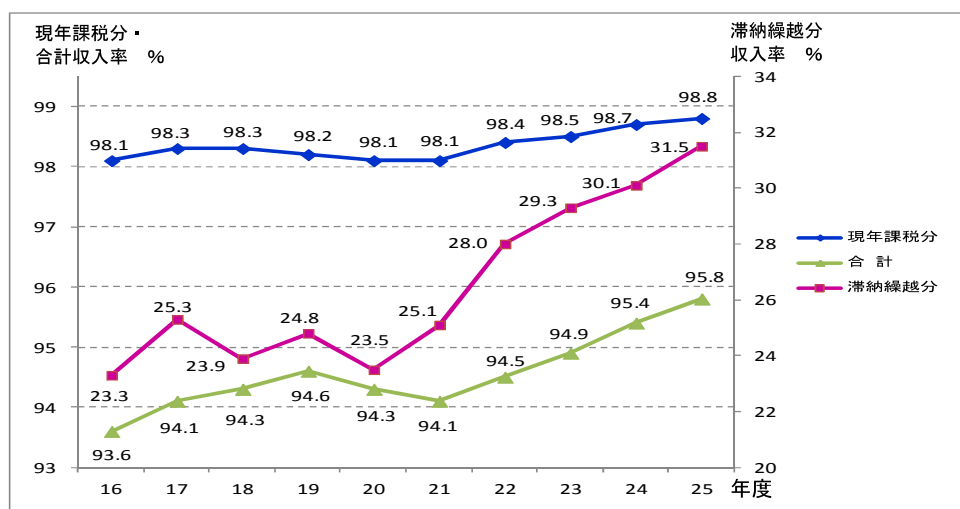
（7）市税収入率の推移

市税の収入率は、催告の工夫や滞納処分の強化等の徴収努力により平成 21 年度から上昇を続けており、平成 25 年度は現年課税分と滞納繰越分を合計した収入率では 95.8%と、平成になってから最高の収入率となったところです。

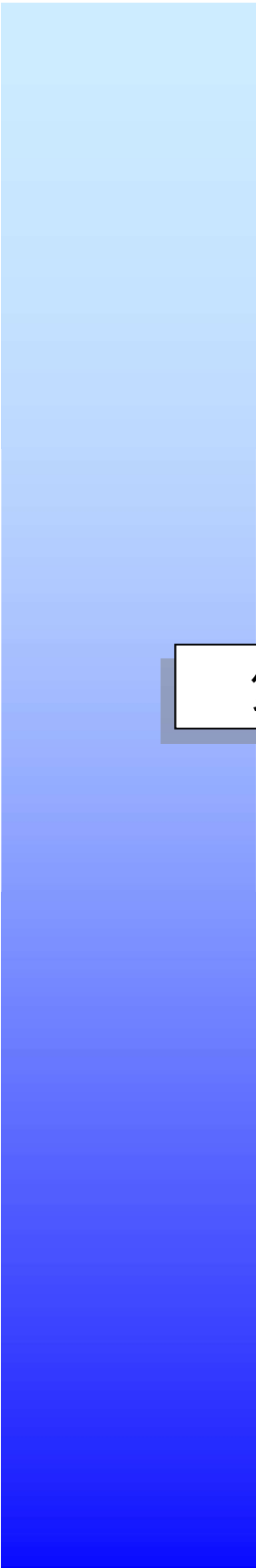
また、その結果、平成 25 年度の市税調定額が平成 24 年度に比べて 2 億 7,000 万円減少しているにもかかわらず、収入額では 1 億 5,000 万円の増となっています。

【図表 2-18】

【図表 2-18】市税収入率の推移（平成 16～25 年度）



出典：「市税白書」平成 26 年度版



第3章 施設整備の推移と現状

第3章 施設整備の推移と現状

1 施設整備計画

本市では、まちづくりの憲法ともいえる基本構想と、これを実現するための基本計画をもとに、市民福祉の向上を図るため、道路、公園、学校、市民センター、図書館、清掃工場など、様々な施設を整備してきました。

【これまでの基本構想・基本計画】

基本構想・基本計画		計画期間
1	長期計画（昭和41年6月策定）	昭和41～50年度
2	長期総合計画（昭和48年12月策定）	昭和49～58年度
3	基本構想・基本計画（昭和54年4月策定）	昭和54～58年度
4	基本構想・基本計画（昭和59年6月策定）	昭和59～63年度
5	八王子21プラン「基本構想・基本計画」 （平成元年4月策定）	平成元～10年度
6	八王子21プラン「第2次基本計画」 （平成6年4月策定）	平成 6～15年度
7	新八王子21プラン「基本構想・基本計画」 （平成11年3月策定）	平成11～20年度
8	八王子ゆめおりプラン「基本構想・基本計画」 （平成15年3月策定）	平成15～24年度
9	八王子ビジョン2022「基本構想・基本計画」 （平成25年3月策定）	平成25～34年度

平成25年3月に策定した基本構想・基本計画「八王子ビジョン2022」では、持続可能な行財政運営を実現する施策の一つとして「財産の有効活用」を掲げています（基本計画第1編第3章第2節・施策番号06）。

施策の展開として、①「市有財産の用途の見直しや売却を行うなど効率的かつ有効な活用をはかり、適正な管理に努める」、②「既存の公共施設について市民ニーズを踏まえ、他の用途への転用も視野に入れ、効果・効率的な公共施設の活用・配置に努める」、③「公共施設の長寿命化をはかるため、中長期保全計画を策定し、計画的な修繕を実施する」こととしています。

2 投資的経費の推移

基本構想・基本計画に掲げるまちづくりを実現するため、これまで福祉施設、教育施設、道路などの施設整備に多額の投資的経費を支出してきました。平成 14 年 3 月に発行した「施設白書」では、昭和 44 年度から平成 12 年度までの 32 年間で、普通会計分で 7,744 億円を投資的経費として支出してきたことを示しましたが、平成 13 年度から平成 25 年度までの 13 年間の投資的経費 2,444 億円を加えると、45 年間の総額は 1 兆 188 億円にのびります。

(1) 投資的経費の推移と用地取得費の推移

本市の昭和 44 年度から平成 25 年度までの投資的経費と用地取得費の推移を表したものが【図表 3-1】です。

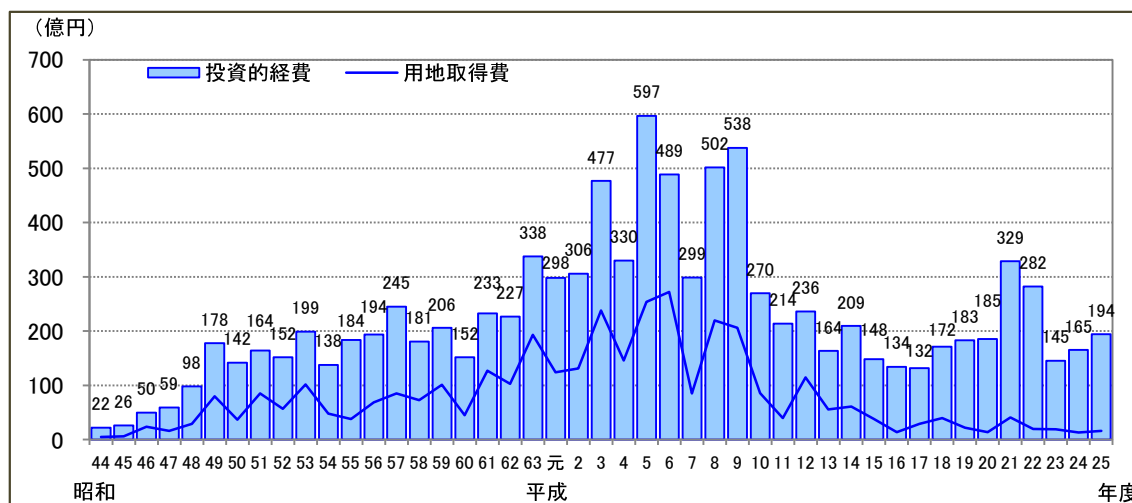
投資的経費については、昭和 63 年度から平成 9 年度までの 10 年間は、ほぼ毎年 300 億円を超える額を支出してきましたが、平成 15 年度以降（平成 21 年度、22 年度を除く）は、毎年 150 億円前後と半分以下になっています。

また、用地取得費についても、昭和 63 年度から平成 9 年度までの 10 年間は年平均 187 億円の支出でしたが、平成 15 年度以降では年平均 24 億円と大きく減少しています。これは、多摩ニュータウン地域や八王子ニュータウン地域等の児童・生徒数の急増に対応した小・中学校の新設が平成 15 年度以降に一段落したことや、多額の費用が必要となる清掃工場等の建設がなかったことが要因として挙げられます。

さらに、投資的経費に占める用地取得費の割合は、昭和 44 年度から平成 12 年度までの 32 年間で平均 41.9%でしたが、平成 13 年度から平成 25 年度までの 13 年間は平均 16.3%と大きく下がっています。これは、新たに用地を取得して施設を建設する事業が大きく減ったことも要因ですが、例えば老朽化した富士森公園プールを廃止した際の代替サービスとして、学校プールの開放を拡大しつつ、跡地に民間資源を活用したフットサルコートを整備したことや、子ども家庭支援センターの設置に当たっては、J R 八王子駅北口の生涯学習センター（クリエイトホール）の一部を活用したことなど、廃止施設や既存施設の活用を図ってきたことも要因の一つに挙げられます。

なお、平成 25 年度までに開設した主な施設は【図表 3-2】のとおりです。

【図表 3-1】 投資的経費の推移



【図表 3-2】 平成 3 年度以降に開設した主な施設

年度 (平成)	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
施設名	東浅川保健福祉センター	戸吹不燃物処理センター	甲の原体育館	北野清掃工場	忍方市民センター	台町市民センター	川口市民センター	戸吹清掃工場	生涯学習センター	長房ふれあい館	上柚木公園 テニスコート	加住市民センター
		別所小	石川市民センター	芸術文化会館	下柚木小	タやけ小やけふれあいの里	北野余熱利用センター	鎌水小		上柚木公園 野球場		
				愛宕小	上柚木小	南大沢総合センター(土地信託)	学園都市センター	鎌水中		戸吹湯ったり館		
				松木小			川口図書館					
				上柚木中			みなみ野小					
				松木中			長池小					
							みなみ野中					

年度 (平成)	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
施設名	市民活動支援センター	子ども家庭支援センター	高倉小学童保育所	地域子ども家庭支援センター館	道の駅 八王子滝山	第四小学童保育所	秋葉台小学童保育所第二クラブ	八王子駅南口総合事務所	戸吹スポーツ公園	八王子城跡ガイダンス施設	横山第一小学童保育所
	横山南市民センター	地域子ども家庭支援センター みなみ野	小宮小学童保育所	地域子ども家庭支援センター 石川	みなみ野君田小	忍方東小学童保育所	寺田小学童保育所第二クラブ	由井市民センター みなみ野分館	市民会館	八王子インフォメーションセンター	
	夢美術館	檜原パーク・アンド・バスライド 駐車場				山田小学童保育所		プラスチック資源化センター	小児・障害メディカルセンター		
	男女共同参画センター	緑が丘小学校				元八王子小学童保育所		親子つどいの広場大和田	消費生活センター		
	七国小	高尾山学園									
	七国中										

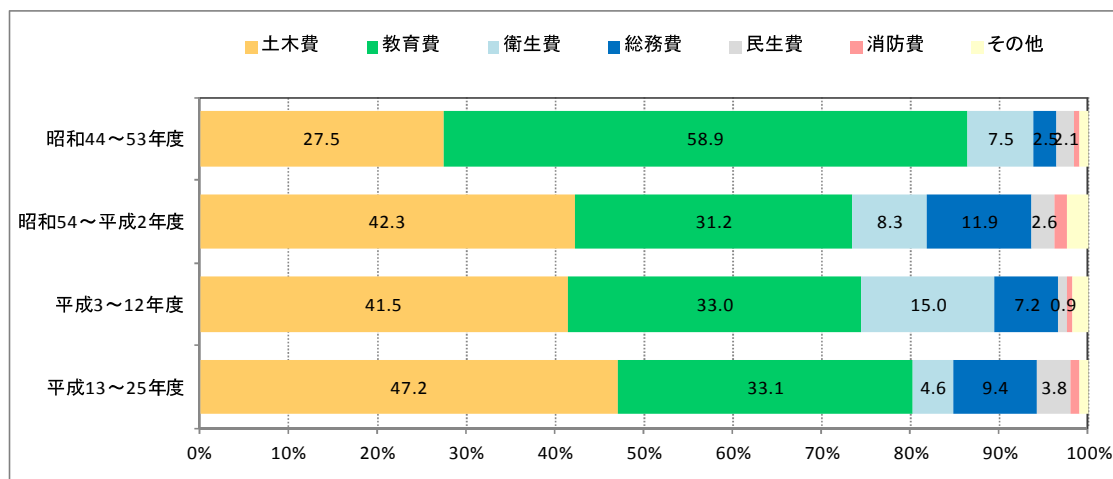
(2) 投資的経費の目的別構成割合

昭和 44 年度から平成 25 年度までの投資的経費の目的別割合を表したものが、【図表 3-3】です。昭和 44 年度から昭和 53 年度までの 10 年間は、人口の増加に伴い、小・中学校を重点的に整備したことにより、教育費の割合が 58.9%と最も高い割合になっています。昭和 54 年度以降は、道路整備や公園整備を中心に生活基盤整備を

行ったことから、40％台で推移する土木費が最も高い割合となっています。

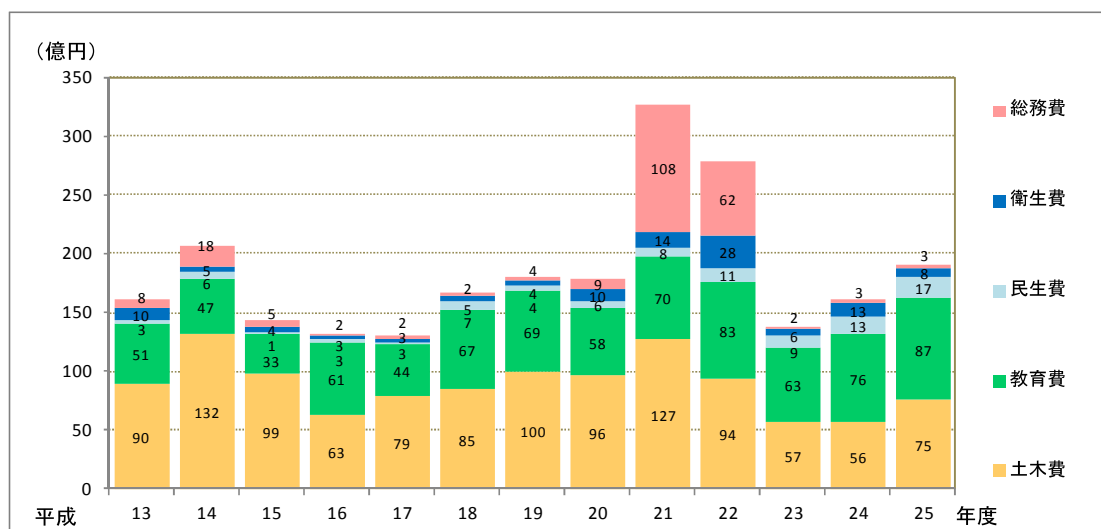
また、平成3年度から平成12年度までの10年間は、戸吹清掃工場や北野清掃工場などの清掃施設の整備に伴い、衛生費の割合が増えており、平成13年度から平成25年度までの13年間では、インフラなどの土木費の割合が47.2%と増えています。

【図表 3－3】 投資的経費の目的別割合（昭和44～平成25年度）



平成13年度以降の主な目的別の投資的経費の推移を表したものが【図表 3－4】です。教育費が平成18年度以降に60億円を超えている（平成20年度を除く）のは、学校の校舎・体育館の耐震化工事に取り組んだことによるものです。また、総務費が平成21年度と平成22年度に増えているのは、八王子駅南口の再開発ビルに八王子駅南口総合事務所と市民会館（オリンパスホール八王子）を整備したことによるものです。

【図表 3－4】 目的別の投資的経費の推移（平成13～25年度）



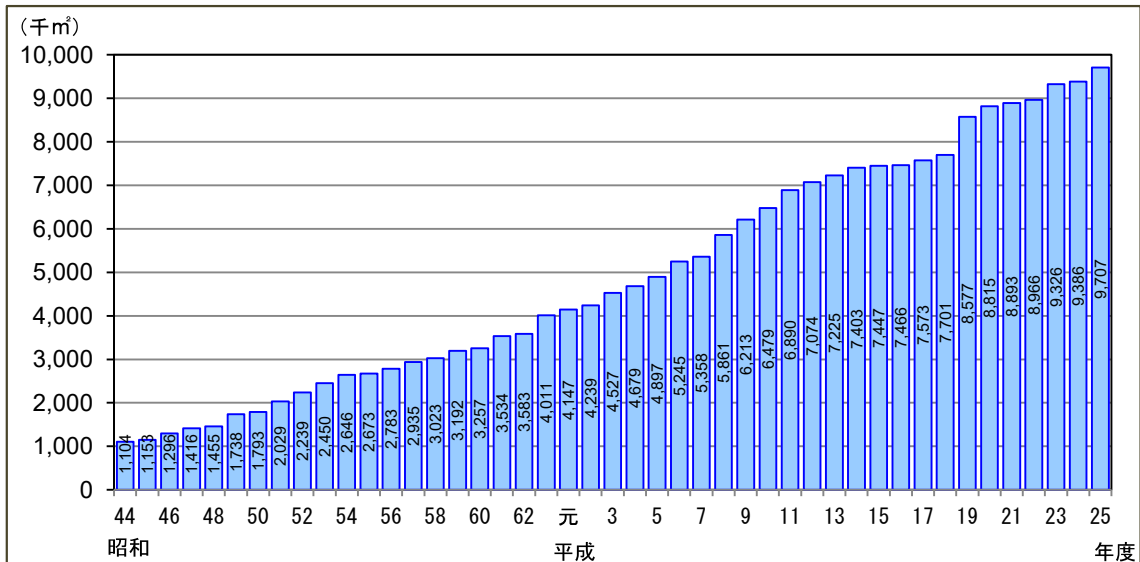
3 施設整備の推移

(1) 土地・建物の年度末現在高の推移

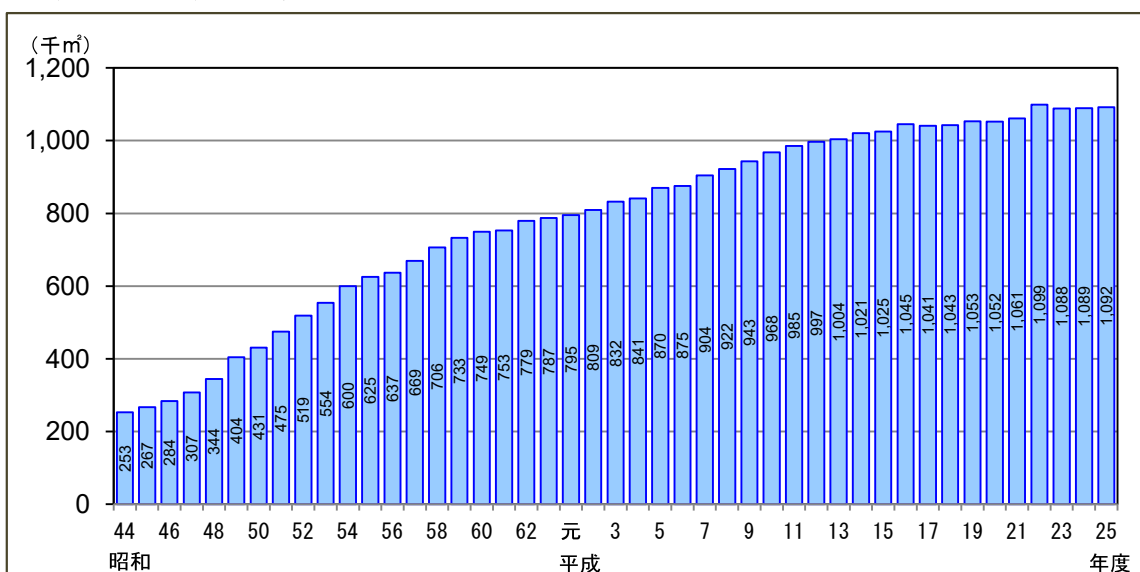
市が保有する財産には、公有財産、物品、債権及び基金がありますが、このうち公有財産とは、市が保有する土地、建物、動産、有価証券などの財産をいい、その使用目的によって行政財産（公用、公共用に利用される財産）と普通財産（行政財産以外のすべての公有財産）に分類されます。

行政財産の土地（道路を除く）、建物の面積の年度末現在高の推移を示したものが、【図表 3-5】と【図表 3-6】です。

【図表 3-5】 土地面積の年度末現在高推移



【図表 3-6】 建物面積の年度末現在高推移



出典：平成 14 年 3 月 施設白書、財産に関する調査

土地、建物の保有状況を使用目的別に分類したものが【図表 3-7】です。平成 12 年度末（平成 14 年の施設白書のデータ）と平成 25 年度末を比較すると、土地で大きく増えているのは、道路、公園とその他の公共用施設で、建物で増えているのは学校と保育園等の子育て支援施設、その他の福祉施設です。

【図表 3-7】 使用目的別保有状況比較

(単位 千㎡)

区 分	土 地			建 物		
	平成12年度末	平成25年度末	増 減	平成12年度末	平成25年度末	増 減
公用財産						
庁舎（事務所含む）	73	74	1	53	54	1
清掃施設	380	376	△ 4	62	64	2
消防・防災施設	10	11	1	6	6	0
その他の公用財産（※1）	102	138	36	29	38	9
公共用財産						
学校	2,084	2,072	△ 12	612	669	57
市営住宅	196	178	△ 18	67	70	3
道路	6,614	9,110	2,496	0	0	0
公園	3,593	5,547	1,954	11	16	5
教育文化施設	55	39	△ 16	61	63	2
市民センター・地区会館	58	56	△ 2	30	33	3
体育施設	64	87	23	13	13	0
保育園・児童館・学童保育所	19	23	4	12	17	5
その他の福祉施設（※2）	18	25	7	16	22	6
観光施設	62	88	26	7	7	0
斎場・霊園	82	83	1	5	5	0
その他の公共用施設（※3）	252	835	583	13	15	2
山林	26	75	49			
計	13,688	18,817	5,129	997	1,092	95

※1 北野下水処理場、男女共同参画センター、館町書庫等

※2 保健福祉センター、恩方老人憩いの家、高齢者在宅サービスセンター等

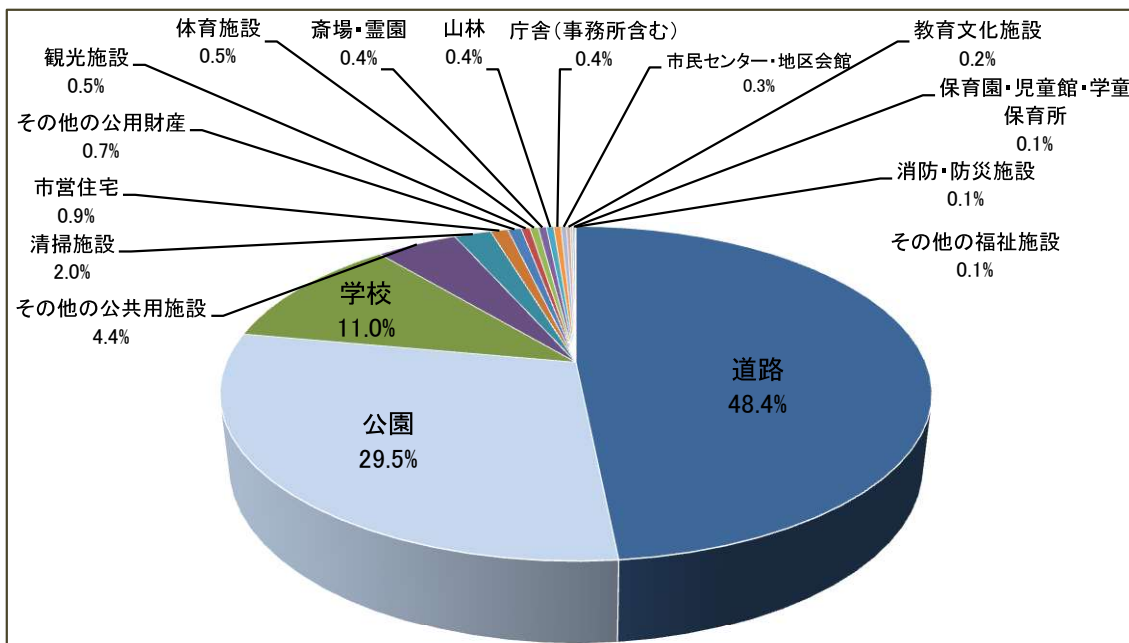
※3 保健センター、東浅川交通公園、消費生活センター等

平成 25 年度末の土地、建物の使用目的別の保有状況は、次の【図表 3-8】、【図表 3-9】のとおりです。

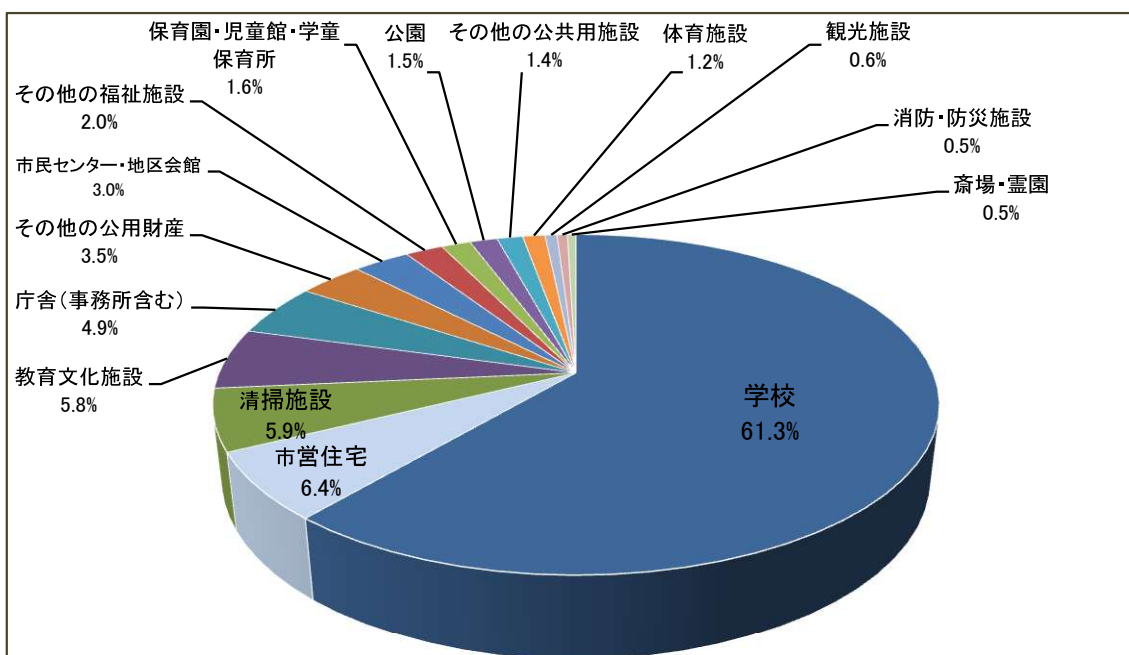
土地については、道路の敷地が 48.4%と、およそ半分を占めています。ただし、認定外道路（いわゆる「赤道」）はこの中に含まれていません。また、公園が 29.5%、学校が 11%となっていて、道路、公園、学校の 3 つの用途で 90%を占めています。

建物については、学校が 61.3%と最も多く、他に市営住宅が 6.4%、清掃施設が 5.9%、教育文化施設が 5.8%、庁舎（事務所含む）が 4.9%となっています。

【図表 3－8】 使用目的別保有状況比較（土地）



【図表 3－9】 使用目的別保有状況比較（建物）



(2) 平成 12 年度末と平成 25 年度末の貸借対照表の比較

平成 14 年の施設白書では、発生主義を取り入れた公会計の考え方から、財務諸表の貸借対照表（バランスシート）を使って、所有する財産（資産）の総額と、財産形成してきた資金調達の内訳を記載しています。

【図表 3-10】 バランスシート（平成 13 年 3 月 31 日現在）

（単位 千円）

借方	貸方
[資産の部]	
1 有形固定資産	1 固定負債
(1) 総務費 <u>47,716,247</u>	(1) 地方債 <u>186,454,910</u>
(2) 民生費 <u>7,924,761</u>	(2) 債務負担行為
(3) 衛生費 <u>62,330,474</u>	① 物件の購入等 <u>37,612,294</u>
(4) 労働費 <u>73,498</u>	② 債務保証又は損失補償
(5) 農林業費 <u>6,524,380</u>	債務負担行為計 <u>37,612,294</u>
(6) 商工費 <u>1,280,563</u>	(3) 退職給与引当金 <u>45,124,468</u>
(7) 土木費 <u>236,771,674</u>	固定負債合計 <u>269,191,672</u>
(8) 消防費 <u>2,844,324</u>	2 流動負債
(9) 教育費 <u>234,423,602</u>	(1) 翌年度償還予定額 <u>15,575,932</u>
(10) その他 <u>903,099</u>	(2) 翌年度繰上充用金
計 <u>600,792,622</u>	流動負債合計 <u>15,575,932</u>
(うち土地 <u>324,136,586</u>)	負債合計 <u>284,767,604</u>
有形固定資産合計 <u>600,792,622</u>	
2 投資等	
(1) 投資及び出資金 <u>1,568,794</u>	
(2) 貸付金 <u>1,181,198</u>	
(3) 基金	
① 特定目的基金 <u>3,183,861</u>	
② 土地開発基金 <u>6,081,286</u>	
③ 定額運用基金	
基金計 <u>9,265,147</u>	
投資等合計 <u>12,015,139</u>	
3 流動資産	
(1) 現金・預金	
① 財政調整基金 <u>3,322,512</u>	
② 減債基金 <u>3,190,000</u>	
③ 歳計現金 <u>1,038,611</u>	
現金・預金計 <u>7,551,123</u>	
(2) 未収金	
① 地方税 <u>8,011,532</u>	
② その他 <u>401,217</u>	
未収金計 <u>8,412,749</u>	
流動資産合計 <u>15,963,872</u>	
	[正味資産の部]
	1 国庫支出金 <u>67,061,393</u>
	2 都道府県支出金 <u>41,903,792</u>
	3 一般財源等 <u>235,038,844</u>
	正味資産合計 <u>344,004,029</u>
資 産 合 計 <u>628,771,633</u>	負債・正味資産合計 <u>628,771,633</u>

出典：平成 14 年 3 月 施設白書

平成 25 年度末の貸借対照表を比較すると、公共資産（有形固定資産）合計は 732 億円増え、市債は 692 億円減っています。これは、厳しい財政運営の中で、「返す以上に借りない」方針のもと、借金を返しながら必要な投資を行ってきたことを示しています。

【図表 3-11】 バランスシート（平成 26 年 3 月 31 日現在）

（単位 千円）

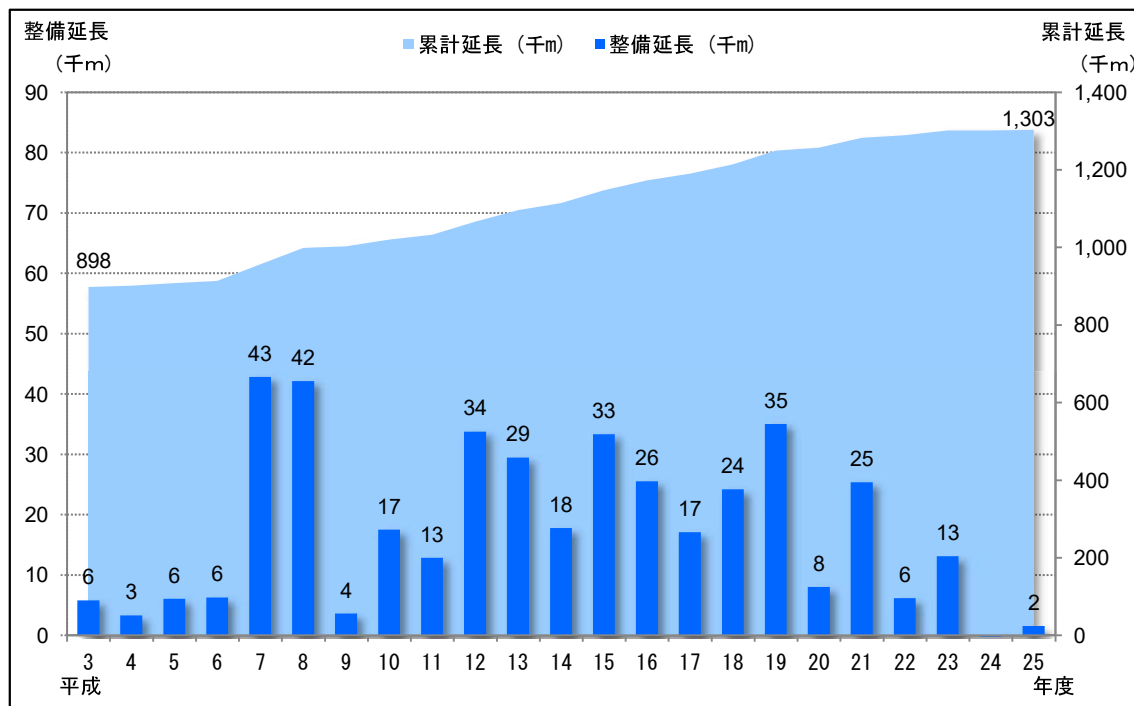
借方	貸方
[資産の部]	
1 公共資産	1 固定負債
(1) 有形固定資産	(1) 市債 <u>117,250,516</u>
①生活インフラ・国土保全 <u>317,688,557</u>	(2) 長期未払金
②教育 <u>244,737,141</u>	①物件の購入等 <u>10,522,568</u>
③福祉 <u>6,291,120</u>	②債務保証又は損失補償
④環境衛生 <u>43,187,497</u>	③その他
⑤産業振興 <u>5,251,893</u>	長期未払金計 <u>10,522,568</u>
⑥消防 <u>3,023,557</u>	(3) 退職手当引当金 <u>23,922,643</u>
⑦総務 <u>49,188,160</u>	(4) 損失補償等引当金
有形固定資産合計 <u>669,367,925</u>	固定負債合計 <u>151,695,727</u>
(2) 売却可能資産 <u>4,662,330</u>	2 流動負債
公共資産合計 <u>674,030,255</u>	(1) 翌年度償還予定市債 <u>11,398,785</u>
2 投資等	(2) 短期借入金（翌年度繰上充用金）
(1) 投資及び出資金	(3) 未払金 <u>1,417,307</u>
①投資及び出資金 <u>861,567</u>	(4) 翌年度支払予定退職手当 <u>2,691,964</u>
②投資損失引当金	(5) 賞与引当金 <u>1,416,172</u>
投資及び出資金計 <u>861,567</u>	流動負債合計 <u>16,924,228</u>
(2) 貸付金 <u>1,527,867</u>	負債合計 <u>168,619,955</u>
(3) 基金等	
①退職手当目的基金 <u>1,624,780</u>	[純資産の部]
②その他特定目的基金 <u>6,404,347</u>	1 公共資産等整備国補助金等 <u>79,824,315</u>
③土地開発基金	2 公共資産等整備都補助金等 <u>60,165,780</u>
④その他定額運用基金	3 公共資産等整備一般財源等 <u>427,934,260</u>
⑤退職手当組合積立金	4 その他一般財源等 <u>△ 38,006,761</u>
基金等計 <u>8,029,127</u>	5 資産評価差額 <u>3,810,270</u>
(4) 長期延滞債権 <u>3,402,784</u>	純資産合計 <u>533,727,864</u>
(5) 回収不能見込額 <u>△ 760,525</u>	
投資等合計 <u>13,060,820</u>	
3 流動資産	
(1) 現金預金	
①財政調整基金 <u>9,406,180</u>	
②減債基金 <u>3,721</u>	
③歳計現金 <u>4,764,979</u>	
現金預金計 <u>14,174,880</u>	
(2) 未収金	
①市税 <u>1,092,923</u>	
②その他 <u>279,654</u>	
③回収不能見込額 <u>△ 290,713</u>	
未収金計 <u>1,081,864</u>	
流動資産合計 <u>15,256,744</u>	
資産合計 <u>702,347,819</u>	負債・純資産合計 <u>702,347,819</u>

出典：八王子市財政白書 平成 26 年度版（平成 25 年度決算）

(3) 道路・橋りょう・下水道・公園整備の推移

ア 道路の整備状況

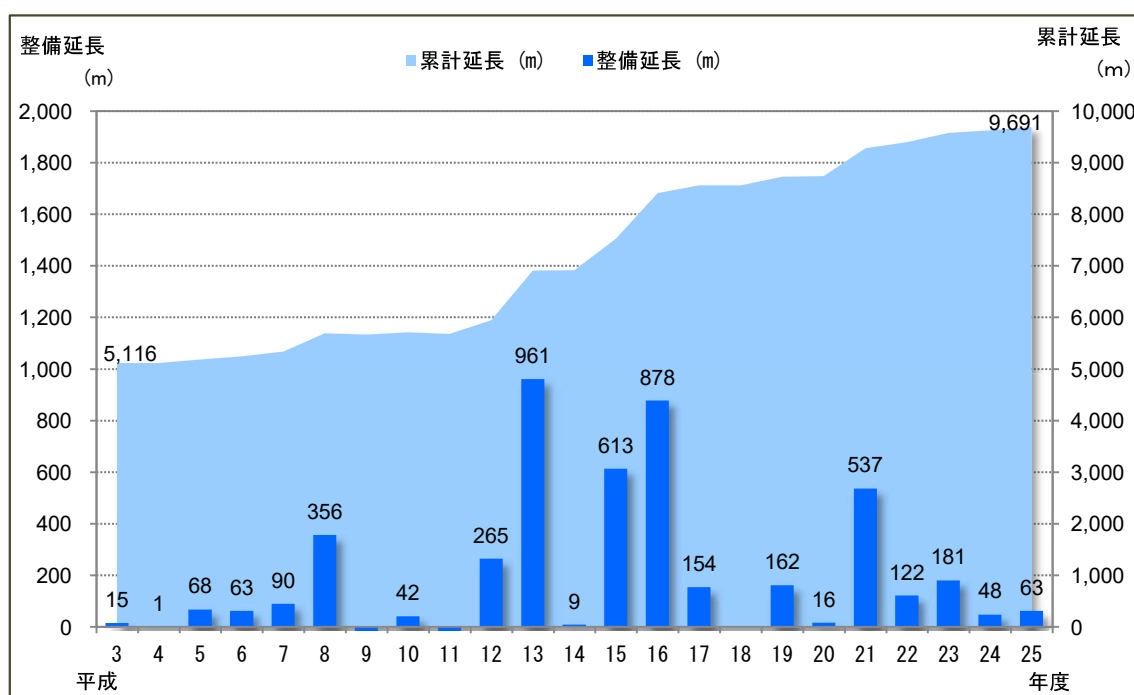
【図表 3-12】 道路の整備状況



出典：統計八王子（累計延長は翌年度4月1日現在）

イ 橋りょうの整備状況

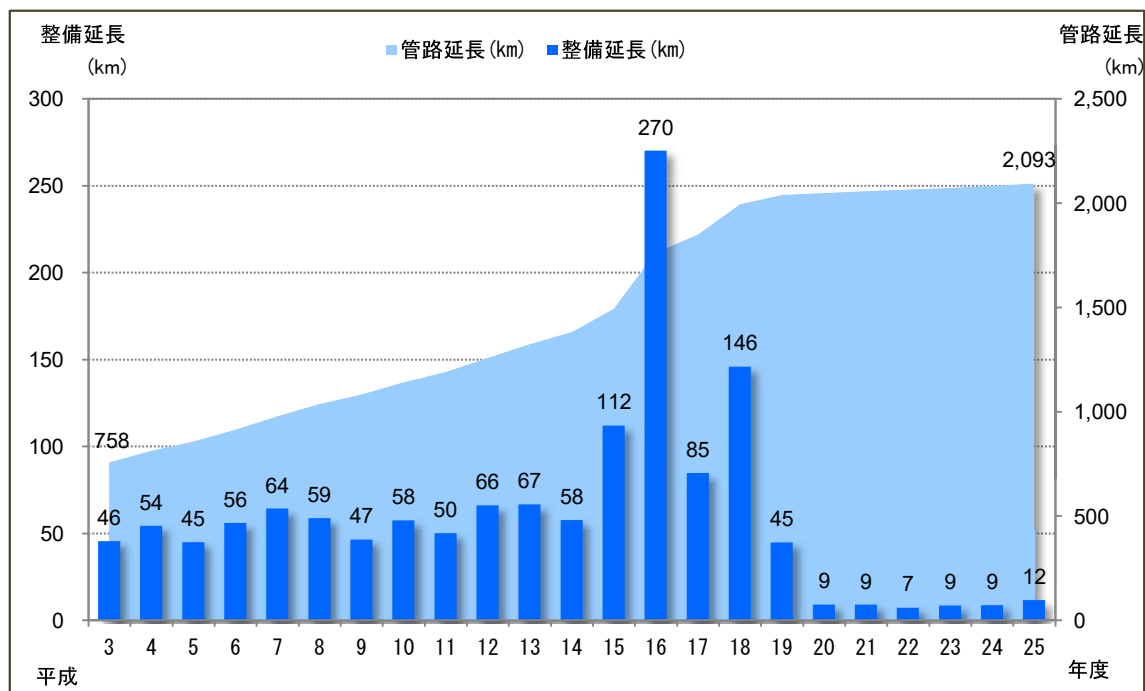
【図表 3-13】 橋りょうの整備状況



出典：統計八王子（累計延長は翌年度4月1日現在）

ウ 下水道の整備状況

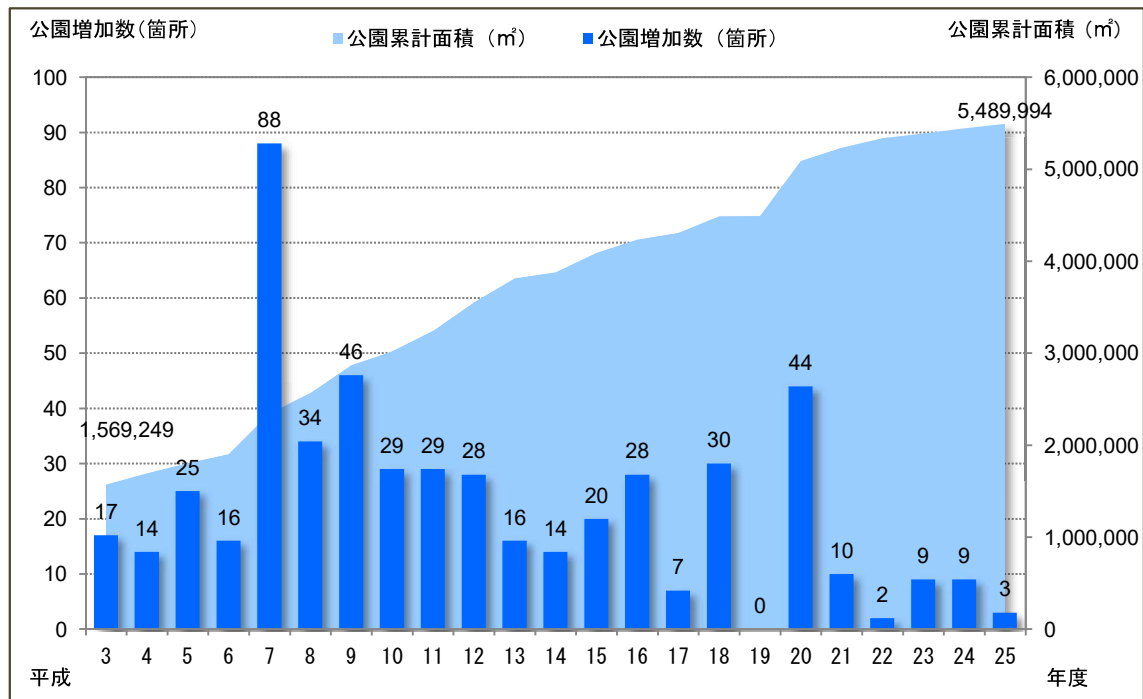
【図表 3-14】下水道の整備状況



出典：統計八王子（各年度末現在）

エ 公園の整備状況

【図表 3-15】市立都市公園の整備状況



出典：公園・緑地に関する調査（公園累計面積は翌年度4月1日現在）

4 施設の現状

(1) 延床面積

市が所有する施設の延床面積の合計は、1,109,093.74 m²で、市民 1 人当たりの延床面積は、1.97 m²となります。また、民間から借り上げて事業を行っている施設の延床面積の合計は 50,882.37 m²です。【図表 3－16】

【図表 3－16】 用途分類別施設数及び延床面積

平成 26 年 3 月末現在

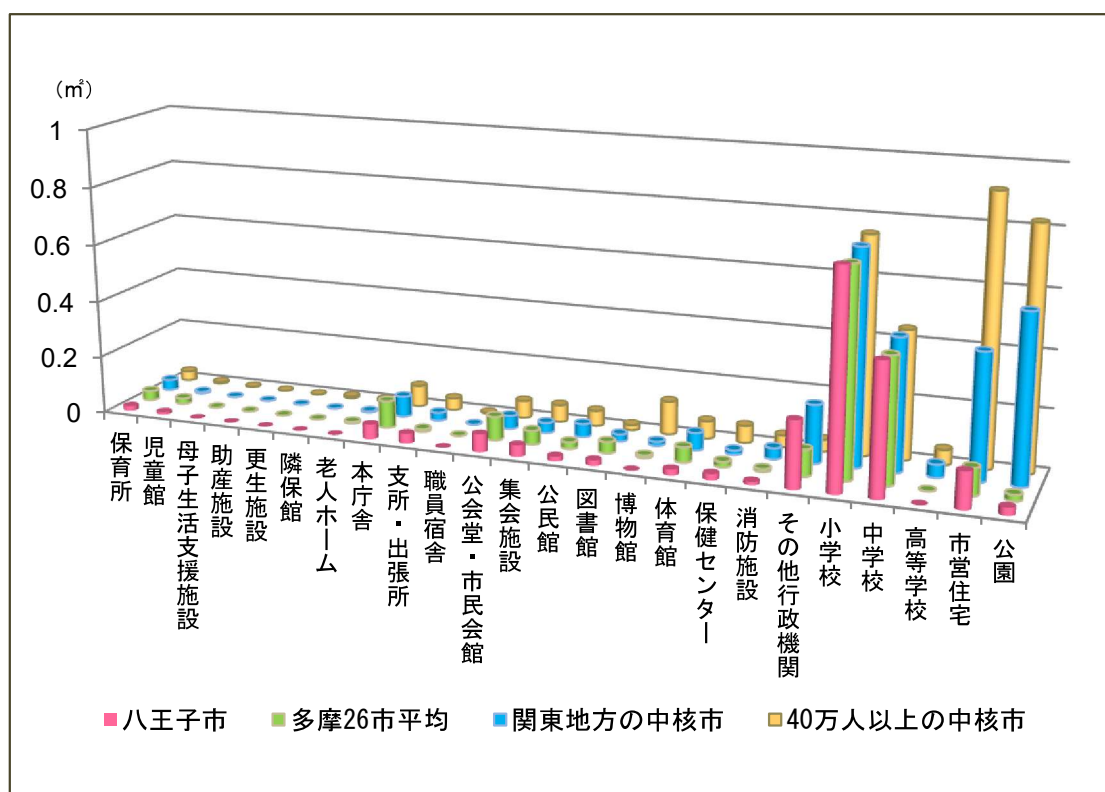
財産分類	施設大分類	施設中分類		施設小分類	施設数	延床面積 (㎡)	構成比		延床面積計 (㎡)
公有財産	公用財産	庁舎	庁舎	1	36,828	161,719	3.2%	13.9%	公有財産施設 1, 109, 093. 74㎡
			事務所	13	11,011		0.9%		
		清掃施設	清掃施設	11	50,133		4.3%		
		消防・防災施設	消防団器具置場	95	5,162		0.4%		
			防災倉庫	30	1,152		0.1%		
	その他公用施設	その他公用施設	23	57,433	5.0%				
	公共用財産	学校教育施設	小学校	70	413,651	930,569	35.7%	80.2%	
			中学校	38	253,307		21.8%		
			専修学校	1	2,497		0.2%		
		市営住宅	市営住宅	29	70,752		6.1%		
			公園	公園	163		7,954		
		文化・生涯学習施設	文化施設(ホール等)	4	29,624		2.6%		
			生涯学習施設	3	11,901		1.0%		
			図書館	3	10,815		0.9%		
			博物館・史跡等	6	5,630		0.5%		
		コミュニティ施設	市民センター等	23	29,798		2.6%		
			地区会館	13	4,859		0.4%		
		スポーツ施設	スポーツ施設	15	21,539		1.9%		
			子育て支援施設	保育園	12		6,704		
		児童館		12	4,922		0.4%		
		学童保育所		32	5,084		0.4%		
		子育て支援施設		6	1,713		0.1%		
		産業振興施設	農林業施設	2	1,170		0.1%		
			観光施設	8	6,586		0.6%		
		保健衛生施設	産業振興施設	1	1,402		0.1%		
			保健衛生施設	9	18,633		1.6%		
		福祉施設	高齢者福祉施設	11	15,197		1.3%		
			障害者福祉施設	2	1,001		0.1%		
		駐車場	駐車場	1	4,778		0.4%		
			自転車駐車場	4	176		0.0%		
		その他公共用施設	その他公共用施設	15	875		0.1%		
	普通財産	貸付財産	貸付財産	26	16,069	16,806	1.4%	1.4%	
		普通財産	普通財産	3	737	0.1%			
借上財産	借上財産	庁舎	事務所	1	740	50,882	0.1%	4.4%	借上財産施設 50, 882. 37㎡
			その他公用施設	その他公用施設	1		1,124		
		文化・生涯学習施設	文化施設(ホール等)	1	6,412		0.6%		
			生涯学習施設	1	1,244		0.1%		
		図書館	図書館	2	1,976		0.2%		
			市民センター等	4	5,060		0.4%		
		コミュニティ施設	地区会館	1	494		0.0%		
			保育園	5	2,555		0.2%		
		子育て支援施設	学童保育所	19	2,768		0.2%		
			子育て支援施設	5	746		0.1%		
		産業振興施設	産業振興施設	4	608		0.1%		
			福祉施設	高齢者福祉施設	18		3,574		
		駐車場	駐車場	1	3,214		0.3%		
			自転車駐車場	31	20,367		1.8%		

※構成比は、公有財産と借上財産を合わせたものを 100%としています。

市民 1 人当たりの施設の用途別の延床面積について、多摩 26 市平均、関東地方の中核市、人口 40 万人以上の中核市と比較したものが【図表 3-17】です。

本市が所有する公共施設の中で、市民 1 人当たりの延床面積が多いのは小・中学校で、他市も同様です。他の中核市と比べて大きく異なるのが、市営住宅と公園施設の床面積です。公営住宅は、建設・運営の主体を都道府県とするのか、市町村とするのか地域によって考え方が異なることによります。

【図表 3-17】 市民 1 人当たりの用途別施設床面積の比較



出典：総務省 公共施設状況調経年比較表より作成

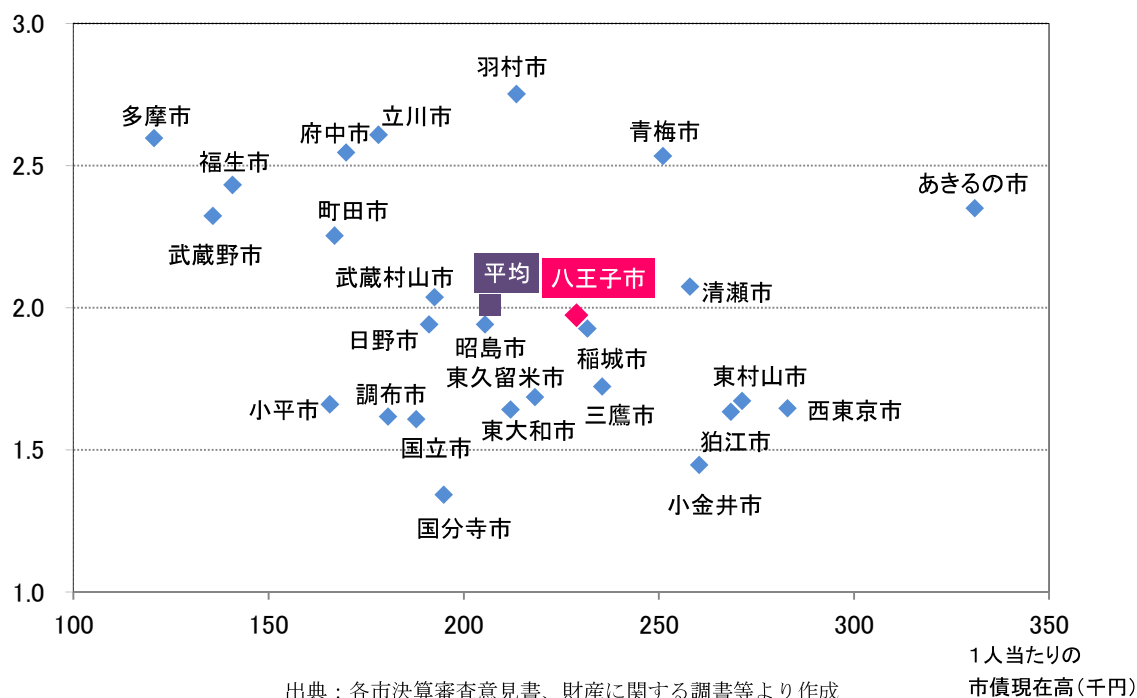
(2) 市民 1 人当たりの施設延床面積と市債残高

市民 1 人当たりの施設延床面積は、多摩 26 市平均の 2.02 m² に対し、本市は 1.97 m² なので平均的な数値となっています。市民 1 人当たりの市債現在高については、多摩 26 市平均の 207,000 円に対し、本市が 229,000 円ですので平均より 22,000 円高くなっています。【図表 3-18】

また、中核市の市民 1 人当たり施設延床面積が 3.24 m²、市民 1 人当たり市債現在高が 374,000 円ですので、中核市との比較では、本市は市債現在高と床面積も少ない傾向にあり、人口規模に応じた施設規模といえます。【図表 3-19】

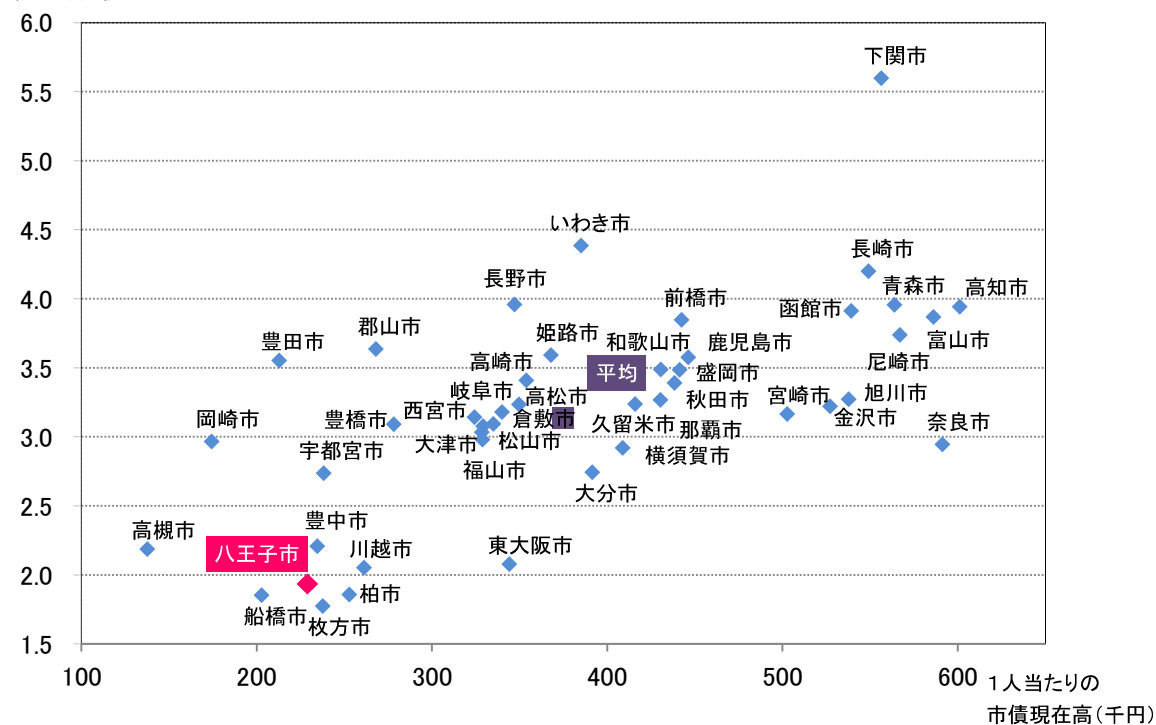
【図表 3-18】 多摩 26 市の市民 1 人当たりの施設延床面積と市債現在高

1人当たりの
施設延床面積 (㎡)



【図表 3-19】 中核市の市民 1 人当たりの施設延床面積と市債現在高

1人当たりの
施設延床面積 (㎡)

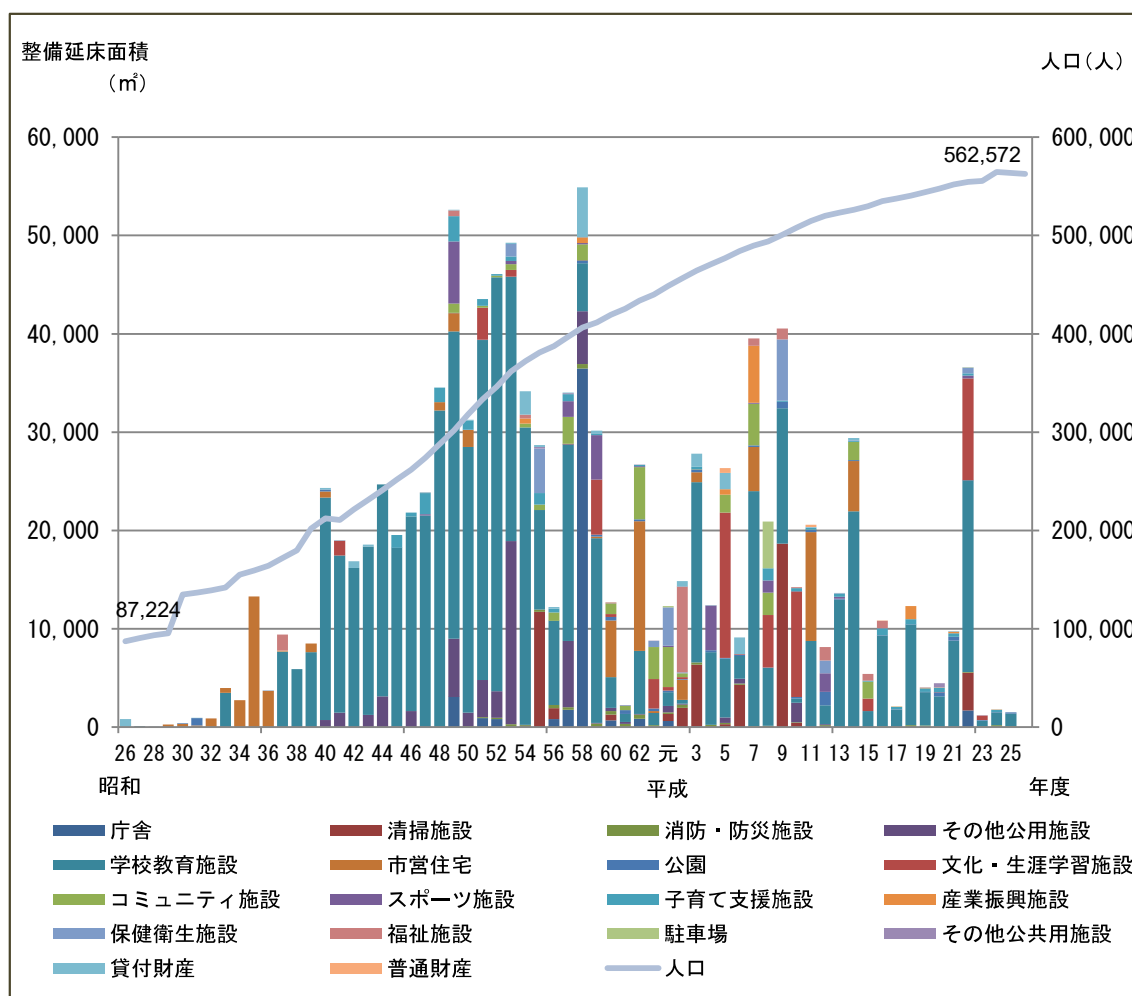


(3) 施設の整備状況

建物の整備状況を建築年度用途別延床面積でみると、【図表 3-20】のとおり、昭和 30 年代後半頃から増え始め、特に昭和 50 年代後半までは学校教育施設を中心に整備を進めました。昭和 58 年度には新たに市役所本庁舎を整備するなど、本市の人口増加に伴う行政需要の増加にあわせて施設整備を進めてきたことがわかります。

平成に入ってから、学校教育施設のほかに、文化・生涯学習施設等の整備も重点的に行ってきました。

【図表 3-20】 建築年度用途別の整備延床面積と人口



出典：八王子市ホームページ オープンデータ「人口の推移」(各年度 1 月 1 日現在)

(4) 地域ごとの施設の配置状況

平成 25 年 3 月に策定した基本構想・基本計画「八王子ビジョン 2022」で 6 つに区分した市域ごとに、公共施設を用途別にし、各地域の 1 人当たりの延床面積を表したのが次の【図表 3-21】です。

市民 1 人当たりの延床面積は 1.97 m²ですが、中央地域の 2.47 m²と北部地域の 2.28 m²が平均を超えています。中央地域が平均を超える要因は、市役所本庁舎があることや市営住宅が多いこと、北部地域が平均を超える要因は、市営住宅と清掃施設が多いことによるものです。

また、東部地域は、他の地域に比べて小・中学校が多く、西南部地域には中学校が多く配置されていますが、これ以外については、地域による施設の偏在は見受けられません。

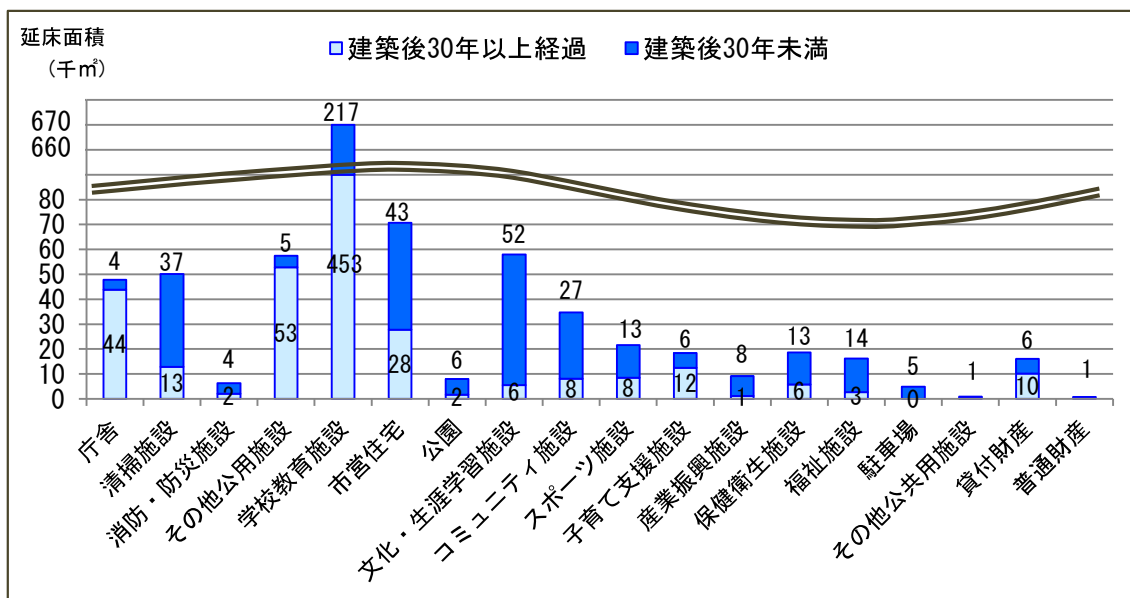
【図表 3-21】 施設分類別の地域 1 人当たりの延床面積

施設中分類	施設小分類	西南部地域 人口100,883人	西部地域 人口99,058人	中央地域 人口122,791人	東南部地域 人口81,133人	東部地域 人口110,586人	北部地域 人口47,534人	人口 561,985人
庁舎	庁舎			0.30				0.07
	事務所	0.02	0.02	0.01	0.02	0.01	0.06	0.02
清掃施設	清掃施設	0.12	0.0001		0.05	0.02	0.66	0.09
消防・防災施設	消防団器具置場	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
	防災倉庫	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002	0.004	0.002
その他公用施設	その他公用施設	0.11	0.00002	0.07	0.38	0.004	0.001	0.10
学校教育施設	小学校	0.62	0.64		0.49	0.80	0.24	0.74
	中学校	0.54	0.45	0.37	0.35	0.56	0.40	0.45
	専修学校	0.02						0.004
市営住宅	市営住宅	0.16	0.08	0.27			0.28	0.13
公園	公園	0.01	0.02	0.004	0.01	0.04	0.002	0.01
文化・生涯学習施設	文化施設(ホール等)			0.24				0.05
	生涯学習施設		0.01	0.05				0.01
	図書館		0.01	0.08				0.02
	博物館・史跡等		0.01	0.04		0.003		0.01
コミュニティ施設	市民センター等	0.04	0.06	0.08	0.03	0.04	0.08	0.05
	地区会館	0.01	0.01	0.01	0.01		0.03	0.01
スポーツ施設	スポーツ施設	0.02	0.001	0.13	0.0001	0.03	0.01	0.04
子育て支援施設	保育園	0.01	0.01	0.03	0.01		0.01	0.01
	児童館	0.02	0.01	0.003	0.005	0.01	0.01	0.01
	学童保育所	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01
	子育て支援施設	0.002	0.001	0.003	0.01	0.004	0.004	0.003
産業振興施設	農林業施設		0.01					0.002
	観光施設	0.001	0.07	0.0001				0.01
	産業振興施設						0.03	0.002
保健衛生施設	保健衛生施設	0.04	0.004	0.06	0.07	0.001	0.03	0.03
福祉施設	高齢者福祉施設	0.10	0.01	0.02	0.01	0.01	0.02	0.03
	障害者福祉施設			0.003	0.01			0.002
駐車場	駐車場			0.04				0.01
	自転車駐車場		0.0003		0.0002	0.0001	0.0026	0.0003
その他公共用施設	その他公共用施設	0.0002	0.0004	0.0048	0.0006	0.0015	0.0001	0.002
普通財産	貸付財産	0.03	0.0003	0.02	0.02	0.08	0.02	0.03
	普通財産		0.0001		0.0001	0.002	0.01	0.001
施設全体地域1人当たり面積		1.96	1.59	2.47	1.84	1.71	2.28	1.97

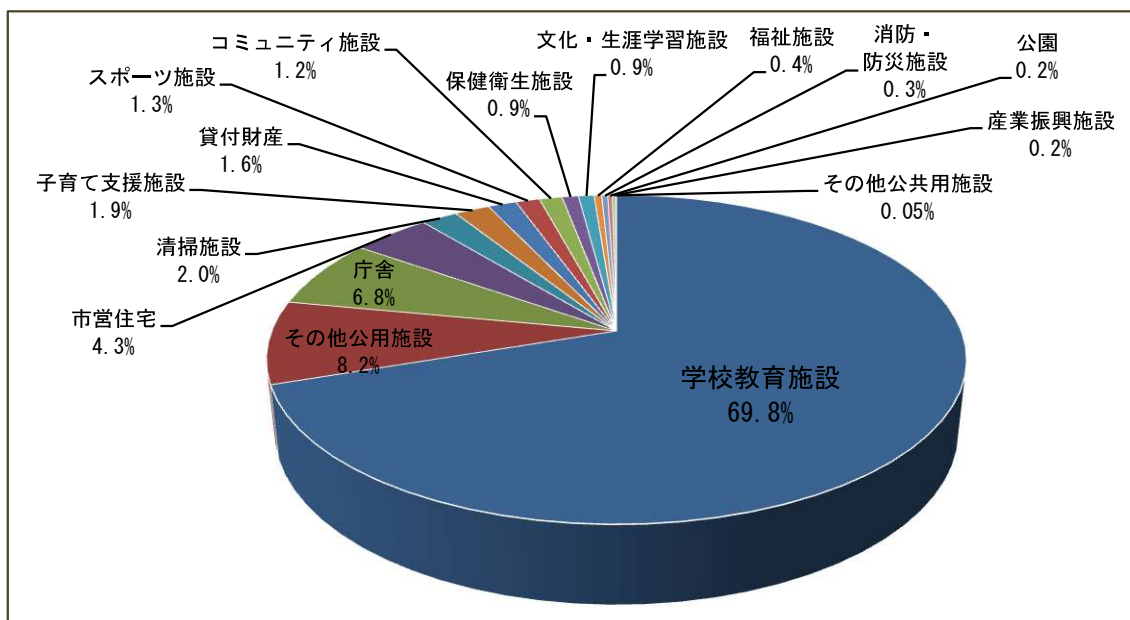
(5) 建築後 30 年を超える建物の延床面積

施設の延床面積の合計は 1,109,093.74 m²です。このうち建築後 30 年を経過した建物の延床面積が 648,627.46 m²あり、その割合は 58%となります。施設分類ごとの建物の延床面積の経年状況は、次の【図表 3-22】、【図表 3-23】のとおりです。

【図表 3-22】施設分類ごと、経年ごとの建物延床面積



【図表 3-23】建築後 30 年を超える建物の延床面積の施設分類別割合



建築後 30 年を超えた建物が直ちに老朽施設ということではありませんが、建物の経年劣化がどの程度進んでいるのか調査し、適切な維持管理と安全性の確保に努める必要があります。

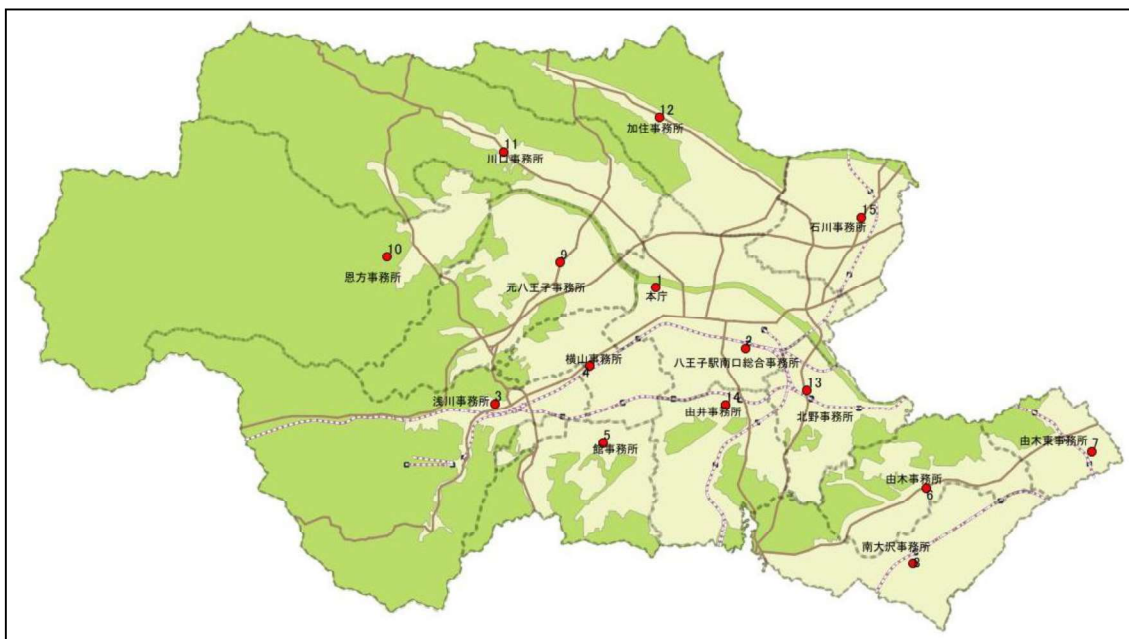


第4章 施設の利用状況・コスト分析

第4章 施設の利用状況・コスト分析

1 施設の利用状況・コスト分析

(1) 庁舎



ア 本庁舎

(ア) 概要

本庁舎は、事務棟、議会棟、検査棟などからなり、市民サービスの基幹的な機能や議会機能などを担っています。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	年間利用者数(人)	延床面積(㎡)	市民1人当たりコスト(円)	延床1㎡当たりコスト(円)
1	本庁舎	-	-	-	昭和58年9月	-	36,828	1,002	15,292

(イ) 建物の状況

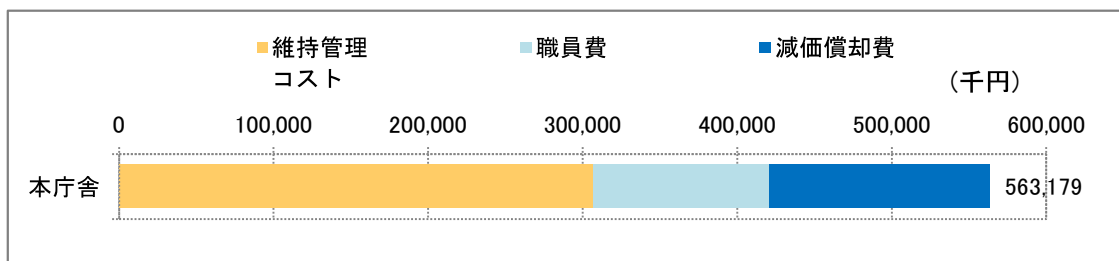
本庁舎は昭和58年度の建築から32年が経過しています。

平成20年度から22年度にかけて大規模改修を実施しています。

(ウ) 施設コスト

本庁舎には、3億700万円の維持管理コストがかかっています。ただし、本庁舎内で行う事業のために発生する経常的な費用（事業運営コスト）は、各所管課の事業運営コストと捉えて0円としています。

市民1人当たりの施設コストは1,002円、1㎡当たりのコストは15,292円となっています。



イ 事務所

(ア) 概要

市民部事務所（斎場事務所を除く）は 14 か所あります。この施設では、住民記録や戸籍、国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険などに係る市民サービスを身近な地域で提供しています。このうち 4 か所の拠点事務所では、これらに加え、児童福祉、障害者福祉の一部業務も提供しています。

さらに、八王子駅南口総合事務所では、交通至便の駅前で土日及び平日夜間開庁を行い、市民部事務所業務に加えて福祉や子育て支援業務、市政・観光情報発信コーナー、多目的スペース・相談ブースなどを設け、多様な行政サービスを提供しています。

また、市民ニーズに対応した施設の複合化を進めており、併設する市民集会所を、学童保育所（加住事務所）、子ども家庭支援センター（館事務所、元八王子事務所、石川事務所）、地域包括支援センター（高齢者あんしん相談センター）（川口事務所）、地区図書室（元八王子事務所、由井事務所）、地域福祉推進拠点（石川事務所）として活用しています。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	年間利用者数(人)	延床面積(㎡)	利用者1人当たりコスト(円)	延床1㎡当たりコスト(円)
2	八王子駅南口総合事務所	○	-	-	平成22年9月	222,639	1,712	1,507	195,933
3	浅川事務所	○	-	-	昭和60年11月	24,685	684	2,238	80,725
4	横山事務所	○	-	-	昭和49年10月	56,503	894	981	61,996
5	館事務所	○	-	-	昭和53年3月	51,872	815	1,111	70,677
6	由木事務所	○	-	-	昭和63年1月	82,341	850	1,337	129,524
7	由木東事務所	○	-	-	平成2年1月	34,336	615	1,696	94,667
8	南大沢事務所	○	-	○	平成8年3月	115,341	740	1,229	191,652
9	元八王子事務所	○	-	-	昭和51年8月	93,456	932	1,268	127,195
10	恩方事務所	○	-	-	昭和49年10月	13,380	503	2,149	57,187
11	川口事務所	○	-	-	昭和56年9月	32,134	814	1,155	45,576
12	加住事務所	○	-	-	昭和58年3月	15,953	667	1,831	43,781
13	北野事務所	○	-	-	昭和50年3月	86,458	847	1,192	121,720
14	由井事務所	○	-	-	昭和58年10月	36,300	861	1,400	59,029
15	石川事務所	○	-	-	昭和50年3月	46,798	817	1,000	57,270
平均						65,157	839	1,435	95,495

※取扱件数を年間利用者数としています。

(イ) 建物の状況

八王子駅南口総合事務所と南大沢事務所を除き、建築後 25 年（由木東事務所）～41 年（恩方事務所）が経過し、ほとんどの建物が 30 年を超えています。

(ウ) 利用状況

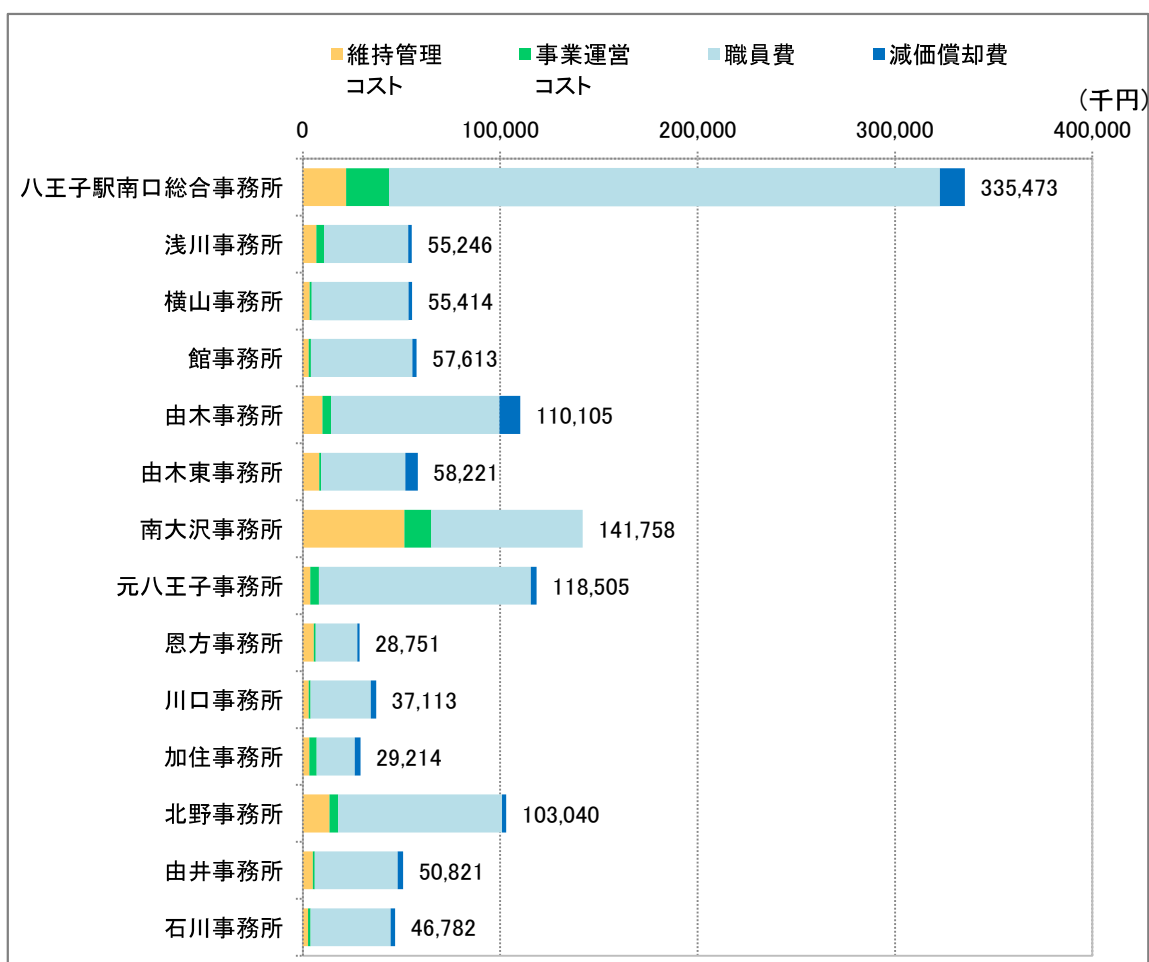
住民記録や戸籍などに係る業務の取扱件数（年間利用者数）は、八王子駅南口総合事務所が 222,639 件と最も多く、次いで南大沢事務所が 115,341 件となり、最も少ない恩方事務所では 13,380 件です。

(エ) 施設コスト

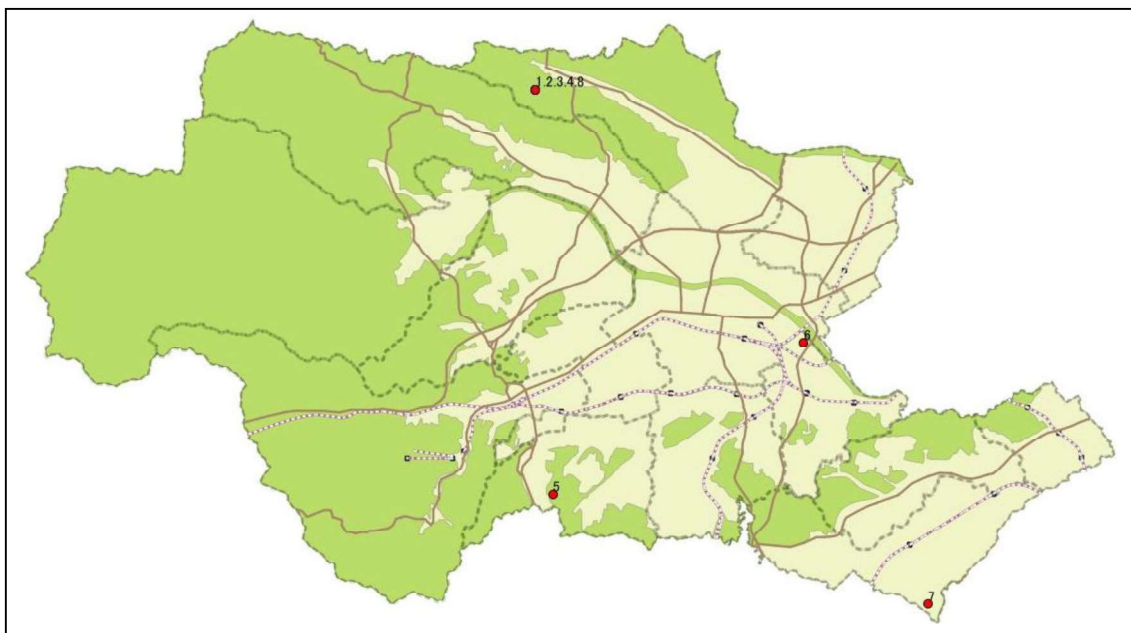
市民部事務所の業務は、窓口でのサービス提供が主となるため、職員費の占める割合が高く、事業運営コストの割合が低くなっています。

利用者 1 人当たりコストは、981 円（横山事務所）～2,238 円（浅川事務所）で、平均は 1,435 円となっています。また、1 m²当たりコストは、43,781 円（加住事務所）～195,933 円（八王子駅南口総合事務所）で、平均は 95,495 円となっています。

八王子駅南口総合事務所は、取扱業務が広範囲にわたっていることや、土日及び平日夜 7 時までの開庁に対応するための職員を配置していることから、他の市民部事務所と比べて職員費が高くなっていますが、利用者数が多いため、利用者 1 人当たりコストは 1,507 円と、平均コストに近くなっています。



(2) 清掃施設



ア 清掃施設

(ア) 概要

市内にはごみを焼却する施設（戸吹清掃工場及び北野清掃工場）が 2 施設（館清掃工場は休止中）、不燃ごみ进行处理する施設（戸吹不燃物処理センター）、容器包装プラスチックとペットボトルを資源化する施設（プラスチック資源化センター）のほか、ごみ収集の拠点となる施設（戸吹・館・南大沢清掃事業所）が 3 施設あります。

また、旧戸吹清掃事業所跡地にあるストックヤードは、収集した古布等を集積する場所として使用しています。

なお、戸吹不燃物処理センターは、設備の更新工事を行い、平成 27 年 4 月から手作業による選別を主体とした処理施設として稼働しています。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	処理ごみ量(t)	延床面積(㎡)	処理ごみ量1t当たりのコスト(円)	延床1㎡当たりのコスト(円)
1	戸吹清掃工場(戸吹清掃事業所を含む)	○	-	-	平成10年3月	71967	19,857	36,760	133,229
2	戸吹不燃物処理センター	○	-	-	平成4年3月	5,909	6,324	94,648	88,437
3	プラスチック資源化センター	○	-	-	平成22年9月	-	4,408	-	61,565
4	粗大ごみ等再生施設	○	-	-	平成10年7月	-	934	-	6,485
5	館清掃事業所(旧館清掃工場を含む)	○	-	-	昭和56年3月	-	12,221	-	89,036
6	北野清掃工場	○	-	-	平成6年10月	24,421	4,299	20,868	118,534
7	南大沢清掃事業所	-	-	-	平成3年3月	-	2,003	-	149,723
8	旧戸吹清掃事業所(ストックヤード)	-	-	-	平成6年3月	-	495	-	3,630

(イ) 建物の状況

館清掃事業所は、休止中の館清掃工場と同じく昭和 56 年 3 月に建築し、34 年が経過しています。戸吹不燃物処理センターは平成 4 年 3 月、北野清掃工場は平

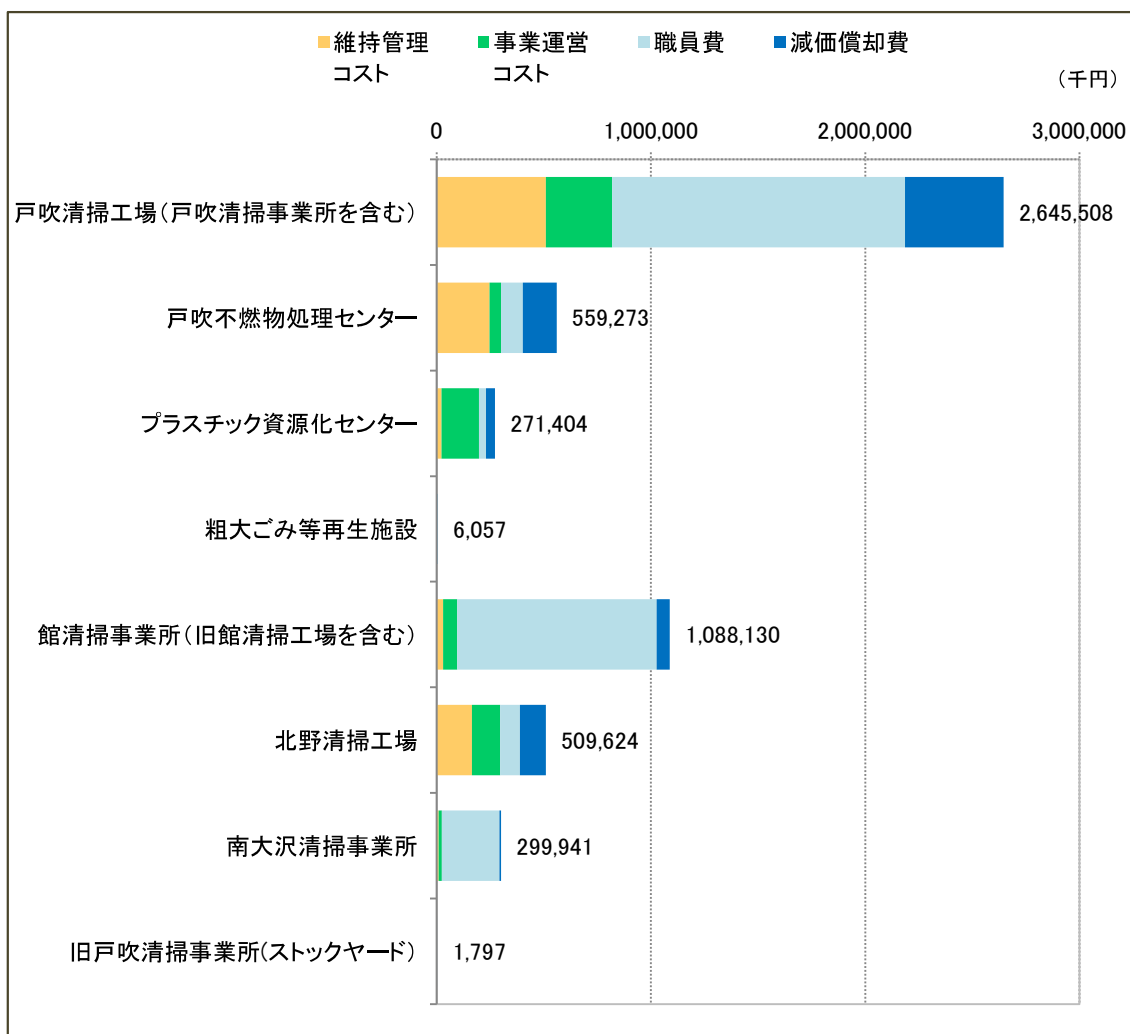
成 6 年 10 月の建築で、それぞれ 23 年、21 年が経過しています。

(ウ) 施設コスト

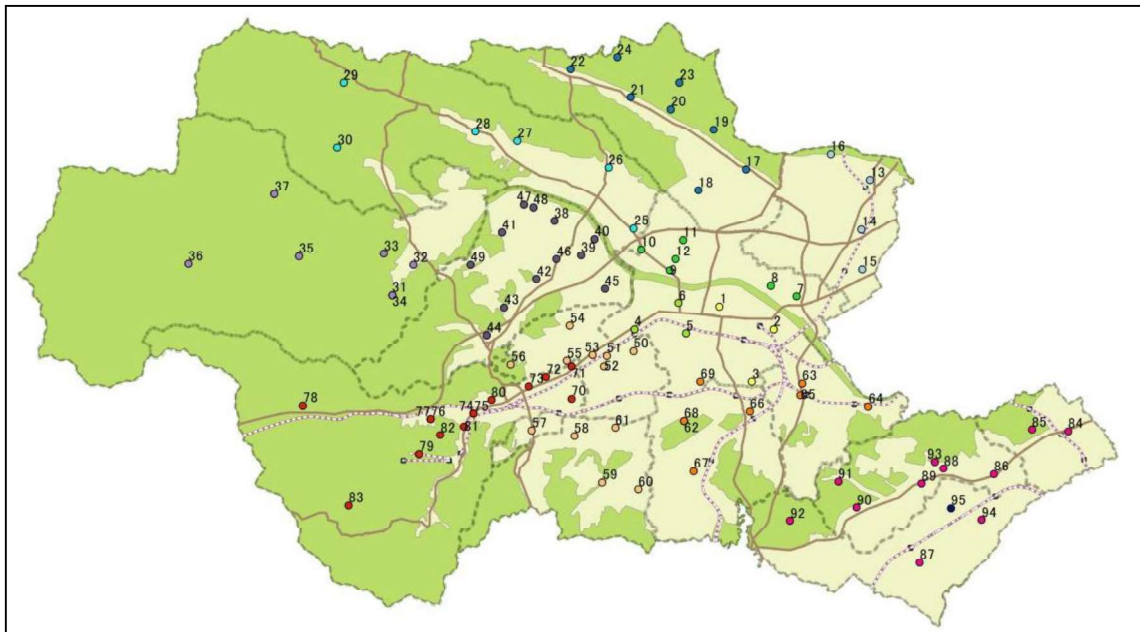
施設の性質が異なるため単純なコスト比較はできませんが、戸吹不燃物処理センターや北野清掃工場のような処理系施設では維持管理コストが高くなり、戸吹不燃物処理センターでは 2 億 4,601 万円と総コストの約 45%を占めています。

ごみ収集の拠点となる館清掃事業所や南大沢清掃事業所では、職員費が総コストの 80%以上を占め、館清掃事業所が 9 億 3,071 万円で約 86%、南大沢清掃事業所が 2 億 6,952 万円で約 90%となっています。

減価償却費が最も多いのは、戸吹清掃工場の 4 億 5,900 万円で総コストの約 30%を占めています。また、プラスチック資源化センターでは、事業運営コストが 1 億 7,400 万円で総コストの約 65%を占めています。



(3) 消防・防災施設



ア 消防団器具置場

(ア) 概要

消防団器具置場は、本市消防団が使用する消防自動車、消防器具等を保管するための施設です。下の表では、95 か所ある置場を分団ごとにまとめています。

建築年月日については、各分団の器具置場のうち最も古いものを掲載しています。なお、実際に稼働している施設は、89 施設です。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上施設	建築年月日	年間利用者数(人)	延床面積(㎡)	利用者一人当たりコスト(円)	延床1㎡当たりコスト(円)
1	消防団第一分団器具置場	-	-	-	平成3年3月	-	258	-	5,893
2	消防団第二分団器具置場	-	-	-	昭和52年3月	-	151	-	6,037
3	消防団第三分団器具置場	-	-	-	昭和58年3月	-	309	-	5,827
4	消防団第四分団器具置場	-	-	-	昭和56年3月	-	171	-	3,763
5	消防団第五分団器具置場	-	-	-	昭和52年3月	-	402	-	5,551
6	消防団第六分団器具置場	-	-	-	昭和56年3月	-	309	-	4,685
7	消防団第七分団器具置場	-	-	-	昭和59年3月	-	378	-	5,059
8	消防団第八分団器具置場	-	-	-	昭和59年3月	-	675	-	5,372
9	消防団第九分団器具置場	-	-	-	昭和62年3月	-	670	-	5,047
10	消防団第十分団器具置場	-	-	-	平成5年3月	-	533	-	5,608
11	消防団第十一分団器具置場	-	-	-	昭和60年3月	-	701	-	4,865
12	消防団第十二分団器具置場	-	-	-	昭和56年3月	-	607	-	4,920

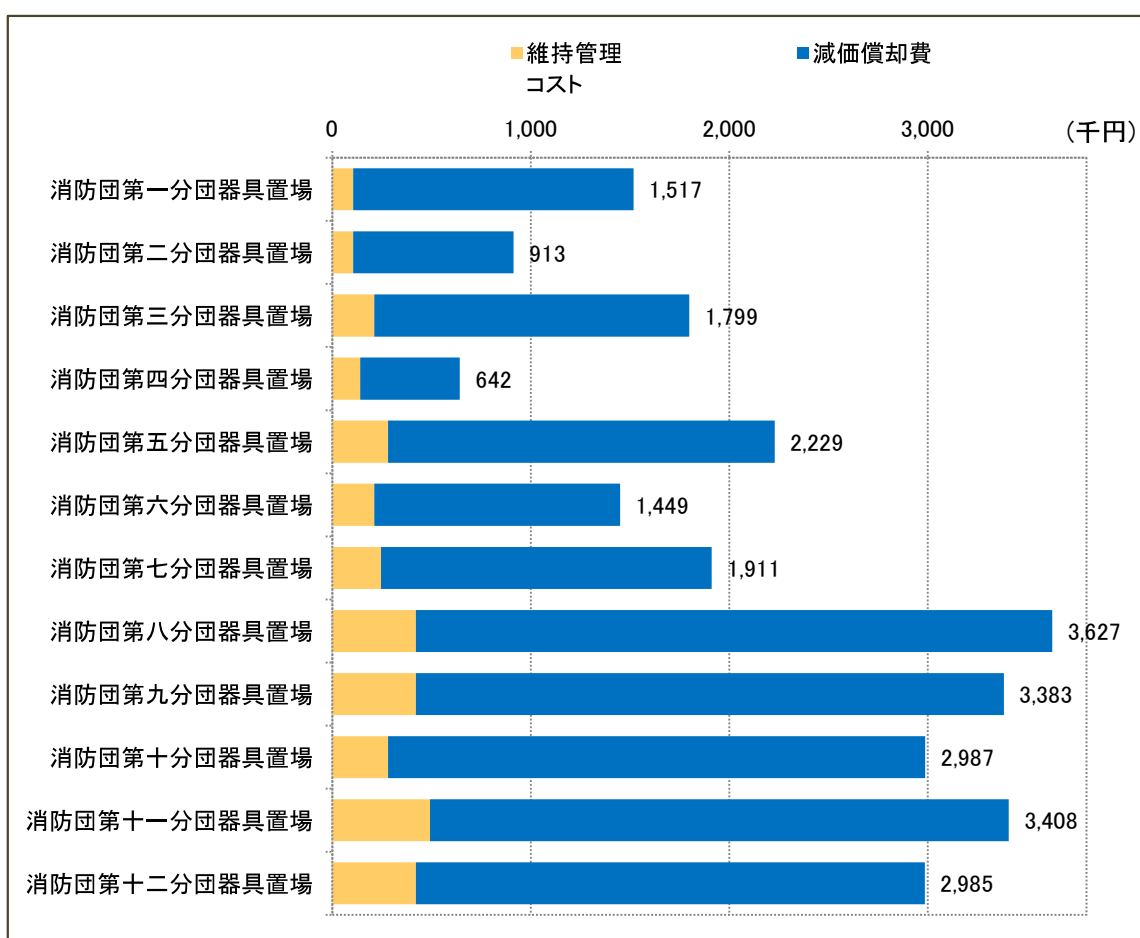
(イ) 建物の状況

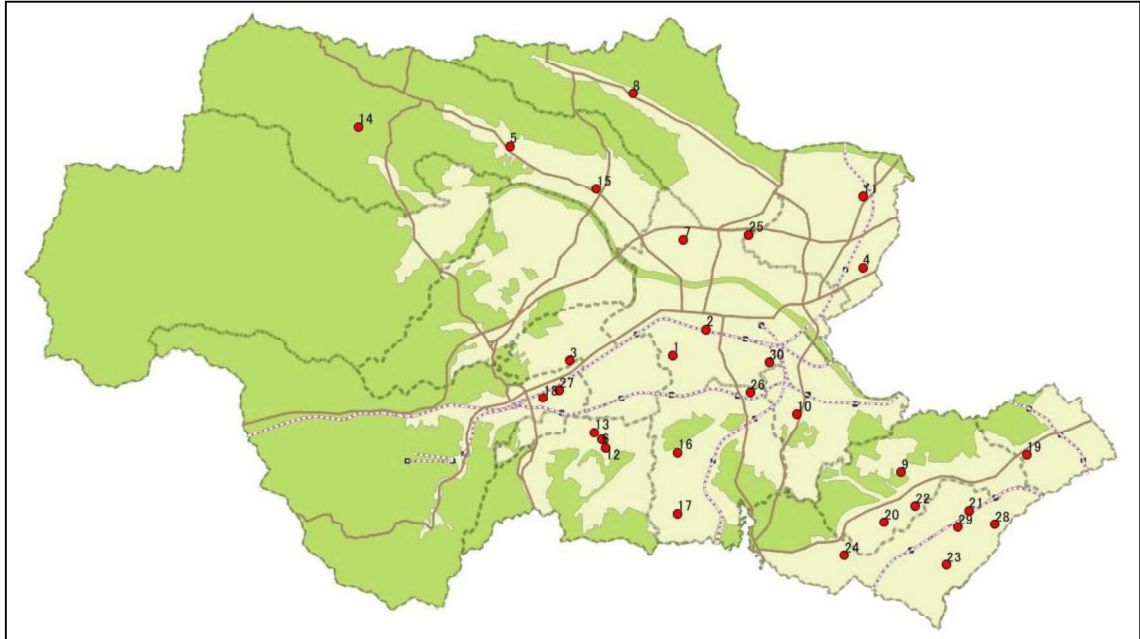
建築年月日が最も古いものは、第二分団器具置場及び第五分団器具置場で、昭和52年3月となっています。

(ウ) 施設コスト

器具置場という用途のため、施設コストは維持管理コストと減価償却費となっており、減価償却費がそのほとんどを占めています。

1 m²当たりコストは、3,763 円（第四分団器具置場）～6,037 円（第二分団器具置場）となっています。





イ 防災倉庫

(ア) 概要

防災倉庫は、地域防災のため、食糧や生活必需品等の災害備蓄品を保管する施設です。設置形態としては、独立した建物のほかに小・中学校の校舎や市民センターの空きスペースを活用しているもの、小・中学校の敷地にプレハブを建築したものがああります。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	延床面積(㎡)	延床1㎡当たりコスト(円)
1	台町防災倉庫	-	-	-	昭和54年3月	55	2,322
2	天神町防災倉庫	-	-	-	昭和55年3月	64	2,830
3	長房町防災倉庫	-	-	-	昭和56年3月	64	2,685
4	高倉町防災倉庫	-	-	-	昭和57年3月	64	3,396
5	川口町防災倉庫	-	-	-	昭和58年3月	64	3,720
6	館町防災倉庫	-	-	-	昭和59年3月	100	6,966
7	中野山王防災倉庫	-	-	-	昭和61年3月	100	2,318
8	宮下町防災倉庫	-	-	-	昭和60年3月	100	3,105
9	下柚木防災倉庫	-	-	-	昭和62年11月	120	2,406
10	打越町高架下防災倉庫	-	-	-	平成7年2月	70	10,958
11	市立小宮小学校防災倉庫	-	-	-	平成20年3月	19	3,610
12	市立横山第一小学校防災倉庫	-	-	-	平成20年5月	19	3,625
13	市立柵田小学校防災倉庫	-	-	-	平成19年3月	19	2,963
14	市立美山小学校防災倉庫	-	-	-	平成19年3月	19	14,319
15	市立松枝小学校防災倉庫	-	-	-	平成25年3月	19	3,566
16	市立みなみ野中学校防災倉庫	-	-	-	平成19年3月	19	3,639
17	市立七国中学校防災倉庫	-	-	-	平成19年3月	19	3,625
18	市立東浅川小学校防災倉庫	-	-	-	平成19年3月	19	3,301
19	市立由木東小学校防災倉庫	-	-	-	平成20年3月	8	6,633
20	市立愛宕小学校防災倉庫	-	-	-	平成19年3月	19	3,625
21	市立松木小学校防災倉庫	-	-	-	平成20年3月	19	3,382
22	市立下柚木小学校防災倉庫	-	-	-	平成20年3月	19	3,427
23	市立長池小学校防災倉庫	-	-	-	平成20年3月	19	4,162
24	市立鍵水小学校防災倉庫	-	-	-	平成20年3月	18	5,727
25	市立ひよどり山中学校防災倉庫	-	-	-	平成19年3月	18	3,745
26	市立由井中学校防災倉庫	-	-	-	平成22年3月	19	3,601
27	市立陵南中学校防災倉庫	-	-	-	平成19年3月	18	2,961
28	市立別所中学校防災倉庫	-	-	-	平成20年3月	19	3,229
29	市立松木中学校防災倉庫	-	-	-	平成20年3月	19	3,972
30	子安市民センター防災倉庫	-	-	-	平成25年3月	10	6,065

(イ) 建物の状況

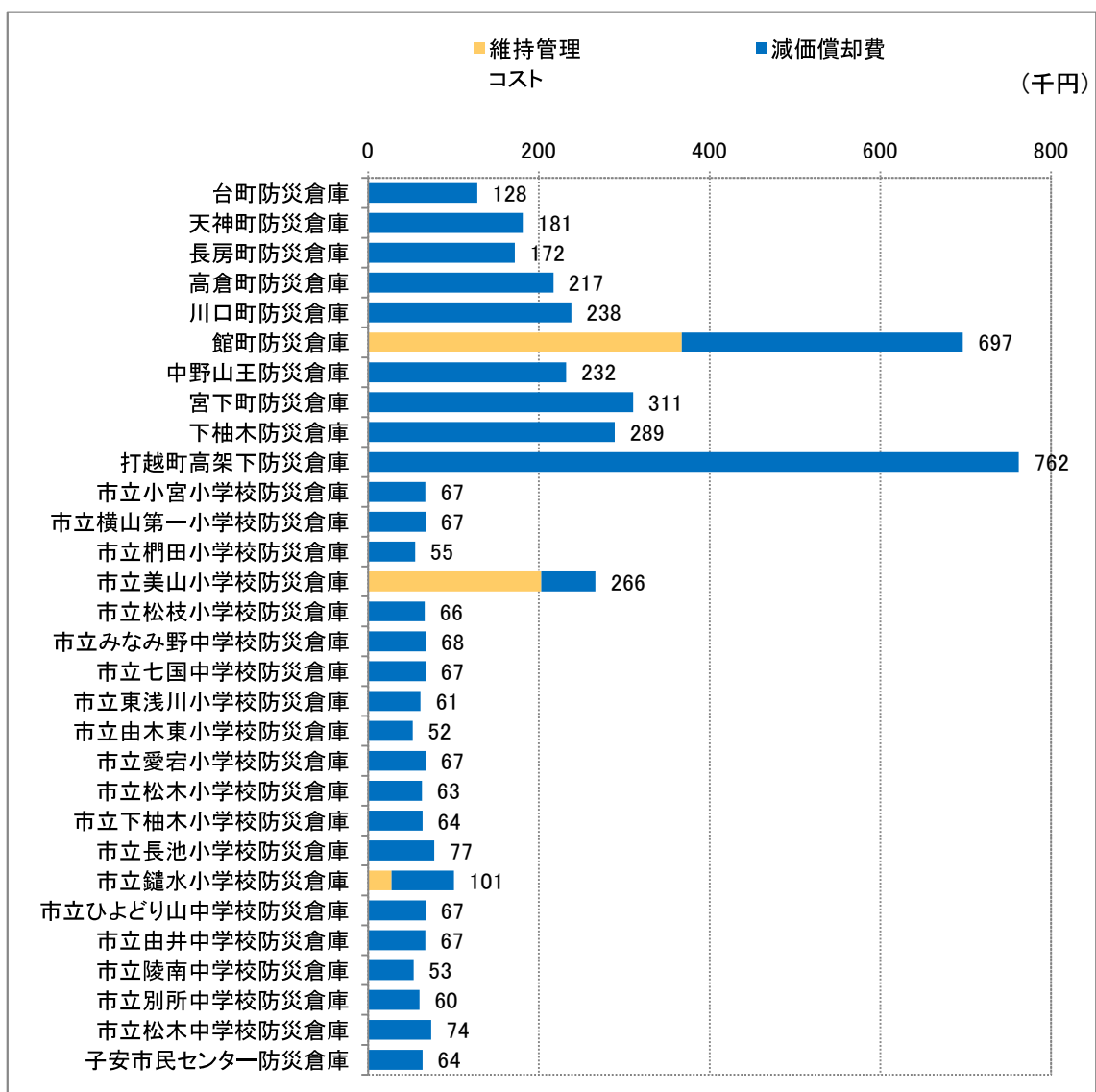
地域に所在する防災倉庫は、昭和 54 年から昭和 62 年までにかけて建築したもので、既に 28～36 年が経っていますが、学校の敷地に建築した防災倉庫は、平成 19 年から平成 25 年までにかけて建築したもので、その大半は築 7～8 年と比較的新しい倉庫です。

学校の敷地以外にある独立した防災倉庫の延床面積は、10 m² (1 か所)、55 m² (1 か所)、64 m² (4 か所)、70 m² (1 か所)、100 m² (3 か所)、120 m² (1 か所) で、11 か所のうち 10 か所が 50 m²以上となっていますが、学校の敷地にある防災倉庫の延床面積は、18～19 m² (由木東小学校は 8 m²) と比較的小さいものになっています。

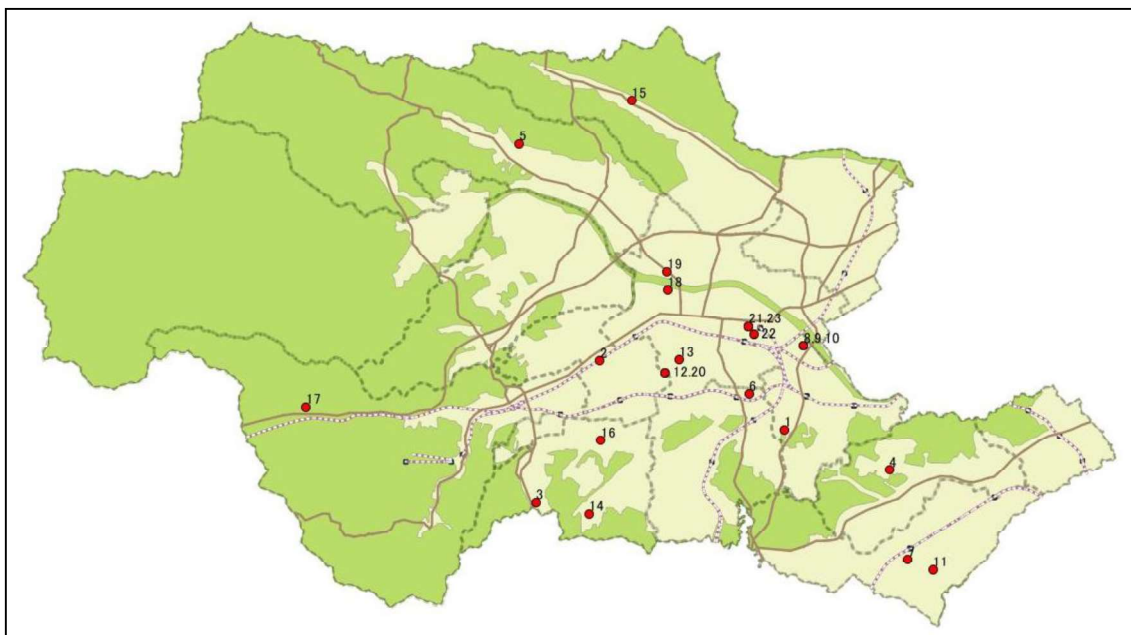
(ウ) 施設コスト

コストは全て減価償却費です。ただし、館町防災倉庫、美山小学校防災倉庫及び鑓水小学校防災倉庫については、修繕に要した費用を維持管理コストとして計上しています。

上記 3 つの防災倉庫を除くと、1 m²当たりコストは 2,318 円 (中野山王防災倉庫) ～10,958 円 (打越町高架下防災倉庫) となっています。



(4) その他公用施設



ア その他公用施設

(ア) 概要

本庁舎、市民部事務所（斎場事務所を除く）、清掃施設、消防・防災施設以外の公用施設として、以下のような施設があります。

市内の大気汚染の状況を常時監視するための環境監視用測定室（6 か所）、北野下水処理場、道路等の補修拠点である補修センター、小・中学校教職員の研修等を実施する教育センター、契約上のトラブルなど消費生活に関する相談を受ける消費生活センターなどです。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	延床面積（㎡）	延床1㎡当たりコスト（円）
1	打越町測定室	—	—	—	昭和61年4月	29	44,734
2	散田町測定室	—	—	—	昭和50年3月	20	2,913
3	館町測定室	—	—	—	昭和55年3月	28	111,009
4	下柚木測定室	—	—	—	昭和59年3月	30	38,536
5	川口町測定室	—	—	—	平成16年3月	2	1,110,418
6	片倉町測定室	—	—	—	昭和49年2月	13	280,009
7	南大沢総合センター	○	—	○	平成8年3月	1,124	68,338
8	北野衛生処理センター	○	—	—	昭和57年8月	7,268	27,152
9	北野下水処理場	○	—	—	昭和53年5月	30,196	33,555
10	北野衛生事業所	—	—	—	昭和53年3月	629	458,173
11	南大沢水リサイクルセンター	○	—	—	平成5年4月	332	119,799
12	生涯学習スポーツ部散田会議室・散田倉庫	—	—	—	平成5年12月	225	6,184
13	スポーツ振興課倉庫	—	—	—	昭和59年12月	27	0
14	稲荷山行政資料保管等施設	—	—	—	昭和57年3月	5,093	2,505
15	選挙用機材倉庫	○	—	—	平成1年7月	143	815
16	館町書庫	—	—	—	昭和54年2月	252	4,404
17	市有林管理小屋	—	—	—	昭和38年	13	252
18	学校営繕作業所	—	—	—	昭和62年2月	71	0
19	道路交通部補修センター	—	—	—	昭和58年3月	2,829	494,254
20	教育センター	—	—	—	昭和49年8月	5,884	39,777
21	男女共同参画センター	○	—	—	平成11年3月	357	202,488
22	保健所	—	—	—	昭和47年3月	2,003	941,307
23	消費生活センター	○	—	—	平成11年3月	1,140	60,826

(イ) 建物の状況

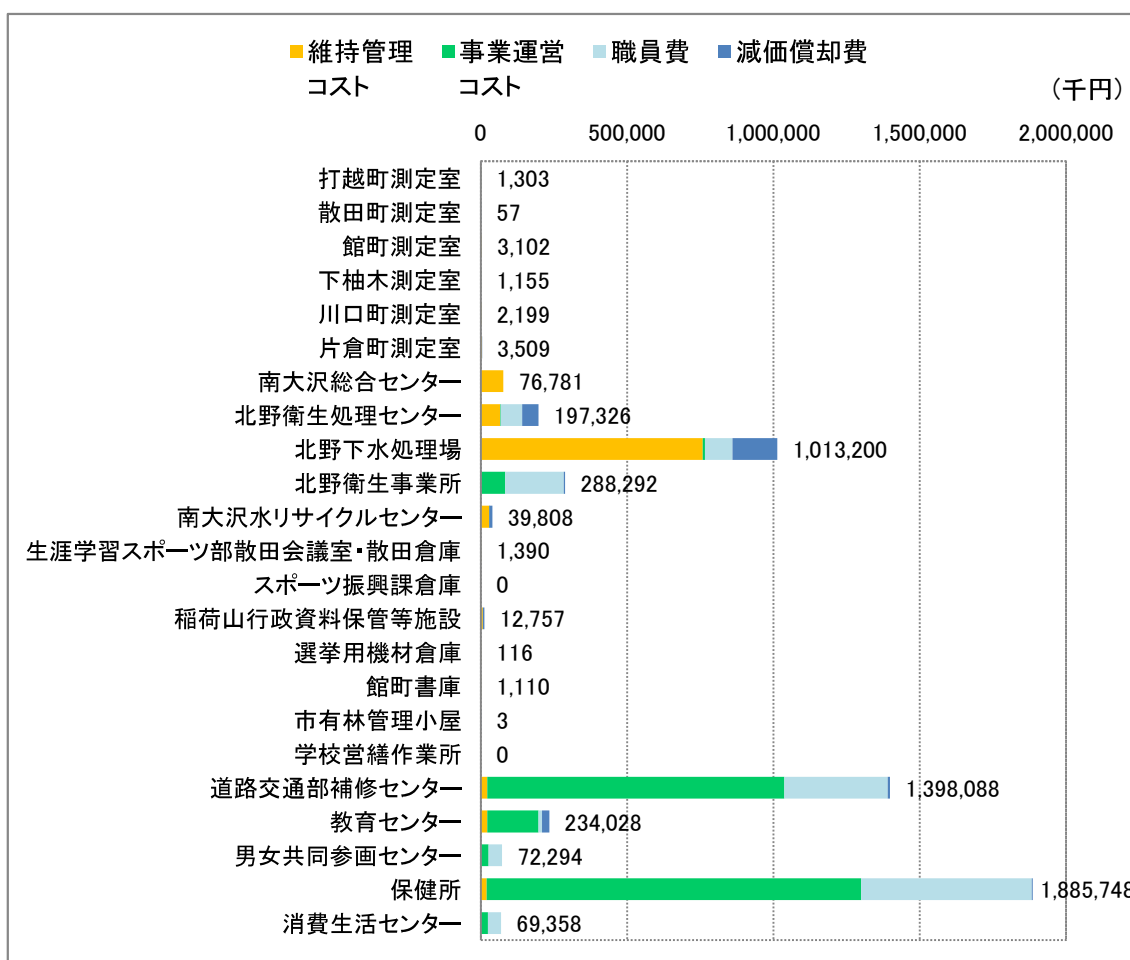
昭和 50 年代までに建築した建物が 14 施設あり、うち昭和 40 年代までに建築した建物が 4 施設あります。市有林管理小屋が昭和 38 年、保健所が昭和 47 年、環境監視用の片倉町測定室及び教育センターが昭和 49 年の建築となっており、それぞれ 52 年、43 年、41 年が経過しています。

(ウ) 施設コスト

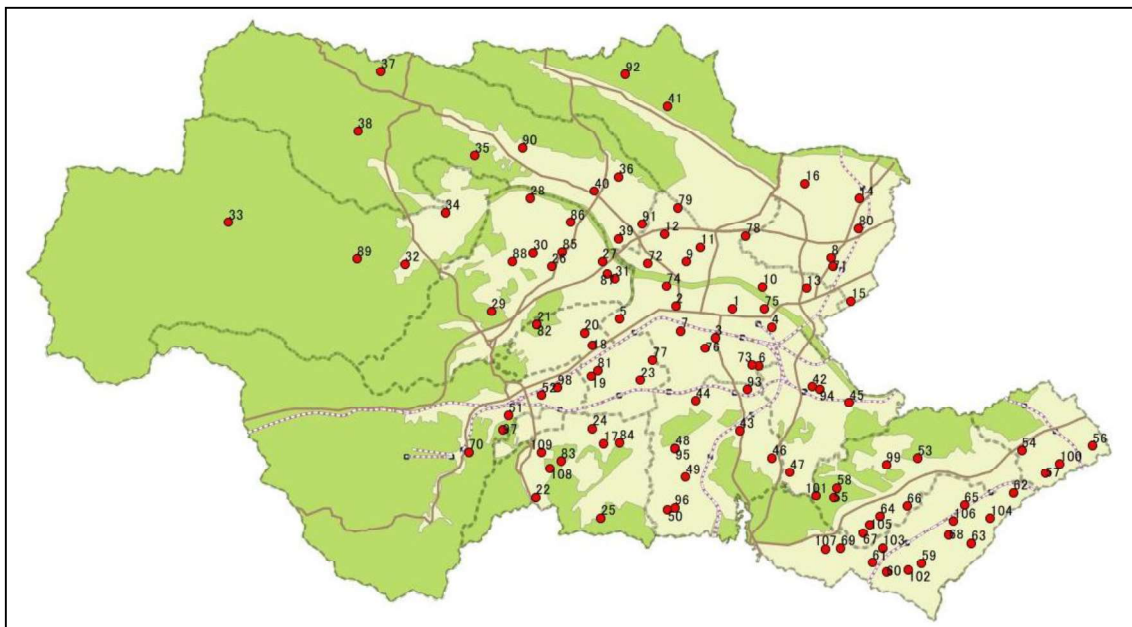
北野下水処理場は、維持管理コストが占める割合が高く、保健所は事業運営コストが占める割合が高いというように、施設の性質によってかかるコストの総額や割合は変わってきます。

北野下水処理場は、維持管理コストが 7 億 5,844 万円で総コストの約 75%を、道路交通部補修センターの事業運営コストは 10 億 1,466 万円で総コストの約 73%を、保健所の事業運営コストは 12 億 7,948 万円で総コストの約 68%をそれぞれ占めています。

環境監視用測定室にかかる総コストは、維持管理コストと減価償却費ですが、ほとんどを維持管理コストが占めています。



(5) 学校教育施設



ア 小学校

(ア) 概要

市立小学校は 70 校あります。本来の学校教育としての機能以外に、学童保育所、校庭や体育館の施設開放、「放課後子ども教室」のほか、災害時の避難所にも指定されています。

高尾山学園（小・中学部）については、中学部の生徒が 8 割を占めているので、中学校の施設として掲載します。



第二小学校



式分方小学校

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	延床面積(㎡)	児童数(人)	児童1人当たりコスト(円)	延床1㎡当たりコスト(円)
1	第一小学校	-	-	-	昭和41年3月	6,102	414	205,464	13,940
2	第二小学校	-	-	-	昭和34年3月	6,324	358	185,050	10,476
3	第三小学校	-	-	-	平成22年8月	7,468	574	232,034	17,835
4	第四小学校	-	-	-	昭和44年1月	5,807	360	372,124	23,070
5	第五小学校	-	-	-	昭和40年3月	6,612	493	189,864	14,157
6	第六小学校	-	-	-	昭和45年3月	6,230	516	223,707	18,529
7	第七小学校	-	-	-	平成17年2月	9,086	677	206,081	15,356
8	第八小学校	-	-	-	昭和41年3月	4,572	346	256,613	19,419
9	第九小学校	-	-	-	昭和41年3月	6,250	396	249,371	15,800
10	第十小学校	-	-	-	昭和45年3月	5,991	674	168,283	18,932
11	中野北小学校	-	-	-	昭和42年8月	4,089	135	260,102	8,587
12	清水小学校	-	-	-	昭和50年3月	6,048	480	276,235	21,923
13	大和田小学校	-	-	-	昭和47年3月	5,818	417	280,180	20,082
14	小宮小学校	-	-	-	昭和50年3月	6,599	689	119,449	12,472
15	高倉小学校	-	-	-	昭和57年3月	5,962	318	248,465	13,253
16	宇津木台小学校	-	-	-	昭和57年3月	5,812	603	179,934	18,669
17	横山第一小学校	-	-	-	昭和45年3月	5,773	662	123,938	14,212
18	横山第二小学校	-	-	-	昭和43年3月	6,123	327	200,050	10,685
19	散田小学校	-	-	-	昭和39年3月	6,439	552	248,290	21,285
20	長房小学校	-	-	-	昭和44年9月	6,480	130	421,140	8,449
21	船田小学校	-	-	-	昭和49年3月	6,794	477	295,033	20,714
22	館小学校	-	-	-	昭和52年5月	5,742	141	767,095	18,837
23	山田小学校	-	-	-	昭和51年5月	5,411	544	203,873	20,497
24	梶田小学校	-	-	-	昭和53年3月	5,570	587	272,190	28,685
25	緑が丘小学校	-	-	-	昭和41年3月	5,580	452	296,351	24,006
26	元八王子小学校	-	-	-	昭和42年3月	6,021	585	124,625	12,109
27	元八王子東小学校	-	-	-	昭和46年3月	5,805	318	222,783	12,203
28	上菅分方小学校	-	-	-	昭和49年8月	6,473	521	146,981	11,830
29	城山小学校	-	-	-	昭和51年5月	6,185	598	148,535	14,361
30	式分方小学校	-	-	-	昭和54年3月	5,608	420	311,273	23,312
31	横川小学校	-	-	-	昭和55年3月	6,200	377	328,148	19,954
32	恩方第一小学校	-	-	-	昭和49年3月	4,592	338	323,721	23,828
33	恩方第二小学校	-	-	-	昭和51年8月	3,046	51	959,875	16,073
34	元木小学校	-	-	-	昭和53年3月	4,585	340	195,506	14,498
35	川口小学校	-	-	-	昭和46年3月	5,361	336	228,472	14,319
36	陶鑛小学校	-	-	-	昭和43年3月	5,752	440	193,076	14,769
37	上川口小学校	-	-	-	昭和51年5月	3,686	47	1,914,706	24,414
38	美山小学校	-	-	-	昭和46年3月	3,074	60	770,760	15,044
39	檜原小学校	-	-	-	昭和51年8月	4,815	296	211,335	12,992
40	松枝小学校	-	-	-	昭和55年3月	5,049	429	304,838	25,901
41	加住小学校	-	-	-	昭和46年12月	5,504	268	299,473	14,582
42	由井第一小学校	-	-	-	昭和41年3月	7,501	540	152,000	10,943
43	由井第二小学校	-	-	-	昭和43年3月	4,502	231	251,984	12,929
44	由井第三小学校	-	-	-	昭和44年9月	5,058	338	394,391	26,355
45	長沼小学校	-	-	-	昭和48年3月	5,686	431	336,931	25,539
46	片倉台小学校	-	-	-	昭和51年3月	5,630	272	361,165	17,449
47	高嶺小学校	-	-	-	昭和53年3月	6,062	425	212,922	14,928
48	みなみ野小学校	-	-	-	平成10年3月	7,465	617	162,344	13,418
49	みなみ野君田小学校	-	-	-	平成19年3月	7,730	682	154,824	13,660
50	七国小学校	-	-	-	平成15年3月	8,761	876	171,219	17,121
51	浅川小学校	-	-	-	昭和44年3月	6,988	522	262,867	19,636
52	東浅川小学校	-	-	-	昭和52年3月	4,911	393	301,891	24,159
53	由木中央小学校	-	-	-	昭和49年8月	6,426	599	159,245	14,844
54	由木東小学校	-	-	-	昭和47年3月	5,845	635	131,020	14,235
55	由木西小学校	-	-	-	昭和51年3月	3,805	81	733,950	15,624
56	鹿島小学校	-	-	-	昭和53年5月	5,096	181	309,871	11,006
57	松が谷小学校	-	-	-	昭和53年5月	5,094	280	246,842	13,568
58	中山小学校	-	-	-	昭和55年3月	4,013	74	968,847	17,866
59	柏木小学校	-	-	-	昭和59年5月	5,476	355	371,979	24,117
60	南大沢小学校	-	-	-	昭和62年5月	6,106	152	473,898	11,797
61	宮上小学校	-	-	-	平成4年3月	6,156	307	218,928	10,918
62	秋葉台小学校	-	-	-	平成4年3月	5,474	386	164,583	11,606
63	別所小学校	-	-	-	平成6年3月	5,657	395	215,723	15,062
64	愛宕小学校	-	-	-	平成8年3月	5,163	333	271,273	17,496
65	松木小学校	-	-	-	平成6年3月	5,554	622	165,678	18,555
66	下柚木小学校	-	-	-	平成7年3月	5,677	389	227,825	15,611
67	上柚木小学校	-	-	-	平成7年3月	5,313	432	190,087	15,456
68	長池小学校	-	-	-	平成9年3月	6,495	599	143,964	13,278
69	鍵水小学校	-	-	-	平成10年3月	6,933	757	187,484	20,471
70	旧浅川小学校案内分校	-	-	-	昭和28年3月	111	-	-	0
平均						5,702	415	305,924	16,539

※旧浅川小学校案内分校は平成14年3月で廃校になっていますが、施設としては公有財産台帳上の登録があるので、上記の表に掲載しています。

(イ) 建物の状況

小学校は、昭和 30 年代後半から昭和 40 年代後半にかけての児童数の急増に対応するため、昭和 40 年代に 29 校、昭和 50 年代に 20 校（多摩ニュータウン地域を除く）を整備しました。また、多摩ニュータウン開発に伴う児童数の増加により、昭和 50 年代に 3 校、昭和 60 年代に 1 校、平成以降に 9 校整備しました。さらに、八王子ニュータウン開発に伴う児童数の増加により、平成以降に 3 校を整備しました。

建築経過年数では、築 50 年以上が 3 校、築 40～49 年が 30 校、築 30～39 年が 21 校、築 30 年未満が 15 校となっており、昭和 34 年に建築した第二小学校が最も古い建物です。

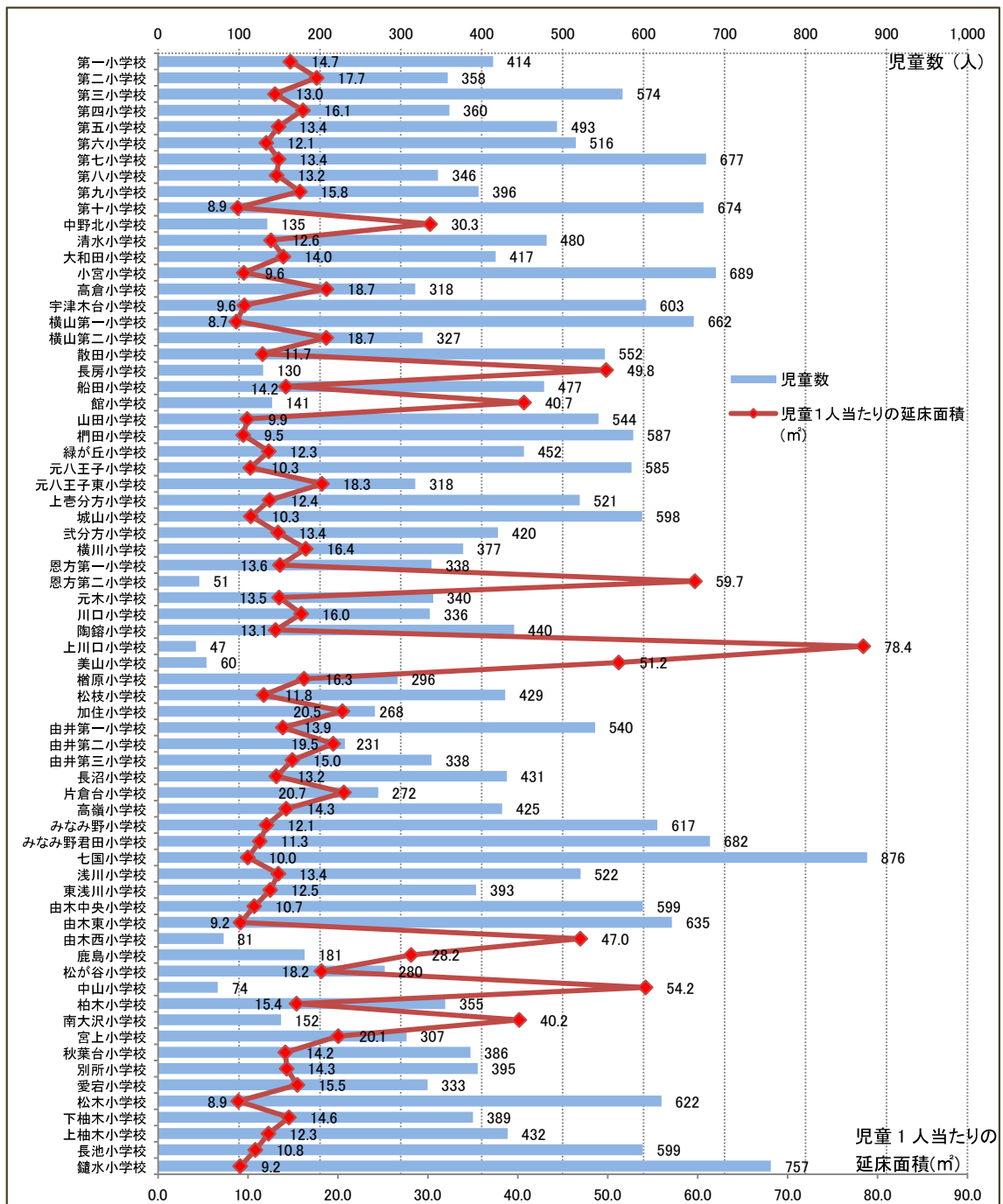
(ウ) 児童数と 1 人当たりの床面積

児童数は、各地域の特性や住宅建設状況等による差異が大きく、最も少ないのは上川口小学校の 47 人で、最も多い七国小学校の 876 人と約 19 倍の開きがあります。1 校当たりの児童数平均は 415 人となっています。

なお、児童数 600 人以上の小学校は 11 校あり、うち 700 人以上の小学校はニュータウン地域にある七国小学校と鏈水小学校の 2 校となっています。

児童 1 人当たりの延床面積の平均は、13.5 m²ですが、50 m²を超える小学校が上川口小学校（78.4 m²）、恩方第二小学校（59.7 m²）、中山小学校（54.2 m²）、美山小学校（51.2 m²）の 4 校あります。

小学校ごとの児童数と1人当たりの延床面積



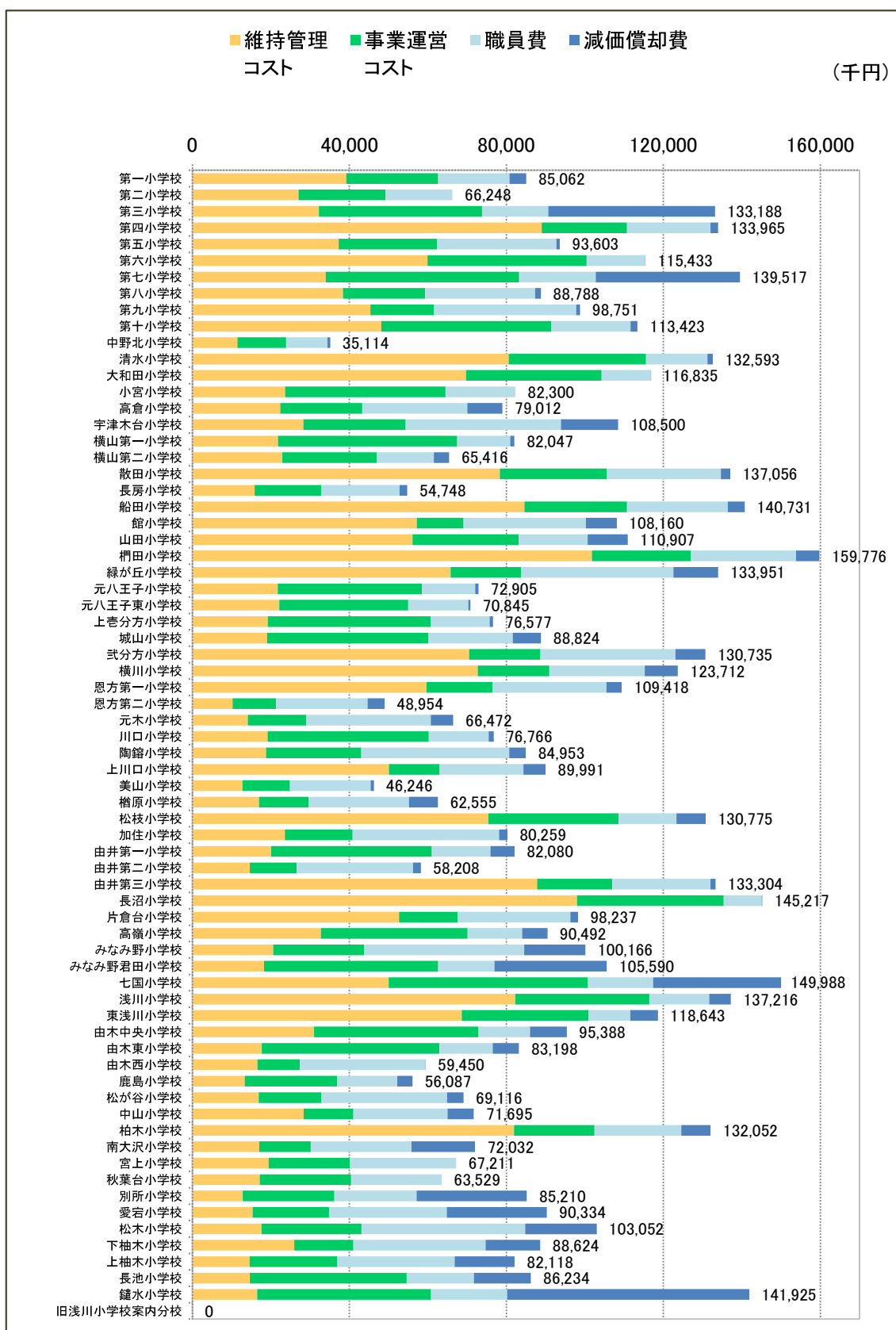
(エ) 施設コスト

小学校にかかるコストは、維持管理コストや事業運営コスト、減価償却費によって学校ごとに差があります。

児童1人当たりコストは、119,449 円（小宮小学校）～1,914,706 円（上川口

小学校)で、平均は305,924円となっています。このおよそ2倍の600,000円を超える学校が6校あり、高い順に上川口小学校、中山小学校、恩方第二小学校、美山小学校、館小学校、由木西小学校となっています。館小学校以外は児童数が100人に満たない学校です。

1㎡当たりコストは、8,449円(長房小学校)～28,685円(櫛田小学校)で、平均は16,539円となっています。



イ 中学校

(ア) 概要

市立中学校は38校あります。本来の学校教育としての機能以外に校庭や体育館の施設開放を行っており、地域コミュニティ活動の場としての役割のほか、災害時の避難場所としても指定されています。なお、不登校の児童・生徒のための体験型学校として平成16年4月に開校した高尾山学園（小・中学部）は、中学部の生徒が8割を占めているので、小・中学部を合わせて中学校に含めています。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	延床面積(㎡)	生徒数(人)	生徒1人当たりコスト(円)	延床1㎡当たりコスト(円)
71	第一中学校	-	-	-	昭和42年3月	7,343	502	135,625	9,272
72	第二中学校	-	-	-	昭和42年7月	7,624	364	278,572	13,300
73	第三中学校	-	-	-	昭和38年1月	5,410	286	625,263	33,054
74	第四中学校	-	-	-	昭和38年3月	6,997	376	152,065	8,171
75	第五中学校	-	-	-	平成23年3月	7,607	389	208,527	10,664
76	第六中学校	-	-	-	昭和48年3月	6,012	344	166,123	9,505
77	第七中学校	-	-	-	昭和49年8月	7,221	471	134,625	8,781
78	ひよどり山中学校	-	-	-	昭和53年3月	4,555	296	321,601	20,899
79	甲ノ原中学校	-	-	-	昭和56年2月	5,202	192	229,741	8,479
80	石川中学校	-	-	-	昭和58年3月	6,326	614	202,039	19,609
81	横山中学校	-	-	-	平成21年8月	7,208	484	161,007	10,812
82	長房中学校	-	-	-	昭和49年3月	7,282	284	321,023	12,520
83	館中学校	-	-	-	昭和50年3月	5,501	128	604,977	14,077
84	櫛田中学校	-	-	-	昭和53年3月	7,101	668	125,088	11,768
85	元八王子中学校	-	-	-	昭和44年3月	7,854	337	138,560	5,945
86	四谷中学校	-	-	-	昭和50年8月	6,558	310	536,528	25,362
87	横川中学校	-	-	-	昭和55年3月	4,739	174	234,683	8,617
88	城山中学校	-	-	-	昭和58年3月	5,603	362	394,885	25,513
89	恩方中学校	-	-	-	昭和48年11月	5,808	389	128,711	8,621
90	川口中学校	-	-	-	昭和42年3月	7,262	349	169,222	8,132
91	檜原中学校	-	-	-	昭和51年8月	5,375	285	301,179	15,970
92	加住中学校	-	-	-	昭和48年2月	4,263	95	945,892	21,079
93	由井中学校	-	-	-	昭和41年3月	6,473	418	136,142	8,791
94	打越中学校	-	-	-	昭和49年3月	7,139	521	124,037	9,052
95	みなみ野中学校	-	-	-	平成9年3月	7,107	591	175,900	14,627
96	七国中学校	-	-	-	平成15年2月	6,269	407	168,339	10,928
97	浅川中学校	-	-	-	昭和45年3月	5,665	301	339,765	18,053
98	陵南中学校	-	-	-	昭和60年3月	7,195	275	225,712	8,627
99	由木中学校	-	-	-	昭和51年2月	6,893	374	285,758	15,505
100	松が谷中学校	-	-	-	昭和51年3月	6,542	412	273,064	17,197
101	中山中学校	-	-	-	昭和55年3月	6,760	351	152,478	7,917
102	南大沢中学校	-	-	-	昭和58年2月	6,647	255	544,681	20,896
103	宮上中学校	-	-	-	平成1年3月	8,167	488	103,722	6,197
104	別所中学校	-	-	-	平成2年3月	6,224	359	160,067	9,232
105	上柚木中学校	-	-	-	平成6年3月	6,405	321	221,841	11,118
106	松木中学校	-	-	-	平成6年3月	6,994	606	161,146	13,964
107	鎌水中学校	-	-	-	平成10年3月	6,090	410	226,016	15,216
108	高尾山学園小・中学部	-	-	-	昭和50年3月	5,487	76	1,245,483	17,251
平均						6,445	365	291,055	13,545

※高尾山学園小・中学部は、小学校・中学校あわせた数字

(イ) 建物の状況

中学校は、昭和 30 年代後半から昭和 40 年代にかけての生徒数の急増に対応するため、昭和 40 年代に 12 校、昭和 50 年代に 12 校（多摩ニュータウン地域を除く）、昭和 60 年代に 1 校を整備しました。また、多摩ニュータウン開発に伴う生徒数の増により、昭和 50 年代に 2 校、平成以降に 5 校を整備しました。さらに八王子ニュータウン開発に伴う生徒数の増により、平成以降に 2 校を整備しました。

建物の経過年数では、築 50 年以上が 2 校、築 40～49 年が 15 校、築 30～39 年が 12 校、築 30 年未満が 9 校となっており、第三中学校と第四中学校が昭和 38 年に建築した古い建物です。

(ウ) 生徒数と 1 人当たりの床面積

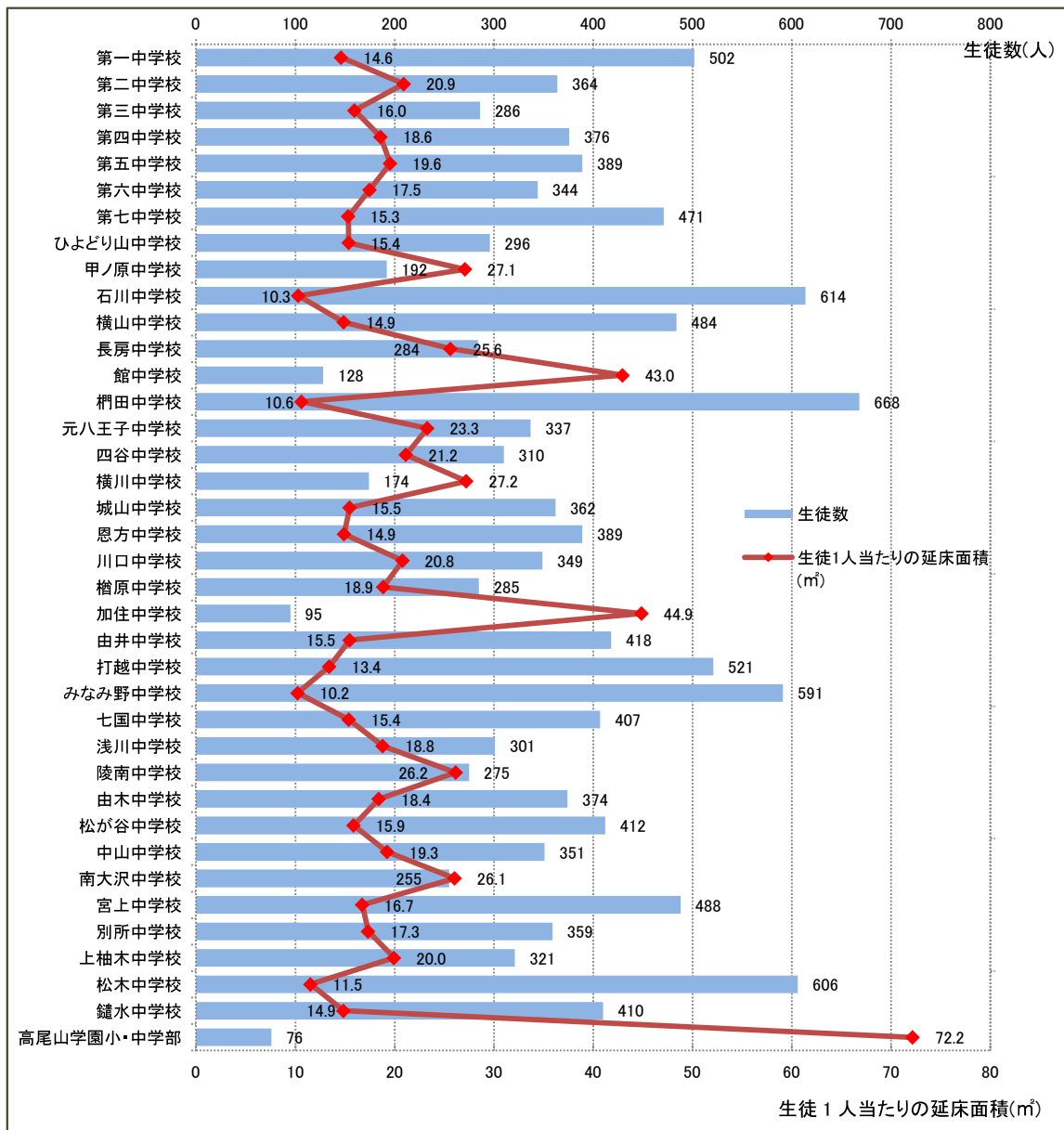
生徒数の平均は 365 人ですが、小学校同様、各地域の特性や住宅建設状況等による差異が大きくなっています。高尾山学園を除くと最も少ないのは、加住中学校の 95 人で、最も多いのは梶田中学校の 668 人となっています。また、生徒数 600 人以上の中学校は、3 校あります。

生徒 1 人当たりの延床面積は、平均が 17.7 m²ですが、40 m²を超える中学校が加住中学校（44.9 m²）、館中学校（43.0 m²）の 2 校（高尾山学園を除く）あります。



松が谷中学校

中学校ごとの生徒数と1人当たりの延床面積

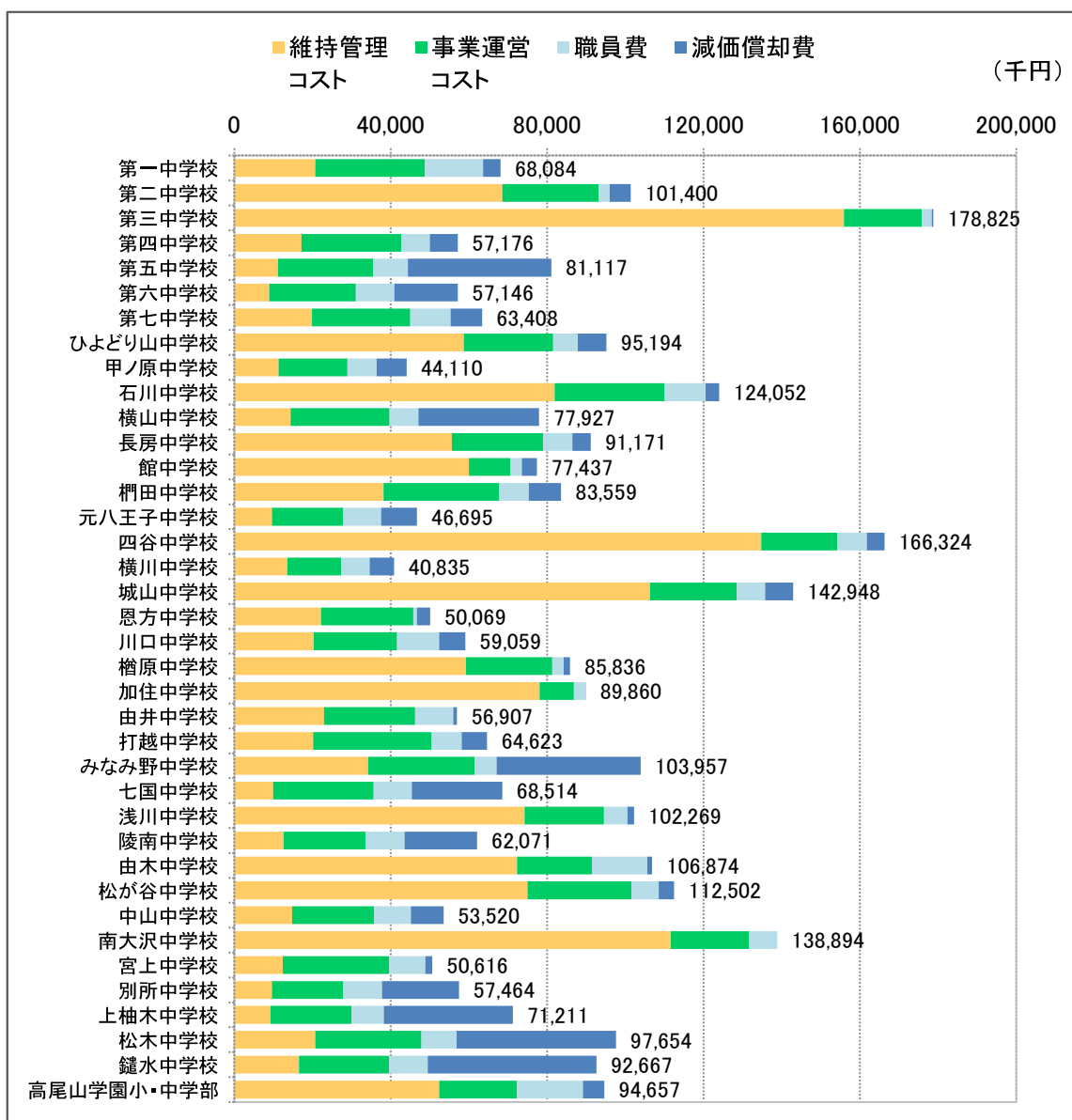


(エ) 施設コスト

中学校にかかるコストは、維持管理コストや事業運営コスト、減価償却費によって学校ごとに差があります。

生徒1人当たりコストは、103,722円（宮上中学校）～1,245,483円（高尾山学園小・中学部）で、平均は291,055円となっています。生徒数が100人を下回る学校の生徒1人当たりコストは、加住中学校が945,892円、高尾山学園が1,245,483円と他の中学校に比べて高くなっています。

1m²当たりコストは、5,945円（元八王子中学校）～33,054円（第三中学校）で、平均は13,545円となっています。



ウ 看護専門学校（専修学校）

（ア）概要

看護専門学校は、保健師助産師看護師法に基づく看護師を養成するための3年課程の専修学校です。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	生徒数(人)	延床面積(㎡)	生徒1人当たりコスト(円)	延床1㎡当たりコスト(円)
109	看護専門学校	-	-	-	昭和54年3月	118	2,484	1,020,527	48,472

（イ）建物の状況

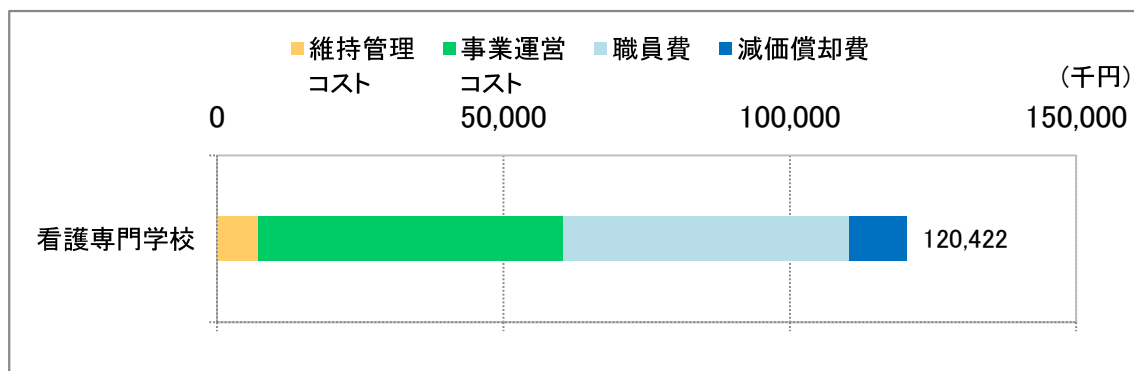
看護専門学校は、昭和54年に建築し、36年が経過しています。

（ウ）生徒の状況

入学定員は1学年40人、総定員は120人です。平成25年4月1日の在籍者は118人で、25年度に卒業した35人は全員国家試験に合格しています。

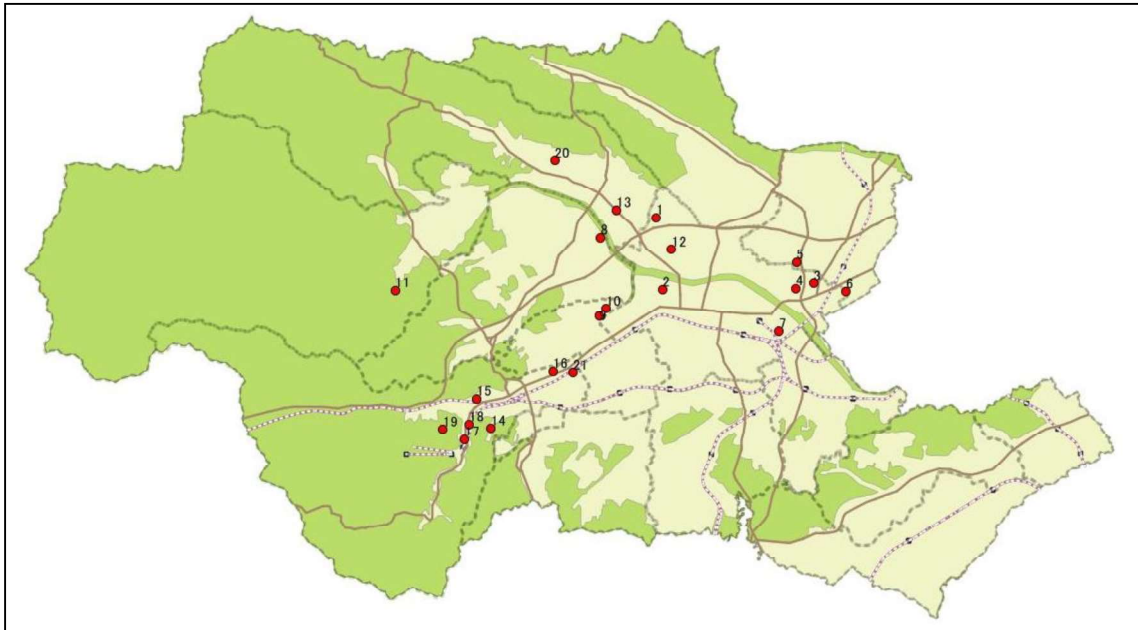
（エ）施設コスト

看護専門学校にかかるコストは、5,316万円の事業運営コストと4,977万円の職員費で総コストの約85%を占めています。



看護専門学校

(6) 市営住宅



ア 市営住宅

(ア) 概要

公営住宅法に基づく市営住宅を21団地、1,318戸設置しており、全て指定管理者制度を導入しています。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	管理戸数(戸)	延床面積(㎡)	1戸当たりコスト(円)	延床1㎡当たりコスト(円)
1	西中野団地	-	○	-	平成15年3月	75	5,100	322,212	4,739
2	元本郷団地	-	○	-	平成11年6月	154	11,057	328,200	4,571
3	大和田台団地	-	○	-	昭和50年・平成7年	132	8,115	273,040	4,441
4	大和田団地	-	○	-	昭和60年10月	84	5,793	230,325	3,340
5	大谷団地	-	○	-	昭和61年～62年	94	6,757	251,718	3,502
6	高倉団地	-	○	-	昭和61年～62年	92	6,548	242,109	3,402
7	明神団地	-	○	-	平成3年1月	30	2,031	296,043	4,373
8	泉町団地	-	○	-	昭和36年・39年・48年	132	4,697	97,575	2,742
9	長房第一団地	-	○	-	昭和36年～38年	336	13,652	98,790	2,431
10	長房第二団地	-	○	-	昭和35年～36年	46	1,869	94,065	2,315
11	恩方団地	-	○	-	平成2年～3年	16	1,011	308,423	4,880
12	中野団地	-	○	-	昭和31年～33年	37	1,172	85,413	2,697
13	檜原団地	-	○	-	昭和35年～36年	45	1,350	85,737	2,858
14	初沢団地	-	○	-	昭和33年	3	104	85,413	2,461
15	小名路団地	-	○	-	昭和32年	3	107	85,413	2,404
16	新地団地	-	○	-	昭和32年	2	69	85,413	2,461
17	落合第一団地	-	○	-	昭和30年	8	278	85,413	2,461
18	落合第二団地	-	○	-	昭和31年	5	174	85,413	2,461
19	落合第三団地	-	○	-	昭和33年	3	104	85,413	2,461
20	川口団地	-	○	-	昭和39年	16	592	92,229	2,493
21	中原団地	-	○	-	昭和31年	5	174	85,413	2,461
平均						63	3,369	162,084	3,141

(イ) 建物の状況

市営住宅は、ほとんどの住宅が昭和 60 年代までに建築したもので、最も古い落合第一団地(8 戸)が昭和 30 年の建築となっています。

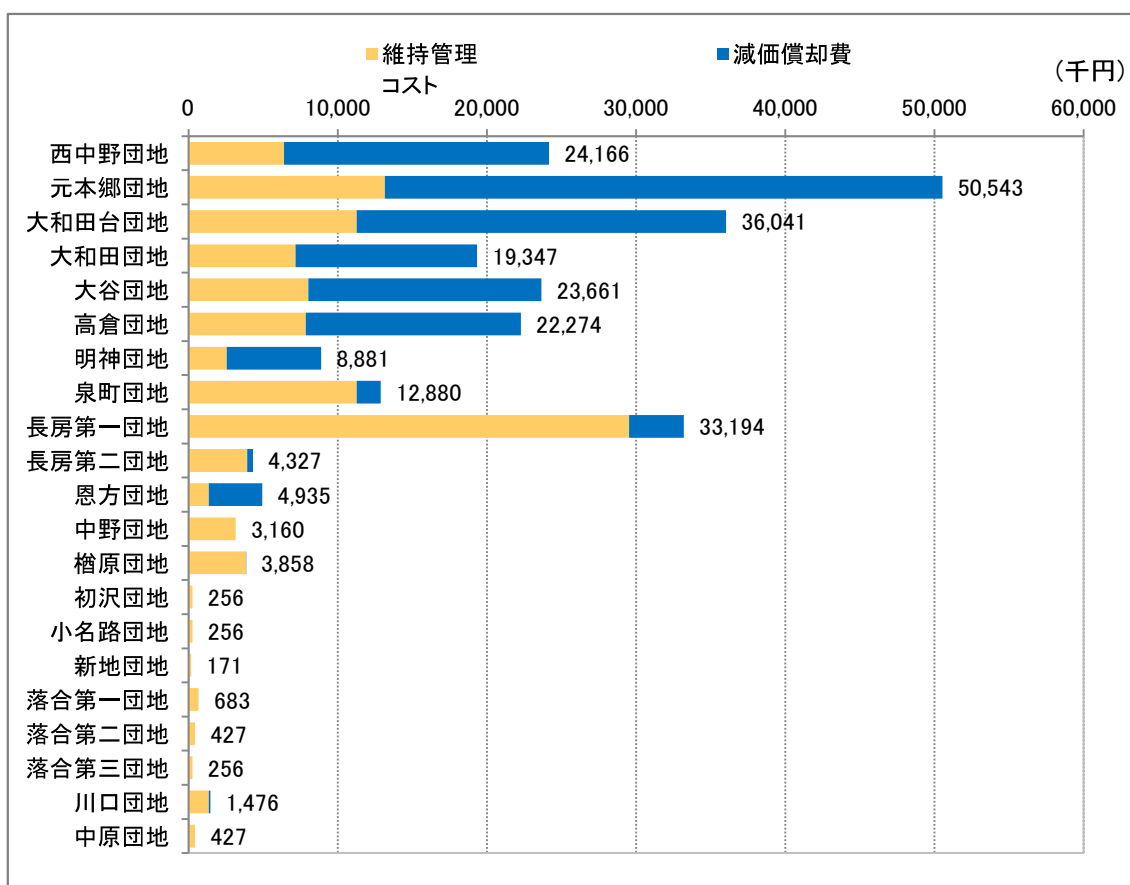
(ウ) 募集状況

空き家が発生した場合に入居者の募集を行う団地が 13 団地、1,135 戸ありますが、昭和 30 年代に建築した一部の団地では、空き家が発生しても募集を行わない団地が 9 団地、183 戸あります(平成 25 年 4 月 1 日現在)。平成 25 年度は、57 戸の募集に対して 1,008 件の応募があり、倍率は 17.7 倍でした。

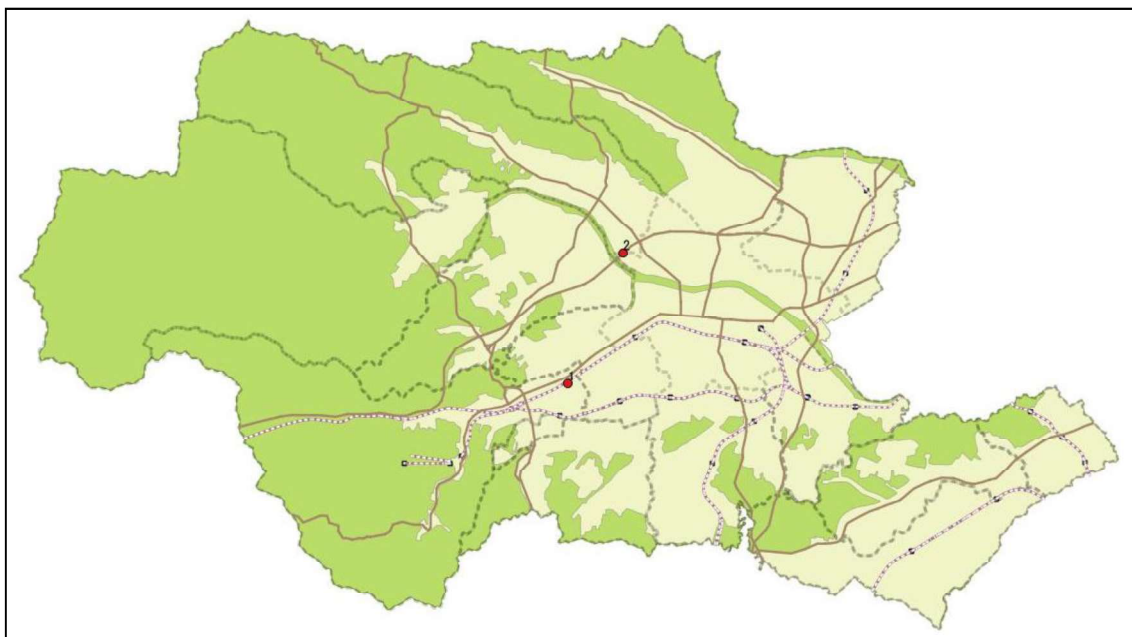
(エ) 施設コスト

1 戸当たりコストは、昭和 30～33 年にかけて建築した中野団地ほか 7 団地の 85,413 円が最も低く、平成 11 年に建築した元本郷団地の 328,200 円が最も高くなっています。これは、減価償却費の有無によるものです。

市営住宅は、建築年次や建物構造の違いにより、建設にかかったコストが大きく異なることから、減価償却費が施設コストの差となっています。



(7) 交通公園



ア 交通公園（交通遊園）

(ア) 概要

東浅川交通公園・清川交通遊園は、街中の道路や信号機などを小さく再現し、安全に交通ルールやマナーを学ぶことができる施設です。園内では自転車や三輪車、豆自動車の貸出しのほか、交通安全教育指導員による交通安全教室を実施しています。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	年間利用者数(人)	延床面積(㎡)	利用者1人当たりコスト(円)	延床1㎡当たりコスト(円)
1	東浅川交通公園	○	-	-	昭和60年3月	41,971	187	182	-
2	清川交通遊園	-	-	-	昭和62年12月	12,672	187	541	-

(イ) 建物の状況

東浅川交通公園、清川交通遊園内の建物は、交通安全教室に使用するためのスペースや管理事務所となっています。東浅川交通公園内の建物が昭和60年の建築で30年が経過し、清川交通遊園の建物が昭和62年の建築で27年が経過しています。

(ウ) 利用状況

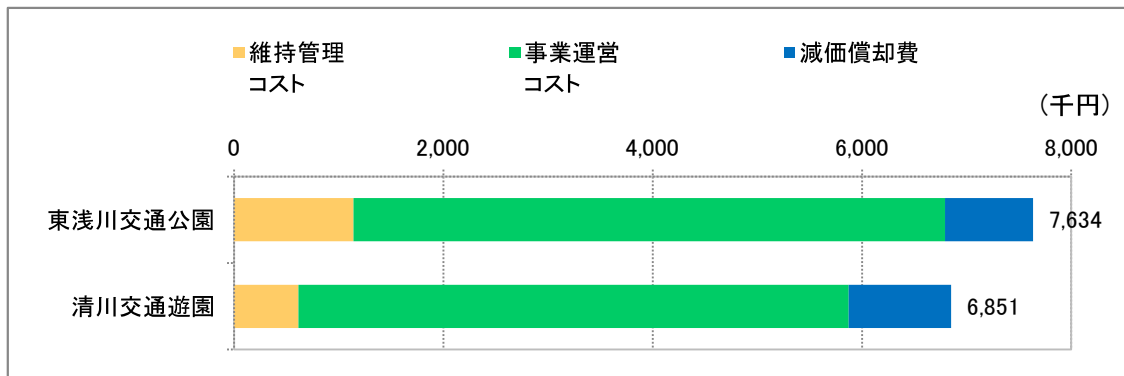
東浅川交通公園の年間利用者数は41,971人、清川交通遊園は12,672人となっています。

(エ) 施設コスト

東浅川交通公園の事業運営コストが565万円、清川交通遊園の事業運営コストが526万円かかっており、それぞれ総コストの約75%を占めています。

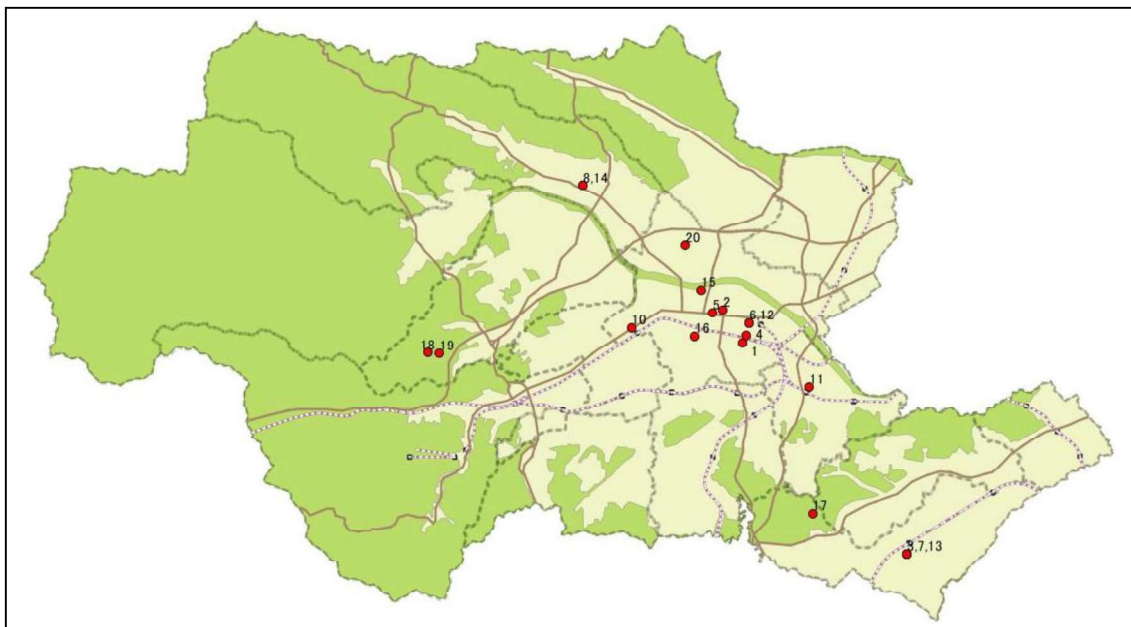
利用者1人当たりコストは、東浅川交通公園が182円、清川交通遊園が541円

と開きがありますが、これは主に年間利用者数の違いによるものです。



東浅川交通公園

(8) 文化・生涯学習施設



ア 文化施設（ホール等）

(ア) 概要

文化施設（ホール等）には、音楽や演劇等の芸術鑑賞や体験の場、自主的な文化・学習活動の場、美術鑑賞の場を提供する施設として、市民会館、芸術文化会館、南大沢文化会館、学園都市センター及び夢美術館があります。また、市民会館にはネーミングライツを導入しており、名称は「オリンパスホール八王子」です。

なお、全ての文化施設（ホール等）で指定管理者制度を導入しています。

市民会館（オリンパスホール八王子）は、50年間にわたり利用された旧市民会館に代わる施設として、平成23年4月に開館した2,021人収容可能なホール等を備えた施設です。八王子駅南口再開発事業により複合施設として建築したサザンスカイタワー八王子の4階～10階部分にあります。

芸術文化会館（いちょうホール）は、802人収容可能な大ホールや可変式舞台のある小ホール等を備えた施設となっており、南大沢文化会館は500人収容可能な主ホールと可変式の小舞台をもつ交流ホール等を備えた施設となっています。

学園都市センターは、八王子駅北口の東急スクエアビルの11・12階にある施設で、学園都市づくりの拠点として、市民と大学の幅広い交流の場を提供しています。最大288席のイベントホールや、美術品などが展示できるギャラリーホール等があります。

夢美術館は、平成15年10月に市民が気軽に親しめる「くらしの中の美術館」として、市街地に完成した再開発ビル（ビュータワー八王子）の2階に開館した

施設です。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	年間利用者数(人)	延床面積(m ²)	利用者1人当たりコスト(円)	延床1m ² 当たりコスト(円)
1	市民会館	○	○	-	平成22年9月	312,135	10,326	1,249	37,761
2	芸術文化会館	-	○	-	平成6年3月	273,584	14,795	1,164	21,516
3	南大沢文化会館	○	○	○	平成8年3月	138,527	6,412	3,438	74,272
4	学園都市センター	○	○	-	平成9年2月	188,662	3,173	802	47,667
5	夢美術館	○	○	-	平成15年6月	36,860	1,275	2,950	85,274
平均						189,954	7,196	1,920	53,298

(イ) 建物の状況

芸術文化会館を除き、いずれの施設も複合施設となっています。

最も古い施設が平成6年3月に建築した芸術文化会館で建築後21年、次いで平成9年2月に建築した学園都市センターで建築後18年が経過しています。なお、南大沢文化会館は、借上施設となっています。

(ウ) 利用状況

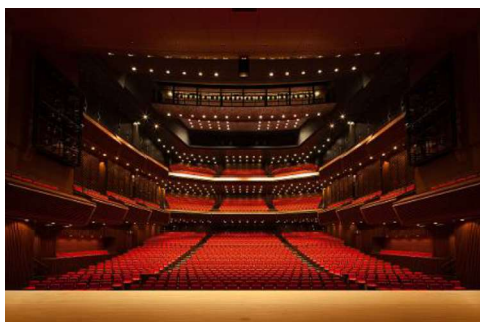
年間利用者数が最も多い施設は市民会館の312,135人で、利用率は90%となっています。次いで芸術文化会館が273,584人で大ホールと会議室の各利用率は、86%、90%となっています。

(エ) 施設コスト

市民会館の総コストは3億8,992万円で、そのうちのほぼ半分の1億9,841万円が減価償却費となっており、約33%の1億3,017万円が事業運営コストとなっています。芸術文化会館の総コストは3億1,832万円で、そのうちの約61%の1億9,210万円が減価償却費となっており、約30%の9,427万円が事業運営コストとなっています。

南大沢文化会館は借上施設のため減価償却費はありませんが、総コストのうち維持管理コスト4億4,663万円が約94%を占めており、維持管理コストのうち約90%が建物の賃借料及び共益費となっています。また、夢美術館は、総コストのうち事業運営コスト9,727万円が約90%を占めています。

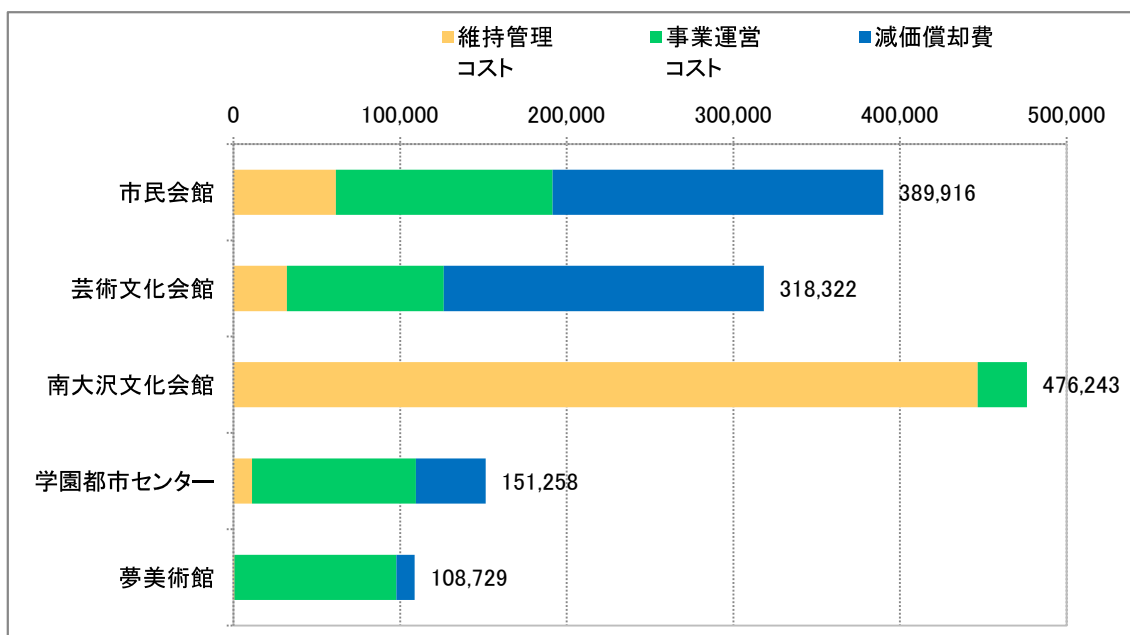
利用者1人当たりコストは、802円(学園都市センター)～3,438円(南大沢文化会館)となっており、1m²当たりコストは、21,516円(芸術文化会館)～85,274円(夢美術館)となっています。



市民会館（オリンパスホール八王子）



芸術文化会館（いちようホール）



イ 生涯学習施設

(ア) 概要

各種講座や催し物の開催や、学習情報の提供などにより、市民の学習活動を支援する生涯学習センターが3館と、少年の健全育成を図るための宿泊施設として、長野県長和町に姫木平自然の家があります。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上施設	建築年月日	年間利用者数(人)	延床面積(㎡)	利用者1人当たりコスト(円)	延床1㎡当たりコスト(円)
6	生涯学習センター	○	—	—	平成11年3月	214,147	6,531	2,047	67,132
7	生涯学習センター南大沢分館	○	—	○	平成8年3月	51,371	1,244	2,214	91,442
8	生涯学習センター川口分館	○	—	—	平成8年7月	36,970	1,110	986	32,860
9	姫木平自然の家	—	○	—	昭和51年6月	14,754	4,260	3,652	12,648

※ 9 姫木平自然の家は長野県にあるため、地図未掲載です。

イ) 建物の状況

生涯学習センター3館はいずれも複合施設で、南大沢分館は民間施設の一部を借り上げた施設です。

市内にある施設では、平成8年に建築した南大沢分館が一番古い建物で、建築後19年が経過しており、長野県にある姫木平自然の家は、東館が昭和51年の建築で39年が経過しています。

(ウ) 利用状況

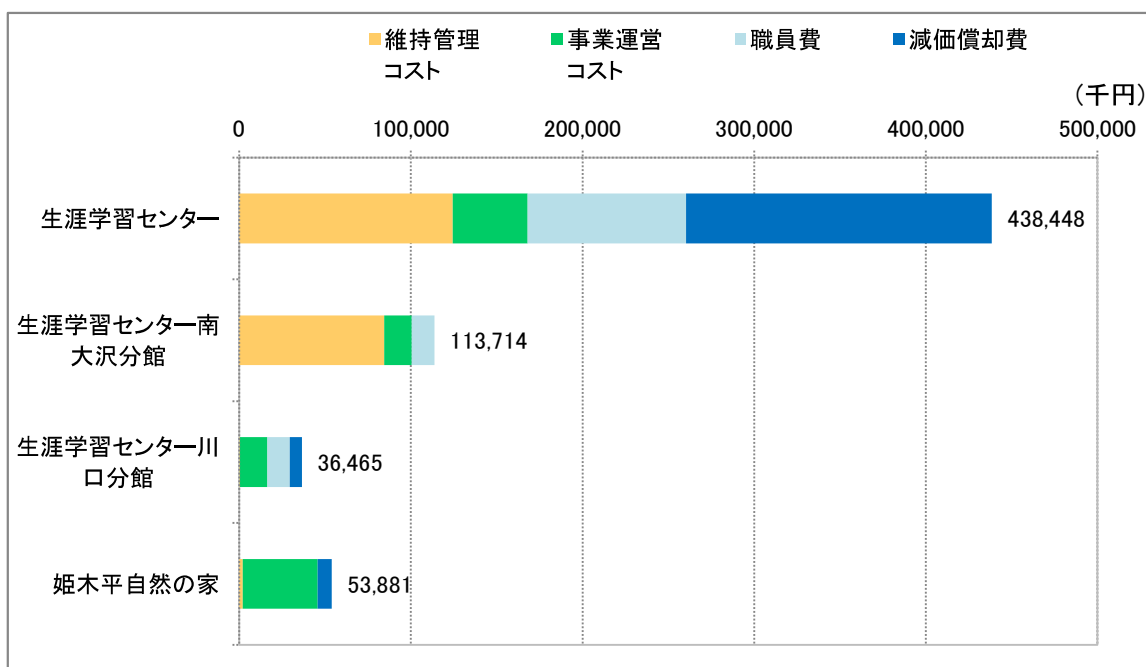
生涯学習センターは、2つの分館を合わせて年間302,488人が利用しており、姫木平自然の家は、年間14,754人が利用しています。

(エ) 施設コスト

生涯学習センターは、1億7,821万円の減価償却費が総コストの約40%を占め

ています。

1 m²当たりコストは、12,648 円（姫木平自然の家）～91,442 円（生涯学習センター南大沢分館）となっています。



ウ 図書館

(ア) 概要

本市には図書館が5施設（分室を含む）あり、本のほか、ビデオ・DVD・CDなどの視聴覚資料や郷土資料等を所蔵し、子どもへの働きかけを中心とした生涯にわたる読書活動の推進拠点の役割を担っています。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	年間利用者数(人)	延床面積(m ²)	利用者1人当たりコスト(円)	延床1m ² 当たりコスト(円)
10	中央図書館	－	－	－	昭和59年8月	555,234	5,581	672	66,815
11	中央図書館 北野分室	○	－	○	昭和63年10月	82,729	301	138	37,876
12	生涯学習センター図書館	○	－	－	平成11年3月	533,518	4,185	354	45,102
13	南大沢図書館	○	－	○	平成8年3月	381,892	1,675	634	144,426
14	川口図書館	○	－	－	平成8年7月	123,038	1,049	693	81,357
					平均	335,282	2,558	498	75,115

(イ) 建物の状況

本館としての位置付けとなっている中央図書館は、建築後 31 年を経過しており、他の3図書館と分室は、複合施設内に設置しています。

また、中央図書館北野分室と南大沢図書館は、民間施設の一部を借り上げた施設です。

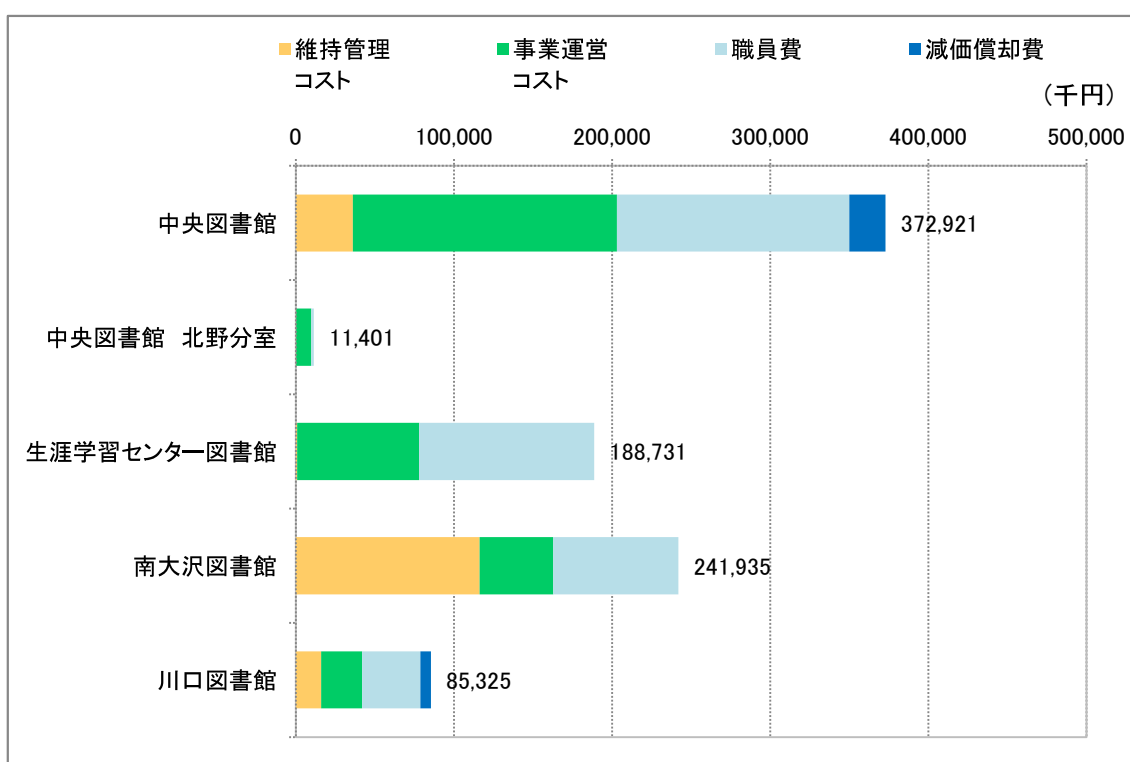
(ウ) 利用状況

年間利用者は、中央図書館が 555,234 人、生涯学習センター図書館が 533,518 人といずれも 50 万人を超えており、4 館 1 分室全体では 167 万人を超える利用者数となっています。

(エ) 施設コスト

中央図書館の総コストには、図書館全体にかかる経費として、各館に共通する図書館システムの経費や、「読書のまち八王子」にかかる経費などが含まれているため、事業運営コストが総コストの約 45% を占めています。

1 m²当たりコストは、37,876 円（中央図書館北野分室）～144,426 円（南大沢図書館）となっています。



エ 博物館・史跡等

(ア) 概要

市内出土の考古資料を収蔵・展示する博物館法上の登録を受けた「郷土資料館」、子どもの科学に関する知識の普及及び啓発を図る「こども科学館」、幕末から明治初期まで八王子から横浜への輸出用生糸の輸送路であった絹の道や製糸・養蚕に関する資料を展示する「絹の道資料館」、北条氏照が築城した八王子城の歴史や意義などを解説する「八王子城跡ガイダンス施設」などがあります。

なお、こども科学館にはネーミングライツを導入しており、名称は「ユニカミノルタ サイエンスドーム」です。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	年間利用者数(人)	延床面積(㎡)	利用者1人当たりコスト(円)	延床1㎡当たりコスト(円)
15	こども科学館	-	-	-	昭和63年9月	88,571	2,996	2,209	65,308
16	郷土資料館	-	-	-	昭和41年11月	21,393	1,538	2,632	36,610
17	絹の道資料館	-	-	-	平成2年2月	8,919	349	878	22,447
18	史跡八王子城跡	-	-	-	平成3年3月	-	109	-	-
19	八王子城跡ガイダンス施設	-	-	-	平成24年3月	47,486	468	171	17,367
20	中田遺跡	-	-	-	昭和42年1月	235	170	6,804	9,401

(イ) 建物の状況

郷土資料館は建築後 49 年が経過し、こども科学館は 27 年、絹の道資料館は 25 年がそれぞれ経過しています。八王子城跡ガイダンス施設は、建築後 3 年の比較的新しい施設です。

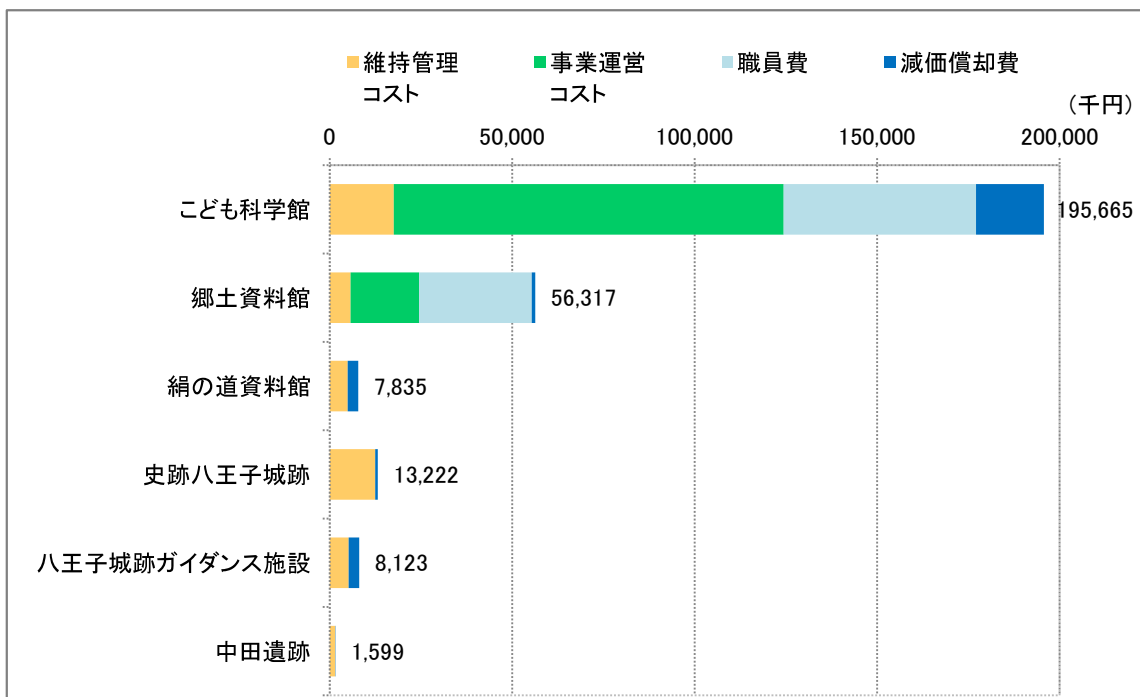
(ウ) 利用状況

年間利用者数が最も多い施設は、こども科学館で 88,571 人となっており、次いで八王子城跡ガイダンス施設の 47,486 人、郷土資料館の 21,393 人となっています。

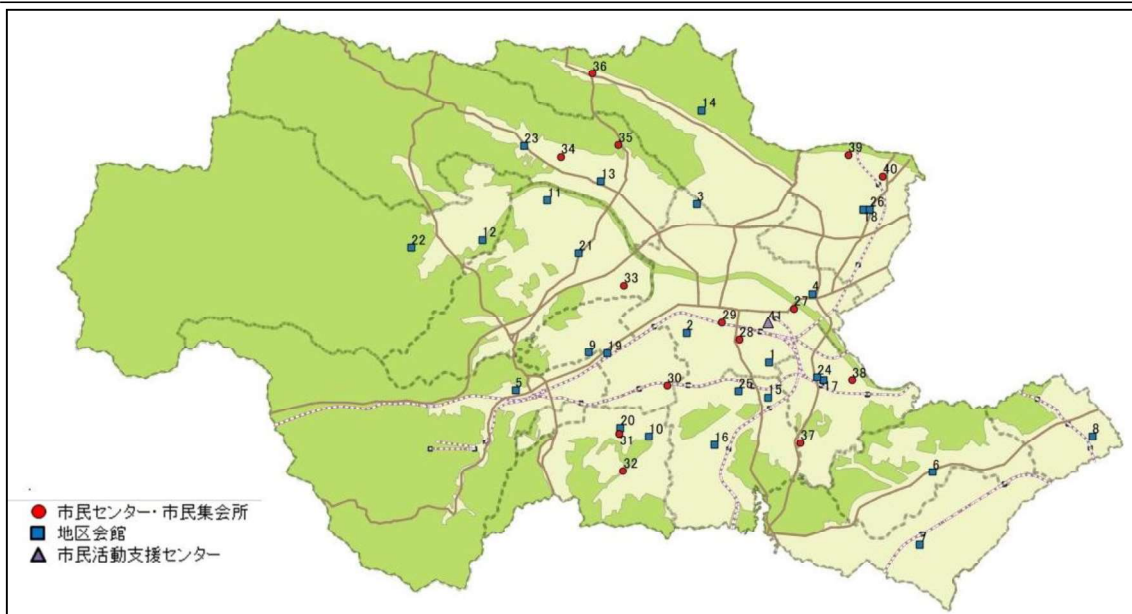
(エ) 施設コスト

こども科学館は、各種事業を行うことから総コストに占める事業運営コストの割合が約 55%と高く、利用者 1 人当たりコストは 2,209 円となっています。

また、郷土資料館は、博物館法の規定により学芸員を配置しなければならないことや各種の事業を行っていることから、事業運営コストや職員費の割合が高く、利用者 1 人当たりコストは 2,632 円となっています。



(9) コミュニティ施設



ア 市民センター・市民集会所

(ア) 概要

様々なコミュニティ活動や文化活動など、多目的に利用できる施設として地域市民センターを17館と分館を1館、市民集会所（市民部事務所に併設）を8か所（石川市民集会所は、平成26年12月に「地域福祉推進拠点」に用途変更）設置しています。

なお、地域市民センターは、平成18年度から指定管理者制度を導入しています。



石川市民センター



由井市民センター

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	年間利用者数(人)	延床面積(m ²)	利用者1人当たりコスト(円)	延床1㎡当たりコスト(円)
1	子安市民センター	-	○	-	昭和62年11月	120,773	2,489	179	8,672
2	台町市民センター	-	○	-	平成8年2月	199,009	2,401	129	10,694
3	中野市民センター	-	○	-	平成2年3月	82,491	1,813	273	12,402
4	大和田市民センター	-	○	-	昭和58年3月	119,992	2,736	177	7,769
5	浅川市民センター	○	○	-	昭和60年11月	87,987	1,097	178	14,303
6	由木中央市民センター	○	○	-	昭和63年3月	109,631	2,239	117	5,748
7	南大沢市民センター	○	○	○	平成8年3月	125,944	1,604	979	76,883
8	由木東市民センター	○	○	-	平成2年3月	98,123	2,035	237	11,412
9	長房市民センター	-	○	-	昭和59年3月	53,119	853	244	15,217
10	横山南市民センター	-	○	-	平成15年5月	128,643	1,708	163	12,288
11	元八王子市民センター	-	○	-	昭和63年11月	126,977	1,848	188	12,943
12	恩方市民センター	-	○	-	平成7年9月	139,629	1,841	149	11,307
13	川口市民センター	○	○	-	平成8年7月	101,060	1,794	224	12,641
14	加住市民センター	-	○	-	平成14年5月	57,916	1,847	391	12,249
15	由井市民センター	-	○	-	昭和63年5月	99,723	1,440	164	11,390
16	由井市民センターみなみ野分館	○	○	○	平成14年2月	72,074	1,305	575	31,756
17	北野市民センター	○	○	○	昭和63年10月	199,473	1,945	519	53,253
18	石川市民センター	-	○	-	平成5年7月	103,257	1,792	247	14,219
19	横山市民集会所	○	-	-	昭和49年10月	14,274	321	579	25,737
20	館市民集会所	○	-	-	昭和53年3月	4,603	154	1,063	31,764
21	元八王子市民集会所	○	-	-	昭和51年8月	18,233	185	287	28,279
22	恩方市民集会所	○	-	-	昭和49年10月	1,110	101	1,776	19,520
23	川口市民集会所	○	-	-	昭和56年9月	7,558	360	629	13,210
24	北野市民集会所	○	-	-	昭和50年3月	29,305	278	164	17,274
25	由井市民集会所	○	-	-	昭和58年10月	15,810	311	199	10,112
26	石川市民集会所	○	-	-	昭和50年3月	3,430	114	621	18,611
平均						81,544	1,331	402	19,217

(イ) 建物の状況

地域市民センターは、昭和58年3月から平成15年5月にかけて建築しており、大和田市民センターが最も古く、昭和58年の建築から32年が経過しています。最も新しい市民センターは、平成15年に建築した横山南市民センターで12年が経過しています。

市民集会所は、昭和49年から市民部事務所（当時出張所）の建替えが始まったのを機に事務所に併設しました。

(ウ) 利用状況

地域市民センターの年間総利用者数は2,025,821人で、1施設当たりの平均利用者数は11万人を超えます。館ごとの利用者数では、10万人を超えている館が11館あり、そのうち台町市民センターと北野市民センターは、20万人近い利用者数となっています。

市民集会所の年間総利用者数は94,323人で、1施設当たりの平均利用者数は11,000人を超えます。

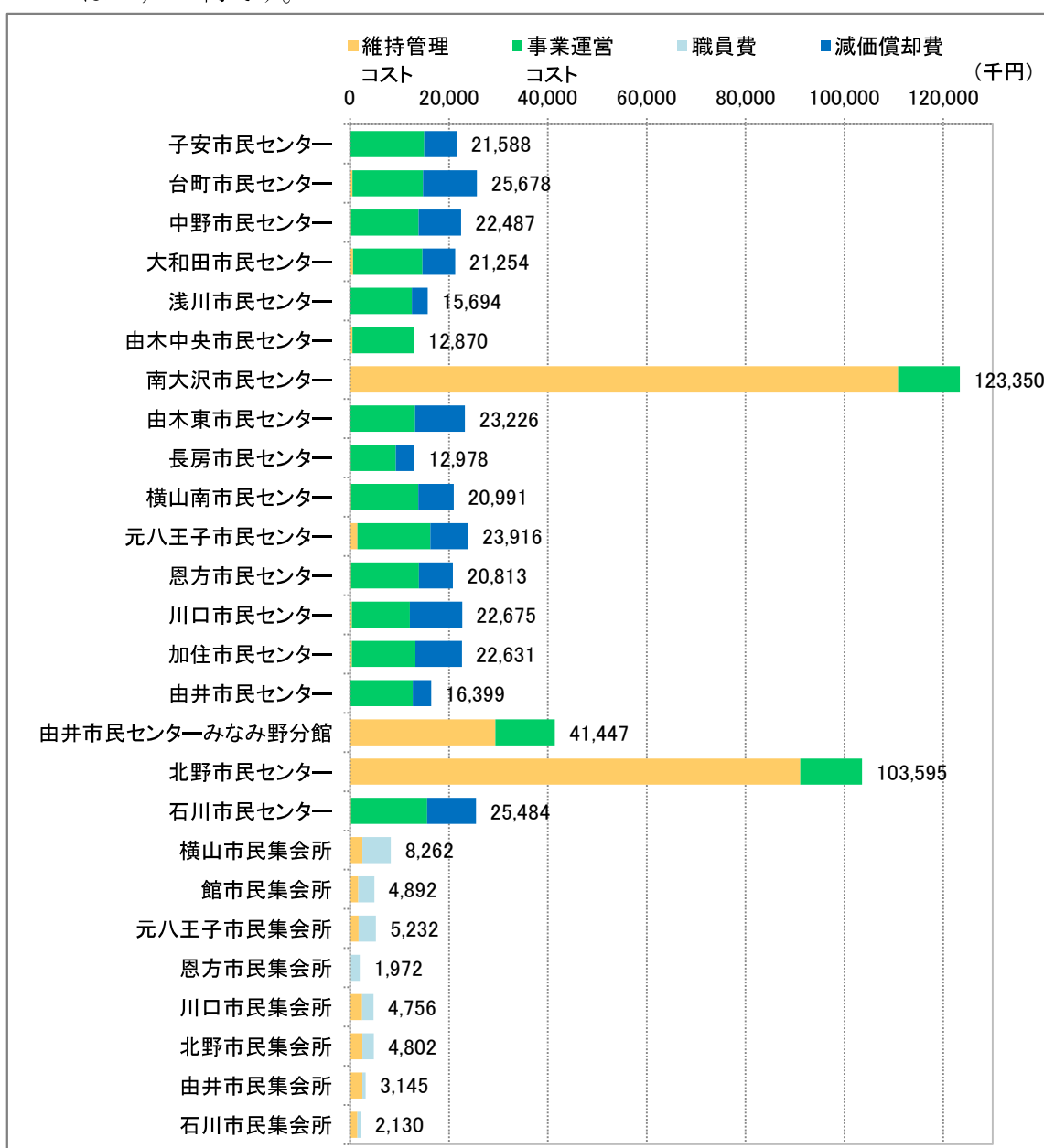
(エ) 施設コスト

民間施設を借り上げて運営している南大沢市民センターと北野市民センターは、総コストが1億円を超えます。

地域市民センターの利用者1人当たりコストは、117円（由木中央市民センター）～979円（南大沢市民センター）となっており、1施設当たりの平均は285

円です。1㎡当たりコストは、借上げ施設3館を除くと5,748円（由木中央市民センター）～15,217円（長房市民センター）となっており、1施設当たりの平均は11,550円です。施設を借り上げて運営している3館のうち、南大沢市民センターは76,883円、由井市民センターみなみ野分館は31,756円、北野市民センターは53,253円、となっています。この3館は、施設の賃借料が含まれる維持管理コストが高くなることから、単位当たりコストが高くなっています。

市民集会所の利用者1人当たりコストは、164円（北野市民集会所）～1,776円（恩方市民集会所）となっており、平均は665円です。1㎡当たりコストは、10,112円（由井市民集会所）～31,764円（館市民集会所）となっており、平均は20,563円です。



イ 地区会館

(ア) 概要

地域のコミュニティ活動を醸成し、市民相互の親睦を深めるための施設として
14 か所あり、平成 18 年度から指定管理者制度を導入しています。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	年間利用者数(人)	延床面積(m ²)	利用者1人当たりコスト(円)	延床1m ² 当たりコスト(円)
27	明神会館	-	○	-	昭和55年3月	2,511	139	559	10,097
28	万町会館	-	○	-	昭和57年3月	8,351	182	194	8,882
29	天神会館	-	○	-	昭和55年3月	12,486	293	183	7,801
30	山田会館	-	○	-	平成3年3月	9,414	403	309	7,223
31	館町市民センター	-	○	-	昭和54年3月	19,156	603	106	3,375
32	榛名公園会館	-	○	-	昭和49年10月	7,366	154	160	7,679
33	横川会館	-	○	-	昭和57年3月	14,090	312	179	8,103
34	川口東部会館	-	○	-	昭和62年2月	6,659	350	487	9,268
35	犬目会館	-	○	-	昭和58年11月	15,436	519	164	4,875
36	戸吹会館	-	○	-	昭和56年3月	3,874	560	706	4,881
37	北野南部会館	-	○	-	平成8年6月	12,260	506	145	3,509
38	長沼春日会館	-	○	○	平成7年7月	23,020	494	53	2,465
39	平町会館	-	○	-	平成2年3月	1,494	239	1,582	9,911
40	小宮会館	-	○	-	昭和63年2月	8,316	600	439	6,080
平均						10,317	382	376	6,725

(イ) 建物の状況

地区会館は、昭和 49 年から平成 8 年までに建築しており、最も古いのは、昭和 49 年 10 月に建築した榛名公園会館で、最も新しいのは、平成 8 年 6 月に建築した北野南部会館となっています。

長沼春日会館は、都営住宅の一部を借り上げて設置しています。

(ウ) 利用状況

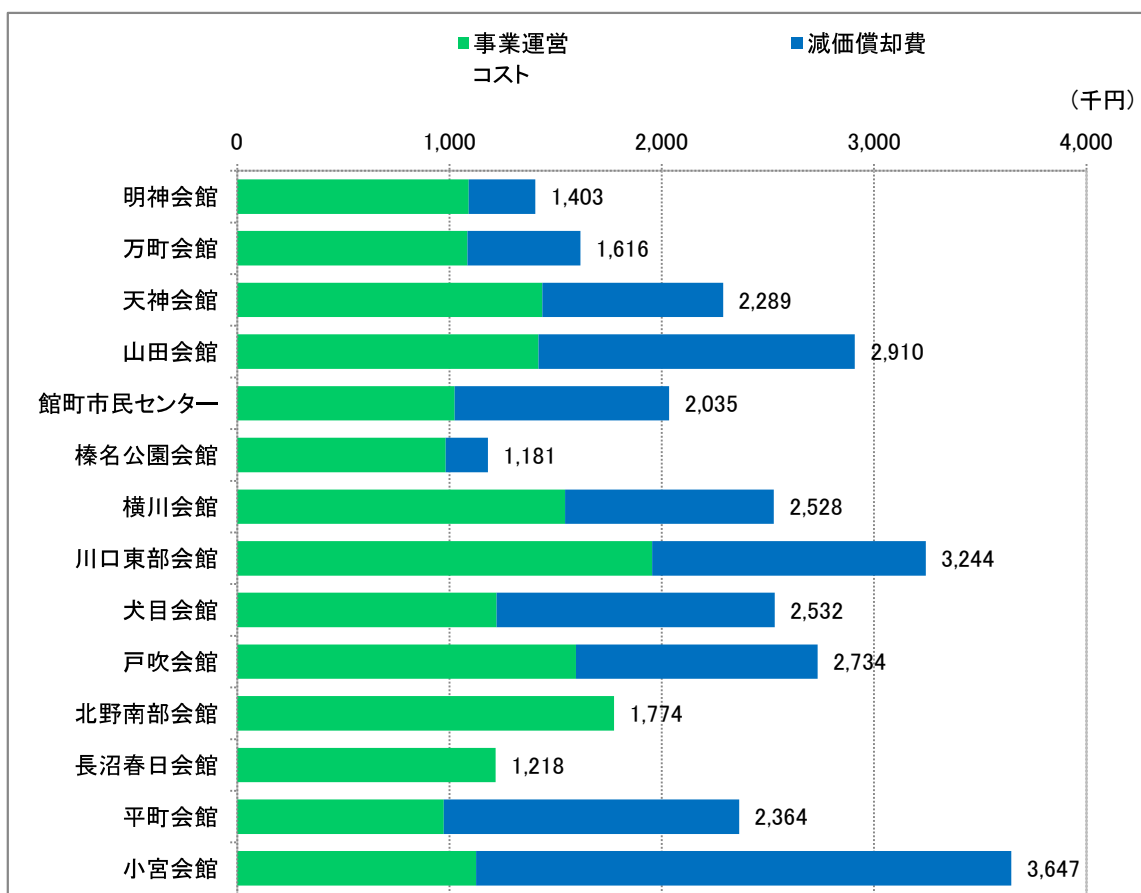
地区会館の年間利用者数は、1,494 人（平町会館）～23,020 人（長沼春日会館）となっており、1 館当たりの平均は 10,317 人となっています。

(エ) 施設コスト

事業運営コストは、全額指定管理料です。

利用者 1 人当たりコストは、53 円（長沼春日会館）～1,582 円（平町会館）となっており、1 館当たりの平均は 376 円となっています。1 m²当たりコストは、2,465 円（長沼春日会館）～10,097 円（明神会館）となっています。

なお、長沼春日会館は、借上げ施設であるため減価償却費がなく、また、無償で借り上げていることから総コストが低くなっています。



ウ 市民活動支援センター

(ア) 概要

まちづくり、環境、教育、福祉、国際交流、文化、スポーツなどの公益的な市民活動を支援するための施設として、市民活動支援センターを設置しています。NPOの立上げから法人化に関することなど、市民活動に関する様々な相談事業や情報発信事業、活動の場の提供や各種啓発事業などを行っています。

なお、同センターには、指定管理者制度を導入しています。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	年間利用者数(人)	延床面積(㎡)	利用者1人当たりコスト(円)	延床1㎡当たりコスト(円)
41	市民活動支援センター	○	○	○	平成15年3月	906	205	20,496	90,416

※ 市民活動支援センターの「年間利用者数」と「利用者1人当たりコスト」は、それぞれ「年間利用件数」と「利用件数1件当たりコスト」になります。

(イ) 建物の状況

平成15年に民間が建築した建物の一部を借り上げています。

(ウ) 利用状況

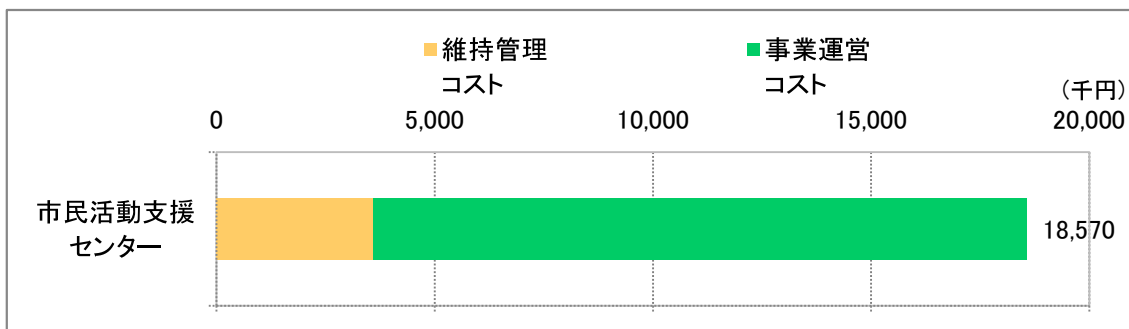
会議室などの貸出件数が1,745件、相談等が975件となっています。

(エ) 施設コスト

総コストは、事業運営コスト 1,499 万円（うち指定管理料 1,473 万円）と維持管理コスト 358 万円を合わせた 1,857 万円となっています。

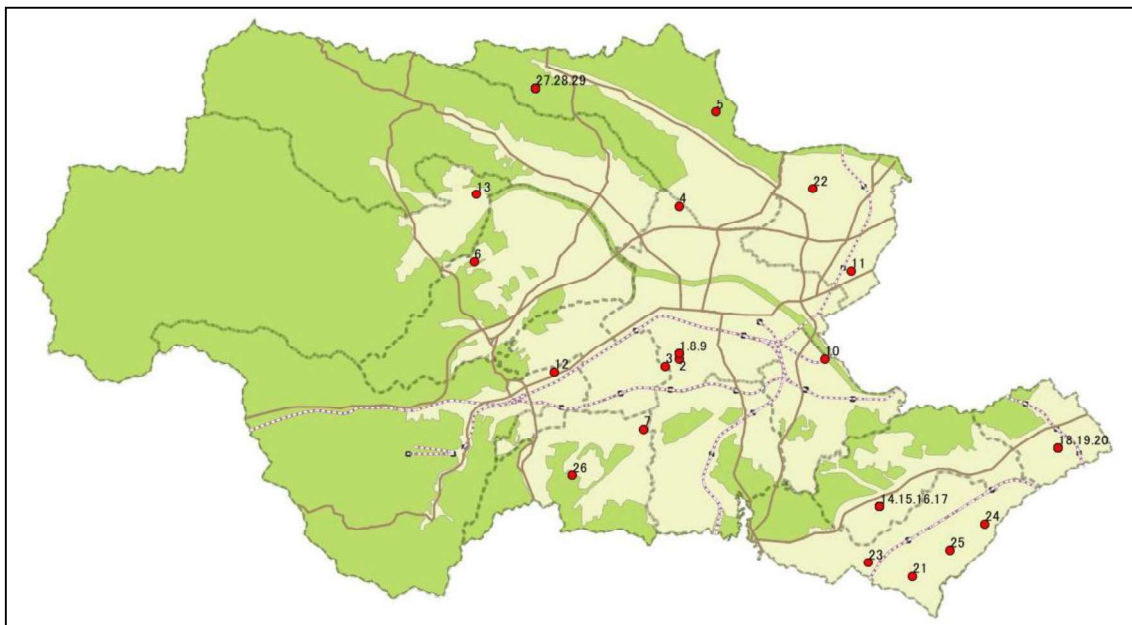
なお、借上げ施設であるため、減価償却費はありません。

利用件数 1 件当たりコストは 20,496 円、1 m²当たりコストは 90,416 円となっています。



市民活動支援センター

(10) スポーツ施設

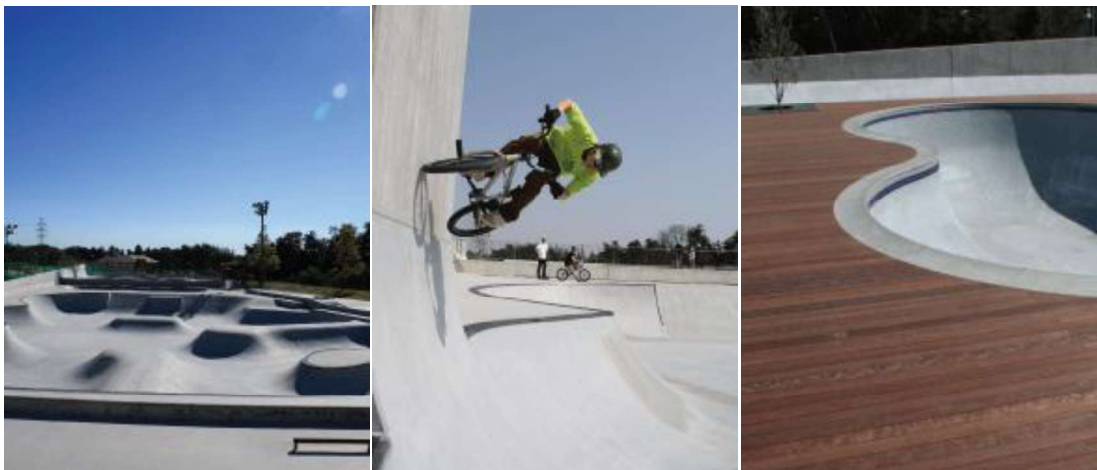


ア スポーツ施設

(ア) 概要

本市には、野球場が9施設（少年野球場の2施設含む）、ソフトボール場が3施設、サッカー場が4施設（少年サッカー場の2施設含む）、テニスコートが12施設、陸上競技場が2施設、体育館が3施設、屋外プールが2施設、スケートパークが1施設あり、ほとんどの施設が公園内にあります。

スケートパークは、日本最大級の公共スケートパークで、スケートボード、インラインスケート、BMXの3種類の競技を楽しむための専用施設となっており、「PLANET PARK（プラネットパーク）」の愛称がついています。また、総合体育館にはネーミングライツを導入しており、名称は「エスフォルタアリーナ八王子」です。



戸吹スポーツ公園スケートパーク

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	年間利用者数(人)	延床面積(㎡)	利用者1人当たりコスト(円)	延床1㎡当たりコスト(円)
1	市民球場	-	-	-	昭和59年7月	108,034	4,528	274	-
2	市民体育館	-	-	-	昭和49年10月	315,352	6,298	260	13,021
3	市民体育館分館競技場	-	-	-	昭和57年8月	98,040	1,461	194	13,005
4	甲の原体育館	-	○	-	平成5年3月	221,190	4,595	608	29,291
5	滝ガ原運動場	-	-	-	平成14年3月	126,546	139	188	-
6	川町運動場	-	-	-	昭和61年3月	30,639	27	135	-
7	梶田運動場	-	-	-	昭和63年3月	30,565	80	194	-
8	富士森陸上競技場	-	-	-	昭和54年3月	67,995	198	807	-
9	富士森公園テニスコート	-	-	-	-	45,382	-	275	-
10	北野公園野球場	-	○	-	昭和61年3月	15,415	2	546	-
11	高倉公園野球場	-	-	-	-	36,812	-	5	-
12	陵南公園内プール	-	-	-	平成2年3月	12,816	126	1,011	-
13	西寺方グラウンド	-	-	-	平成10年4月	8,774	20	157	-
14	上柚木公園ソフトボール場	-	○	-	平成8年6月	11,622	8	320	-
15	上柚木陸上競技場	-	○	-	平成9年3月	147,745	1,194	84	-
16	上柚木野球場	-	○	-	平成13年3月	91,667	1,915	143	-
17	上柚木公園テニスコート	-	○	-	平成14年3月	50,673	59	75	-
18	大塚公園野球場	-	○	-	-	11,244	-	503	-
19	大塚公園プール	-	○	-	昭和62年3月	10,619	265	446	-
20	大塚公園テニスコート	-	○	-	-	26,711	-	109	-
21	大平公園テニスコート	-	○	-	昭和62年3月	10,140	15	155	-
22	久保山公園テニスコート	-	○	-	昭和62年3月	11,081	17	138	-
23	内裏谷戸公園テニスコート	-	○	-	-	12,604	-	122	-
24	別所公園テニスコート	-	○	-	-	11,741	-	139	-
25	松木公園テニスコート	-	○	-	-	31,627	-	298	-
26	殿入中央公園テニスコート	-	○	-	-	10,582	-	120	-
27	戸吹スポーツ公園テニスコート	-	○	-	-	36,577	-	330	-
28	戸吹スポーツ公園サッカー兼ラグビー場	-	○	-	平成23年3月	98,471	239	323	-
29	戸吹スポーツ公園スケートパーク	-	○	-	平成23年3月	21,625	20	512	-

※ 5 滝ガ原運動場：野球場・ソフトボール場・サッカー場・テニスコート

6 川町運動場：少年野球場・少年サッカー場

7 梶田運動場：少年野球場・少年サッカー場・テニスコート

13 西寺方グラウンド：野球場・ソフトボール場

(イ) 建物の状況

市民体育館は、昭和49年の建築から41年が経過しています。平成26年10月の総合体育館（エスフォルタアリーナ八王子）開館にあわせ、平成27年2月から市民体育館の耐震補強とバリアフリー化、空調設備の更新などの大規模改修を行っています。

市民体育館分館競技場は、昭和57年の建築から33年が、甲の原体育館は平成5年の建築から22年が経過しています。

(ウ) 利用状況

市民体育館の年間利用者数は、315,000人を超え、分館競技場と合わせると413,000人を超えるほか、スポーツ民踊教室やパワーヨガ教室等の各種スポーツ教室には、1万人近い参加があります。甲の原体育館の年間利用者数は、室内プールの利用者数78,700人を含めて221,000人を超えており、スポーツ教室には、5,000人を超える参加があります。

屋外の運動施設の年間利用者数は、上柚木陸上競技場の147,745人が最も多く、次いで滝ガ原運動場の126,546人、市民球場の108,034人となっています。

(エ) 施設コスト

甲の原体育館は、総コストが1億円を超えています。そのうち、事業運営コストの9,753万円が約72%を占めていますが、ほとんどが指定管理料です。

体育館の1㎡当たりコストは、市民体育館が13,021円、市民体育館分館競技場が13,005円、甲の原体育館が29,291円となっています。

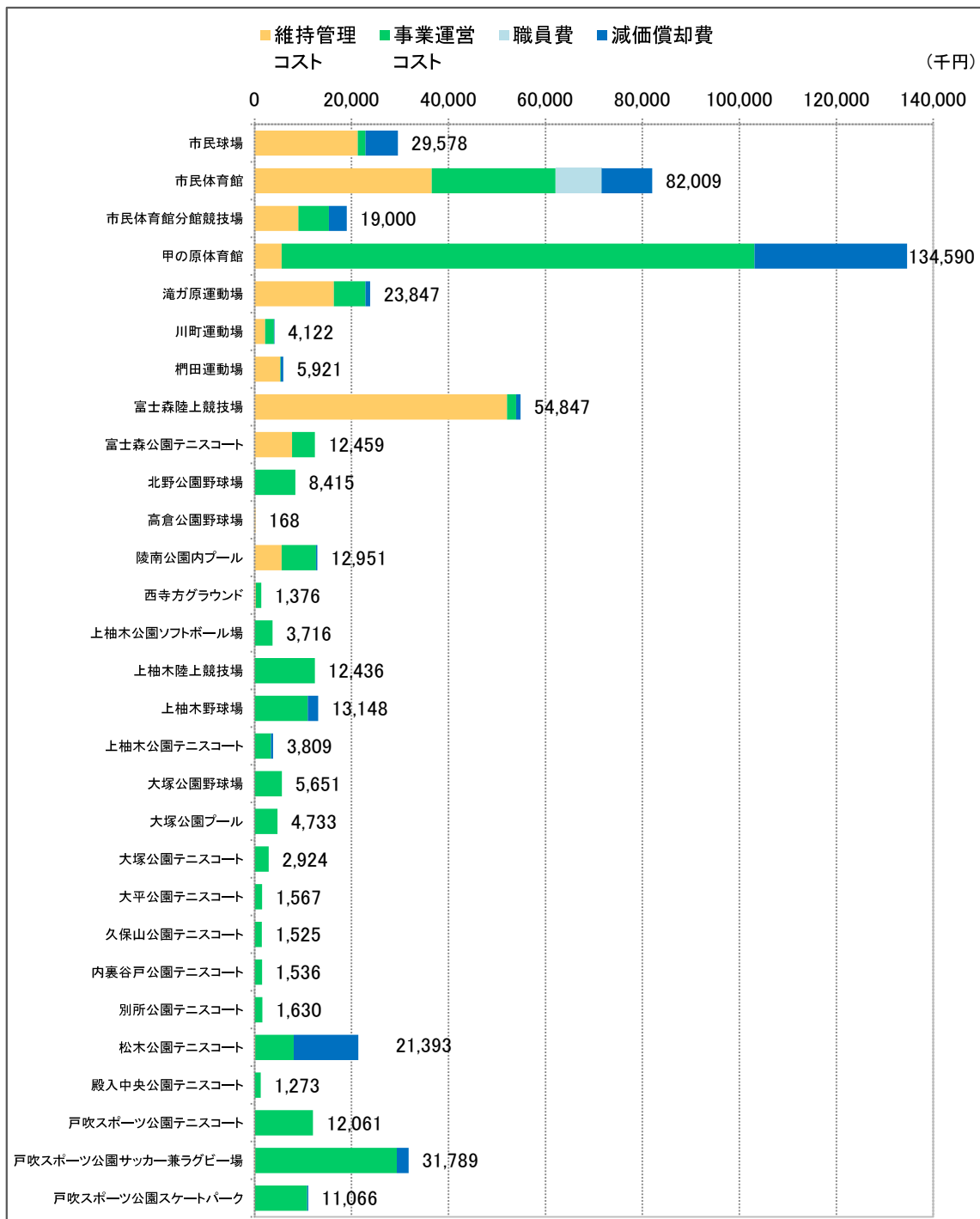
なお、甲の原体育館の総コストには、併設の室内プールにかかるコストと減価償却費が含まれているため、他の体育館より高くなっています。



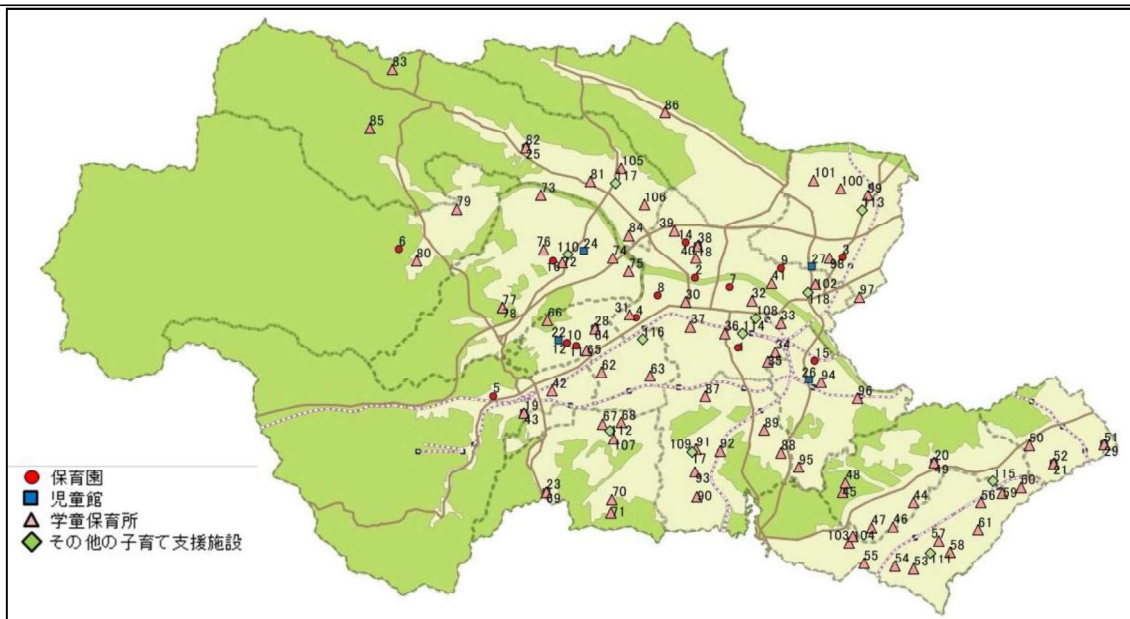
市民球場



上柚木公園陸上競技場



(11) 子育て支援施設



ア 保育園

(ア) 概要

市内には、認可保育所が89園（市立16園、私立73園（76か所））、認証保育所が12園ありますが、本章では市立保育所16園を対象とします。

なお、市立保育所16園のうち6園には、指定管理者制度を導入しています。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	年間利用者数(人)	延床面積(㎡)	利用者1人当たりコスト(円)	延床1㎡当たりコスト(円)
1	子安保育園	-	-	-	昭和48年3月	1248	905	136,808	188,733
2	中野保育園	-	○	-	昭和51年2月	915	527	129,071	224,166
3	石川保育園	-	○	-	昭和46年1月	992	409	124,621	301,905
4	千人保育園	-	-	-	昭和49年3月	1194	554	134,925	290,978
5	高尾保育園	-	-	-	昭和52年3月	1088	604	155,806	280,876
6	恩方保育園	-	-	-	昭和50年3月	1110	540	143,723	295,431
7	静教保育園	-	○	-	昭和47年3月	838	385	131,854	287,281
8	多賀保育園	-	○	-	昭和48年2月	1019	492	101,265	209,627
9	富士見台保育園	-	-	-	昭和49年3月	782	504	179,525	278,770
10	長房中央保育園	○	-	○	平成13年4月	1206	706	162,401	277,554
11	長房南保育園	○	○	○	昭和49年4月	934	506	111,117	205,252
12	長房西保育園	○	○	○	平成16年4月	1200	694	139,138	240,606
13・14	津久田保育園1号館・2号館	○	-	○	昭和43年6月	1145	650	147,851	260,445
15	北野保育園	-	-	-	昭和46年3月	1206	492	133,652	327,664
16	元八王子保育園	-	-	-	昭和50年3月	1209	540	127,875	286,299
17	みなみ野保育園	○	-	-	平成9年3月	1303	683	152,222	290,552
平均						1,087	574	138,241	265,384

(イ) 建物の状況

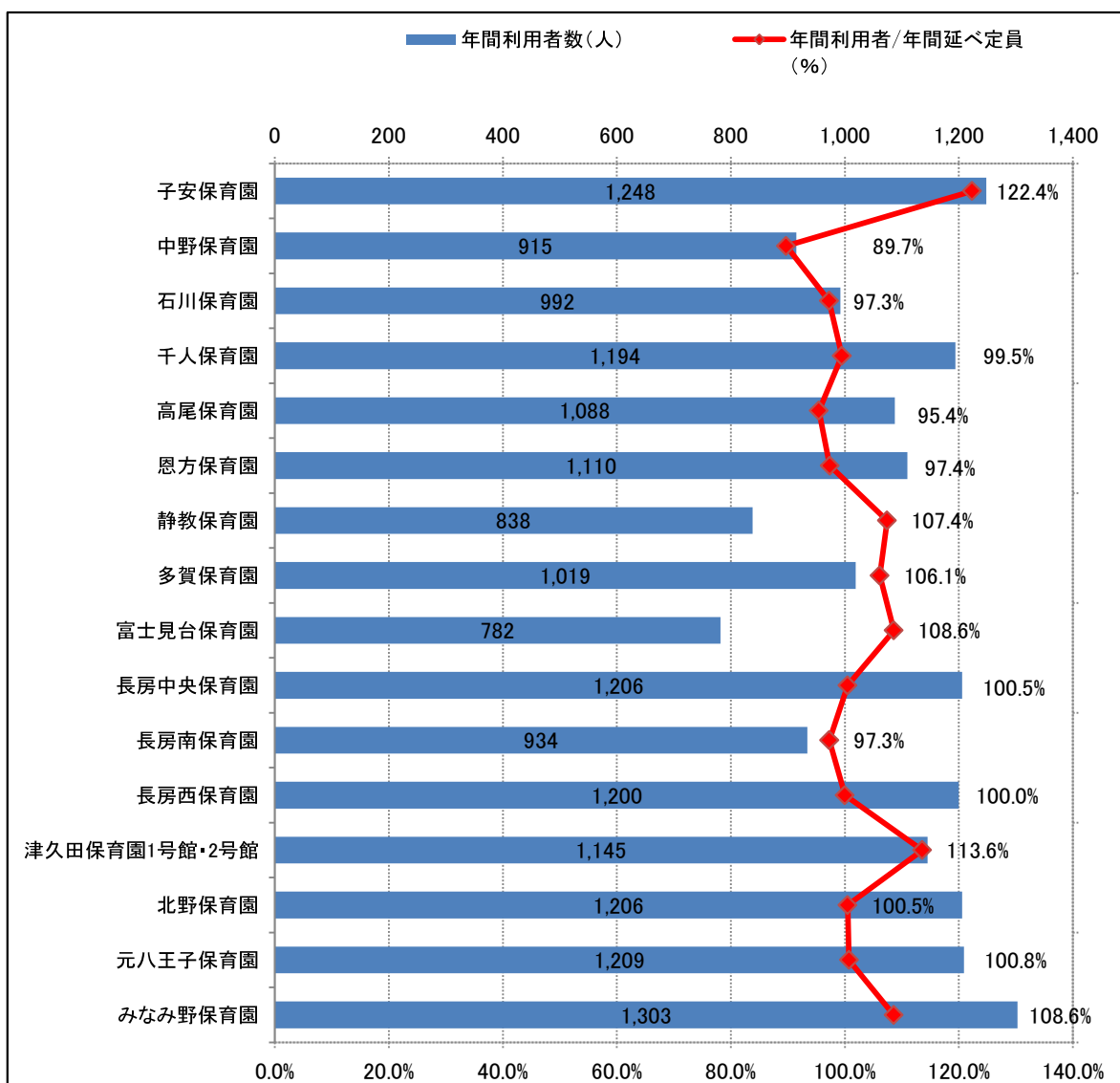
市立保育所は、16園のうち8園（津久田保育園1号館・2号館は、平成27年7月に建て替え、津久田保育園として1館で開園しました。）が昭和40年代の建築で、築40年以上が経過しています。

平成に入って建築した保育所は、全て複合施設となっており、みなみ野保育園

(平成9年3月建築)は地域子ども家庭支援センターを併設しており、長房中央保育園(平成13年4月建築)及び長房西保育園(平成16年4月)は、都営住宅と併設しています。

(ウ) 利用状況

保育所の定員に対する入所園児数は、全ての保育所で90%以上となっており、うち6園で100%を超えている状況となっています。

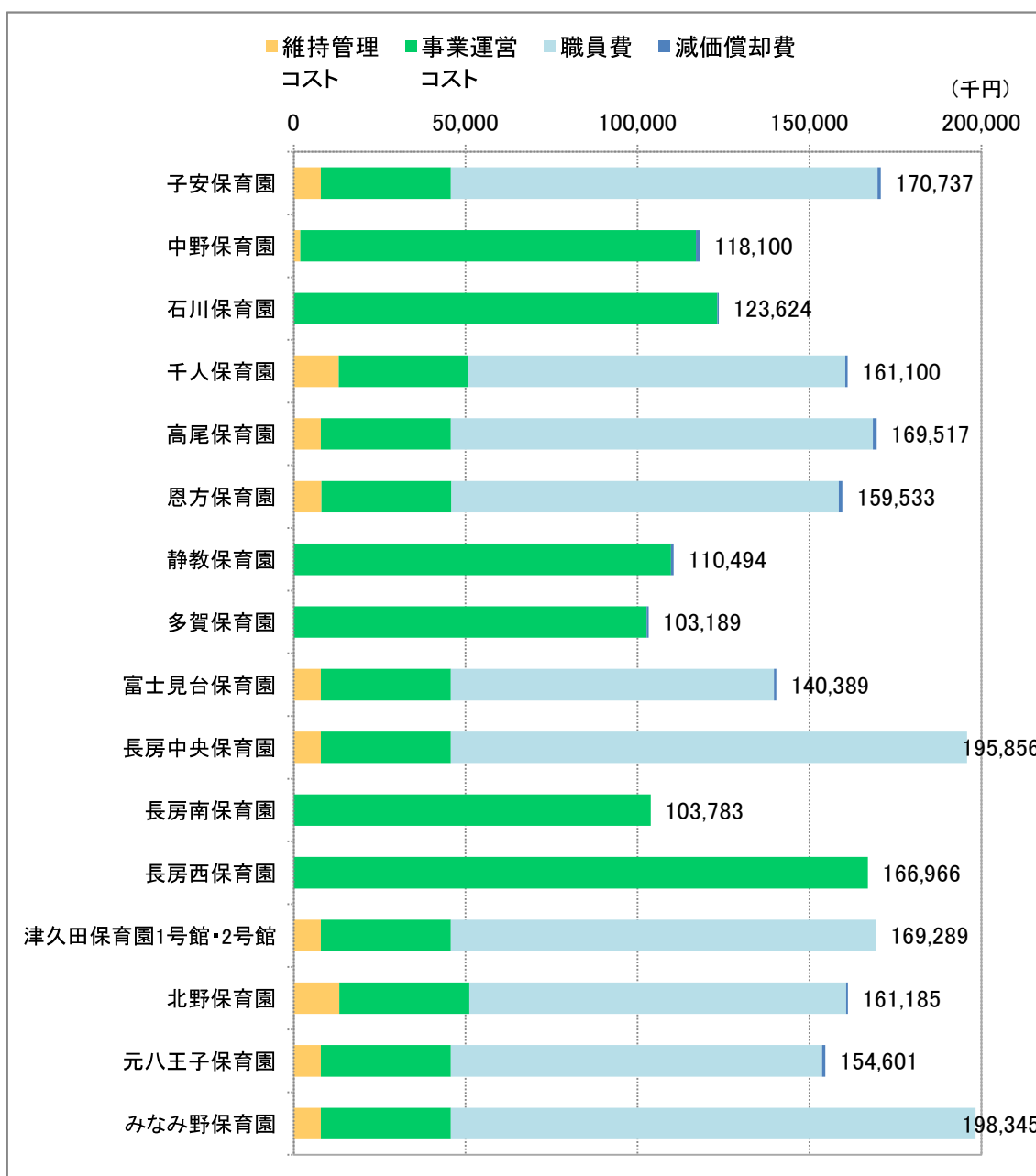


(エ) 施設コスト

市立保育園の総コストは、指定管理者制度を導入している園が低い傾向にあります。指定管理者制度を導入している園(6園)の利用者1人当たりコストは、101,265円(多賀保育園)～139,138円(長房西保育園)となっており、平均は

122,844 円です。その他の園（市の直営 10 園）の利用者 1 人当たりコストは、127,875 円（元八王子保育園）～179,525 円（富士見台保育園）となっており、平均は 147,479 円です。

1 m²当たりのコストは、指定管理者制度を導入している園が 205,252 円（長房南保育園）～301,905 円（石川保育園）、その他の園が 188,733 円（子安保育園）～327,664 円（北野保育園）となっています。



イ 児童館

(ア) 概要

児童館は、心身ともに健康な児童の育成を図るため、文化・スポーツ・創作行事等を行う施設で、12 か所あります。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	年間利用者数(人)	延床面積(㎡)	利用者1人当たりコスト(円)	延床1㎡当たりコスト(円)
18	中野児童館	○	-	-	昭和49年3月	19,957	412	1,483	71,902
19	浅川児童館	○	-	-	昭和54年3月	26,351	437	1,475	88,955
20	由木児童館	○	-	-	昭和50年3月	27,616	454	1,084	65,940
21	松が谷児童館	○	-	-	昭和56年3月	26,500	404	989	64,838
22	中郷児童館	-	-	-	昭和51年3月	16,990	432	1,848	72,671
23	館ヶ丘児童館	○	-	-	昭和56年3月	11,667	447	2,451	63,943
24	元八王子児童館	-	-	-	昭和48年3月	27,477	374	1,069	78,519
25	川口児童館	○	-	-	昭和50年3月	25,472	438	1,169	68,053
26	北野児童館	-	-	-	昭和50年3月	34,272	384	989	88,187
27	南大谷児童館	-	-	-	昭和48年3月	21,316	385	1,303	72,128
28	中郷児童館長房分館	○	-	-	昭和46年3月	6,051	414	1,052	15,369
29	松が谷児童館鹿島分館	○	-	-	昭和56年3月	13,300	340	483	18,902
平均						21,414	410	1,283	64,117

(イ) 建物の状況

児童館は、昭和46年3月に建築した中郷児童館長房分館が最も古く、最も新しい児童館でも昭和56年3月に建築した松が谷児童館、松が谷児童館鹿島分館、館ヶ丘児童館の3館となっているため、12館全てが建築から34年以上経過しています。また、中郷児童館、元八王子児童館、北野児童館、南大谷児童館を除く8館は、学童保育所を併設した複合施設となっています。

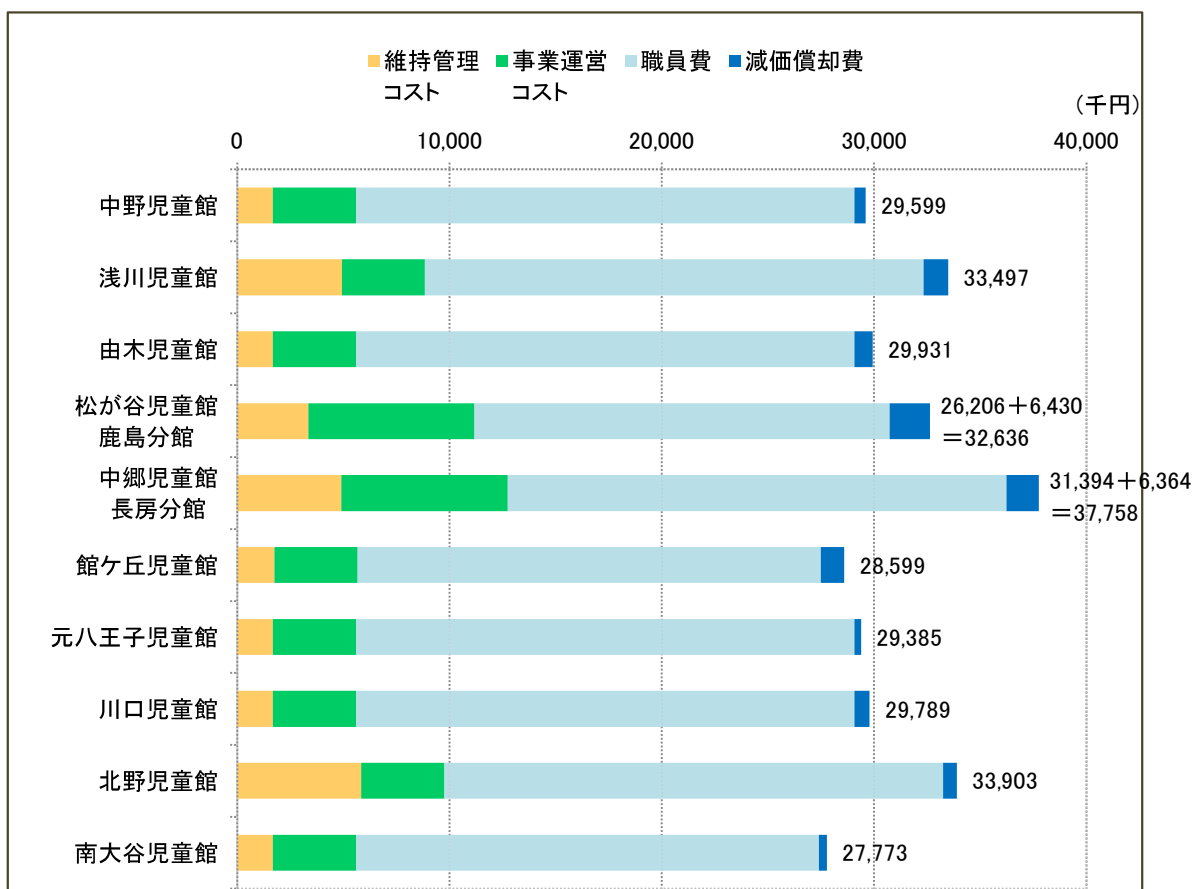
(ウ) 利用状況

児童館の平成25年度の開館日数は306日(分館は294日)、延利用者数は256,969人で、1日当たりの平均利用者数は842人です。年間利用者数が最も多いのは北野児童館の34,272人で、最も少ないのは、中郷児童館長房分館の6,051人となっています。

(エ) 施設コスト

児童館のコストは、年間利用者数や建物の延床面積にかかわらず、各館とも概ね3,000万円程度となっています(中郷児童館長房分館と松が谷児童館鹿島分館は、次頁の表では本館と合算しています。)。各館共通して総コストに占める職員費の割合が高くなっています。

児童館の利用者1人当たりコストは、483円(松が谷児童館鹿島分館)～2,451円(館ヶ丘児童館)となっており、平均は1,283円です。1㎡当たりコストは、15,369円(中郷児童館長房分館)～88,955円(浅川児童館)で、平均は64,117円です。



ウ 学童保育所

(ア) 概要

労働等により昼間家庭に保護者がいない児童(小学校 1～3 年生)に対し、放課後等に適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成と保護者の支援を図るための施設として、78 か所設置しています。

なお、全ての学童保育所に指定管理者制度を導入しています。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	設置形態	年間利用者数(人)	延床面積(㎡)	利用者1人当たりコスト(円)	延床1㎡当たりコスト(円)
30	八木町学童保育所	-	○	-	学校余裕教室	13,752	154	1,933	172,616
31	千人町学童保育所	-	○	-	小学校内	17,695	139	2,133	270,953
32	第一小学学童保育所	-	○	○	学校外施設	7,792	104	2,638	197,171
33	第四小学学童保育所	-	○	-	小学校内	14,222	142	1,806	180,942
34	子安学童保育所第一クラブ	-	○	○	学校外施設	8,605	114	1,700	128,354
35	子安学童保育所第二クラブ	-	○	-	学校敷地内施設	12,385	119	1,876	194,884
36	寺町学童保育所	-	○	-	小学校内	22,647	201	1,412	159,013
37	台町学童保育所	-	○	-	小学校内	23,612	214	1,813	200,193
38	中野学童保育所	-	○	-	児童館併設	7,666	412	1,797	33,456
39	清水小学学童保育所	-	○	-	学校余裕教室	16,354	158	1,633	169,576
40	第九小学学童保育所	-	○	-	学校余裕教室	14,225	112	1,387	176,207
41	第十小学学童保育所	-	○	-	学校余裕教室	25,760	192	1,529	205,087
42	東浅川小学学童保育所	-	○	-	小学校内	11,771	119	1,782	175,912
43	浅川学童保育所	-	○	-	児童館併設	20,434	503	1,512	61,464
44	下柚木学童保育所	-	○	○	学校外施設	13,132	191	1,618	111,513
45	由木西小学学童保育所	-	○	-	学校余裕教室	2,657	63	4,696	198,050
46	あたご学童保育所	-	○	○	学校外施設	9,284	160	2,193	127,271
47	上柚木小学学童保育所	-	○	-	学校余裕教室	11,004	128	1,879	161,499
48	中山小学学童保育所	-	○	-	小学校内	3,507	82	4,096	175,498
49	由木学童保育所	-	○	-	児童館併設	20,500	454	1,251	56,504
50	由木東小学学童保育所	-	○	-	小学校内	15,483	119	1,893	245,860
51	鹿島学童保育所	-	○	-	児童館併設	8,674	350	1,915	47,504
52	松が谷学童保育所	-	○	-	児童館併設	12,389	194	2,114	135,031
53	南大沢学童保育所	-	○	○	学校外施設	14,728	214	1,568	107,824
54	南大沢西学童保育所	-	○	-	小学校内	4,063	99	3,751	153,381
55	宮上学童保育所	-	○	○	学校外施設	10,015	150	2,197	146,535
56	まつぎ学童保育所	-	○	○	学校外施設	17,294	151	1,380	158,574
57	長池学童保育所第一クラブ	-	○	○	学校外施設	10,476	211	2,455	121,912
58	長池学童保育所第二クラブ	-	○	-	学校敷地内施設	11,718	119	1,976	194,162
59	秋葉台学童保育所第一クラブ	-	○	○	学校外施設	7,076	121	2,273	133,225
60	秋葉台学童保育所第二クラブ	-	○	-	小学校内	14,343	132	1,476	159,742
61	別所学童保育所	-	○	○	学校外施設	12,938	146	1,657	146,846
62	散田小学学童保育所	-	○	-	学校余裕教室	16,861	161	1,611	168,762
63	山田小学学童保育所	-	○	-	小学校内	16,354	179	1,549	141,626
64	長房学童保育所	-	○	-	児童館併設	5,485	414	2,966	39,291
65	横山学童保育所	-	○	-	学校外施設	12,251	190	2,169	139,884
66	船田小学学童保育所	-	○	-	学校余裕教室	12,628	168	1,850	139,069
67	梶田小学学童保育所第一第二クラブ	-	○	-	学校余裕教室	14,704	126	1,651	192,692
68	梶田小学学童保育所第三クラブ	-	○	○	学校外施設	3,034	86	3,497	123,131
69	館ヶ丘学童保育所	-	○	-	児童館併設	6,102	447	2,739	37,367
70	寺田学童保育所第一クラブ	-	○	○	学校外施設	3,063	182	5,362	90,320
71	寺田学童保育所第二クラブ	-	○	-	小学校内	14,327	132	1,490	161,072
72	元八王子学童保育所	-	○	-	小学校内	18,513	179	1,784	184,609
73	上巻分方学童保育所	-	○	-	学校余裕教室	17,887	174	1,693	174,047
74	元八王子東小学学童保育所	-	○	-	学校余裕教室	12,677	112	1,520	172,062
75	横川学童保育所	-	○	-	学校外施設	13,611	119	1,604	183,128
76	式分方小学学童保育所	-	○	-	学校余裕教室	12,553	128	1,984	194,563
77	城山学童保育所第一クラブ	-	○	○	学校外施設	7,856	106	2,203	163,268
78	城山学童保育所第二クラブ	-	○	-	学校余裕教室	7,464	74	1,828	183,768
79	恩方東学童保育所	-	○	-	学校外施設	11,205	129	2,108	182,853
80	恩方西学童保育所	-	○	-	小学校内	15,402	178	2,101	182,239
81	からまつ学童保育所	-	○	○	学校外施設	11,871	131	1,792	162,245
82	川口学童保育所	-	○	-	児童館併設	15,080	438	1,664	57,340
83	上川口小学学童保育所	-	○	-	学校余裕教室	1,608	63	5,677	144,902
84	檜原小学学童保育所	-	○	-	学校余裕教室	11,218	126	1,658	147,647
85	美山小学学童保育所	-	○	-	小学校内	3,309	88	4,154	156,601

86	加住小学児童保育所	○	○	-	学校外施設	12,890	514	2,081	52,221
87	由井学童保育所	-	○	-	小学校内	11,770	228	2,487	128,538
88	片倉台学童保育所	-	○	-	学校余裕教室	8,225	95	2,183	190,027
89	由井かたくら学童保育所	-	○	-	学校外施設	11,493	106	2,707	293,586
90	七国小学児童保育所	-	○	-	学校外施設	21,213	192	1,528	168,757
91	みなみ野学童保育所第一クラブ	-	○	-	学校外施設	13,876	131	1,619	171,216
92	みなみ野学童保育所第二クラブ	-	○	○	学校外施設	5,129	93	3,258	180,046
93	みなみ野君田小学児童保育所	-	○	-	小学校内	17,275	161	1,526	163,225
94	北野学童保育所	-	○	-	小学校内	22,557	216	1,309	136,471
95	高嶺小学児童保育所	-	○	-	学校余裕教室	9,640	126	1,782	136,337
96	長沼学童保育所	-	○	-	学校余裕教室	14,180	112	1,841	233,105
97	高倉小学児童保育所	-	○	-	小学校内	13,549	119	1,660	188,670
98	石川学童保育所	-	○	○	学校外施設	12,322	195	1,715	108,133
99	小宮小学児童保育所	-	○	-	小学校内	21,352	196	1,223	133,090
100	久保山学童保育所第一第二クラブ	-	○	○	学校外施設	15,633	142	1,912	210,286
101	久保山学童保育所第三クラブ	-	○	-	学校余裕教室	7,653	64	2,309	276,158
102	大和田小学児童保育所	-	○	-	学校余裕教室	12,828	145	1,967	173,579
103	鍵水小学児童保育所第一クラブ	-	○	-	小学校内	12,217	134	1,411	128,396
104	鍵水小学児童保育所第二クラブ	-	○	○	学校外施設	6,779	234	2,332	67,546
105	つくみ学童保育所第一第二クラブ	-	○	-	学校外施設	17,751	128	1,637	227,938
106	つくみ学童保育所第三クラブ	-	○	○	学校外施設	539	37	5,659	82,011
107	横山第一小学児童保育所	-	○	-	小学校内	12,678	259	2,366	115,788
平均						12,344	173	2,160	153,774

(イ) 建物の状況

学童保育所は、設置形態にもよりますが、多くは平成 10 年以降に建築した比較的新しい施設です。

設置形態は、小学校の敷地内に設置しているものが 23 か所、小学校の余裕教室を利用して設置しているものが 20 か所、学校外に設置しているもの又は都営住宅等の建物を利用して設置しているものが 27 か所、児童館と併設しているものが 8 か所となっています。

(ウ) 利用状況

年間延利用者数は、年度中に開設したつくみ学童保育所第三クラブを除くと、1,608 人（上川口小学児童保育所）～25,760 人（第十小学児童保育所）となっており、平均は 12,344 人です。なお、2 万人を超える施設が 8 か所あります。

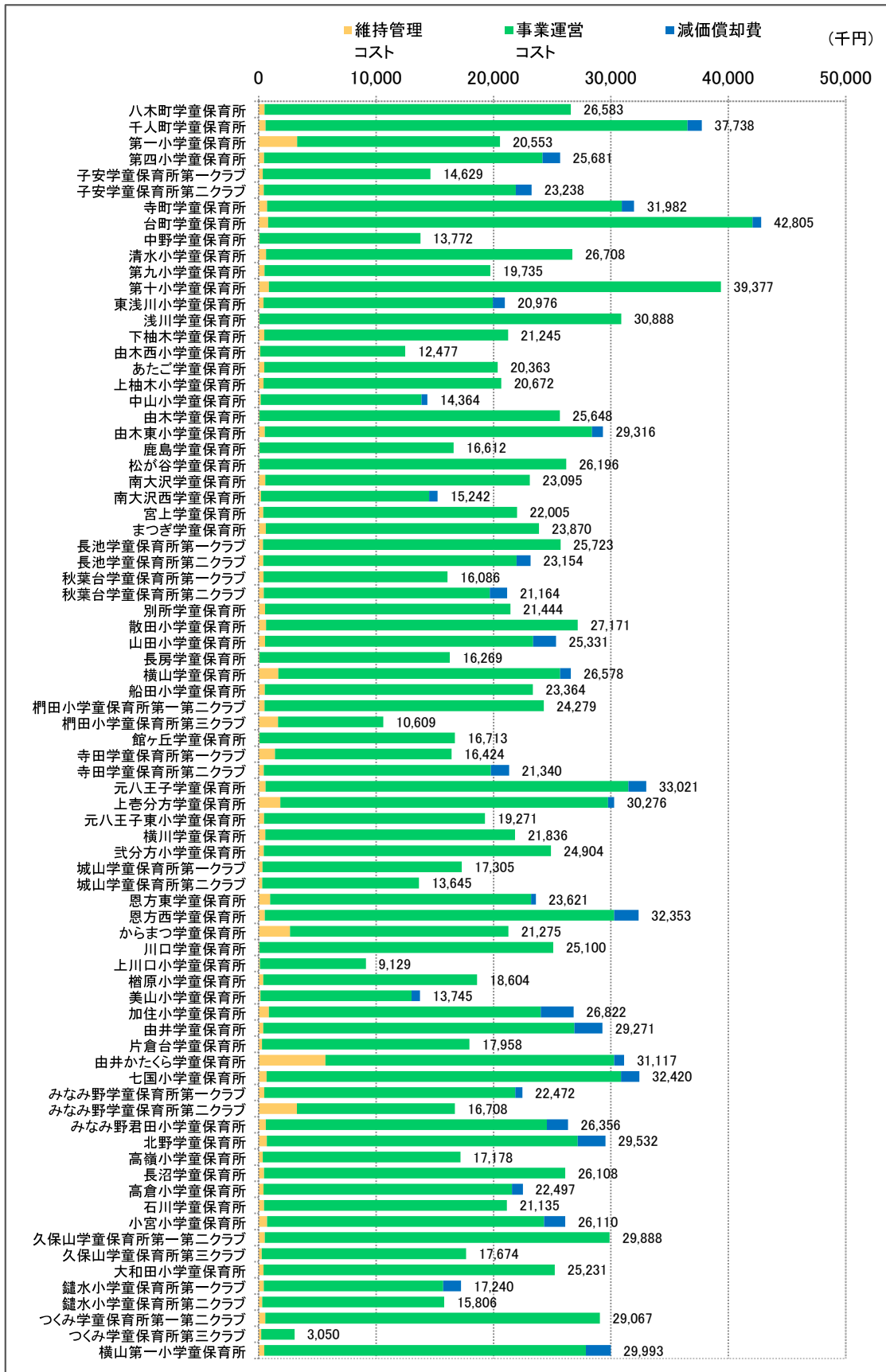
(エ) 施設コスト

総コストに占める事業運営コストの割合が最も高くなっています。施設ごとの総コストは、年度途中に開設したつくみ学童保育所第三クラブを除くと、913 万円（上川口小学児童保育所）～4,281 万円（台町学童保育所）となっており、平均は 2,307 万円です。

また、総コストが 3,000 万円以上の施設が 10 施設あり、学校の敷地内に設置しているものが 5 施設、学校の余裕教室を利用して設置しているものが 2 施設、学校外に設置しているものが 2 施設、児童館と併設しているものが 1 施設となっています。

利用者 1 人当たりコストは、1,223 円（小宮小学児童保育所）～5,677 円（上川口小学児童保育所）で、平均は 2,160 円となっています。

1 m²当たりコストは、33,456 円（中野学童保育所）～293,586 円（由井かたくら学童保育所）で、平均は 153,774 円となっています。



エ その他の子育て支援施設

(ア) 概要

子どもと家庭に関する総合相談などをはじめ、総合的な子育て支援を行い、親子ふれあい広場を併設する子ども家庭支援センターが1館、地域子ども家庭支援センターが5館、3歳未満の乳幼児と保護者が集い、交流できる親子つどいの広場が5か所あります。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	年間利用者数(人)	延床面積(㎡)	利用者1人当たりコスト(円)	延床1㎡当たりコスト(円)
108	子ども家庭支援センター	○	-	-	平成11年3月	24,738	313	3,775	298,792
109	地域子ども家庭支援センターみなみ野	○	-	-	平成9年3月	26,550	542	1,835	89,985
110	地域子ども家庭支援センター元八王子	○	-	-	昭和51年8月	12,836	104	2,812	348,170
111	地域子ども家庭支援センター南大沢	-	-	-	昭和57年3月	20,863	384	2,561	139,111
112	地域子ども家庭支援センター館	○	-	-	昭和53年3月	13,367	160	2,645	220,729
113	地域子ども家庭支援センター石川	○	-	-	昭和50年3月	10,428	211	3,430	169,569
114	親子つどいの広場ゆめきっず	○	-	○	昭和58年11月	29,278	171	743	127,362
115	親子つどいの広場堀之内	○	-	○	平成7年6月	12,075	100	1,193	143,471
116	親子つどいの広場西八王子	○	-	○	昭和55年11月	9,382	182	1,432	74,001
117	親子つどいの広場檜原	○	-	○	昭和56年9月	5,159	112	2,702	124,760
118	親子つどいの広場大和田	○	-	○	平成2年12月	8,210	182	1,713	77,430

(イ) 建物の状況

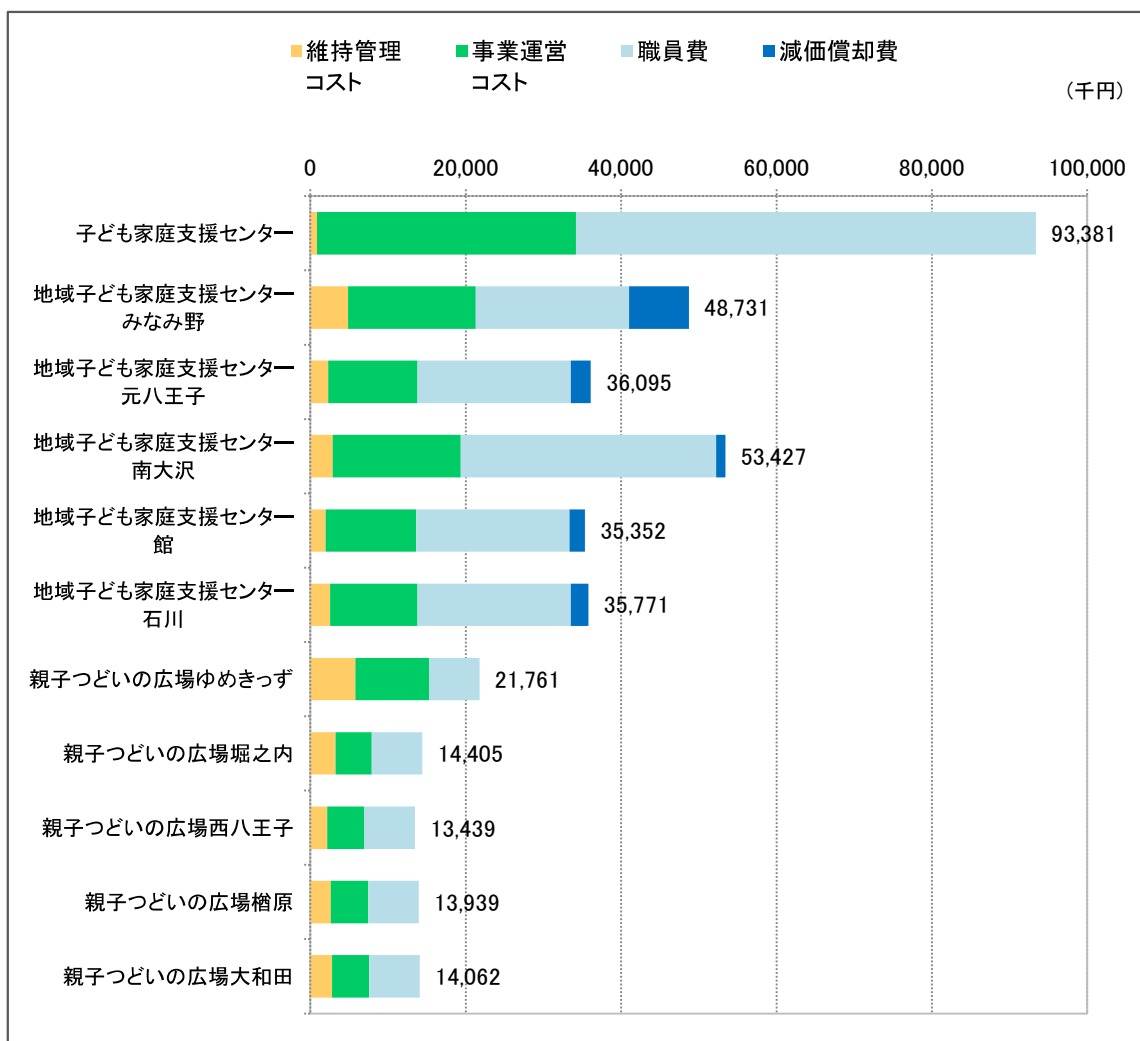
子ども家庭支援センターは、生涯学習センター（クリエイトホール）の地下1階に、地域子ども家庭支援センター元八王子、館、石川は、市民集会所の一部を転用して設置しています。地域子ども家庭支援センターみなみ野は、保育園と併設しています。また、地域子ども家庭支援センター南大沢は、平成26年7月に地域包括支援センター（高齢者あんしん相談センター）と共に旧南大沢保健福祉センター分室へ移転するなど、いずれの施設も既存施設を活用して運営しています。また、親子つどいの広場は、民間建物の一部を借り上げて設置しています。

(ウ) 利用状況

子ども家庭支援センターと地域子ども家庭支援センター5館（みなみ野、元八王子、南大沢、館、石川）で行った総合相談件数は27,658件、親子ふれあい広場を利用した親子は81,124人、子育て学習会を1,041回開催し、参加人数は21,657人でした。また、親子つどいの広場の延利用者数は、5,159人（檜原）～29,278人（ゆめきっず）で、5施設合計では64,104人です。

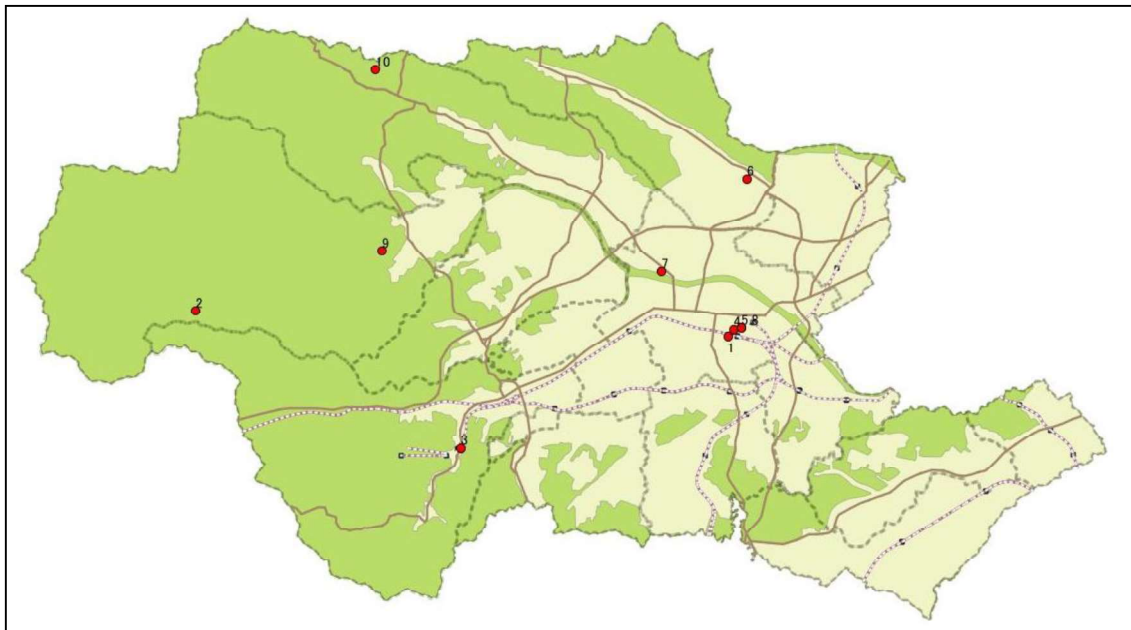
(エ) 施設コスト

子ども家庭支援センターは、総合相談や子育て学習会等のほか、支援センター全体の運営に関する企画立案や総合調整を行う役割を担っているため、事業運営コストと職員費が他の地域子ども家庭支援センターより高く、総コストは9,338万円となっています。また、市民集会所の一部を転用して設置した地域子ども家庭支援センター元八王子、館、石川の総コストは、ほぼ同額となっています。



地域子ども家庭支援センター館

(12) 産業振興施設



ア 観光施設

(ア) 概要

市内の魅力ある観光地の案内や物産品の紹介等を行う施設として、ＪＲ八王子駅北口に「八王子インフォメーションセンター」を設置しています。

「夕やけ小やけふれあいの里」は、田植えや稲刈りなどの体験やレクリエーション活動も楽しめる施設となっており、童謡『夕焼小焼』の作詞家・中村雨紅の資料や地元出身の写真家・前田真三の作品の展示、レストラン、宿泊施設、キャンプ場も併設しており、指定管理者制度を導入しています。

高尾山は、ミシュランの三ツ星に選ばれた観光地で、四季折々の美しい自然や変化に富んだ６つのハイキングコースがあり、多くの観光客が訪れる場所となっています。最寄駅である京王線高尾山口駅前に高尾山麓駐車場の管理施設がありますので、ここでは同駐車場の利用状況やコストについて掲載します。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	年間利用者数(人)	延床面積(㎡)	利用者1人当たりコスト(円)	延床1㎡当たりコスト(円)
1	八王子インフォメーションセンター	-	-	-	平成24年10月	180,301	8	74	1,634,955
2	夕やけ小やけふれあいの里	-	○	-	平成7年11月	99,748	6,357	1,501	23,560
3	高尾山麓駐車場	-	-	-	昭和61年3月	66,876 台	100	566	-

(イ) 建物の状況

夕やけ小やけふれあいの里は、平成7年11月に建築した施設で、宿泊施設(1・2階に和室が9室、3階に大浴場)、食堂施設、展示施設、農産物直売所等があります。

八王子インフォメーションセンターは、観光案内所として平成24年10月にＪ

R 八王子駅北口に設置した新しい施設です。

高尾山麓駐車場には、管理事務所とトイレ施設があり、昭和 61 年 3 月の建築から 29 年が経過しています。

(ウ) 利用状況

タやけ小やけふれあいの里の年間利用者数は、99,748 人となっており、うち宿泊施設（「おおりの家」）の利用者数は、宿泊が 8,981 人、日帰り入浴が 5,829 人です。季節ごとのイベントでは、11 月末から 12 月下旬にかけて実施するクリスマスイルミネーションに 1 万人近い来場者があります。

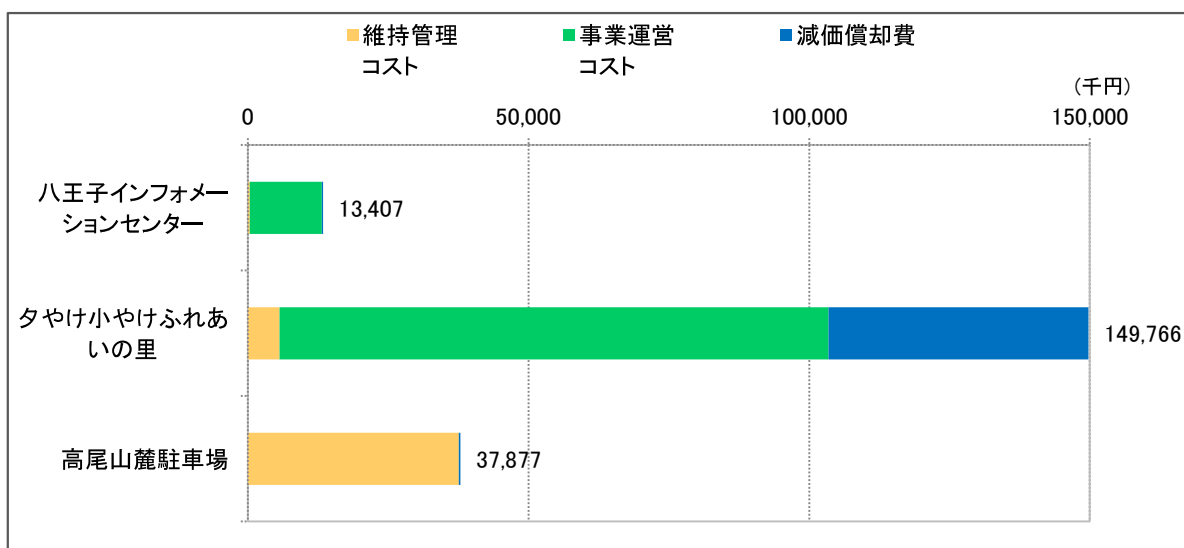
八王子インフォメーションセンターの年間利用者数は、180,301 人（一日平均 494 人）で、駅前という立地もあり、多くの方に利用されています。

高尾山麓駐車場の駐車利用台数は、年間 66,876 台（大型自動車 1,655 台、普通自動車 65,221 台）となっています。

(エ) 施設コスト

タやけ小やけふれあいの里の利用者 1 人当たりコストは 1,501 円、1 m²当たりコストは 23,560 円となっています。八王子インフォメーションセンターの利用者 1 人当たりコストは 74 円ですが、1 m²当たりコストは、延床面積が 8 m²ということもあり 1,634,955 円と高くなっています。

タやけ小やけふれあいの里は、事業運営コストのほとんどが指定管理料です。



イ 産業振興施設

(ア) 概要

先端的な技術開発を支援するための施設として、情報発信や産産・産学の交流の場である「先端技術開発・交流センター（開発交流プラザ）」や産産・産学連携の共同研究開発の場である「先端技術共同研究センター（ものづくりセンター）」があります。農業振興の拠点として、地場農産物等の販売や地元食材が味わえるフードコートを設置している道の駅「八王子滝山」があり、指定管理者制度を導入しています。

ハローワーク八王子と共同運営により職業相談等を行う「八王子しごと情報館」、中心市街地の活性化やまちづくり活動支援のための施設として「中心市街地活性化交流スペース」があります。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	年間利用者数(人)	延床面積(㎡)	利用者1人当たりコスト(円)	延床1㎡当たりコスト(円)
4	中心市街地活性化交流スペース	○	-	○	平成15年3月	-	40	-	27,482
5	八王子しごと情報館	○	-	○	平成4年2月	28,917	53	355	193,585
6	道の駅「八王子滝山」	-	○	-	平成19年3月	997,448	1,322	11	8,338
7	先端技術共同研究センター	-	-	○	昭和63年7月	-	296	-	21,030
8	先端技術開発・交流センター	○	-	○	平成4年2月	2,982	220	6,689	90,869

(イ) 建物の状況

道の駅「八王子滝山」を除く施設は、民間施設の一部を借り上げて設置しています。また、道の駅「八王子滝山」と先端技術共同研究センター（ものづくりセンター）を除く施設は、複合施設となっています。

(ウ) 利用状況

平成19年に東京都初の道の駅として開駅した道の駅「八王子滝山」は、年間利用者数が100万人近い人気の施設です。交流ホールや会議室を併設しており（年間利用件数454件）、地域の交流の場としても利用されています。

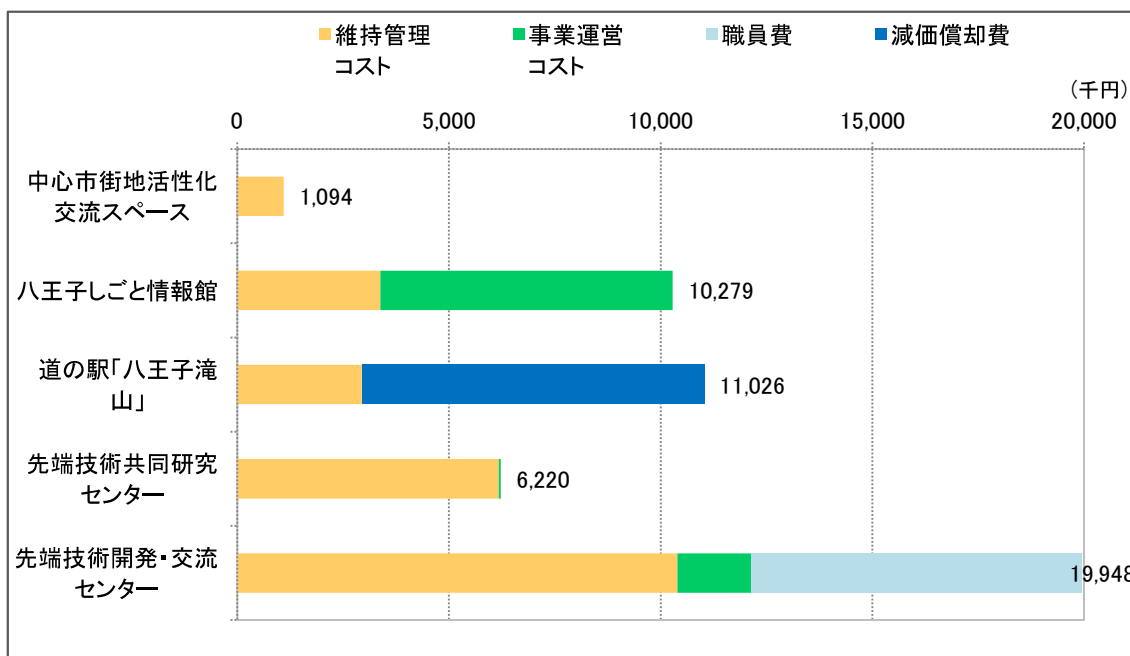
八王子しごと情報館の年間利用者数は28,917人、先端技術開発・交流センターの年間利用者数は2,982人となっており、先端技術共同研究センターには3社の企業が入居し、先端技術を応用した新製品や技術開発を進めています。

(エ) 施設コスト

施設の性質が異なるため一概に比較はできませんが、総コストが1,000万円を超える施設をみると、八王子しごと情報館のコストの内訳は、事業運営コストが690万円、維持管理コストが338万円で、1㎡当たりコストは193,585円と最も高くなっています。

道の駅「八王子滝山」は、市所有施設のため、808万円の減価償却費が総コストの70%以上を占めており、1㎡当たりコストは8,338円となっています。また、指定管理者収支差額の一部を分配金として収入し、将来の施設修繕のため公共施設整備基金に積み立てています。

先端技術開発・交流センターは、総コストが2,000万円近くかかっていますが、維持管理コストの1,039万円と職員費の779万円を合わせたコストが、総コストの約90%を占めています。1㎡当たりコストは、90,869円となっています。



ウ 農林業施設

(ア) 概要

農業者の生活改善や健康増進を図る施設として、また地域住民の活動の場として、2つの農村環境改善センターがあり、指定管理者制度が導入されています。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	年間利用者数(人)	延床面積(㎡)	利用者1人当たりコスト(円)	延床1㎡当たりコスト(円)
9	恩方農村環境改善センター	-	○	-	昭和55年3月	11,935	562	540	11,473
10	上川農村環境改善センター	-	○	-	昭和52年12月	9,919	608	799	13,043

(イ) 建物の状況

恩方農村環境改善センターは昭和55年3月に、上川農村環境改善センターは昭和52年12月に建築し、それぞれ35年、37年が経過しています。

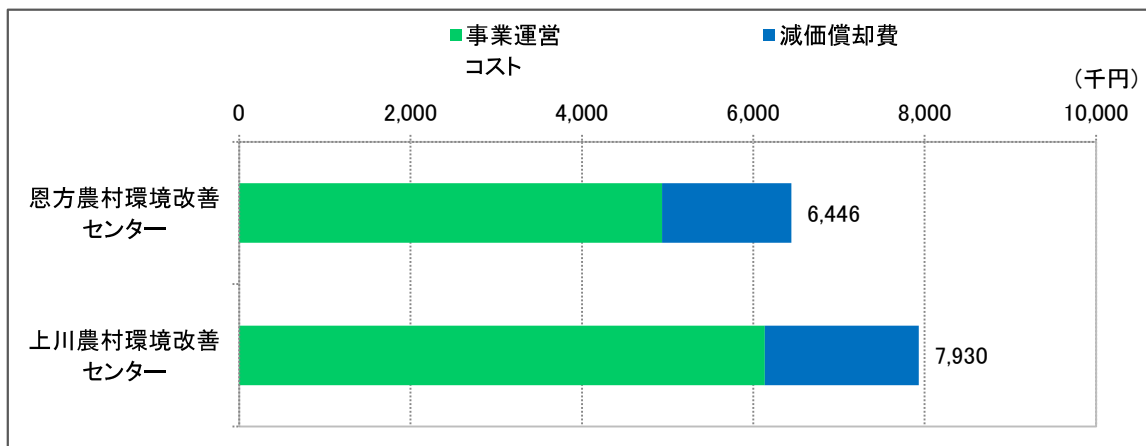
(ウ) 利用状況

年間利用者数は、恩方農村環境改善センターが11,935人、上川農村環境改善センターが9,919人となっています。利用者の約70%が多目的ホールを利用しています。

(エ) 施設コスト

施設の総コストは、事業運営コストと減価償却費です。総コストの75%以上を事業運営コストが占めており、全て指定管理料です。

恩方環境改善センターの利用者 1 人当たりコストは 540 円、1 m²当たりコストは 11,473 円です。上川農村環境改善センターの利用者 1 人当たりコストは 799 円、1 m²当たりコストは 13,043 円となっています。

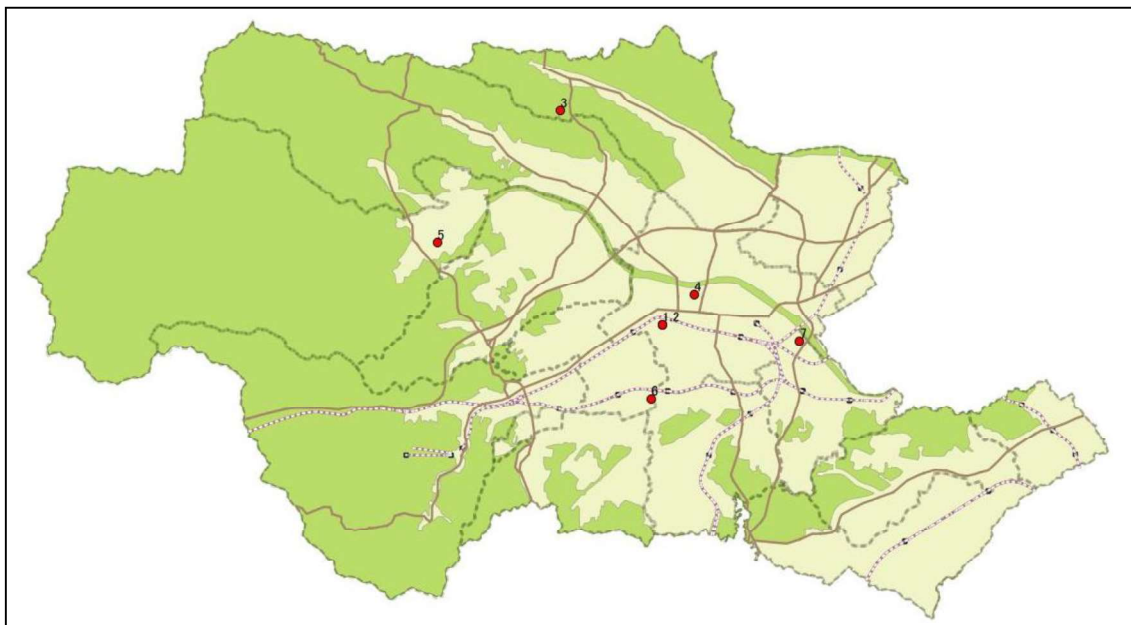


恩方農村環境改善センター

上川農村環境改善センター



(13) 保健衛生施設



ア 保健衛生施設

(ア) 概要

小児・障害メディカルセンターは、都立八王子小児病院の跡地に小児外来診療所と障害者通所施設等を一体的に整備したもので、夜間救急診療所や休日歯科応急診療所を併設しています。

また、清掃工場で燃やすごみの余熱を利用した施設として、日帰り入浴ができる戸吹湯ったり館と、温水プールや浴室、多目的ホール等を備えた北野余熱利用センター（あったかホール）があります。

斎場は、墓地埋葬等に関する法律で定める火葬の執行や葬儀を行う施設です。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	年間利用者数(人)	延床面積(m ²)	利用者1人当たりコスト(円)	延床1m ² 当たりコスト(円)
1	小児・障害メディカルセンター(療育診療棟・小児診療棟)	○	-	-	昭和55年9月	37,277	5,118	1,720	12,526
2	小児・障害メディカルセンター(夜間救急棟)	○	-	-	平成23年3月	6,668	584	23,182	264,633
3	戸吹湯ったり館	-	○	-	平成12年12月	84,026	1,229	758	51,835
4	保健センター	-	-	-	昭和54年3月	12,419	1,290	42,992	413,938
5	保健センター西寺方分室	-	-	-	平成9年4月	-	393	-	3,041
6	斎場	-	-	-	平成2年2月	73,813	3,933	3,187	59,814
7	北野余熱利用センター	-	○	-	平成9年7月	319,577	5,811	691	37,993

(イ) 建物の状況

小児・障害メディカルセンターは、昭和55年9月に建築した旧都立八王子小児病院の建物を利用しており、夜間救急棟は、平成23年3月に建築したものです。

戸吹湯ったり館は、平成12年12月の建築から14年が経過し、北野余熱利用センターは、平成9年7月の建築から18年が経過しています。

昭和54年3月に建築した保健センターは、近隣の福祉センターと合わせて建

て替え、平成 27 年 6 月に大横保健福祉センターとしてオープンしました。

斎場は、平成 2 年 2 月の建築から 25 年が経過しています。

(ウ) 利用状況

小児・障害メディカルセンターは、療育診療及び小児診療の年間利用者数が 37,277 人で、夜間救急の利用者数は 6,668 人となっています。

戸吹湯ったり館の年間利用者数は 84,026 人、北野余熱利用センターの年間利用者数は、温水プールやリサイクルプラザを含めて 319,577 人です。

斎場の火葬執行件数は年間 4,376 件、式場等の施設の利用は年間 819 件で、火葬執行件数は増加傾向にあり、式場の利用率はほぼ 100%に近い状況です。

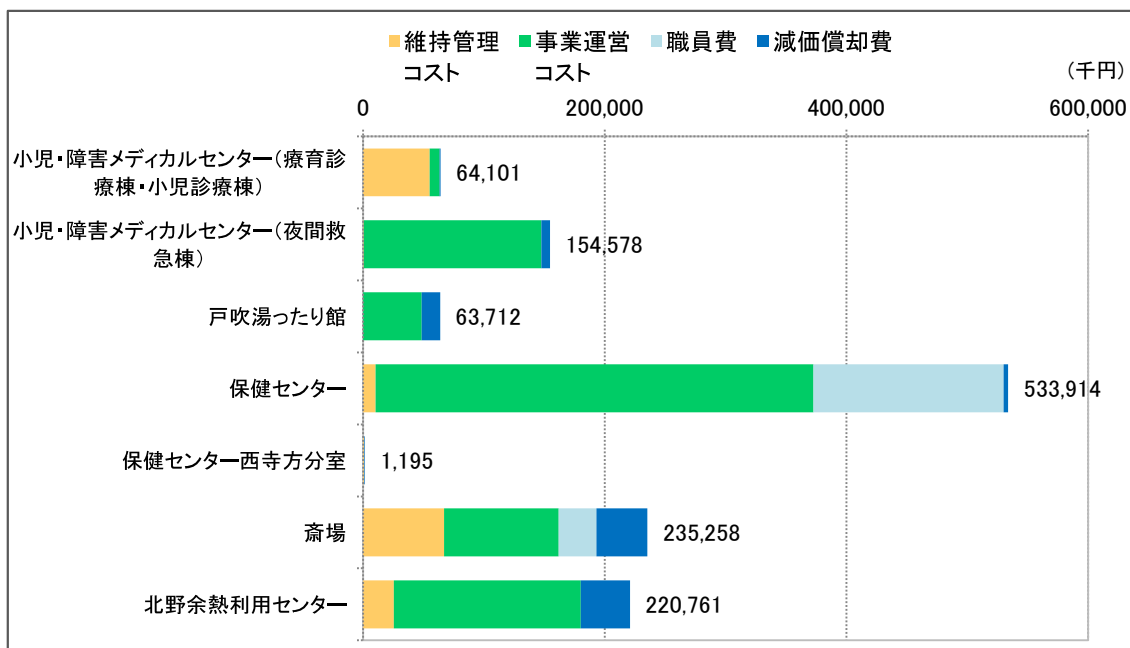
保健センター西寺方分室は、平成 23 年の保健福祉センターのサービス拡充に伴い、現在は利用していません。

(エ) 施設コスト

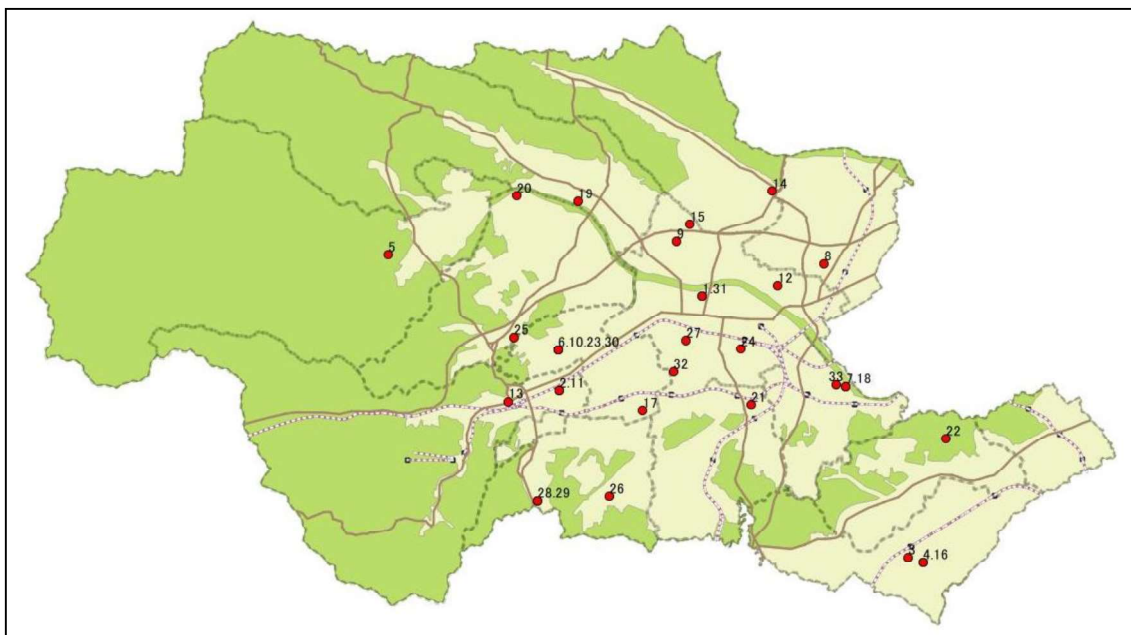
保健衛生施設の中では、保健センターの総コストが最も高く、5 億 3,391 万円となっています。総コストに占める割合は、健診・相談業務等の事業運営コストが約 70%、事業実施に必要な保健師等にかかる職員費が約 30%を占めています。

保健衛生施設は、それぞれの設置目的に沿った事業展開をしていることもあり、事業運営コストの割合が高くなる傾向にあります。

戸吹湯ったり館の利用者 1 人当たりコストは 758 円、北野余熱利用センターの利用者 1 人当たりコストは 691 円となっています。



(14) 福祉施設



ア 高齢者福祉施設

(ア) 概要

高齢者福祉施設として、「地域包括支援センター（高齢者あんしん相談センター）」、「保健福祉センター」、「恩方老人憩の家」、「長房ふれあい館」、「高齢者在宅サービスセンター」、「シルバーふらっと相談室館ヶ丘」などがあります。

地域包括支援センター（高齢者あんしん相談センター）、は高齢者やその家族等を総合的に支援する施設で、市内を 15 の圏域に分けて事業を行っています。

保健福祉センターは、大横町、東浅川町、南大沢二丁目の 3 か所にあり、高齢者等に憩いの場を提供するとともに、生きがいや自立を促進させる各種の事業を実施しています。

恩方老人憩の家は、高齢者のいきいきとした地域生活を支援する施設として、長房ふれあい館は、集会施設と高齢者の娯楽施設を合わせた複合施設として、交流の場を提供しています。

高齢者在宅サービスセンターは、介護保険法に基づく要介護認定又は要支援認定を受けた高齢者等に通所介護等のサービスを提供する施設で、5 か所あります。

シルバーふらっと相談室館ヶ丘は、館ヶ丘団地内に設置した施設で、高齢者の孤立防止を目的に、高齢者の生活実態の把握や地域包括支援センター（高齢者あんしん相談センター）と連携して高齢者の見守りを行っており、交流スペースの「シルバーふらっとほ一む館ヶ丘」を併設しています。また、同じ機能を有する施設として「シルバー見守り相談室長房」を、長房地域に設置しています。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	年間利用者数(人)	延床面積(㎡)	利用者1人当たりのコスト(円)	延床1㎡当たりのコスト(円)
1	大横保健福祉センター	-	-	-	昭和37年8月	68,106	1,656	614	25,233
2	東浅川保健福祉センター	○	-	-	平成3年3月	299,654	8,721	1,224	42,054
3	南大沢保健福祉センター	○	-	○	平成8年3月	82,482	1,385	3,765	224,182
4	南大沢保健福祉センター分室	-	-	-	平成4年6月	321	924	16,477	5,727
5	恩方老人憩の家	○	○	-	昭和49年10月	18,451	603	675	20,652
6	長房ふれあい館	○	○	○	平成8年～	51,195	1,506	654	22,228
7	高齢者在宅サービスセンター長沼	○	○	-	平成8年3月	12,352	768	328	5,276
8	高齢者在宅サービスセンター石川	-	○	-	平成13年3月	12,507	778	432	6,940
9	高齢者在宅サービスセンター中野	-	○	-	平成16年2月	13,895	701	308	6,104
10	高齢者在宅サービスセンター長房	○	○	-	平成17年3月	11,710	653	248	4,450
11	高齢者在宅サービスセンターやまゆり	○	○	-	平成3年3月	5,979	151	0	0
12	地域包括支援センターゆうゆう	○	-	○	昭和61年6月	-	45	-	799,203
13	地域包括支援センター高尾	○	-	○	平成8年3月	-	63	-	492,215
14	地域包括支援センター左入	○	-	○	平成14年4月	-	36	-	1,004,645
15	地域包括支援センター中野	○	-	○	昭和63年1月	-	36	-	1,236,953
16	地域包括支援センター南大沢	○	-	○	平成6年2月	-	69	-	518,883
17	地域包括支援センターめじろ	○	-	○	平成6年9月	-	45	-	731,820
18	地域包括支援センター長沼	○	-	○	平成2年～5年	-	57	-	681,574
19	地域包括支援センター川口	○	-	○	昭和57年1月	-	117	-	342,114
20	地域包括支援センター元八王子	○	-	○	平成5年8月	-	39	-	997,972
21	地域包括支援センター片倉	○	-	○	昭和41年1月	-	47	-	717,854
22	地域包括支援センター堀之内	○	-	○	平成12年2月	-	56	-	638,411
23	地域包括支援センター長房	○	-	○	平成17年3月	-	106	-	369,320
24	地域包括支援センター子安	○	-	○	昭和55年2月	-	40	-	1,028,878
25	地域包括支援センターもとはち南	○	-	○	昭和63年2月	-	48	-	683,053
26	地域包括支援センター寺田	-	-	-	平成10年3月	-	187	-	148,583
27	上野町高齢者交流施設	-	-	-	平成10年12月	-	101	-	9,860
28	シルバーふらっと相談室ヶ丘	○	-	○	昭和50年	631件	23	16,540	458,351
29	シルバーふらっとほーむ館ヶ丘	○	-	○	昭和50年	12,109	36	407	135,504
30	シルバー見守り相談室長房	○	-	-	平成17年3月	1461件	8	7,171	1,356,125
31	高齢者活動コーディネートセンター	○	-	-	昭和37年8月	-	48	-	43,108

(イ) 建物の状況

大横保健福祉センターは昭和 37 年 8 月に建築した施設でしたが、平成 27 年 6 月に建て替え、保健センター機能を統合してオープンしました。東浅川保健福祉センターは、平成 3 年 3 月の建築から 24 年が経過しています。また、南大沢保健福祉センターは、平成 8 年 3 月の建築から 19 年が経過した複合施設「フレスコ南大沢」の一部を借り上げて設置した施設です。

なお、南大沢保健福祉センター分室があった建物は、平成 26 年 7 月から地域包括支援センター（高齢者あんしん相談センター）南大沢、子ども家庭支援センター南大沢、ボランティアセンター南大沢分室に転用しています。

恩方老人憩の家は、恩方事務所との複合施設で、昭和 49 年 10 月の建築から 41 年が経過しています。長房ふれあい館は、都営住宅の一部を借り上げて設置した施設です。

高齢者在宅サービスセンターは、複合施設を除くと石川が平成 13 年 3 月、中野が平成 16 年 2 月の建築となっています。

地域包括支援センターは、平成 10 年 3 月に建築した寺田以外は借上げ施設となっています。

(ウ) 利用状況

保健福祉センターの利用状況は、室内プールや体育室を備えた東浅川保健福祉

センターの利用者数が最も多く、延べ 30 万人近い利用があり、続いて南大沢保健福祉センターの 82,482 人、大横保健福祉センターの 68,106 人となっています。

高齢者在宅サービスセンターの利用者数は、東浅川保健福祉センターに併設している「高齢者在宅サービスセンターやまゆり」（以下、「やまゆり」という。）を除き、年間約 12,000～14,000 人の利用があります。

シルバーふらっと相談室館ヶ丘の利用件数は、戸別訪問と相談を合わせて 631 件となっており、常設サロンでもあるシルバーふらっとほーむ館ヶ丘の利用者数は、12,109 人となっています。

（エ） 施設コスト

東浅川保健福祉センターは、維持管理コストの 1 億 2,800 万円と職員費の 1 億 2,217 万円を合わせたコストが、総コストの約 70%を占めています。また、利用者 1 人当たりコストは 1,224 円、1 m²当たりコストは 42,054 円となっています。

南大沢保健福祉センターは、維持管理費の 1 億 889 万円と職員費の 1 億 4,393 万円を合わせたコストが、総コストの約 80%を占めています。また、利用者 1 人当たりコストは 3,765 円、1 m²当たりコストは 224,182 円となっています。

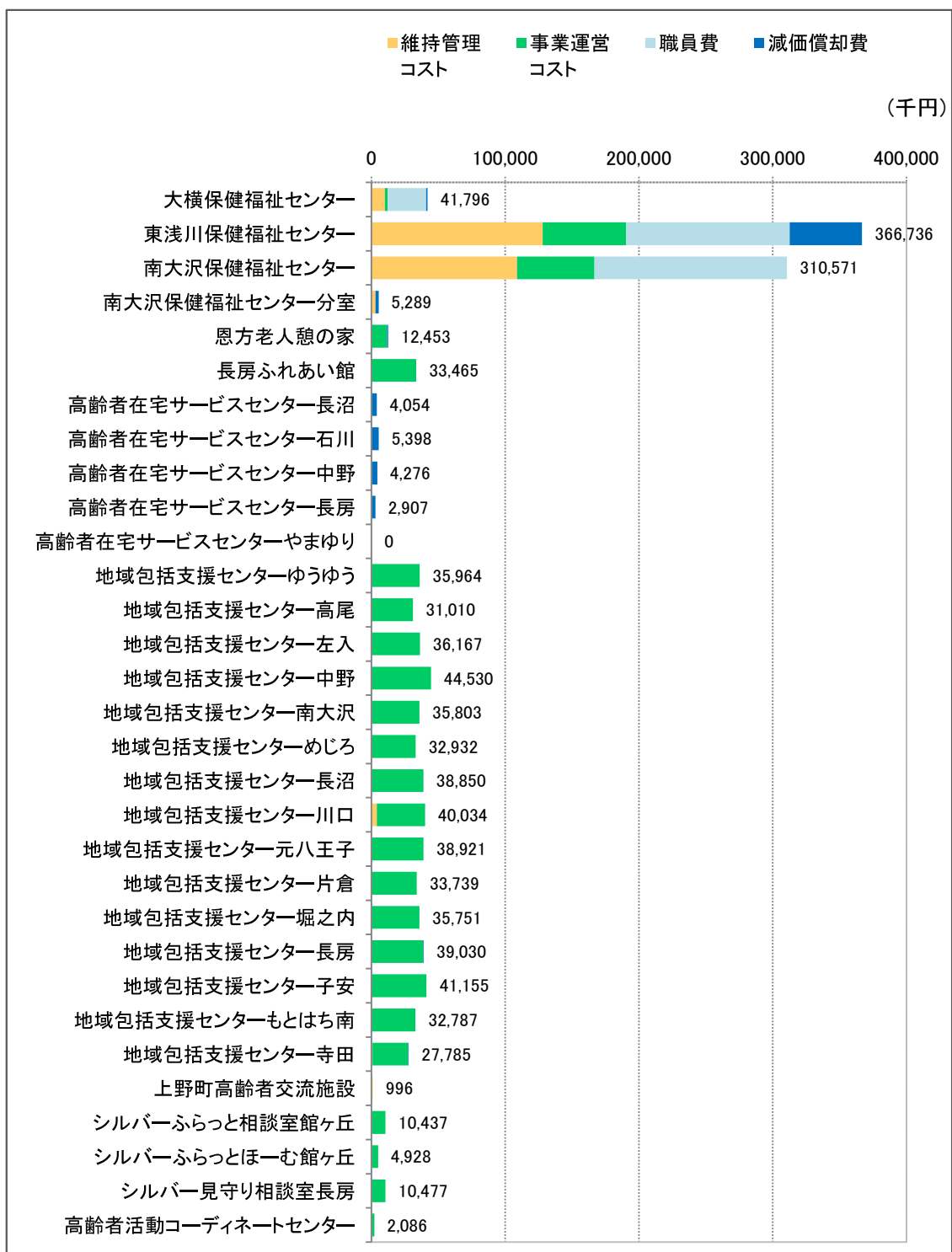
なお、南大沢保健福祉センターは、借上げ施設のため減価償却費はかかりませんが、賃借料や共益費で 8,550 万円のコストがかかっています。

恩方老人憩の家と長房ふれあい館は、総コストのほとんどを事業運営コストが占めており、両施設の利用者 1 人当たりコストは 700 円弱、1 m²当たりコストが 22,000 円程度となっています。

高齢者在宅サービスセンターの利用者 1 人当たりコストは、248 円（長房）～432 円（石川）、1 m²当たりコストは、4,450 円（長房）～6,940 円（石川）となっています（「やまゆり」を除く）。

地域包括支援センターは、事業委託のためコストのほとんどを事業運営コストが占めており、1 m²当たりコストは、148,583 円（寺田）～1,236,953 円（中野）となっています。

シルバーふらっと相談室館ヶ丘、シルバーふらっとほーむ館ヶ丘及びシルバー見守り相談室長房も同様に、コストのほとんどを事業運営コストが占め、利用者 1 人当たりコストは、それぞれ 16,540 円、407 円、7,171 円で、1 m²当たりコストが、それぞれ 458,351 円、135,504 円、1,356,125 円となっています。



イ 障害者福祉施設

(ア) 概要

障害者の適応力の向上を図り、機能回復訓練等を行う通所施設として、心身障害者福祉センターと障害者療育センターがあります。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	年間利用者数(人)	延床面積(㎡)	利用者1人当たりコスト(円)	延床1㎡当たりコスト(円)
32	心身障害者福祉センター	○	○	-	昭和55年3月	28,173	407	1,939	134,113
33	障害者療育センター	○	○	-	平成4年3月	5,748	594	18,713	181,090

(イ) 建物の状況

心身障害者福祉センターは、昭和55年3月の建築から35年が、障害者療育センターは、平成4年3月の建築から23年が経過しています。

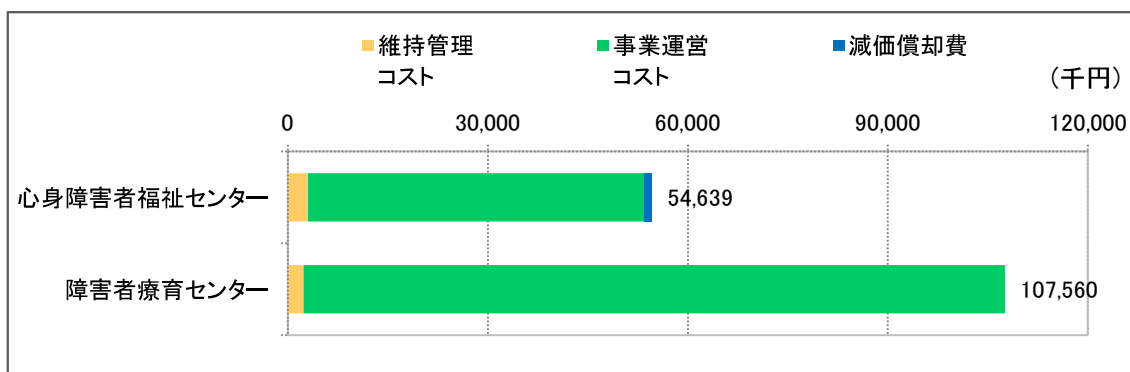
(ウ) 利用状況

心身障害者福祉センターは、機能回復訓練、作業訓練のほか、各種講習会や講座等の利用で、年間延利用者数が28,173人です。

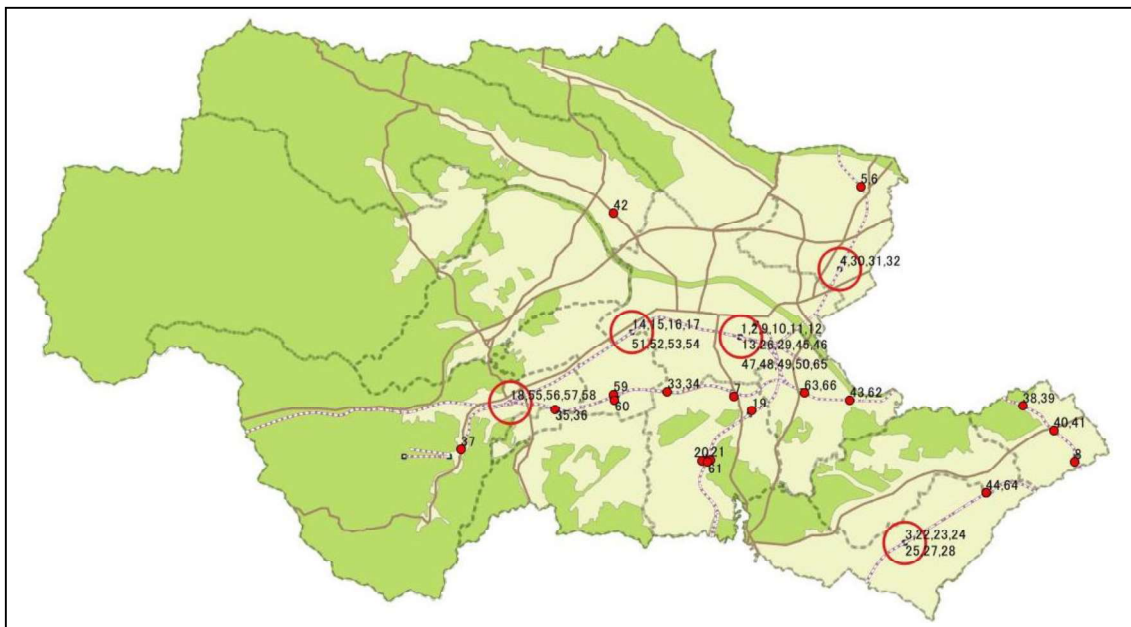
障害者療育センターは、18歳以上で、重度の知的障害と重度の肢体不自由の両方の障害があり、在宅で生活している方が対象の施設です。利用登録者は34人、延利用者数は5,748人となっています。

(エ) 施設コスト

心身障害者福祉センターの利用者1人当たりコストは1,939円、障害者療育センターは、18,713円となっています。障害者療育センターは利用対象者が限定されるため、年間3万人近い利用者がある心身障害者福祉センターより単位当たりコストが高くなります。



(15) 駐車場



ア 駐車場

(ア) 概要

駅前の駐車需要に対応するため、J R 八王子駅近くに 2 か所、京王相模原線南大沢駅近くに 1 か所の駐車場を設置しており、いずれも指定管理者制度を導入しています。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	開設年月日	年間利用台数	駐車場面積 (㎡)	利用1台当たりコスト (円)	駐車場1㎡当たりコスト (円)
1	八王子駅北口地下駐車場	-	○	-	平成11年4月	673,087	24,821	504	13,676
2	旭町駐車場	-	○	-	平成9年3月	64,729	4,778	1,852	25,095
3	南大沢駐車場	○	○	○	平成8年4月	117,829	3,214	1,804	66,133
					平均	285,215	10,938	1,387	34,968

(イ) 建物の状況

八王子駅北口地下駐車場は平成 11 年 4 月、旭町駐車場は平成 9 年 3 月、南大沢駐車場は平成 8 年 4 月に開設しており、それぞれ開設から 16 年、18 年、19 年が経過しています。収容可能台数は、それぞれ 430 台、215 台（自動車 152 台、自動二輪車 63 台）、107 台です。

旭町駐車場と南大沢駐車場は、駅前の商業ビルの地下に設置しており、南大沢駐車場については、借上げ施設となっています。

(ウ) 利用状況

八王子駅北口地下駐車場、旭町駐車場、南大沢駐車場の 1 日当たりの平均回転率（利用台数を駐車可能区画数で除したもの）は、それぞれ 4.3、0.8、3.0 となっています。

なお、旭町駐車場は、定期駐車の利用割合が高くなっています。

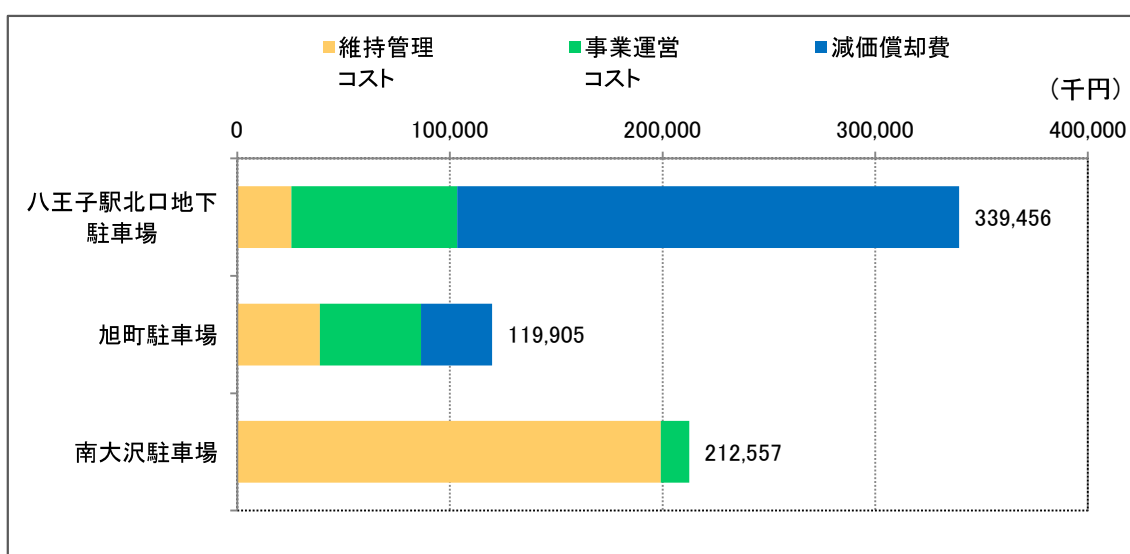
(エ) 施設コスト

八王子駅北口地下駐車場の総コストは3億円を超えていますが、このうち減価償却費2億3,603万円が総コストの約70%を占めています。

南大沢駐車場は、維持管理コスト1億9,920万円が総コストの94%を占めていますが、そのほとんどが賃借料です。

利用1台当たりコストは、八王子駅北口地下駐車場が504円で、旭町駐車場、南大沢駐車場はそれぞれ1,852円、1,804円となっています。

1㎡当たりコストは、南大沢駐車場が66,133円と最も高く、旭町駐車場が25,095円、八王子駅北口地下駐車場が13,676円となっています。



イ 自転車駐車場

(ア) 概要

市内の各駅の周辺には、安全と利便性確保のために有料自転車駐車場 47 施設と無料自転車駐車場 17 施設の計 64 施設を設置しています。自転車、バイク合せて 31,469 台収容できます。

番号	施設名	土地所有形態	設置者 または 管理者	開設年月日	収容定数 (台)	延床面積 (㎡)	収容定数1 台当たりコス ト(円)	延床1㎡当 たりコスト (円)
4	北八王子駅自転車駐車場	市所有	市	平成2年4月	300	404	2,062	1,531
5	小宮駅北口自転車駐車場	市所有	市	平成7年4月	235	451	5,793	3,019
6	小宮駅南口自転車駐車場	市所有	市	平成12年4月	350	542	1,283	828
7	京王片倉駅自転車駐車場	市所有	市	平成16年4月	230	341	342	231
8	松が谷自転車駐車場	市所有	市	平成12年1月	268	528	291	148
9	八王子駅北口旭町ミニバイク駐車場	市所有	事業者	平成5年3月	1,385	2,252	0	0
10	八王子駅北口地下自転車駐車場	市所有	事業者	平成11年4月	1,080	992	0	0
11	八王子駅北口駅前駐輪帯	市所有	事業者	平成20年4月	82	99	0	0
12	八王子駅子安町バイク駐車場	市所有	事業者	平成20年1月	28	103	0	0
13	八王子駅南口地下タワー式自転車駐車場	市所有	事業者	平成21年4月	1,224	-	0	-
14	西八王子駅北口自転車駐車場	市所有	事業者	昭和50年5月	1,532	1,751	0	0
15	西八王子駅北口第3自転車駐車場	市所有	事業者	平成21年10月	944	977	0	0
16	西八王子駅南口自転車駐車場	市所有	事業者	昭和59年8月	1,716	1,935	0	0
17	西八王子駅南口臨時自転車駐車場	市所有	事業者	平成9年7月	639	856	0	0
18	高尾駅北口臨時自転車駐車場	市所有	事業者	平成10年5月	287	725	0	0
19	片倉駅自転車駐車場	市所有	事業者	平成10年5月	913	911	0	0
20	八王子みなみ野駅西自転車駐車場	市所有	事業者	平成21年10月	1,100	1,591	0	0
21	八王子みなみ野駅東自転車駐車場	市所有	事業者	平成21年11月	292	417	0	0
22	南大沢駅北自転車駐車場	市所有	事業者	平成6年6月	701	1,639	15,739	6,732
23	南大沢駅第1バイク駐車場	市所有	事業者	平成19年9月	11	53	0	0
24	南大沢駅第2バイク駐車場	市所有	事業者	平成19年3月	27	265	0	0
25	南大沢駅北自転車駐輪帯	市所有	事業者	平成15年11月	133	124	0	0
26	ジョイ五番街通り自転車駐輪帯(5箇所)	市所有	事業者	平成23年4月	149	224	0	0
27	南大沢駅中央自転車駐車場	市所有	事業者	平成5年6月	514	969	10,464	5,550
28	南大沢大橋自転車駐車場	市所有	事業者	平成5年6月	512	709	16,706	12,064
29	八王子駅北口旭町自転車駐車場	市所有	事業者	平成5年3月	2,108	2,991	45	32
30	北八王子駅西口臨時自転車駐車場	借上地	市	平成24年3月	100	129	2,852	2,219
31	北八王子駅東口臨時第1自転車駐車場	借上地	市	平成24年3月	40	31	2,755	3,607
32	北八王子駅東口臨時第2自転車駐車場	借上地	市	平成24年3月	44	36	2,504	3,062
33	山田駅第1自転車駐車場	借上地	市	平成3年3月	170	277	5,648	3,466
34	山田駅第2バイク駐車場	借上地	市	平成22年4月	92	314	8,856	2,595
35	狭間駅第1自転車駐車場	提供地	市	平成19年3月	25	35	2,452	1,737
36	狭間駅第2自転車駐車場	提供地	市	平成19年3月	55	82	1,115	744
37	高尾山口駅自転車駐車場	提供地	市	平成14年12月	100	190	613	323
38	中央大学・明星大学駅第1自転車駐車場	提供地	市	平成12年10月	172	313	356	196
39	中央大学・明星大学駅第2自転車駐車場	提供地	市	平成16年7月	136	257	451	239
40	大塚・帝京大学駅第1自転車駐車場	提供地	市	平成12年5月	278	503	397	219
41	大塚・帝京大学駅第2自転車駐車場	提供地	市	平成16年4月	262	585	421	189
42	櫛原町自転車保管所	借上地	市	平成22年3月	-	3,698	-	2,040
43	長沼町自転車保管所	提供地	市	平成17年8月	-	880	-	3,237
44	堀之内自転車保管所	借上地	市	平成22年4月	-	905	-	4,162
45	八王子駅北口東自転車駐車場	借上地	事業者	平成2年4月	1,394	1,392	9,007	9,017
46	八王子駅南口自転車駐車場	借上地	事業者	平成24年12月	1,090	1,500	11,393	8,280
47	八王子駅子安町第2バイク駐車場	借上地	事業者	平成23年3月	36	125	42,000	12,112
48	京王八王子駅中央自転車駐車場	借上地	事業者	昭和63年12月	298	459	20,980	13,621
49	京王八王子駅中央第2自転車駐車場	提供地	事業者	平成16年9月	82	76	0	0
50	京王八王子駅南自転車駐車場	借上地	事業者	平成11年7月	2,012	2,692	2,210	1,651
51	西八王子駅北口第2自転車駐車場	借上地	事業者	昭和57年10月	90	160	6,603	3,714
52	西八サイクルパーク50自転車駐車場	借上地	事業者	平成20年11月	130	168	6,074	4,690
53	西八王子駅北口西自転車駐車場	借上地	事業者	平成7年9月	963	1,171	8,050	6,620
54	西八王子駅南口第2自転車駐車場	借上地	事業者	昭和59年8月	30	48	19,810	12,381
55	高尾駅北口自転車駐車場	市所有	事業者	昭和59年7月	667	1,107	1,113	671
56	高尾駅北口臨時第2自転車駐車場	借上地	事業者	平成19年12月	461	781	10,444	6,165
57	高尾駅南口自転車駐車場	借上地	事業者	昭和59年7月	1,093	1,158	679	641
58	高尾駅南口ミニバイク駐車場	借上地	事業者	昭和59年7月	198	319	3,749	2,327
59	めじろ台駅自転車駐車場	借上地	事業者	平成18年3月	812	2,263	767	275
60	めじろ台駅バイク駐車場	借上地	事業者	平成18年3月	143	377	8,240	3,124
61	八王子みなみ野駅東臨時バイク駐車場	借上地	事業者	平成22年3月	111	337	7,761	2,559
62	長沼駅自転車駐車場	提供地	事業者	平成6年4月	179	450	0	0
63	北野駅東自転車駐車場	借上地	事業者	平成5年7月	1,000	1,250	311	249
64	堀之内駅自転車駐車場	提供地	事業者	平成2年7月	1,705	2,889	0	0
65	京王八王子駅東自転車駐車場	提供地	事業者	平成3年3月	476	883	6,607	3,562
66	北野駅西自転車駐車場	提供地	事業者	平成17年7月	265	516	0	0

左頁の一覧表には、駐輪帯を含む自転車駐車場 64 か所のほか、各駅周辺の自転車等放置禁止区域内で撤去した自転車等の保管場所として3か所の自転車保管場所を掲載しています。

(イ) 建物の状況

市が保有する施設としては、運営事業者に貸し付けているものを含めて5か所の自転車駐車場（北八王子駅、南大沢駅北、南大沢駅中央、南大沢大橋、京王八王子駅東）があります。また、自転車駐車場関連施設として、北野駅西自転車駐車場に設置した管理事務所と、3か所の自転車保管所に設置した管理棟を市が保有しています。

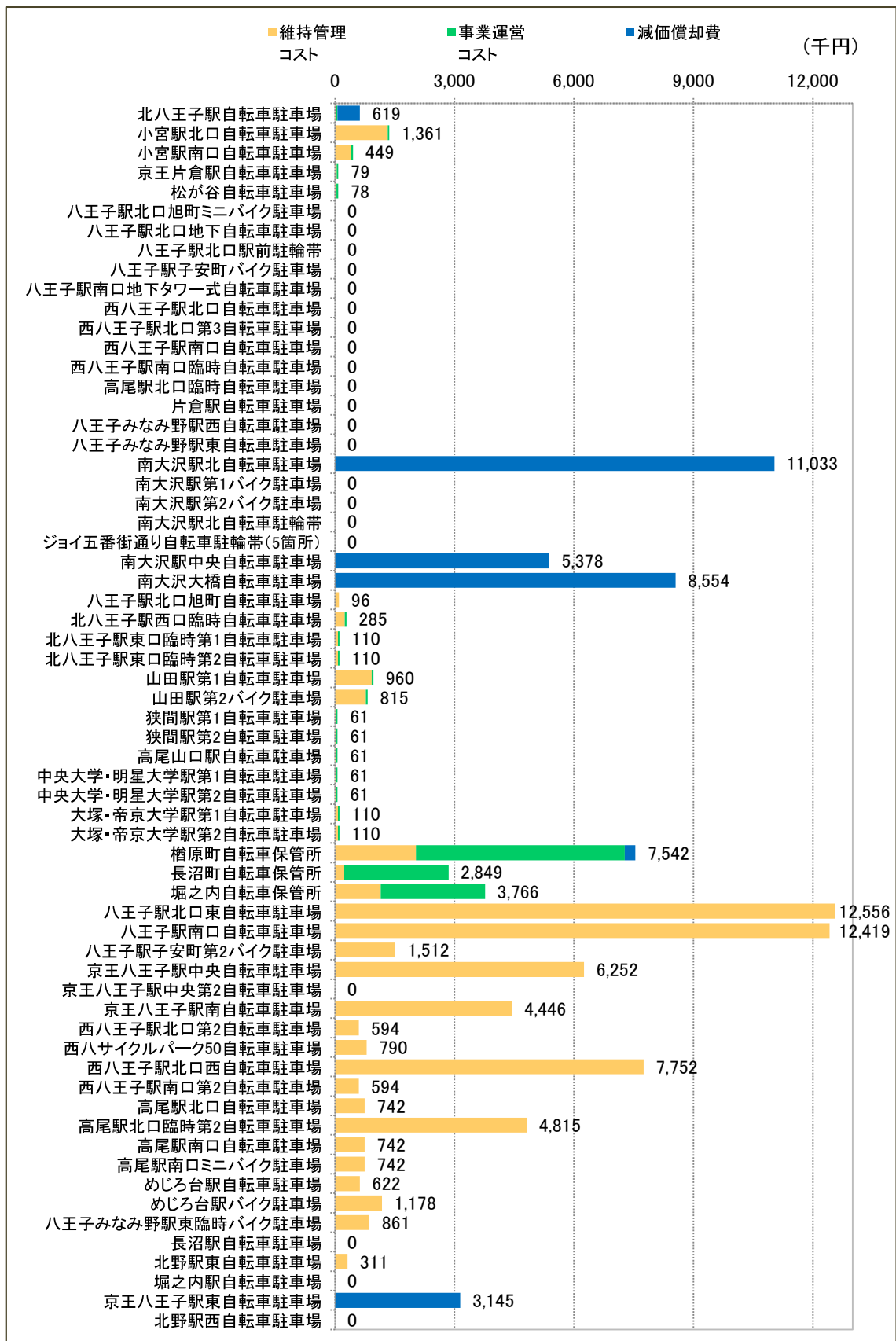
最も古い施設は、平成2年4月に開設した北八王子駅自転車駐車場で、25年が経過しています。

(ウ) 施設コスト

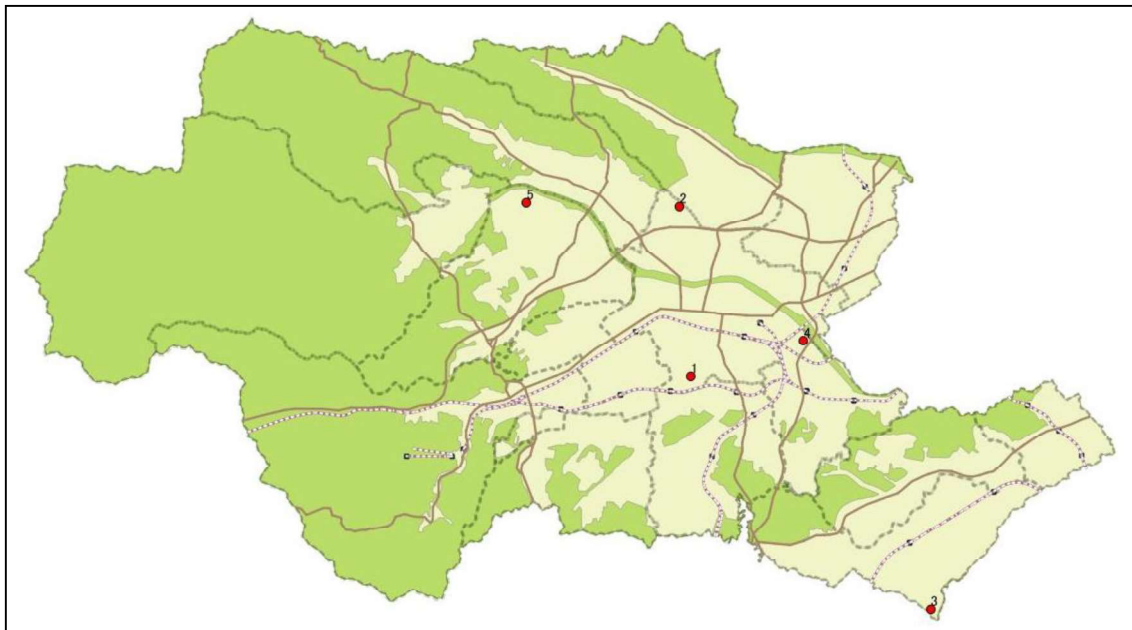
自転車駐車場の運営方法は複数あります。コストが0円の施設は、公益財団法人等の運営事業者に市の所有地を無償で貸し付け、運営事業者が施設等を建築して運営しているものです。そのほかに、市が土地を借り上げている自転車駐車場では賃借料が、市が保有している自転車駐車場では減価償却費が、それぞれコストの大半を占めています。



八王子駅北口有楽町線自転車駐車場



(16) その他公共用施設



ア その他公共用施設

(ア) 概要

市営の霊園は、緑町霊園、甲の原霊園のほか、多摩ニュータウン関係4市の協議に基づき、本市が東京都から取得して管理運営を行っている南多摩都市霊園の3か所があります。また、緑町霊園では、従来の区画墓地のほか合葬式墓地も設置しています。

「ポカポカ足湯」は、地球温暖化対策として市内の公園から発生する剪定樹木を燃料とする木質バイオマスボイラーを利用した足湯で、北野清掃工場敷地内に設置しています。子どもキャンプ場は、青少年が自然体験などを通じて豊かな心を育む場となっています。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	年間利用者数(人)	延床面積(㎡)	利用者1人当たりコスト(円)	延床1㎡当たりコスト(円)
1	緑町霊園	-	-	-	平成21年3月	3693区画	38,616	5,473	-
2	甲の原霊園	-	-	-	昭和58年1月	1002区画	※ 19,422	※ 12,200	-
3	南多摩都市霊園	-	-	-	昭和56年3月	1030区画	30,002	12,973	-
4	ポカポカ足湯	-	-	-	平成24年3月	8,858	42	230	48,870
5	子どもキャンプ場	-	-	-	平成20年3月	5,090	27	494	-

※霊園は敷地面積および利用1区画当たりコスト

(イ) 建物の状況

緑町霊園の管理棟、合葬式墓地のための納骨堂は平成21年3月、ポカポカ足湯は平成24年3月、子どもキャンプ場の管理棟は平成20年3月に建築しており、比較的新しい施設です。甲の原霊園の管理棟は昭和58年1月、南多摩都市霊園

の管理棟は昭和 56 年 3 月に建築しており、それぞれ 32 年、34 年が経過しています。

(ウ) 利用状況

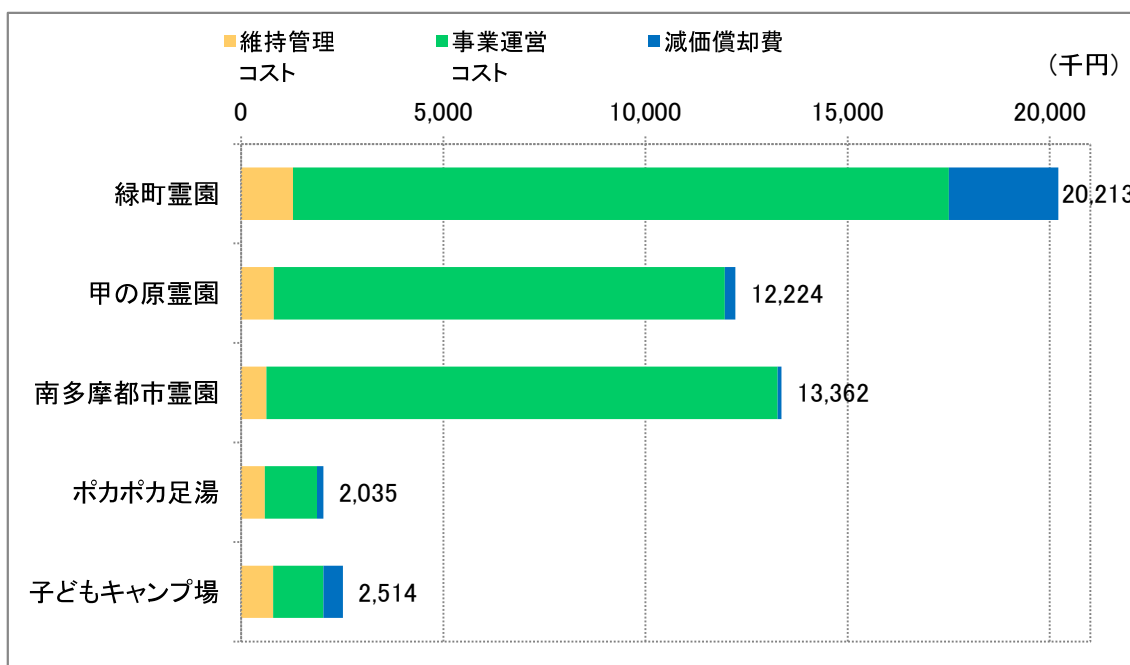
緑町霊園は、3,724 区画のうち 3,693 区画が、甲の原霊園は 1,020 区画のうち、1,002 区画、南多摩都市霊園は本市割当 1,152 区画のうち 1,030 区画が利用されています。

ポカポカ足湯の年間利用者数は 8,858 人、子どもキャンプ場の年間利用者数は 5,090 人となっています。

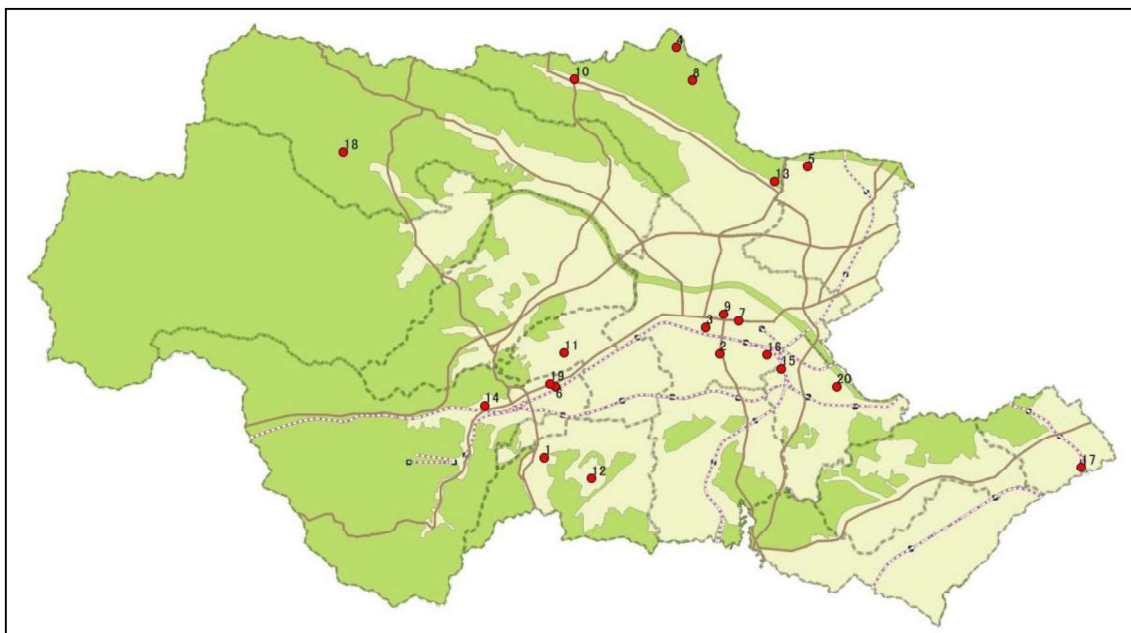
(エ) 施設コスト

霊園の事業運営コストは 1,115 万円（甲の原霊園）～1,622 万円（緑町霊園）となっており、事業運営コストの割合が最も大きく総コストの 80%～95%を占めています。甲の原霊園と南多摩都市霊園の減価償却費の割合はわずかですが、平成 21 年 3 月に建築した緑町霊園は、271 万円の減価償却費がかかっています。また、利用 1 区画当たりコストは、緑町霊園が 5,473 円、甲の原霊園が 12,200 円、南多摩都市霊園が 12,973 円となっています。

ポカポカ足湯の利用者 1 人当たりコストと 1 m²当たりコストは、それぞれ 230 円、48,870 円となっています。また、子どもキャンプ場の利用者 1 人当たりコストは、494 円となっています。



(17) 貸付財産



ア 貸付財産

(ア) 概要

貸付財産の用途には様々なものがあり、病棟として大学付属病院に貸しているものや、地域の会館、集会所、小学校の統廃合により廃校となった建物を大学の施設として、また、商業スペースとして貸しているもの等があります。

※本来、貸付財産としての自転車駐車場が5か所ありますが、施設コスト等を比較しやすくするため、(15) 駐車場、イ自転車駐車場に計上しています。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	年間利用者数(人)	延床面積(m ²)	利用者1人当たりコスト(円)	延床1㎡当たりコスト(円)
1	医療センター内市区分所有建物	-	-	-	昭和55年3月	-	2,134	-	2,598
2	学童集会所(万町)	-	-	-	平成4年3月	-	56	-	8,966
3	学童集会所(南新町)	-	-	-	昭和51年3月	-	58	-	0
4	高月集会所	-	-	-	昭和40年8月	-	165	-	0
5	滝山台集会所	-	-	-	昭和60年3月	-	219	-	286
6	陵南いちよう会館	-	-	-	昭和56年11月	-	159	-	698
7	中心市街地活性化施設	○	-	-	平成15年2月	-	251	-	1,491
8	東京都西部公園緑地事務所等貸付地	-	-	-	昭和48年3月	-	65	-	0
9	本町40番貸付地	-	-	-	平成7年3月	-	41	-	0
10	戸吹町会貸付倉庫	-	-	-	平成22年3月	-	21	-	3,244
11	(旧)長房子ども会館	-	-	-	昭和54年3月	-	79	-	0
12	(旧)館町会館	-	-	-	昭和56年3月	-	201	-	0
13	(旧)左入会館	-	-	-	昭和55年3月	-	254	-	2,897
14	旧浅川支所	-	-	-	昭和26年8月	-	827	-	1,056
15	旧食肉処理場	-	-	-	昭和43年3月	-	1,113	-	723
16	旧食肉衛生検査所BSE検査室	-	-	-	平成14年1月	-	39	-	27,735
17	旧市立三本松小学校	-	-	-	昭和58年5月	-	5,168	-	2,425
18	旧第6分団器具置場	-	-	-	昭和54年3月	-	33	-	1,062
19	旧第11分団器具置場	-	-	-	昭和49年1月	-	33	-	1,056
20	八王子長沼通所センター	○	-	-	平成4年3月	5団体	1,289	※ 3,057,288	11,864

※長沼通所センターは利用1団体あたりコスト

(イ) 建物の状況

20か所の貸付財産のうち、昭和に建築した施設が14か所あり、最も古いもの

は昭和 26 年に建築した八王子市役所旧浅川支所で、64 年が経過しています。平成に入って建築した 6 施設のうち最も新しい施設は、戸吹町会へ貸し付けている倉庫で、平成 22 年に建築しています。

(ウ) 利用状況

医療センター内市区分所有建物は、昭和 55 年に本市が誘致して開設した東京医科大学八王子医療センターの敷地内にある建物の一部を大学病院に貸し付けているもので、病棟として利用されています。

中心市街地活性化施設は、民間事業者から提供された地上 20 階建のビルの一部を 5 店舗分の商業スペースとして貸し出しているもので、まちの活性化と起業家の支援、育成のための施設として利用しています。

旧市立三本松小学校は、デジタルハリウッド大学の八王子キャンパスとして貸し付けており、廃校となった小学校を活用しています。

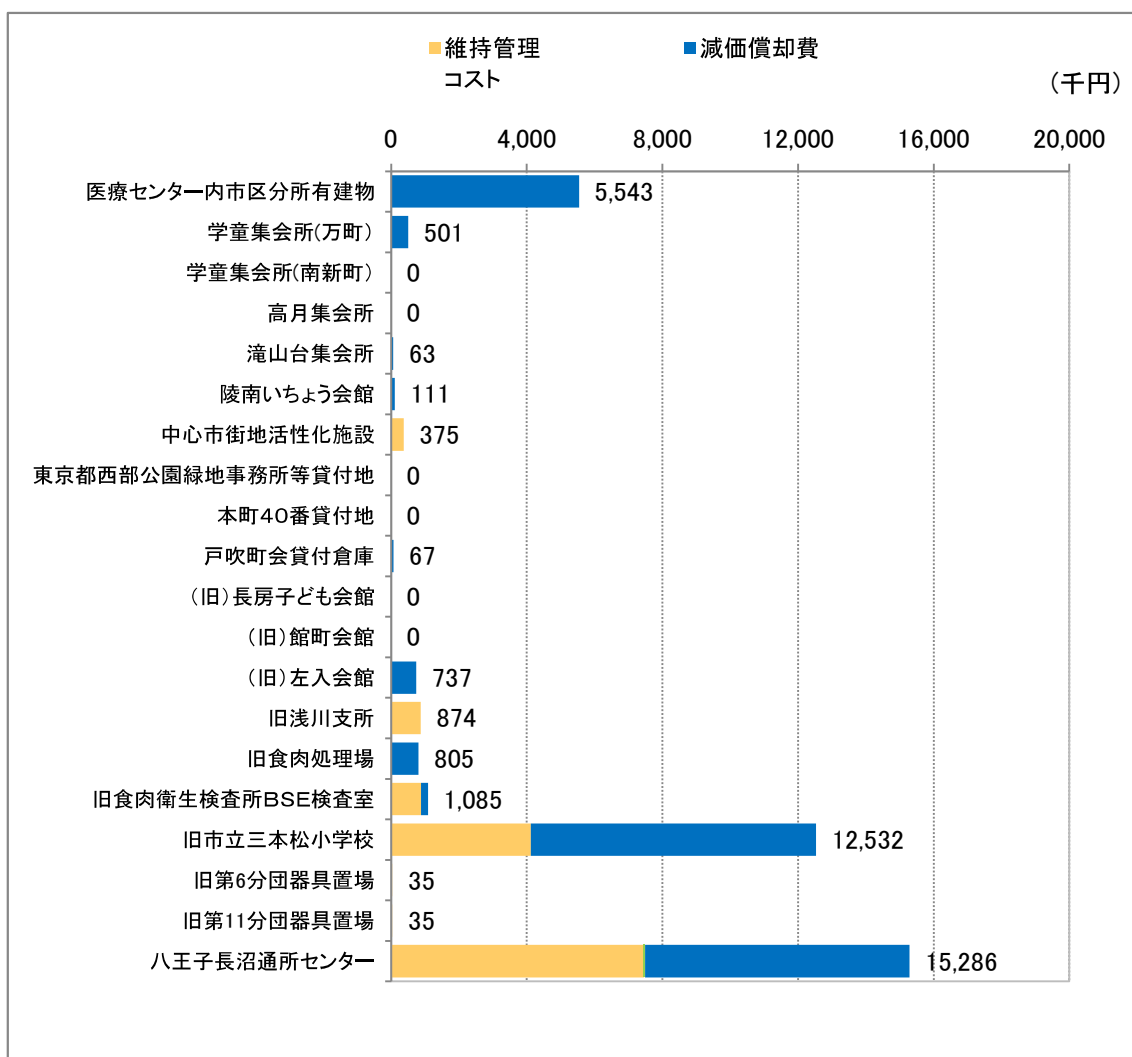
八王子長沼通所センターは、障害者の方の通所訓練事業所施設で、5 団体に貸し付けを行っています。

(エ) 施設コスト

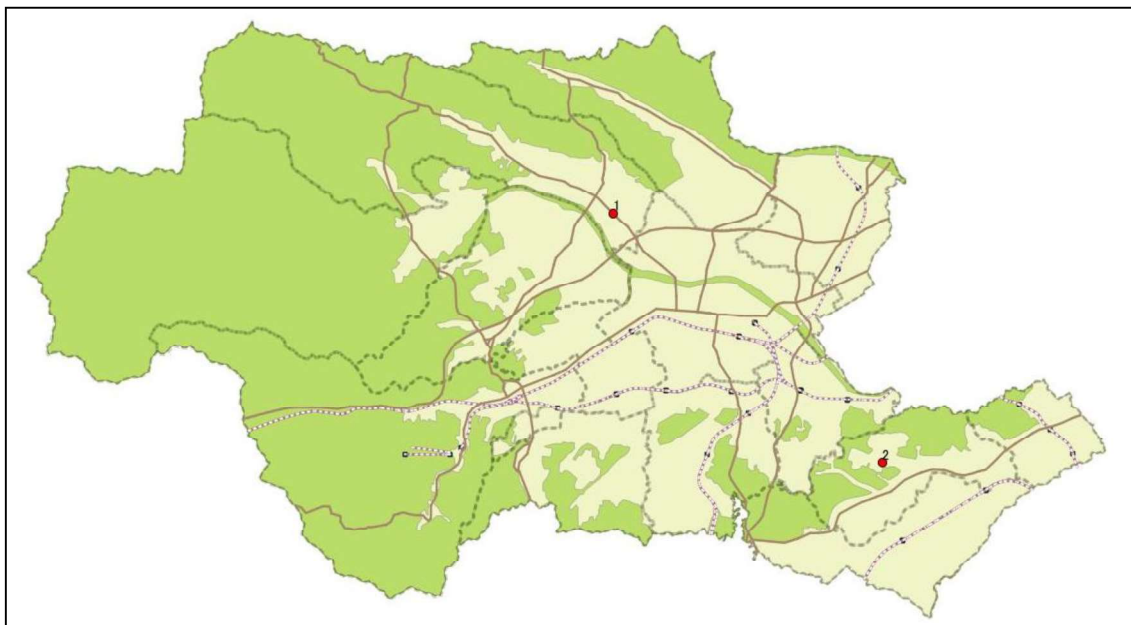
貸付財産のため、減価償却費が主なコストとなっています。

医療センター内市区分所有建物は、減価償却費として 554 万円かかっています。

旧市立三本松小学校は、維持管理コストが 412 万円、減価償却費が 841 万円となっており、貸付先のデジタルハリウッド大学から払われる賃料 2,480 万円から維持管理コストを差し引いた 2,068 万円相当分の一般財源を、公共施設整備基金に積み立てました。



(18) 普通財産



ア 普通財産

(ア) 概要

檜原パーク・アンド・バスライド駐車場は、自宅から運転してきた自動車や自転車バス停に近接する駐車場に駐車し、そこでバスに乗り換えて通勤等を行うことで、交通渋滞の緩和と地球にやさしい環境づくりに資する施設でしたが、事業開始から10年が経過し、周辺の道路整備が進んだことなどにより、平成27年3月末で廃止しました。

旧由木支所は、かつて市役所の支所があった建物で、現在は使用していません。

番号	施設名	複合施設	指定管理者制度導入	借上財産	建築年月日	年間利用者数(人)	延床面積(㎡)	利用者1人当たりコスト(円)	延床1㎡当たりコスト(円)
1	檜原パーク・アンド・バスライド駐車場	-	-	-	平成16年11月	21,848	2,560	82	701
2	旧由木支所	-	-	-	平成11年5月	-	228	-	0

※檜原パーク・アンド・バスライド駐車場の「建築年月日」は管理事務所の建築年月日、「延床面積」は、敷地面積です。

※旧戸吹清掃事業所(ストックヤード)は、(2)清掃施設に計上しています。

※旧由木支所の建築年月日は公有財産台帳に登載した日で、従前は南多摩農業共済事務組合の事務所として使用されていました。

(イ) 建物の状況

檜原パーク・アンド・バスライド駐車場の敷地内にある管理用の建物は、平成16年11月に建築したものです。

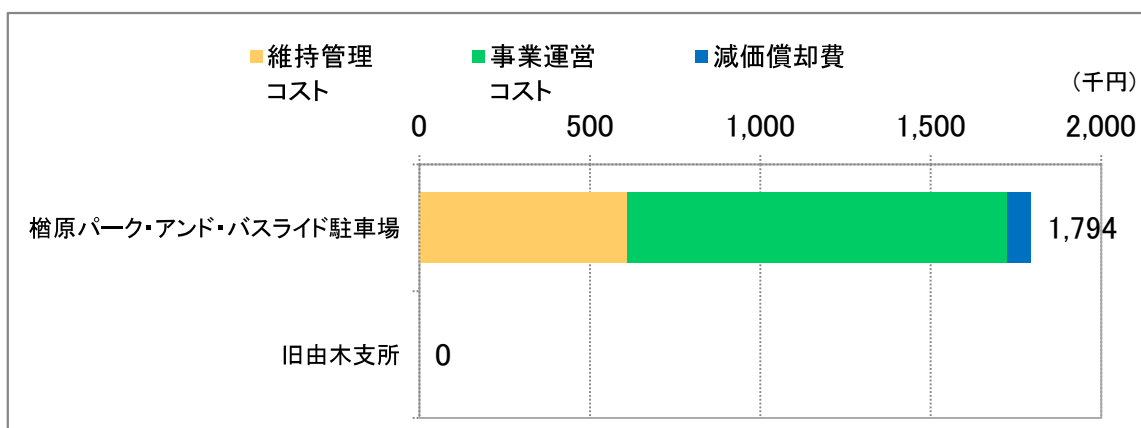
(ウ) 利用状況

檜原パーク・アンド・バスライド駐車場の年間利用者は、自動車・自転車合わせて 21,848 円となっています。

(エ) 施設コスト

檜原パーク・アンド・バスライド駐車場の利用者 1 人当たりコストは、82 円となっています。

また、平成 25 年度の旧由木支所のコストは 0 円です。





第5章 施設コスト・公債費

第5章 施設コスト・公債費

1 施設類型別コストと修繕費

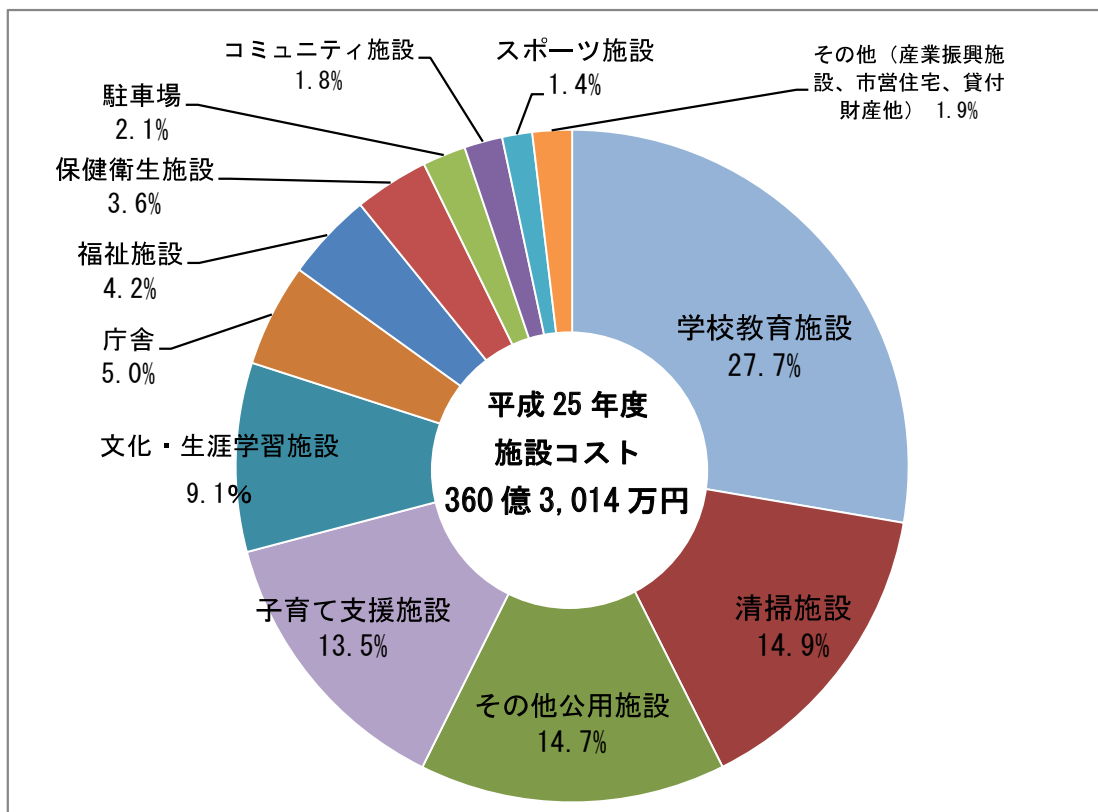
(1) 施設類型別コスト

第4章では、各施設にかかるコストを維持管理コスト¹、事業運営コスト²、職員費、減価償却費の4種類に分けてコストを明らかにしてきました。

第4章で取り上げた、各施設コストの合計を施設類型別の割合で表したものが【図表5-1】です。

平成25年度にかかった施設コストの合計は360億3,014万円となっており、学校教育施設が99億7,856万円で27.7%を占め、次いで清掃施設の53億8,003万円(14.9%)、その他公用施設の53億162万円(14.7%)、子育て支援施設の48億7,908万円(13.5%)、文化・生涯学習施設の32億7,005万円(9.1%)の順になっています。

【図表5-1】施設コストの施設類型別割合



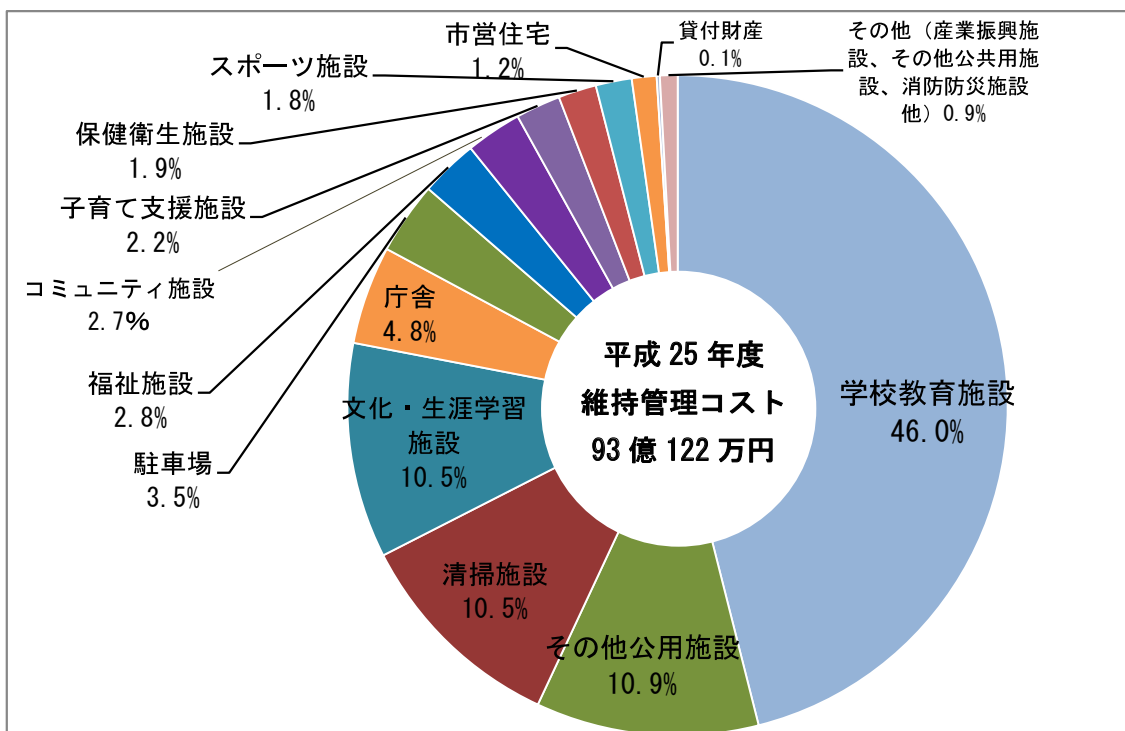
¹ 土地又は建物の借上料、維持補修費、光熱水費、設備点検や施設警備にかかる委託料など、施設を維持管理していくために経常的に必要となる経費

² 施設において実施される事務事業経費

分 類	施設コスト（円）	分 類	施設コスト（円）	分 類	施設コスト（円）
庁舎	1,791,233,115	交通公園	14,485,366	保健衛生施設	1,290,917,677
清掃施設	5,380,029,336	文化・生涯学習施設	3,270,049,531	福祉施設	1,522,524,681
消防・防災施設	31,605,756	コミュニティ施設	662,308,911	駐車場	748,495,101
その他公用施設	5,301,622,785	スポーツ施設	520,013,383	その他公共用施設	51,698,237
学校教育施設	9,978,561,255	子育て支援施設	4,879,077,172	貸付財産	67,423,731
市営住宅	251,220,473	産業振興施設	265,278,363	普通財産	3,591,236
				合 計	36,030,136,109

次に、施設コストのうち、維持管理コストの合計額を施設類型別の割合で表したものが【図表 5ー2】です。平成 25 年度の維持管理コストの合計は 93 億 122 万円となっており、最も支出が多いのは学校教育施設の 42 億 8,249 万円で、46.0%を占めています。次いでその他公用施設が 10 億 1,558 万円（10.9%）、清掃施設が 9 億 8,031 万円（10.5%）、文化・生涯学習施設が 9 億 7,925 万円（10.5%）、庁舎が 4 億 4,858 万円（4.8%）の順になっています。

【図表 5ー2】維持管理コストの施設類型別割合



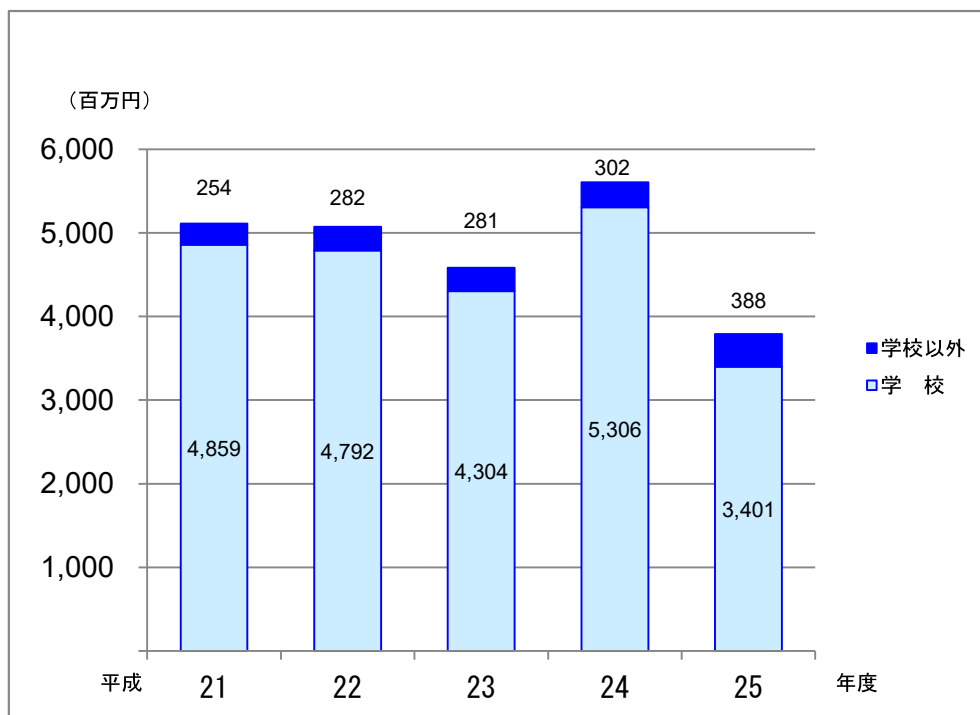
分 類	維持管理コスト（円）	分 類	維持管理コスト（円）	分 類	維持管理コスト（円）
庁舎	448,578,818	交通公園	1,755,647	保健衛生施設	174,313,132
清掃施設	980,305,270	文化・生涯学習施設	979,250,515	福祉施設	264,535,599
消防・防災施設	3,931,305	コミュニティ施設	254,363,832	駐車場	328,055,028
その他公用施設	1,015,583,915	スポーツ施設	163,219,942	その他公共用施設	4,736,626
学校教育施設	4,282,488,934	子育て支援施設	203,752,539	貸付財産	13,782,521
市営住宅	113,414,697	産業振興施設	68,543,271	普通財産	608,895
				合 計	9,301,220,486

(2) 過去5年間の修繕費の推移

平成21年度から平成25年度までの5年間で、施設の修繕に要した費用の推移を表したものが【図表5-3】です。

毎年度50億円前後の修繕費が発生しており、その内訳は、学校が大部分を占めています。

【図表5-3】過去5年間の修繕費の推移



単位：千円

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	合 計	平 均
学 校	4,858,607	4,791,972	4,304,395	5,305,541	3,400,522	22,661,038	4,532,208
学校以外	253,896	281,827	280,618	301,980	388,319	1,506,640	301,328
合 計	5,112,503	5,073,799	4,585,013	5,607,521	3,788,841	24,167,678	4,833,536

2 公債費・市債残高の推移

(1) 公債費の推移

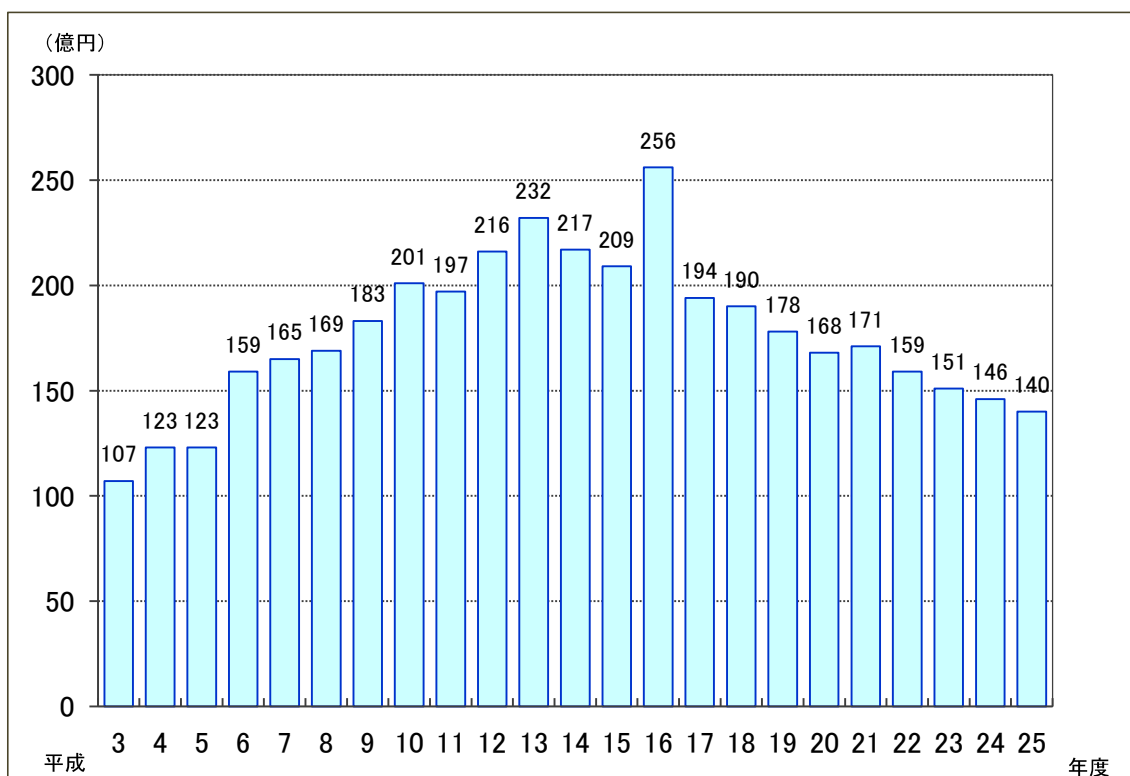
ア 公債費の推移

施設建設にかかる一時的経費を賄うために市債（長期にわたる借入金）を発行し、後年度にその元金及び利子を償還しますが、その償還にかかる経費を公債費といいます。

平成3年度以降の公債費の推移は、【図表5-4】のとおりです。

平成13年2月に策定した「財政再建推進プラン」に基づき財政再建に取り組んできたことがわかります。平成3年度から平成13年度までの普通会計における公債費の推移は上昇傾向にありましたが、平成13年度に232億円を償還し、翌14年度からは減少に転じました。平成16年度は過去に借入れた減税補填債を一括償還した影響により、償還額が256億円に増加しましたが、その後は減少傾向にあり、平成25年度は140億円を償還しています。

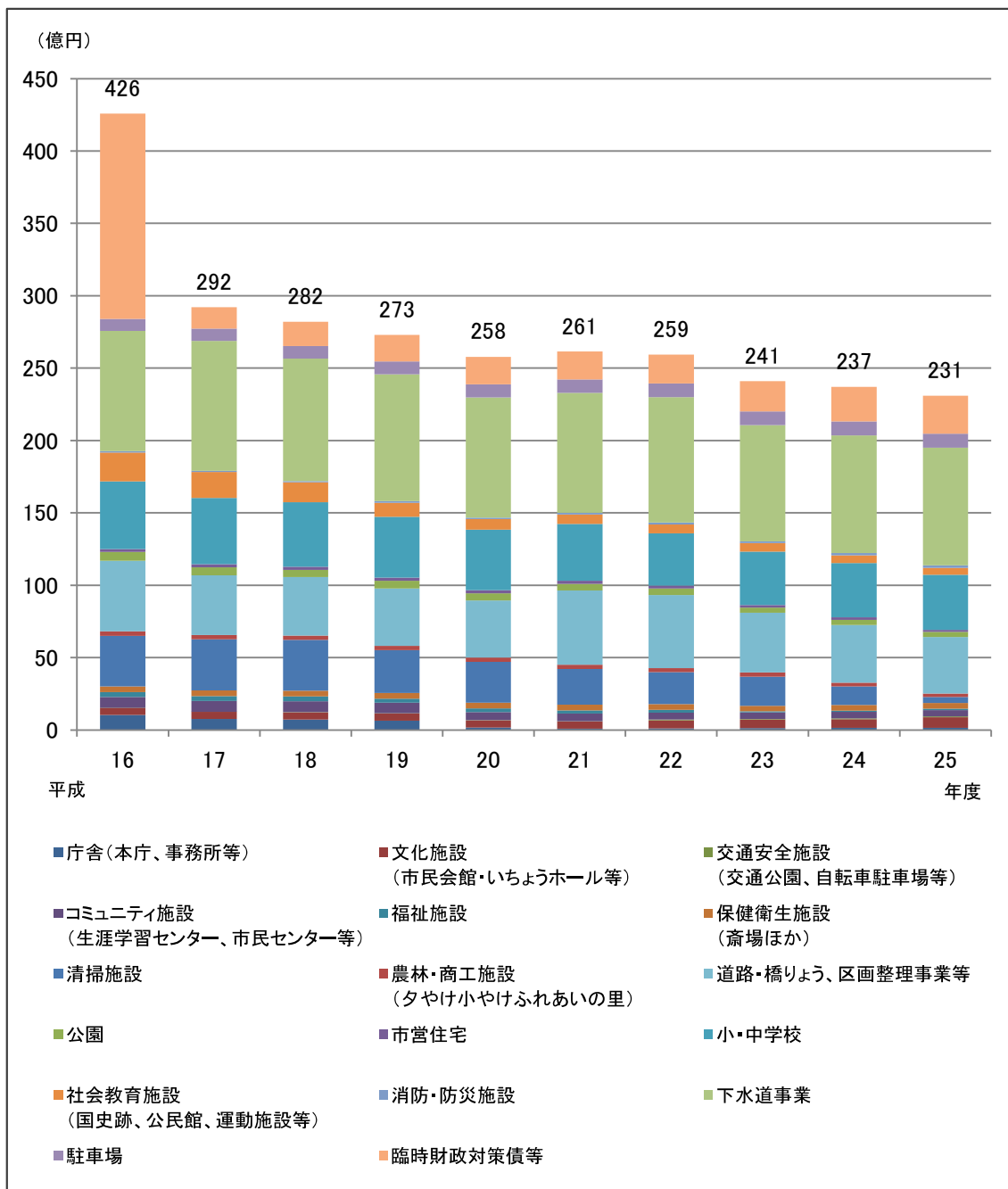
【図表5-4】公債費の推移（普通会計）



イ 目的別公債費の推移

全会計における公債費のうち、平成 16 年度以降の 10 年間について目的別の推移を表したものが【図表 5-5】です。

【図表 5-5】目的別公債費の推移（全会計）（平成 16～25 年度）

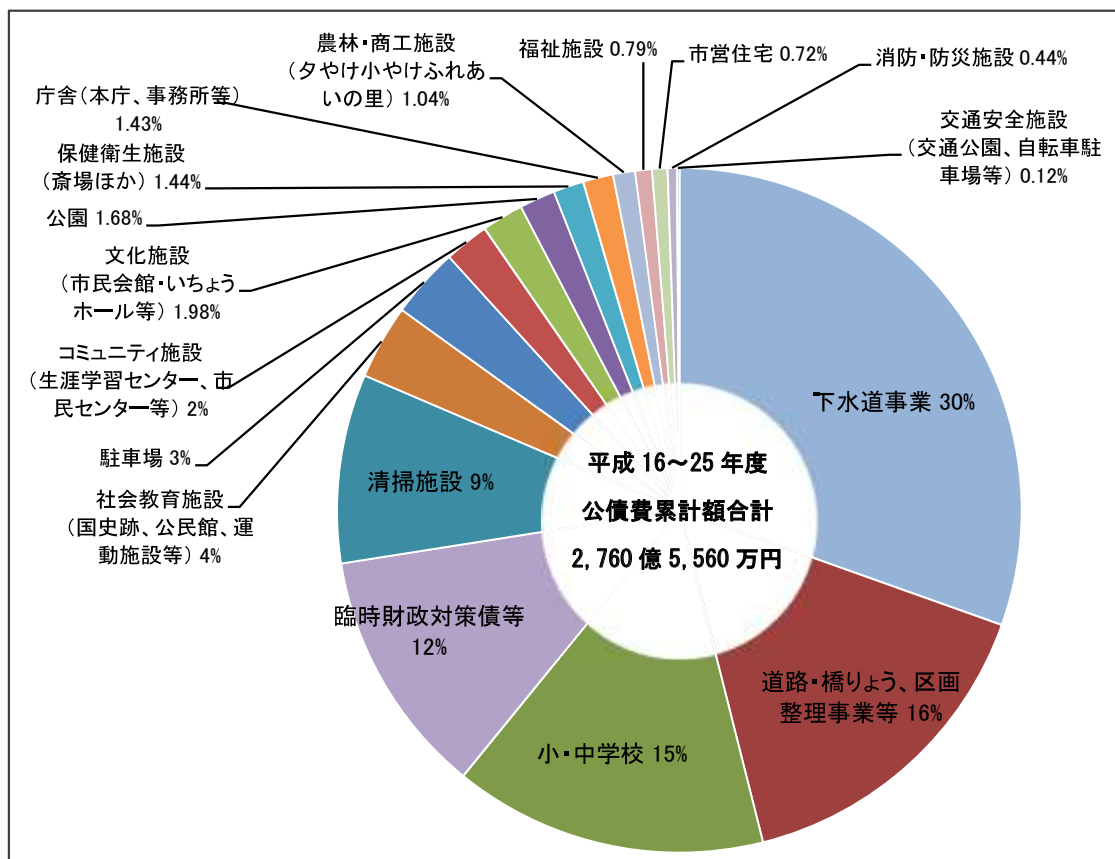


ウ 公債費の目的別内訳

平成 16 年度から平成 25 年度までの過去 10 年間の公債費累計額 2,761 億円を目的別に表したものが【図表 5-6】です。

下水道事業に係る公債費が 840 億円と最も大きく、次いで道路・橋りょうや区画整理事業などの 432 億円、小・中学校の 409 億円の順となっています。

【図表 5-6】公債費の目的別内訳（全会計）（平成 16～25 年度）



区 分	公債費累計額（円）	区 分	公債費累計額（円）
庁舎（本庁、事務所等）	3,939,155,944	公園	4,638,895,200
文化施設 （市民会館・いちょうホール等）	5,457,687,690	市営住宅	1,998,840,061
交通安全施設 （交通公園、自転車駐車場等）	323,517,156	小・中学校	40,863,778,074
コミュニティ施設 （生涯学習センター、市民センター等）	5,845,597,935	社会教育施設 （国史跡、公民館、運動施設等）	9,707,193,182
福祉施設	2,187,939,358	消防・防災施設	1,201,311,890
保健衛生施設 （斎場ほか）	3,979,258,194	下水道事業	84,021,272,733
清掃施設	24,646,194,629	駐車場	9,093,798,778
農林・商工施設 （タヤけ小やけふれあいの里）	2,861,566,742	臨時財政対策債等	32,124,742,439
道路・橋りょう、区画整理事業等	43,164,854,625	合 計	276,055,604,630

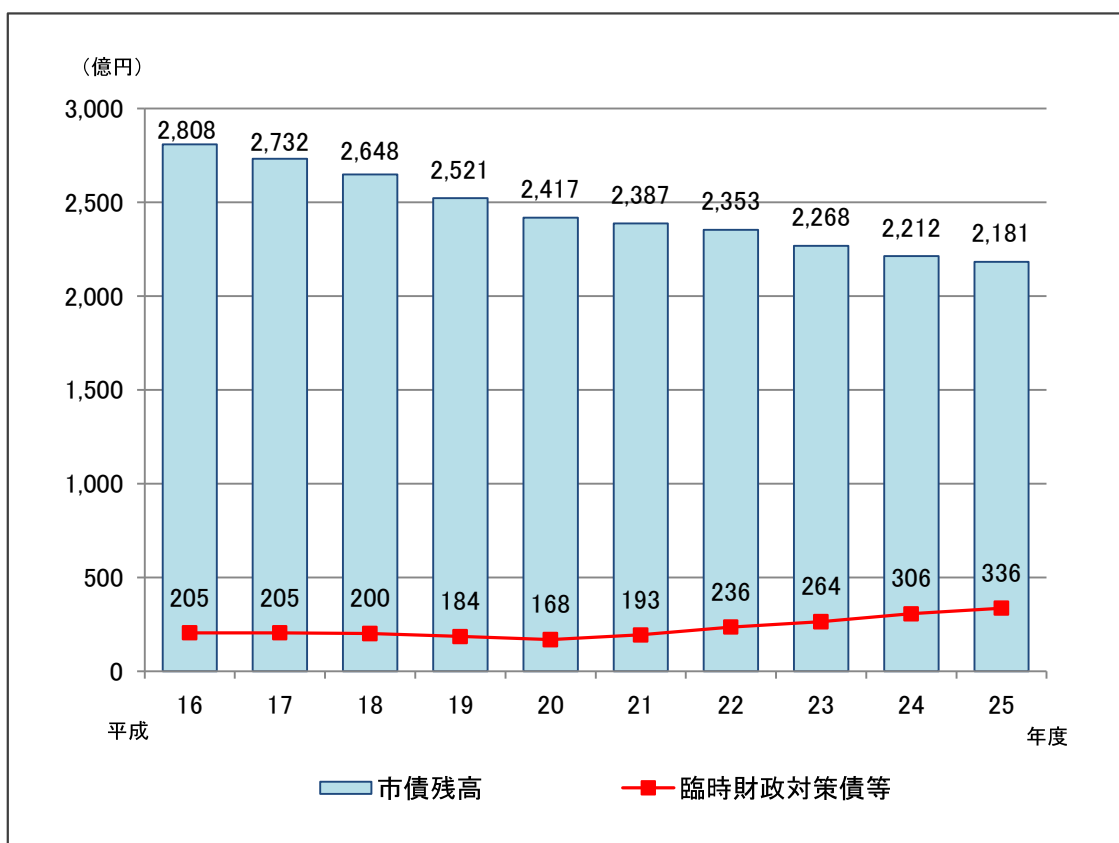
(2) 市債残高の推移

平成 16 年度からの市債残高の推移を表したのが、【図表 5-7】です。平成 16 年度末に 2,808 億円あった市債の残高は、平成 25 年度末に 2,181 億円となっています。

平成 16 年度以降も市民会館（オリンパスホール八王子）などの大規模な文化・生涯学習施設等の建物を建築していますが、平成 16 年度末から 627 億円減少させています。これは、大幅な市税収入増が見込めない一方で、扶助費が年々増加している中、長期的な視野に立って財政の健全性を維持するため、市債について「返す以上に借らない」方針のもとに財政運営を行ったためです。

また、施設整備に当たり、既存施設の活用や複合化を図るなど、建設コストを抑えてきたことも減少要因の一つとなっています（P3、【図表 1-2】参照）。

【図表 5-7】市債残高の推移（全会計）（平成 16～25 年度）





第6章 将来負担と課題

第6章 将来負担と課題

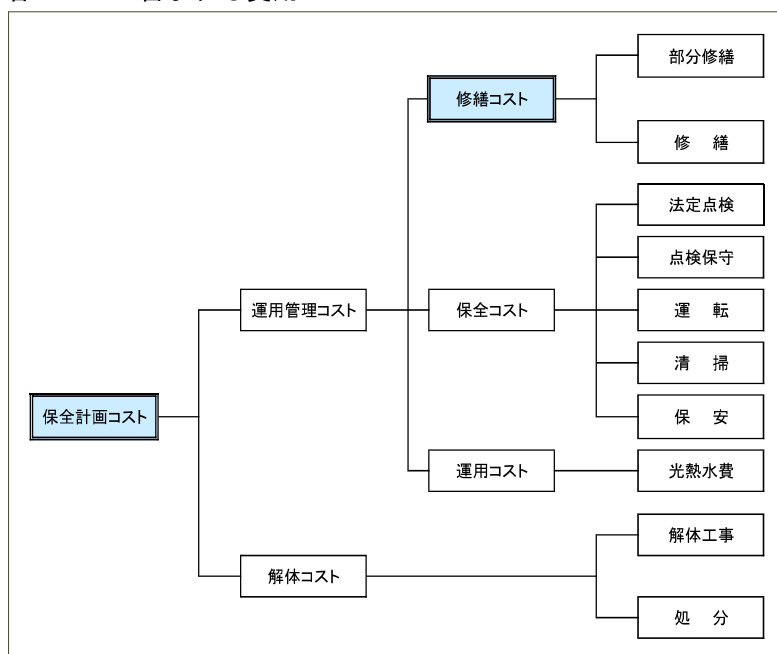
1 将来の維持管理コスト

市民サービスを限られた財源の中で持続的に行うためには、社会情勢の変化に対応した市民ニーズと施設のあり方を検討するとともに、既存施設の長寿命化を図り、良好な状態を維持していく必要があります。そのためには、不具合が生じてから修繕を行うのではなく、建物の耐用年数に応じ、計画的に維持保全を行っていく「予防保全」の考え方に沿って修繕や改修を行っていかねばなりません。

第4章では、施設類型ごとに現状のコスト分析を行いました。本章では「中長期保全計画コスト」¹から、将来的に必要となる施設の修繕や保全等にかかるコストを推計します。

「修繕コスト」は、建物の長寿命化や生涯費用の削減につながる予防保全の計画や大規模修繕費のあり方を検討するため、一定の周期で修繕工事を行った場合の経費を算出しています。部品交換などを行う「部分修繕」と、部位ごとに行う「修繕」を合わせたものとなっています。この「修繕コスト」に、法定点検や清掃等の「保全コスト」と光熱水費の「運用コスト」を加えたものを「運用管理コスト」とし、これに解体工事等の「解体コスト」を加えたものを「保全計画コスト」として算出しています。【図表 6-1】

【図表 6-1】 各コストに含まれる費用



¹ 平成 26 年 9 月に財務部建築課が取りまとめたもので、主な市有施設について、今後 30 年間に必要となる修繕コストや保全コスト等を試算しています。本章の「1 将来の維持管理コスト」で使用する図表やデータは、特に注記のない限り、「中長期保全計画コスト」からの引用です。

(1) 対象施設

以下の条件を踏まえ、平成 24 年度の財産に関する調書（建物台帳）から抽出し、266 施設、385 棟を対象としました（P139～P145「対象施設リスト」のとおり）。

ア	規模	原則として延床面積 100 m ² 以上の建物 ※消防団器具置場は、これまで改修がなされていないため延床面積 100 m ² 未満でも対象とした。
イ	構造	鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC） 鉄筋コンクリート造（RC） 鉄骨造（S） 軽量鉄骨／プレハブ造（P） 補強コンクリートブロック造（CB） ※木造、コンクリートブロック造は対象外とした。
ウ	用途	原則として主に市民が利用する施設 ただし、以下の施設は除く。 ・学校（学校教育部が別途算出しているため） ※コストの試算については、学校教育部が算出している建替費用を除き、光熱水費などの運用コストを財務部で新たに算出するなど、学校教育部作成のデータを一部加工して算出している。 ・プラント施設 戸吹クリーンセンター（戸吹清掃工場収集部門管理棟は対象）、北野清掃工場、館清掃工場、北野下水処理場、北野衛生処理センター（第 1 し尿処理場は対象） ・車庫（駐車場は対象） ・駐輪場（単独、施設付属を問わず対象外） ・倉庫（書庫、資材置場は対象） ・解体予定建物 保健所、保健センター、郷土資料館、大塚公園（更衣室・脱衣室・部室）、旧食肉処理場、泉町団地、館清掃事業所 ・その他 保健センター西寺方分室、北野衛生事業所管理事務所、医療センター（感染症病棟・中央棟）

対象施設リスト

施設数	棟数	グループ		建物名	延べ床面積 (㎡)	主な 構造	階数		竣工 年度	備 考
		棟数					地上	地下		
1	1	事務所	1	本庁舎 (事務棟・議会棟・検査棟)	32,240.79	SRC	8	1	1982	
2	2		2	職員会館	2,548.95	RC	3		1983	
3	3		3	横山事務所	1,203.32	RC	2		1974	
4	4		4	恩方事務所	1,207.12	RC	2		1974	併設：恩方老人憩いの家
5	5		5	北野事務所	1,124.53	RC	2		1974	
6	6		6	石川事務所	1,152.22	RC	2		1974	併設：地域子ども家庭支援センター石川
7	7		7	元八王子事務所	1,195.83	RC	2		1976	併設：地域子ども家庭支援センター元八王子
8	8		8	館事務所	1,107.71	RC	2		1977	併設：地域子ども家庭支援センター館
9	9		9	川口事務所	1,152.71	RC	2		1981	
10	10		10	加住事務所	1,160.38	RC	2		1982	併設：加住学童保育所
11	11		11	由井事務所	1,150.52	RC	2		1983	
12	12		12	浅川事務所	1,734.42	RC	2		1985	併設：浅川市民センター
13	13		13	由木事務所	3,067.88	RC	2		1987	併設：由木中央市民センター
14	14		14	由木東事務所	2,650.18	RC	2		1989	併設：由木東市民センター
15	15		15	八王子駅南口総合事務所	1,712.17	SRC	(1)		2010	区分所有
16	16		16	斎場（火葬・待合・葬祭）	3,910.65	RC	1・2・1		1989	
17	17		17	南多摩都市霊園（管理事務所）	141.12	RC	1		1980	
18	18		18	緑町霊園（合葬式墓地棟）	219.05	RC	1	1	2008	
	19		19	緑町霊園（管理事務所棟）	164.70	P	1		2008	
19	20	保育園	1	石川保育園	409.48	RC	1		1970	
20	21		2	北野保育園	491.67	RC	1		1970	
21	22		3	静教保育園	384.63	RC	1		1971	
22	23		4	多賀保育園	495.88	RC	2		1972	
23	24		5	子安保育園	904.65	RC	2		1972	
24	25		6	千人保育園	553.18	RC	1		1973	
25	26		7	富士見台保育園	498.00	RC	1		1973	
26	27		8	元八王子保育園	540.00	RC	1		1974	
27	28		9	恩方保育園	540.00	RC	1		1974	
28	29		10	中野保育園	526.84	RC	2		1975	
29	30		11	高尾保育園	603.53	RC	1		1976	
30	31		12	みなみ野保育園	1,212.19	RC	2		1996	併設：地域子ども家庭支援センターみなみ野
31	32	児童館・学童保育所	1	中郷児童館長房分館	403.71	RC	1		1970	
32	33		2	元八王子児童館	372.00	RC	1		1972	
33	34		3	南大谷児童館	385.05	RC	1		1972	
34	35		4	中野児童館	372.00	RC	1		1973	
35	36		5	由木児童館	438.00	RC	2		1974	
36	37		6	川口児童館	432.00	RC	1		1974	
37	38		7	北野児童館	372.00	RC	1		1974	
38	39		8	中郷児童館	432.00	RC	1		1975	
39	40		9	浅川児童館	437.00	RC	1		1978	
40	41		10	松が谷児童館鹿島分館	330.00	RC	1		1980	
41	42		11	松が谷児童館	384.00	RC	1		1980	
42	43		12	館ヶ丘児童館	447.26	RC	1		1980	
43	44		13	横山学童保育所	190.00	RC	1		1982	
44	45		14	台町学童保育所（7小内）	260.10	RC	1		2004	
45	46		15	寺町学童保育所（3小内）	201.13	RC	1		2010	
46	47		16	横川学童保育所	119.24	P	1		1984	
47	48		17	つくみ学童保育所	127.52	P	1		1987	
48	49		18	由井学童保育所	227.72	P	1		1991	
49	50		19	千人町学童保育所	139.28	P	1		2001	
50	51		20	由井かたくら学童保育所	105.99	P	1		2002	
51	52		21	高倉小学学童保育所	119.24	P	1		2004	
52	53		22	小宮小学学童保育所	196.18	P	1		2004	
53	54		23	七国小学学童保育所	192.11	P	1		2004	
54	55		24	東浅川小学学童保育所	119.24	P	1		2005	
55	56		25	由木東小学学童保育所	119.24	P	2		2005	
56	57		26	子安第二学童保育所	119.24	P	1		2006	
57	58		27	第四小学学童保育所	141.93	P	1		2006	
58	59		28	長池第二学童保育所	119.25	P	1		2006	
59	60		29	みなみ野君田小学学童保育所	161.47	P	1		2006	
60	61		30	元八王子学童保育所	178.87	P	1		2007	

61	62	児童館・学童保育所	31	山田小学学童保育所	178.86	P	1		2007	
62	63		32	秋葉台学童保育所 第二クラブ	132.49	P	1		2008	
63	64		33	北野学童保育所	216.40	P	1		2008	
64	65		34	寺田学童保育所第二クラブ	132.49	P	1		2008	
65	66		35	恩方西学童保育所	177.53	P	1		2009	
66	67		36	鎌水小学学童保育所第一クラブ	134.27	P	1		2009	
67	68		37	横山第一小学学童保育所	259.03	P	1		2012	
68	69	道路交通	1	八王子駅北口地下駐車場	24,821.53	RC		2	1999	
69	70		2	旭町駐車場(再開発ビル地下)	4,777.84	RC		(1)	1996	区分所有
70	71		3	東浅川交通公園 (管理棟)	187.28	S	2		1984	
71	72		4	清川交通公園 (管理棟)	187.28	S	2		1987	
72	73		5	補修センター(事務棟)	905.04	S	2		1982	
73	74	公園	6	補修センター (書庫棟)	486.00	S	3		1989	
73	75		1	大塚公園 (管理事務所)	321.82	RC	1		1985	
74	76		2	南大沢中郷公園 (管理事務所)	157.06	RC	2		1992	
75	77		3	蓮生寺公園 (管理事務所)	172.98	RC	1		1997	
76	78		4	松木公園 (管理事務所)	276.41	RC	1		1997	
77	79		5	長池公園 (管理事務所)	1,313.29	W・RC	2		2000	
78	80		6	栃谷戸公園	127.75	RC	2		1999	
79	81		7	高尾梅の郷まちの広場 (管理棟)	126.04	RC	1		2013	
80	82		8	堀之内寺沢里山公園管理事務所	199.40	RC	1		2008	
81	83		9	片倉つどいの森公園 (管理事務所南棟)	140.00	RC	1		2009	
82	84	産業	1	恩方農村環境改善センター	504.00	RC	1		1979	
83	85		2	上川農村環境改善センター	608.00	RC	1		1983	
84	86	医療・福祉	1	東浅川保健福祉センター	8,720.69	SRC	5	1	1990	
85	87		2	地域子ども家庭支援センター 南大沢	923.59	RC	2	1	1997	旧南大沢保健福祉センター 分室
86	88		3	大横保健福祉センター	3,496.16	RC	4	1	2014	
87	89		4	小児・障害メディカルセンター (本館)	5,026.99	RC	3	1	1980	
	90		5	小児・障害メディカルセンター (一般外来)	90.60	S	1		2010	
	91		6	小児・障害メディカルセンター (夜間救急棟)	584.12	S	2		2010	
88	92		7	心身障害者福祉センター	992.75	RC	2		1979	併設：知的障害児通園施設
89	93		8	長沼通所センター	1,882.48	RC	4		1991	併設：障害者療育センター
90	94		9	看護専門学校 (西棟)	428.80	RC	2		1992	
	95		10	看護専門学校 (東棟)	1,409.55	RC	2		1978	
	96		11	看護専門学校 (体育館)	646.00	RC	1		1999	
91	97		12	高齢者在宅サービスセンター 長沼	688.73	RC	(1)		1995	区分所有 屋根(施設部分のみ)、外壁 (一階部分は全て) 算入
92	98		13	高齢者在宅サービスセンター 石川	777.75	RC	(1)		2000	区分所有 屋根(施設部分のみ)、外壁 (一階部分は全て) 算入
93	99		14	高齢者在宅サービスセンター 中野	700.00	RC	(1)		2003	区分所有 屋根(施設部分のみ)、外壁 (一階部分は全て) 算入
94	100		15	高齢者在宅サービスセンター 長房	758.94	RC	(1)		2004	区分所有 屋根(施設部分のみ)、外壁 (一階部分は全て) 算入 併設：地域包括支援センター 長房
95	101	市民センター・会館	16	地域包括支援センター寺田	187.00	P	2		1997	
96	102		17	上野町高齢者交流施設	100.98	P	1		1998	
97	103		1	大和田市民センター	2,700.63	RC	3		1982	
98	104		2	長房市民センター	829.13	RC	2		1983	
99	105		3	子安市民センター	2,445.36	RC	3		1987	
100	106		4	元八王子市民センター	1,799.81	RC	2		1988	
101	107		5	由井市民センター	1,413.80	RC	2		1988	
102	108		6	中野市民センター	1,798.75	RC	2		1989	
103	109		7	石川市民センター	1,792.23	RC	2		1993	
104	110		8	台町市民センター	2,378.60	RC	2		1995	
105	111		9	恩方市民センター	1,816.80	RC	2		1995	
106	112		10	川口市民センター	3,952.21	RC	2		1996	併設：生涯学習センター川口 分館、川口図書館

107	113	市民センター・会館	11	加住市民センター	1,837.23	RC	2		2002	
108	114		12	横山南市民センター	1,688.26	RC	2		2003	
109	115		13	榛名公園会館	154.00	RC	2		1974	
110	116		14	館町市民センター	602.91	RC	2		1978	
111	117		15	明神会館	139.05	RC	2		1979	
112	118		16	戸吹会館	565.41	RC	2		1980	
113	119		17	万町会館	181.90	RC	3		1981	
114	120		18	(旧)南大沢会館	384.06	RC	2		1981	併設：親子ふれあい広場（地域子ども家庭支援センター南大沢）
115	121		19	横川会館	312.00	S	2		1981	
116	122		20	大目会館	465.43	RC	2		1983	
117	123		21	川口東部会館	349.90	RC	2		1986	
118	124		22	小宮会館	599.85	RC	2		1987	
119	125		23	平町会館	238.50	RC	2		1989	
120	126		24	山田会館	402.84	RC	2		1990	
121	127		25	北野南部会館	526.00	RC	2		1996	
122	128		26	天神会館	254.00	S	2		1979	
123	129		27	(旧)左入会館	254.47	P	2		1979	
124	130		28	(旧)館町会館	201.46	P	2		1980	
125	131	文化	1	芸術文化会館	14,794.85	RC	4	1	1993	
126	132		2	学園都市センター (再開発ビル内)	3,187.54	S	(11~13)		1996	区分所有
127	133		3	夢美術館	1,275.06	RC	(1)		2003	区分所有
128	134		4	オリンパスホール八王子 (市民会館)	10,343.35	SRC			2010	区分所有
129	135		5	デジタルハリウッド大学 (三本松小)	4,368.01	RC	4		1983	
	136		6	デジタルハリウッド大学 (三本松小) 体育館	700	S	1		1983	
130	137	生涯・スポーツ	1	生涯学習センター (クリエイティブホール)	12,525.55	SRC	11	2	1998	併設：生涯学習センター図書館、子ども家庭支援センター、男女共同参画センター、消費生活センター、駐車場
131	138		2	中央図書館	5,581.44	SRC	3	1	1984	
132	139		3	コニカミノルタサイエンスドーム(こども科学館)	2,996.15	RC	3	1	1988	
133	140		4	絹の道資料館	349.06	RC	2		1989	
134	141		5	八王子城跡ガイダンス施設	467.70	RC	1		2011	
135	142		6	姫木平自然の家(東棟)	1,862.17	RC	2		1976	
	143		7	姫木平自然の家 (体育館・渡廊下)	570.42	S	1		1978	
	144		8	姫木平自然の家 (西棟・渡廊下)	1,481.08	RC	2		1984	
136	145		9	市民体育館	6,298.58	SRC	2		1974	
137	146		10	市民体育館分館競技場	1,461.66	S	1		1982	
138	147		11	甲の原体育館	4,536.63	RC	2		1992	
139	148		12	市民球場管理事務所	4,528.88	RC	2		1984	
140	149		13	富士森公園陸上競技場事務所	123.04	RC	2		1972	
	150		14	富士森公園陸上競技場便所	100.00	RC	1		1983	
141	151		15	戸吹スポーツ公園管理事務所	238.60	S	1		2010	
142	152		16	上柚木公園陸上競技場 (メインスタジアム)	1,194.01	PC	1		1996	
143	153		17	上柚木公園野球場 (内野スタンド)	1,914.66	PC	2		2000	
144	154		18	エスフォルタアリーナ八王子 (総合体育館)	23,088.64	SRC	4		2014	
145	155		19	旧稲荷山小	4,293.12	RC	4		1983	
	156		20	旧稲荷山小体育館	700.00	S	1		1983	
146	157		21	陵南公園内プール管理舎	126.00	P	1		1989	
147	158		22	滝ガ原運動場(管理棟)	139.12	P	1		2001	
148	159	資源水循環	1	戸吹湯ったり館	1,229.13	RC	1		2000	
149	160		2	北野余熱利用センター (あったかホール)	5,810.00	SRC	5		1997	
150	161		3	北野衛生処理センター (旧第1し尿処理場)	5,797.67	RC	2	1	1982	
151	162		4	南大沢清掃事業所	992.03	RC	2		1990	
152	163		5	戸吹清掃工場 (収集部門管理棟)	3,155.62	RC	6		1997	

※ エスフォルタアリーナ八王子（総合体育館）の竣工は平成26年度ですが、規模が大きいため、保全計画コストに与える影響を考慮して対象としました。

153	168	住宅	1-5 (5)	高倉団地	6,457.58	別紙1	別紙1	別紙1	別紙1	
154	169		6 (1)	明神団地	1,968.10					
155	175		7-12 (6)	大和田団地	5,731.58					
156	192		13-29 (17)	大谷団地（集会場共）	6,757.08					
157	193		30 (1)	中野団地	3,366.07					
158	198		31-35 (5)	元本郷団地	10,958.88					
159	204		36-41 (6)	恩方団地	1,011.14					
160	246		42-83 (42)	長房第一団地（集会場共）	13,651.81					
161	255		84-92 (9)	長房第二団地	1,862.52					
162	258		93-95 (3)	西中野団地	4,875.56					
163	269		96-106 (11)	檜原団地	1,350.13					
164	273		107-110 (4)	川口団地	592.00					
165	277		111-114 (4)	大和田台団地（集会場共）	8,115.43					
166	278	観光	1	タヤけ小やけふれあいの里 （管理棟）	528.50	S	2		1993	
	279		2	タヤけ小やけふれあいの里 （夕焼小焼館）	1,430.00	RC	2	1	1995	
	280		3	タヤけ小やけふれあいの里 （おおりの家）	2,060.04	RC	1		1995	
	281		4	タヤけ小やけふれあいの里 （いろりばた）	459.00	S	3		1995	
	282		5	タヤけ小やけふれあいの里 （フルーツフラワーセンター）	1,025.48	S	1		1995	
167	283		6	道の駅「八王子滝山」	1,322.40	RC	1		2006	
168	284		7	高尾の里	1,441.67	RC	2		2014	
256	372	防災	1-88 (88)	消防団器具置場 第一分団第一部～ 第十二分団第十一部	5,007.26	別紙2	別紙2	別紙2	別紙2	
257	373		89	館町防災倉庫	100	RC	1		1983	
258	374		90	中野山王防災倉庫	100	RC	1		1985	
259	375		91	宮下町防災倉庫	100	RC	1		1984	
260	376		92	下柚木防災倉庫	120	RC	1		1987	
261	377	その他	1	教育センター（東棟）	1,720.12	RC	3		1974	
	378		2	教育センター（西棟）	4,107.82	RC	3	1	1993	
262	379		3	平岡作業所（作業場）	119.20	S	1		1985	
	380		4	平岡作業所（倉庫）	150.00	S	1		1985	
263	381		5	館町書庫	252.00	RC	2		1978	
264	383		6-7 (2)	フレスコ南大沢	13,058.66	RC	(3) ・ (1)		1995	（賃貸）南大沢事務所・南大沢保健福祉センター・南大沢市民センター・南大沢文化会館・南大沢図書館・生涯学習センター南大沢分館
265	384		8	北野市民センター	2,177.16	RC	(2)		1987	（賃貸）きたのタウンビル 7F/8F 併設：中央図書館北野分室
266	385		9	長房ふれあい館	1,505.53	RC	(1)		1999	（賃貸）都営長房アパート西1号棟 1F

総延べ床面積 397,402.07

（構造凡例）

SRC:鉄骨鉄筋コンクリート造 RC:鉄筋コンクリート造 PC:プレキャストコンクリート造 S:鉄骨造 P:軽量鉄骨/プレハブ造

*竣工年度は、財産_建物台帳(H24)による。延べ床面積・主な構造・階数については、図面情報を優先した。

*棟数については、建築年が異なりエキスパンションジョイントされている場合は別棟として計数した。

*賃貸の施設については、屋根・外部・外部幹線・昇降機・消火は含まず。

*区分所有施設については、屋根・外部・外部幹線は含まず。（一部例外備考参照） 昇降機・消火は専用または、管理を市が行っている場合は含む。

市営住宅リスト

(別紙 1)

団地名称	棟数	街区	号棟	階数	面積 m ²	構造	建設年度
高倉	1		1	3	903.32	PC	1987
	2		2	4	1,151.25		
	3		3		1,151.25		
	4		4		1,525.44		
	5		5		1,726.32		
		合 計				6,457.58	
明神	1		1	5	1,968.10	PC	1990
大和田	1		1	3	1,334.62	PC	1985
	2		2		863.44		
	3		3		796.48		
	4		4		1,144.08		
	5		5		796.48		
	6		6	796.48			
	合 計				5,731.58		
大谷	1		1	3	432.13	PC	1987
	2		2		432.13		
	3		3		432.13		
	4		4		432.13		
	5		5		432.13		
	6		6		432.13		
	7		7		432.13		
	8		8		432.13		
	9		9		432.13		
	10		10		432.13		
	11		11		432.13		
	12		12		432.13		
	13		13	2	288.09		
	14		14	3	381.91		
	15		15		381.91		
	16		16		381.91		
	17	集会場		1	137.70	S	1988
		合 計				6,757.08	
中野	1		1	4	3,366.07	RC	2013
元本郷	1		1	4～6	2,195.96	RC	1999
	2		2	4～5	2,035.74		
	3		3	4～6	2,154.46		
	4		4	5	3,256.22		
	5		5	3	1,316.50		
	合 計				10,958.88		
恩方	1		1	1	127.45	RC	1991
	2		2		122.55		
	3		3		131.27		
	4		4		131.27		
	5		5		124.65		
	6		6	373.95			
	合 計				1,011.14		

団地名称	棟数	街区	号棟	階数	面積　㎡	構造	建設年度
長房第一	1	No.1	1	2	161.52	RC	1959
	2		2		161.52		
	3		3		161.52		
	4		4		161.52		
	5		5		161.52		
	6		6		161.52		
	7		7		161.52		
	8		8		161.52		
		小計			1,292.16		
	9	109	1	1	208.26	CB	
	10		2		208.26		
	11		3		208.26		
	12		4		208.26		
	13		5		208.26		
	14		6		208.26		
	15		7		208.26		
		小計			1,457.82		
	16	No.2	9	2	242.28	RC	
	17		10		242.28		
	18		11	2	242.28	RC	
	19		12		242.28		
	20		13		161.52	CB	
	21		14		242.28	RC	
	22		15	242.28			
			小計			1,615.20	
	23	92	1	1	208.26	CB	
	24		2	1	208.26		
		小計			416.52		
	25	No.3	1	4	969.12	RC	1960
	26		2		969.12		
	27		3		1,025.76		
	28		4		1,025.76		
	29		5	1,025.76			
	30		6	5	641.10		
	31		7		641.10		
			小計				
	32	No.4	16	2	242.28	RC	
	33		17		242.28		
	34		18		242.28		
	35		19		242.28		
	36		20		242.28		
	37		21		242.28		
	38		22		242.28		
			小計				
	39	No.5	23	2	242.28	RC	
	40		24		242.28		
	41		25		242.28		
		小計			726.84		
	42	集会所		1	149.59	S	1984
		合　　計			13,651.81		

団地名称	棟数	街区	号棟	階数	面積　㎡	構造	建設年度	
長房第二	1		1	2	161.52	RC	1960	
	2		2		161.52			
	3		3		242.28			
	4		4		242.28			
	5		5		242.28			
	6		6		242.28			
	7		7		161.52		1961	
	8		8		161.52			
	9		9		247.32			
			合　　計		1,862.52			
西中野	1		1	3	2,022.98	RC	2002	
	2		2		1,855.19			
	3		3		997.39			
			合　　計		4,875.56			
檜原	1	No.1		1	138.84	CB	1960	
	2				138.84			
	3				138.84			
		小計				416.52		
	4	No.2		1	140.45	CB	1960	
	5				119.00		1961	
	6				112.36		1960	
	7				112.36			
	8				112.36			
	9				112.36			
	10				112.36			
	11				112.36			
			小計				933.61	
		合　　計				1,350.13		
川口	1			1	148.00	CB	1965	
	2				148.00			
	3				148.00			
	4				148.00			
		合　　計				592.00		
大和田台	1		1	5	1,747.41	RC	1974	
	2		2		1,747.41		1975	
	3		3	8	4,509.00		1995	
	4	集会場		1	111.61	S	1974	
		合　　計				8,115.43		
総　合　　計					66,697.88			

※除く:木造、プレハブ造の床面積100㎡未満

(構造凡例) RC :鉄筋コンクリート造
PC :プレキャストコンクリート造
S :鉄骨造
CB :補強コンクリートブロック造

消防団器具置場リスト

棟数	名 称		階数	面積 m ²	構造	建設年度	備 考
	分団	部					
1	第一	第1	2	115.10	RC	1990	
2		第2	2	72.36		2012	
3		第3	2	70.05		1987	
1	第二	第1	2	39.60	RC	1976	
2		第2	2	70.05		1993	
3		第3	2	41.59		1981	
1	第三	第1	2	42.31	RC	1982	
2		第2	2	40.53		1983	
3		第3	2	70.87		2010	
4		第4	2	72.13		2011	
5		第5	2	40.55		1978	
6		第6	2	42.31		1981	
1	第四	第1	2	42.31	RC	1980	
2		第2	2	43.72	S	1985	
3		第3	2	42.31	RC	1982	
4		第4	2	71.40		2014	
5		第6	2	42.32		1984	
1	第五	第1	2	39.60	RC	1976	
2		第2	2	42.32		1984	
3		第3	2	42.32		1985	
4		第4	2	42.32		1985	
5		第5	2	42.32		1983	
6		第6	2	42.32		1983	
7		第7(旧8)	2	80.32		1986	
8		旧7	2	70.05		1996	備蓄・防災倉庫
1	第六	第1	2	42.31	RC	1980	
2		第2	2	42.31		1977	
3		第3	2	42.31		1981	
4		第4	2	42.31		1981	
5		第5	2	70.05		1988	
6		第6	2	70.05		1990	
1	第七	第1	2	80.32	S	1983	
2		第2	2	80.60	RC	1992	
3		第3	2	70.05		2000	
4		第4	2	42.31		1978	
5		第6	2	42.31		1981	
6		第7	2	42.31		1982	
1	第八	第1	2	80.32	S	1983	
2		第2	2	70.05	RC	1990	
3		第3	2	42.31		1977	
4		第4	2	42.32		1986	
5		第5	2	70.05		1991	
6		第6	2	70.05		1989	
7		第7	2	42.31		1978	
8		第8	2	42.31		1982	
9		第9	2	42.32		1984	
10		第10	2	70.05		1991	
11		第11	2	70.05		1988	

(別紙2)

棟数	名 称		階数	面積 m ²	構造	建設年度	備 考
	分団	部					
1	第九	第1	2	70.05	RC	1986	
2		第2	2	42.32		1983	
3		第3	2	70.05		1995	
4		第4	2	70.05		1991	
5		第5	2	42.31		1980	
6		第6	2	70.05		1998	
7		第8	2	42.31		1979	
8		第10	2	70.05		2004	
9		第11	2	42.31		1980	
10		第12	2	42.31		1981	
1	第十	第1	2	70.05	RC	1992	
2		第2	2	70.05		1986	
3		第3	2	70.05		1992	
4		第4	2	70.05		1993	
5		第5	2	70.05		1986	
6		第6	2	70.05		2000	
7		第7	2	42.32		1983	
8		第8	2	70.05		2000	
1	第十一	第1	2	42.34	S	1984	
2		第2	2	37.21	RC	1982	
3		第3	2	70.05		1994	
4		第4	2	42.32		1985	
5		第5	2	70.05		1996	
6		第8	2	112.34		2013	
7		第9	2	43.72	S	1987	
8		第11	2	40.15	RC	1979	
9		第12	2	42.32		1984	
10		第13	2	112.63		2012	
11		旧6	2	42.32		1985	備蓄倉庫
1	第十二	第1	2	42.31	RC	1980	
2		第2	2	42.32		1987	
3		第3	2	70.05		1989	
4		第4	2	70.05		1990	
5		第5	1	51.38		2006	
6		第6	2	42.31		1977	
7		第7	2	70.05		1987	
8		第8	2	70.05		1987	
9		第9	2	43.72	S	1985	
10		第10	2	42.31	RC	1978	
11		第11	2	42.32		1984	
総合計				5,007.26			

※除く:木造、プレハブ造

(構造凡例) RC :鉄筋コンクリート造
S :鉄骨造

(2) 算出の方法

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「平成 17 年度版 建築物のライフサイクルコスト」(以下、「建築物のライフサイクルコスト」という。)を参照して作成しました。

対象施設 (266 施設 385 棟) の生涯費用を算出した上で、平成 27 年度から 30 年間分を抽出してまとめました。

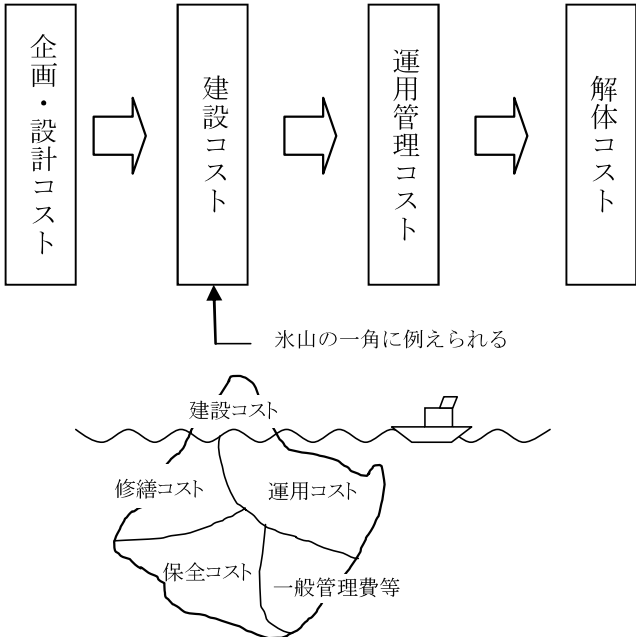
ア	修繕コスト	「建築物のライフサイクルコスト」第 3 編第 4 章の計算プログラムを利用
イ	保全コスト・運用コスト	平成 24 年度の実績 (決算書、活動報告書など) に基づいて算出
ウ	解体コスト	平成 25 年度の積算単価を使用
エ	修繕周期	「建築物のライフサイクルコスト」を参考に、建築物の調査結果を踏まえた調整を行い、修繕周期年数表 (P149～P155) のとおりとした。 ・竣工年度から計算を開始した。 ・平成 25 年度までに何らかの修繕工事が行われている場合は、その部位の修繕周期を起点に修正した。 ・平成 25 年度までに行うべき修繕工事が行われていない場合 (積み残し工事) は、平成 27 年度に実施することとして、修繕周期を平成 27 年度へ起点修正した。
オ	竣工年度	財産に関する調書 (建物台帳) (H24) による。
カ	棟数	同一建物でも建築年が異なり、エキスパンションジョイントされている場合は、別棟としてカウントした。
キ	延床面積・主な構造・階数	財産に関する調書 (建物台帳) (H24) を参考に、建築課で保存している図面情報を優先に算出した。
ク	住宅	屋根、外壁、共用廊下等を対象とし、各住戸内は対象外とした。
ケ	賃貸施設	内部を対象とし、屋根、外部、外部幹線・昇降機・消火設備は対象外とした。
コ	区分所有施設	内部を対象とし、屋根、外部、外部幹線は対象外とし、昇降機、消火設備は、専用又は市が管理を行っている場合は対象とした。
サ	基準日	・施設状況 : 平成 26 年度を基準とした。ただし、平成 26 年度下半期については予定を反映させた。 ・積算単価 : 平成 25 年度版を使用した。
シ	消費税	10%
ス	物価補正	修繕コストは「建築物のライフサイクルコスト」を利用す

		るが、平成 17 年度版であるため物価の補正を検討し以下のとおりとした。 建 築 : 代表的単価を比較し、平成 17 年を 1 とすると平成 25 年は 0.72～1.05 であることから補正はしない。 設 備 : 平成 25 年度の単価に修正し、補正した。
セ	物価上昇率	不算入(平成 25 年時の単価で計算)
ソ	閾値	50% (ある更新工事の年から耐用年数(最終年)までの年数が、その工事の更新サイクルの 50%以下の年数の場合は工事を行わない。)
タ	目標耐用年数	耐用年数は構造別に下記の資料を参考に a、b のとおり決定した。 ア) 減価償却資産の耐用年数等に関する省令(平成 10 年 3 月 31 日) イ) 「建築物のライフサイクルコスト」 a 鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造 : 75 年 ア) では 50 年(事務室・美術館等・その他)、イ) では 65 年であるが、イ) を採用し予防保全を前提に 10 年加算し、75 年とした。 b 軽量鉄骨/プレハブ造 : 50 年(軽量鉄骨/プレハブ造は、ア) で公表されていないため、鉄骨造(肉厚 3～4 mm 以内)を参考にする) ア) では 30 年(事務室・美術館等・その他)、イ) では規定なしであるが a のア) とイ) の割合(65/50)に準じ 1.3 倍した上で、予防保全を前提に 10 年加算し、50 年とした。
チ	算出対象工事種別	・建築 屋根、外部(床・壁・建具)、内部仕上(床・壁・天井^(注1)・建具)、内部雑工事 ・電気 電力(幹線・電灯・コンセント関係)、通信・情報(弱電関係)、通信・情報(防災関係) ・設備 空調換気、給排水衛生、ガス、昇降機、消火

(注 1) : 耐震天井、告示(平成 25 年国土交通省告示第 771 号(平成 26 年 4 月施行))対応天井ではない。

(3) 用語の定義

本章での用語の定義は、次のとおりとします。

建物の生涯費用 (ライフサイクル コスト)	一般的には建物の企画の段階から解体処分までにかかる総費用のこと。  〈一般的なライフサイクルコストのイメージ図〉
長 寿 命 化	躯体が健全である限り、適切な維持保全によって建物の寿命を永らえさせること。
目 標 耐 用 年 数	耐用年数には法定耐用年数、物理的耐用年数などがあるが、使用上の要求から設定された耐用年数のこと。計画耐用年数ともいう。
修 繕 工 事	損耗、劣化及び破損又は故障により損なわれた機能を回復させる工事。
改 修 工 事	改良及び模様替えなど建築当時を超える水準まで改善を図る工事。
保全計画コスト	運用管理コストと解体コストを合わせたもの。
修 繕 コ ス ト	部品交換などを行う部分修繕と、部位ごとに行う修繕工事を合わせたもの。
維 持 保 全	建築当時の性能及び機能を維持するために行う保全。
改 良 保 全	建築当時の性能及び機能を上回る改良を図るために行う保全。
予 防 保 全	維持保全を計画的に行い、使用中の不具合を未然に防ぐもの。
事 後 保 全	不具合が生じた後に行う保全。

修繕周期年数表(建築)

区 分	種 別	周期 (年)
屋 根	アスファルト防水+押えコン	30
	アスファルト露出防水	20
	シート系防水(塩ビ・ゴム等)	20
	塗膜防水(ウレタン・ゴムアス)	20
	屋根 アスファルトシングル葺き	20
	屋根 スレート波板葺き	30
	屋根折板葺き	30
	屋根金属板葺き	30
	ステンレス製笠木	65
	アルミ製笠木	20
	ステンレス製水切り(防水端末)	20
	堅樋 VP管	30
	堅樋 鋼管	20
	トップライト ステンレス製	65
	ルーフドレン(鋳鉄製)	30
	アルミ製手摺	40
	鋼製亜鉛めっき手摺	20
	ステンレス製丸環(19、内径150)	65
	鉄製丸環(19、内径150)	20
	ステンレス製タラップ	65
	鉄製タラップ	20
外 壁	外壁 石	65
	外壁 二丁掛タイル張	65
	外壁 小ロタイル張等	40
	外壁 複層仕上塗材	15
	外壁 厚付け仕上塗材	20
	外壁 塗装	20
	外壁 成形板	30
	外壁 シーリング	20
	カーテンウォール PC版	65
	カーテンウォール ステンレス製	65
	カーテンウォール アルミ製	40
	外部天井金属成形板(ステンレス製)	65
	外部天井金属成形板(アルミ製)	40
	外部天井ボード	30
建 具	床ー石	65
	床ータイル	65
	外部アルミ建具	40
	外部ステンレス建具	65
	外部銅製建具	30
	自動扉	65
	銅製シャッター 重量	65
	銅製シャッター 軽量	30
	ガラスブロック	40
	内部銅製軽量建具	30
	内部銅製建具	30
	内部ステンレス製建具	65
	内部木製建具	30

区 分	種 別	周期 (年)
内部仕上	床ー石	65
	床ータイル	65
	床ータイル(下地に防水があるもの)	30
	床ー塗床	30
	床ービニル系	30
	床ーカーペット	30
	二重床+カーペット	30
	二重床+ビニル系床材	30
	フローリング	30
	畳	30
	壁ー石	65
	壁ータイル	30
	壁ーボード	30
	壁ークロス	30
	壁ー左官仕上	30
	幅木ービニル系	30
	幅木ー木製(塗り替え)	30
	可動間仕切	40
	幅木ー石	65
	幅木ータイル	30
	壁ー内部塗装	20
内部雑	内部天井金属成形板(ステンレス製)	40
	内部天井金属成形板(アルミ製)	65
	天井ボード	30
	天井コンクリート吹付	30
	天井グラスウール	30
	システム天井	40
	トイレブース(鋼製・メラミン)	65
	トイレブース(木製・塗装)	30
	内部雑 化粧洗面カウンター	30
	ブラインド	20
	書架	30
	造付け家具	20
	手すり(ステンレス製)	65
	手すり(集成材)	40
	流し台	30
	スクリーン	30
	カーテン	30

修繕周期年数表(電気)

区分	種別	名称	修繕内容	周期(年)
受変電	高压受配電盤	受電盤 引込盤	修繕 更新	30
			撤去・処分	
	高压変圧器盤	低圧動力盤 低圧電灯盤 低圧非常盤	部分修繕 部分修繕 定常修繕	15
			修繕 更新	30
			撤去・処分	
		低圧電灯盤 (事務所)	部分修繕 部分修繕 更新	15
			修繕 撤去・処分	30
			更新	
	高压コンデンサ盤	高压コンデンサ盤	部分修繕 部分修繕 更新	15
			修繕 撤去・処分	30
			更新	
	高压変圧器	トッランナー変圧器 ・単相 ・三相 ・スコット(油入)	部分修繕 部分修繕 定常修繕 (オイル交換)	10
			修繕 更新 撤去・処分	30
			更新	
		トッランナー変圧器 ・単相 ・三相 ・スコット(モールド)	修繕 更新 撤去・処分	30
			更新	
			撤去・処分	
	高压進相コンデンサ	高压コンデンサ	修繕 更新 撤去・処分	30
	高压直列リアクトル	直列リアクトル	修繕 更新 撤去・処分	30
発電・静止形電源	非常用ディーゼル発電	自家発電装置 ・ディーゼル機関	部分修繕 定常修繕 (ピストン分解他)	8
			定常修繕 (シリンダーヘッド開放他)	4
			定常修繕 (オイル交換他)	2
			修繕 更新 撤去・処分	30
			更新	
			撤去・処分	
	太陽光発電	電池モジュール パワーコンディショナー 表示装置(屋内壁掛型)	部分修繕 部分修繕 定常修繕	12
			修繕 更新 撤去・処分	25
			更新	
	直流電源	蓄電池盤	部分修繕 定常修繕 (蓄電池交換)	8
			修繕 更新 撤去・処分	20
		直流電源設備	部分修繕 定常修繕 (蓄電池交換)	13
			定常修繕 (触媒栓交換)	5
			修繕 更新 撤去・処分	20
			更新	
	交流無停電電源	無停電電源装置	部分修繕 定常修繕 (MC,MCCB,一般計器等)	10
			定常修繕 (SC,Ry,T,警報ヒューズ等)	5
			修繕 更新 撤去・処分	20
			更新	

区分	種別	名称	修繕内容	周期(年)
電力	制御盤	制御盤 動力制御盤	修繕 更新	25
			撤去・処分	
	開閉器箱	開閉器 動力盤	修繕 更新	25
			撤去・処分	
	分電盤	分電盤 電灯盤	修繕 更新	25
			撤去・処分	
	蛍光灯	蛍光灯	修繕 更新	20
			撤去・処分	
	非常灯	非常灯 (蓄電池組込形)	部分修繕 定常修繕 (安定器・蓄電池交換)	10
			修繕 更新 撤去・処分	20
			更新	
		非常灯 (蓄電池別置形)	修繕 更新 撤去・処分	20
			更新	
			撤去・処分	
	誘導灯	高輝度誘導灯 LED型	修繕 更新	20
			撤去・処分	
	白熱灯	白熱灯	修繕 更新	20
			撤去・処分	
	HID灯	HID灯	修繕 更新	20
			撤去・処分	
	照明制御装置	熱線センサ 自動点滅器 照明操作盤 照明制御盤 誘導灯信号装置 電動昇降装置	修繕 更新	25
			撤去・処分	
	配線器具類	配線器具類 ・スイッチ ・コンセント	修繕 更新	20
			撤去・処分	
	電熱	フロアヒーティング 設備	修繕 更新	20
			撤去・処分	
	配管配線類	電線管 ・G管	部分修繕 塗装の塗替	10
			修繕 更新	30
			撤去・処分	
		電線管 ・PE管 ・プリカ ・1種金属線び ・ライティングダクト	修繕 更新	30
			撤去・処分	
			更新	
		電線管 ・E管(露出)	部分修繕 塗装の塗替	15
			修繕 更新	65
			撤去・処分	
		電線管 ・E管(いんべい) ・PF管 ・VE管	修繕 更新	65
			撤去・処分	
			更新	
	その他	ケーブルラック ブルボックス	修繕 更新	75
			撤去	
		電線 ケーブル	修繕 更新	30
			撤去	
		換気扇	修繕 更新	20
			撤去	
		水位電極	修繕 更新	25
			撤去	

区分	種別	名称	修繕内容	周期 (年)
中央監視	中央監視制御	中央監視盤	更新	20
			撤去	
通信・情報	構内情報通信網	情報設備 LAN設備	更新	20
			撤去	
	構内交換	電話設備 ・主装置 ・電話機 ・端子盤	更新	20
			撤去・処分	
		通信コンセント	更新 撤去・処分	30
	情報表示 (出退表示)	出退表示設備	更新	20
			撤去・処分	
	情報表示 (時刻表示)	親時計	部分修繕 (蓄電池交換)	5
			更新 撤去・処分	20
		電気時計設備	更新	20
			撤去・処分	
	情報表示 (マルチサイン)	情報表示設備	更新	20
			撤去・処分	
	拡声	放送設備 ・アンプ ・スピーカー	更新	20
			撤去・処分	
	映像・音響	視聴覚設備 ・アンプ ・スピーカー	更新	20
			撤去・処分	
	誘導支援 (インターホン)	インターホン	更新	20
			撤去・処分	
	誘導支援 (呼出)	誘導支援設備 ・呼出装置 ・ナースコール ・補聴器	更新	20
			撤去・処分	
	テレビ 共同受信	テレビ共同受信設備 ・アンテナ ・増幅器 ・分配器等	更新	20
			撤去・処分	
	防犯・入退 室管理(入退室)	入退出管理装置	更新	20
			撤去・処分	
	防犯・入退 室管理(防犯)	セキュリティ 電気錠監視設備	更新	20
			撤去・処分	
	監視カメラ	ITV設備	更新	20
			撤去・処分	
	駐車場管制	駐車場管制設備	更新	20
			撤去・処分	

区分	種別	名称	修繕内容	周期 (年)
通信・情報 (防災)	自動火災報知	受信機 発信機 感知器	修繕	20
			更新 撤去・処分	
	非常警報	非常警報装置	修繕	20
			更新 撤去・処分	
	自動閉鎖	自動閉鎖装置	修繕	20
			更新 撤去・処分	
	ガス漏れ火災警報	ガス漏警報受信機 検知器	修繕	20
			更新 撤去・処分	
	その他通信	消防用サイレン 防災無線	修繕	20
			更新 撤去・処分	
避雷・屋外	避雷	避雷針 ・鋼製支持管4m	修繕	30
			更新 撤去・処分	
		避雷針 ・避雷接地端子箱	修繕	65
			更新 撤去・処分	
	外灯	外灯設備	修繕	20
			更新 撤去・処分	
	地中管路	地中管路(FEP) ハンドホール	修繕	75
			更新 撤去・処分	
	接地	接地棒 接地板 接地端子箱	修繕	75
			更新 撤去・処分	
	高圧引込	PAS UGS	修繕	25
			更新 撤去・処分	
		端末処理	修繕	30
			更新 撤去・処分	

修繕周期年数表(機械)

区分：空調

種別	名称	修繕内容		周期 (年)			
空調機器	ボイラー	貫流ボイラー 床暖房 熱風炉	部分 修繕	制御盤内部品交換他	5		
			修繕	給水ポンプ修繕他	3		
		更新		15			
	煙導	煙導工事	更新	30			
			撤去・処分				
	温水発生機	熱源設備	修繕	更新	20		
				撤去・処分			
		温水発生機（鋳鉄製）屋外設置型	部分 修繕	保温カバー等交換	15		
				バーナ交換他	10		
				ヒータコントロール交換	7		
				バーナタイル修繕他	5		
			フレームアイ等交換	3			
			更新	20			
	冷凍機	スクリーン冷凍機（空冷）	部分 修繕	ロータ交換	15		
				電動機軸受交換	10		
				ロータ軸受交換	8		
				シャフトシール等交換	4		
			修繕	更新	20		
				撤去・処分			
				直焚き吸収冷温水機 冷温水発生機	部分 修繕	冷媒ポンプ等交換	10
						熱交換器等交換	8
		制御部品等交換	5				
		バーナ部品交換	4				
		冷却水系洗浄	3				
		更新	20				
		撤去・処分					
		空冷ヒートポンプチラー	部分 修繕		ファン等交換	10	
主軸受等部品交換				7			
圧力計等部品交換				5			
更新	20						
修繕	撤去・処分						
	冷却塔		FRP製冷却塔 能力 727kW 207RT	部分 修繕	充填材交換	8	
					ストレーナ交換	5	
				修繕	ボールタップ交換	4	
減速機等軸受交換		2					
FRP製冷却塔 能力 28kW 8RT		部分 修繕	更新	15			
			撤去・処分				
		修繕	充填材等交換	8			
			スプリングラーヘッド等交換	5			
空気調和機	マルチパッケージ形空調機（屋外機） パッケージ形内・外機 直膨形空調機（屋外機・屋内機）	部分 修繕	ボールタップ交換	4			
			更新	15			
			撤去・処分				
			圧縮機等交換	12			
		修繕	圧力開閉器等交換	7			
			凝縮器洗浄	5			
			フィルター交換	3			
			更新	20			
	ガスエンジンヒートポンプ形空調機（屋外機）	部分 修繕	撤去・処分				
			圧縮機等交換	12			
		修繕	圧力開閉器等交換	7			
			凝縮器洗浄	5			
エンジン整備							
更新	20						
撤去・処分							

種別		名称	修繕内容		周期 (年)
空調 機器 (続)	空気調和機 (続)	GHP室内機 (天井埋込形・天井カセット形・厨房用天井吊形) 室内直接加湿天井カセット形	部分修繕	送風機交換	12
				ドレンポンプ交換	7
			熱交換器洗浄	5	
			フィルター交換	3	
		修繕	更新	20	
			撤去・処分		
		パッケージ形空調機 (屋外機・床置・天井埋込・カセット・ウォールスルー形) 防振架台 加湿器 FF温風暖房器	修繕	更新	20
				撤去・処分	
	空気熱源ヒートポンプ パッケージ形空調機 (床置) 除湿機床置形 空冷ヒートポンプエアコン 床置ダクト形	部分修繕	圧縮機等交換	12	
			送風機等交換	8	
			圧力開閉器等交換	7	
			熱交換器洗浄	5	
		修繕	ファンベルト等交換他	3	
			更新	20	
			撤去・処分		
		マルチパッケージ形空調機 (天井埋込・カセット形) (天埋めダクト形ベア) (床置き形ベア)	部分修繕	送風機交換	12
			修繕	更新	20
				撤去・処分	
	ユニット形空調機 空気調和機天井吊形 エアハンドリングユニット 床置ダクト形	部分修繕	エリミネーター等交換	10	
			ファンランナー洗浄	7	
			加湿管等交換	4	
			コイル洗浄他	2	
		修繕	更新	20	
				撤去・処分	
	水冷冷房専用エアコン 床置ダクト型 空冷式パッケージ形空調機 水冷式パッケージ形空調機 ファンコイルユニット (天井カセット形・天井埋込形・天井吊形・床置形)	部分修繕	軸受交換コイル洗浄	10	
			フィルター交換	5	
			クランクケースヒータ等交換	7	
			空気冷却器洗浄	5	
			ファンベルト等交換他	3	
更新			20		
修繕		撤去・処分			
部分修繕		軸受交換コイル洗浄	10		
		フィルター交換	5		
修繕	更新	20			
		撤去・処分			
空気清浄装置	空気清浄器	部分修繕	差圧スイッチ交換	6	
			巻取装置部品交換	5	
		ろ材交換	3		
		計器類部品交換	2		
	修繕	更新	20		
		撤去・処分			
	全熱交換器	天井埋込み形全熱交換ユニット	修繕	更新	20
				撤去・処分	
回転形全熱交換ユニット (単体)		部分修繕	ケーシング塗装	5	
			駆動ベルト交換他	2	
修繕		更新	20		
			撤去・処分		
放熱器	ファンコンベクター	部分修繕	軸受交換	10	
			フィルター交換	5	
		修繕	更新	20	
				撤去・処分	
ポンプ	冷温水ポンプ 冷却水ポンプ	部分修繕	分解整備	7	
			軸受交換	4	
		修繕	更新	20	
				撤去・処分	

種別	名称	修繕内容	周期 (年)
空調機器 (続)	タンク類	部分修繕	7
		伝熱管交換	5
		付属品交換	5
		更新	20
	蒸気ヘッダー 冷温水ヘッダー	部分修繕	5
		バックイン交換	5
		更新	20
		撤去・処分	20
	還水タンク ボットウェルタンク	部分修繕	5
		付属品交換	5
		更新	20
		撤去・処分	20
	膨張タンク	部分修繕	5
		防錆・付属品交換	5
		更新	20
		撤去・処分	20
空調ダクト	ダクト	空調用ダクト類	更新
		修繕	30
		撤去・処分	30
		更新	30
	制気口・ダンパー	シーリングディフューザー ユニバーサル形吹出口 吸込口 風量測定口 制気口類	更新
		修繕	30
		撤去・処分	30
		更新	30
	風量調節ダンパー 防火ダンパー 防煙ダンパー モーターダンパー 逆流防止ダンパー	更新	30
		修繕	30
		撤去・処分	30
		更新	30
	変風量ユニット VAV/CAV 類	更新	30
		修繕	30
		撤去・処分	30
		更新	30
	モーターダンパー	部分修繕	15
		モータ交換	8
		モータ部品交換	8
		更新	30
	防火ダンパー	部分修繕	15
		ヒューズメタル交換	15
		更新	30
		撤去・処分	30
空調配管	配管類	塩化ビニル管 (VP, 排水) 冷媒分岐管 保温工事	更新
		修繕	20
		撤去・処分	20
		更新	20
	配管類	炭素鋼鋼管 塩ビライニング鋼管 ステンレス鋼管 温水ヘッダー	更新
		修繕	25
		撤去・処分	25
		更新	30
	弁類	FCU熱動弁 二方弁 伸縮管継手	更新
		修繕	15
		撤去・処分	15
		トラップ装置類 電磁弁装置類 減圧弁装置類 流量計装置類 防振継手 温度計及び圧力計	更新
		修繕	20
		撤去・処分	20

種別	名称	修繕内容	周期 (年)
空調配管 (続)	制御弁装置	空調設備自動制御装置	更新
		修繕	20
		撤去・処分	20
		更新	20
	計器	ケーブル リモコン コントローラースイッチ 電気式湿度調整器	更新
		修繕	20
		撤去・処分	20
		更新	20
	温度計 圧力計 排煙濃度計 計器類	修繕	20
		撤去・処分	20
		更新	20
		撤去・処分	20
	電線管 G (露出)	部分修繕	10
		塗装の塗替	10
		更新	30
		撤去・処分	30
空調総合調整	総合調整費	更新	20
		修繕	20
		撤去・処分	20
		更新	20

区分：換気

種別	名称	修繕内容	周期 (年)
換気機器	送風機	換気扇スイッチ	更新
		修繕	15
		撤去・処分	15
		更新	20
	換気扇 有圧扇 シロッコファン	修繕	20
		撤去・処分	20
		更新	20
		撤去・処分	20
	遠心送風機 軸流送風機 排風機	部分修繕	10
		主軸交換	7
		ブーリー交換	3
		軸受交換	2
	送排風機	ファンベルト交換	2
		更新	20
		撤去・処分	20
		軸受交換	5
	中間ダクトファン 斜流ファン 軸流ファン ラインファン エアースイミングファン	部分修繕	4
		軸受交換	4
		更新	20
		撤去・処分	20
換気ダクト	ダクト	換気用ダクト スパイラルダクト チャンバー 丸型風量調節ダンパー 丸型チャッキダンパー	更新
		修繕	30
		撤去・処分	30
		更新	30
換気口	換気口	ペントキャップ ウェザーカバー グリル	更新
		修繕	30
		撤去・処分	30
		更新	30
換気総合調整	換気システム	更新	15
		修繕	15
		撤去・処分	15
		更新	15

区分：排煙

種別	名称	修繕内容	周期 (年)
排煙機器	排煙機	更新	25
		撤去・処分	
排煙ダクト	ダクト	更新	30
		撤去・処分	
排煙ダクト	排煙口 サイレンサー	更新	30
		撤去・処分	

区分：自動制御

種別	名称	修繕内容	周期 (年)
自動制御機器類	自動制御機器 インバーター制御機器 電極制御盤 薬液注入装置 床暖房 融雪設備工事	更新	15
		撤去・処分	
自動制御盤類	盤関係	部分修繕 電源ユニット交換	8
		更新	15
		撤去・処分	
中央監視御	中央監視盤	部分修繕 CRT、プリンタ等交換	5
		更新 撤去・処分	15

区分：給排水衛生

種別	名称	修繕内容	周期 (年)
機器	ポンプ	部分修繕 電動機等修繕	7
		軸受交換	4
		軸封装置交換	3
		更新	15
		撤去・処分	
	給水加圧ポンプ 揚水用ポンプ 給湯循環ポンプ 加圧給水ポンプユニット 上水揚水用ポンプ 雨水供給ポンプ 排水用ポンプ オイルギヤポンプ	部分修繕 分解整備	7
		軸受交換	4
		更新	20
		撤去・処分	
	給湯ボイラー	部分修繕 デフレクター等交換	5
		ノズルチップ等交換	3
		更新 撤去・処分	15
	湯沸器	更新	10
		撤去・処分	
		タイマ交換	7
		部分修繕 サーモ、ボールタップ交換	5
		ヒーター交換	4
		更新 撤去・処分	10

種別	名称	修繕内容	周期 (年)
機器（続）	タンク類	部分修繕 ステンレス製貯湯タンク ストレージタンクSUS製 膨張タンク オイルサービスタンク	伝熱管等交換 10
		更新	25
		撤去・処分	
		部分修繕 FRP製タンクパネル形 ステンレス製タンクパネル形	電極、ボールタップ交換 他 10
		更新 撤去・処分	30
	厨房機器	厨房機器類	更新 20
			撤去・処分
	排水金具	排水金物類	更新 20
			撤去・処分
	その他機器	軟水装置 ブルー水处理装置 雨水ろ過装置	循環ポンプ整備 3
			滅菌器整備 1
			弁類交換 10
			濾材交換 5
			更新 15
		薬液注入装置 水处理装置	更新 撤去・処分 15
			部分修繕 循環ポンプ整備 1
			更新 撤去・処分 15
		冷水器	更新 撤去・処分 20
			更新 撤去・処分 20
給水給湯配管	配管類	耐衝撃性塩化ビニル管	更新 撤去・処分 20
			更新 撤去・処分 25
		塩ビライニング鋼管 ステンレス鋼管 ポリ粉体ライニング鋼管 水道ポリエチレン管 配管用炭素鋼鋼管	更新 撤去・処分 25
			更新 撤去・処分 25
			更新 撤去・処分 30
	弁類	ライニング仕切弁 逆止弁付ボール弁 バタフライ弁 自動エア抜弁 定流量弁 電磁弁装置類	更新 撤去・処分 15
			更新 撤去・処分 15
			更新 撤去・処分 15
		自動給水装置 Y形ストレーナー 量水器 可とう継手類	更新 撤去・処分 15
			部分修繕 分解点検等 5
		緊急遮断弁	更新 撤去・処分 15
			更新 撤去・処分 15

種別	名称		修繕内容		周期 (年)	
排水 配管	配管類	塩化ビニル管 塩化ビニル耐火二層管 炭素鋼鋼管 塩ビライニング鋼管 鉛管 通気用ベントキャップ	修繕	更新	30	
		撤去・処分				
		樹類	塩ビ樹(汚水・雨水)	修繕		更新 撤去・処分
	浸透樹(雨水) エアコンドレン用浸透樹		修繕	更新 撤去・処分	40	
	衛生器具		衛生陶器類	洗面化粧台 ミニキッチン 紙巻器	修繕	更新 撤去・処分
		洋風便器 和風便器 小便器 掃除流し オストメイトバック 手洗器 洗面器 化粧鏡 手すり ペーパーシート		修繕	更新 撤去・処分	30
カウンスター用洗面器(自動水栓)		部分修繕			トラップ等交換 ゴム栓等交換 パッキン等交換	
衛生器具設備		修繕	更新 撤去・処分	30		
			部分修繕	ピストンバルブ等交換 パッキン等交換	5 3	
			更新 撤去・処分	30		
水栓	水栓 不凍水栓柱	修繕	更新 撤去・処分	15		
			更新 撤去・処分			
浴槽	浴槽設備	部分修繕	ゴム栓交換	5		
			修繕	更新 撤去・処分	20	
		その他衛生	多目的シート ペーパーチェア 擬音装置 背もたれ ウォシュレット	修繕	更新 撤去・処分	20
災害トイレ	修繕				更新 撤去・処分	

区分：消火

種別	名称	修繕内容	周期 (年)
消火 ポンプ	屋内消火栓ポンプユニット	部分 修繕 分解整備 軸受交換	10 6
		更新 撤去・処分	20
	屋内消火栓	更新 撤去・処分	30
連結 送水管	送水口(埋込形)双口	更新 撤去・処分	30

種別	名称	修繕内容	周期 (年)
スプリ ンク ラ ー	スプリンクラーヘッド	更新 撤去・処分	30
		部分 修繕 パッキン交換	3
	末端試験弁装置	更新 撤去・処分	30
		更新 撤去・処分	30
消火 配管	配管	更新 撤去・処分	30
		更新 撤去・処分	30
その他消火	移動式粉末消火器 CO2消火設備	更新 撤去・処分	15
		部分 修繕 シレノイド等交換	10
	ハロン消火設備	更新 撤去・処分	15
		更新 撤去・処分	20
	消火器設備 泡消火設備	更新 撤去・処分	20
		更新 撤去・処分	30
	屋内消火設備	更新 撤去・処分	30
		更新 撤去・処分	30
	消火補給水槽	部分 修繕 ボールタップ交換他	15
		更新 撤去・処分	30

区分：ガス

種別	名称	修繕内容	周期 (年)
都市 ガス	配管 調整器 コック 遮断弁	更新 撤去・処分	30
		更新 撤去・処分	30
液化 石油 ガス	配管 調整器 コック ガスメーター 遮断弁	更新 撤去・処分	30
		更新 撤去・処分	30

区分：昇降機その他

種別	名称	修繕内容	周期 (年)
エレ ベ ー タ ー	一般エレベーター	部分 修繕 軸受、ローラ、着床装置 等交換 ロープ、プレーキライ ニング等交換 ギヤオイル交換等	15 10 3
		更新 撤去・処分	30
	小荷物専用昇降機	部分 修繕 軸受、スイッチ交換 ドアロープ交換 ギヤオイル交換等	10 5 2
		更新 撤去・処分	20
エ ス カ レ ー タ ー	エスカレーター	駆動機オーバーホール 手摺交換 駆動チェーン交換 ギヤオイル交換等	15 10 5 3
		照明器具交換	2
	更新 撤去・処分	更新 撤去・処分	30
		更新 撤去・処分	30

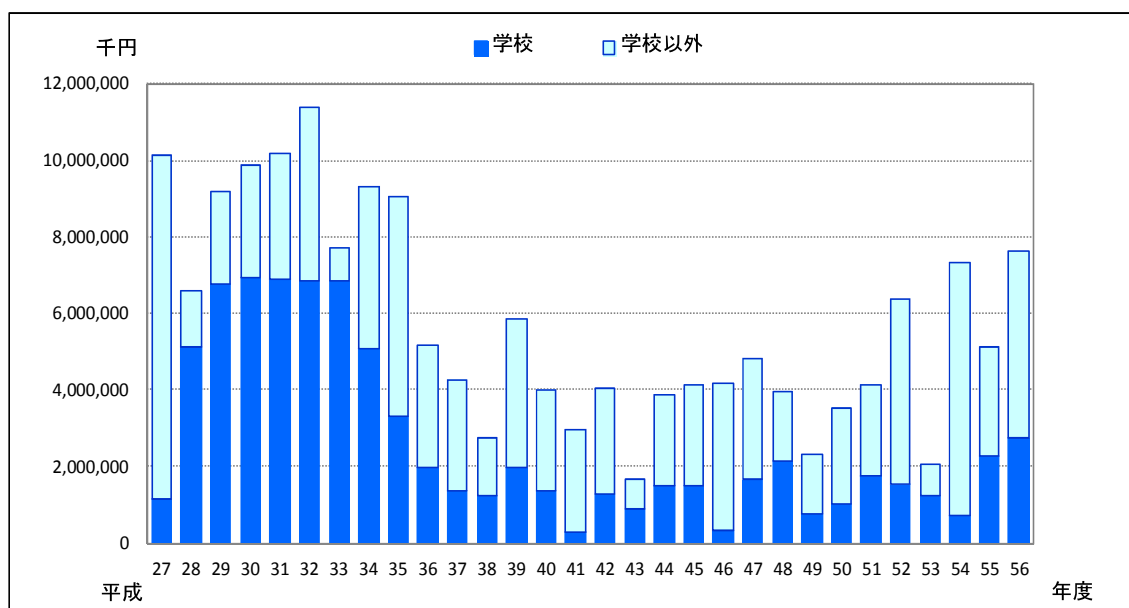
(4) 中長期修繕コスト

平成 27 年度から平成 56 年度までの 30 年間に掛かる修繕コスト(部分修繕+修繕)を試算した表が【図表 6-2】です。

対象とした施設だけで、今後 30 年間の中長期修繕コストは約 952 億円です。

さらに市有施設の半分以上を占める小・中学校を加えると、今後 30 年間での中長期修繕コストは約 1,736 億円となります。

【図表 6-2】 中長期修繕コスト



単位：千円

年度	学 校	学校以外	合 計	年度	学 校	学校以外	合 計
27	1, 149, 780	8, 976, 911	10, 126, 691	42	1, 268, 079	2, 777, 284	4, 045, 363
28	5, 136, 524	1, 448, 713	6, 585, 237	43	884, 560	801, 566	1, 686, 126
29	6, 787, 136	2, 413, 125	9, 200, 261	44	1, 487, 602	2, 372, 100	3, 859, 702
30	6, 958, 800	2, 919, 992	9, 878, 792	45	1, 505, 512	2, 621, 192	4, 126, 704
31	6, 876, 478	3, 285, 093	10, 161, 571	46	327, 492	3, 857, 310	4, 184, 802
32	6, 833, 498	4, 549, 484	11, 382, 982	47	1, 661, 665	3, 173, 189	4, 834, 854
33	6, 861, 904	852, 900	7, 714, 804	48	2, 151, 399	1, 793, 316	3, 944, 715
34	5, 100, 819	4, 223, 166	9, 323, 985	49	745, 745	1, 579, 850	2, 325, 595
35	3, 303, 955	5, 740, 167	9, 044, 122	50	1, 001, 481	2, 525, 929	3, 527, 410
36	1, 946, 280	3, 216, 710	5, 162, 990	51	1, 743, 935	2, 372, 089	4, 116, 024
37	1, 371, 084	2, 899, 752	4, 270, 836	52	1, 526, 767	4, 857, 645	6, 384, 412
38	1, 224, 078	1, 540, 016	2, 764, 094	53	1, 233, 559	810, 778	2, 044, 337
39	1, 971, 424	3, 901, 990	5, 873, 414	54	698, 891	6, 607, 244	7, 306, 135
40	1, 359, 309	2, 629, 244	3, 988, 553	55	2, 282, 876	2, 840, 253	5, 123, 129
41	298, 470	2, 676, 134	2, 974, 604	56	2, 731, 070	4, 901, 037	7, 632, 107
				合 計	78, 430, 172	95, 164, 179	173, 594, 351

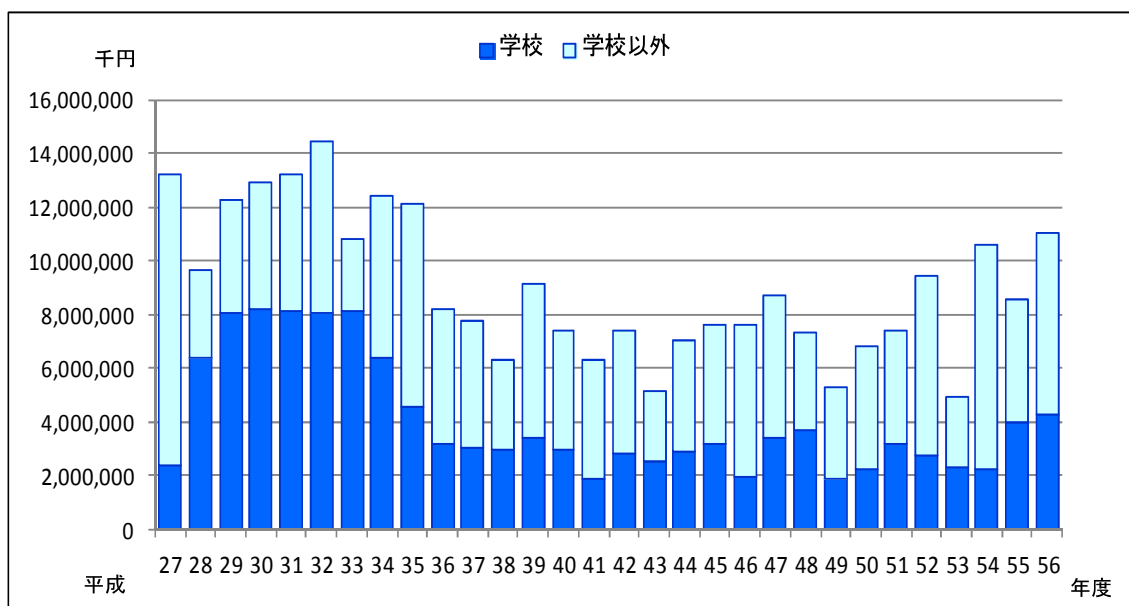
(5) 中長期保全計画コスト

(4) で算出した中長期修繕コストに加え、保全コスト、運用コスト、解体コストを加えたものを中長期保全計画コストとし、施設を目標とする耐用年数まで維持管理していくのにどれだけの費用がかかるのかを試算したものが【図表 6-3】です。

対象とした施設だけで、今後 30 年間の中長期保全計画コストは約 1,503 億円となります。

さらに、小・中学校を加えると、中長期保全計画コストは約 2,711 億円となります。

【図表 6-3】 中長期保全計画コスト



単位：千円

年度	学 校	学校以外	合 計	年度	学 校	学校以外	合 計
27	2,405,252	10,794,512	13,199,764	42	2,804,403	4,602,098	7,406,501
28	6,391,996	3,266,314	9,658,310	43	2,532,967	2,619,167	5,152,134
29	8,042,608	4,230,726	12,273,334	44	2,869,152	4,189,701	7,058,853
30	8,214,272	4,737,593	12,951,865	45	3,146,958	4,438,793	7,585,751
31	8,131,950	5,102,694	13,234,644	46	1,942,621	5,678,647	7,621,268
32	8,088,970	6,367,085	14,456,055	47	3,367,439	5,314,833	8,682,272
33	8,117,376	2,670,501	10,787,877	48	3,691,780	3,658,715	7,350,495
34	6,356,291	6,040,767	12,397,058	49	1,853,746	3,400,771	5,254,517
35	4,559,427	7,557,768	12,117,195	50	2,254,702	4,567,741	6,822,443
36	3,201,752	5,034,311	8,236,063	51	3,163,293	4,205,362	7,368,655
37	3,052,200	4,717,353	7,769,553	52	2,745,598	6,665,216	9,410,814
38	2,954,517	3,357,617	6,312,134	53	2,293,062	2,625,883	4,918,945
39	3,415,094	5,719,591	9,134,685	54	2,194,672	8,414,197	10,608,869
40	2,949,611	4,446,845	7,396,456	55	3,938,515	4,647,206	8,585,721
41	1,835,617	4,502,846	6,338,463	56	4,300,967	6,707,990	11,008,957
				合計	120,816,808	150,282,843	271,099,651

(6) 中長期保全計画コストに改築コストを加えた試算

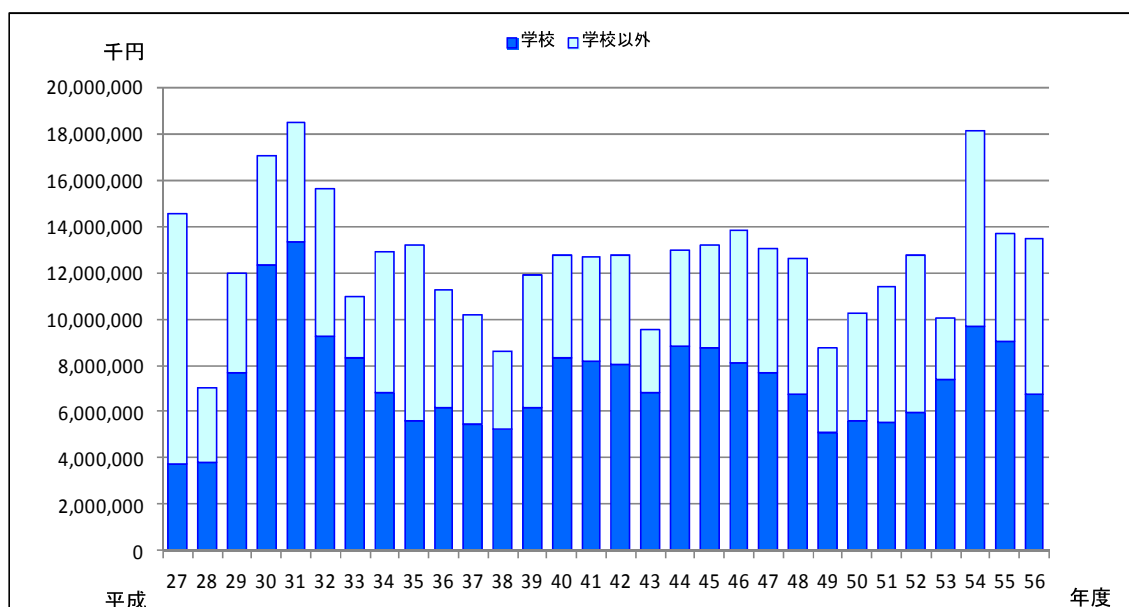
(5) で算出した中長期保全計画コストは、ライフサイクルコストの考え方に基づき、耐用年数が到来したら解体することを前提にしていたが、現実的には解体した後に新たな建物を建築して、引き続き住民サービスを提供していく施設もあります。

そこで、解体した後に同規模・同程度の仕様の建物を新築した場合のコスト（改築コスト）を試算し、(5) の中長期保全コストに加えたものが【図表 6-4】です。

対象とした施設だけで、今後 30 年間に必要となるコストは約 1,550 億円となります。

さらに、小・中学校を加えると約 3,755 億円となります。

【図表 6-4】 中長期保全計画コスト+改築コスト



単位：千円

年度	学校	学校以外	合 計	年度	学校	学校以外	合 計
27	3,747,487	10,794,512	14,541,999	42	8,046,514	4,687,098	12,733,612
28	3,787,802	3,266,314	7,054,116	43	6,827,311	2,686,167	9,513,478
29	7,710,670	4,230,726	11,941,396	44	8,814,469	4,189,701	13,004,170
30	12,316,206	4,737,593	17,053,799	45	8,730,366	4,438,793	13,169,159
31	13,356,885	5,102,694	18,459,579	46	8,142,310	5,679,179	13,821,489
32	9,224,378	6,367,085	15,591,463	47	7,705,159	5,354,865	13,060,024
33	8,315,276	2,670,501	10,985,777	48	6,764,281	5,852,247	12,616,528
34	6,848,393	6,040,767	12,889,160	49	5,095,607	3,677,116	8,772,723
35	5,637,167	7,557,768	13,194,935	50	5,631,000	4,611,286	10,242,286
36	6,199,622	5,034,311	11,233,933	51	5,519,622	5,886,392	11,406,014
37	5,471,990	4,717,353	10,189,343	52	5,941,525	6,833,346	12,774,871
38	5,243,639	3,357,617	8,601,256	53	7,376,521	2,636,531	10,013,052
39	6,187,394	5,719,591	11,906,985	54	9,652,028	8,500,245	18,152,273
40	8,322,017	4,446,845	12,768,862	55	9,016,817	4,657,854	13,674,671
41	8,185,018	4,502,846	12,687,864	56	6,776,354	6,718,638	13,494,992
				合計	220,593,828	154,955,981	375,549,809

(注 1) 学校にかかる費用の算出に当たっては、建築課が「中長期保全計画コスト」で算出した学校分の運用コストと保全コストに、学校教育部において試算した改修や改築に伴う費用を加えています。

(注 2) 学校以外の施設にかかる費用の算出に当たっては、解体を前提として作成した「中長期保全計画コスト」を、改築を前提として再計算したものを使用しています。

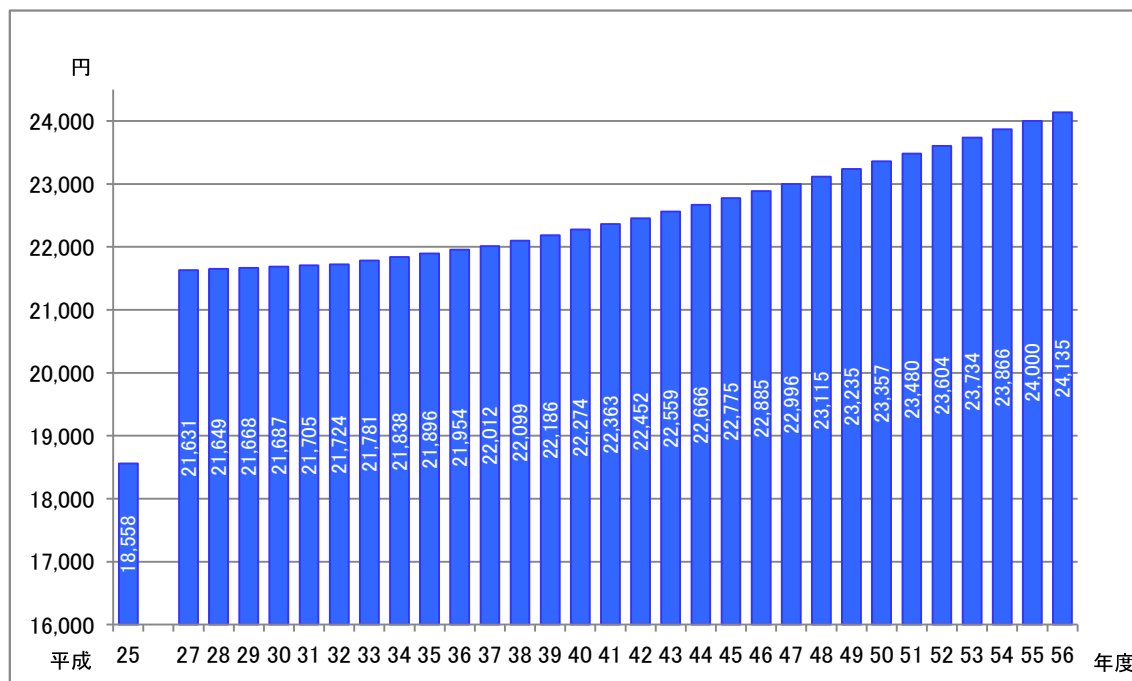
(7) 市民 1 人当たり負担額の推計

(6) で算出したコストの約 3,755 億円を単純に 30 年で割った年平均額 (約 125 億円) に対する市民 1 人当たりコストを、第 2 章 2－(3) に掲げた将来の人口推計を基に試算したものが【図表 6－5】です。

平成 27 年度の市民 1 人当たり負担額は 21,631 円ですが、平成 56 年度には 1 人当たり 24,135 円となる見込みです。なお、第 5 章 1－(1) で算出した平成 25 年度の維持管理コストに、平成 25 年度に実施した修繕の総額及び平成 25 年度に建築した施設の建築費用を合計したコストの市民 1 人当たりの負担額は 18,558 円となっています。

今ある施設をこのまま維持し続けた場合、1 人当たりの負担額が増えることが予想されます。次世代に過大な負担を残さずに公共施設を引き継いでいくためには、今後の公共施設のあり方について様々な観点から検討していく必要があります。

【図表 6－5】 市民 1 人当たり負担額の推計 (平成 27～56 年度)



※平成 25 年度は参考として掲載。平成 26 年度はデータ集計を行っていないため未掲載。

2 本市における公共施設の課題

(1) 施設の更新時期

本市は、高度経済成長期の宅地開発や多摩ニュータウン等の大規模開発による著しい人口増加に伴って、昭和 40 年代から昭和 50 年代後半までに学校施設を中心に集中的に公共施設を整備してきました。また、平成に入ってから、多様化する市民ニーズに応えるため、文化施設や生涯学習施設を中心に整備を行ってきました。

今後は、昭和 40 年代から 50 年代に建築した建物が、次々と大規模修繕や更新時期を迎えることになります。

(2) 人口減少と年齢構成割合の変化

本市が目指す人口の将来展望（シミュレーション）²では、総人口は緩やかに減少していくと想定されていますが、年齢構成別割合でみると 15 歳から 64 歳までの生産年齢人口が減少し、65 歳以上の老年人口が増加する見込みとなっています。

総人口に占める生産年齢人口の割合は、平成 27 年の 63.7%から平成 57 年には 54.5%に減少する一方、老年人口は、平成 27 年の 24.6%から平成 57 年には 32.4%となり、総人口の 3 割以上を老年人口が占めることとなります。

人口減少や年齢構成割合が変化することによる市民ニーズの変化も想定されることから、サービスや施設のあり方もこれらを見据えたものとしていく必要があります。

持続可能な行財政運営を実現するためには、市民ニーズの変化を的確に捉え、施設の適切な規模の見極めや機能の集約等を行うことが必要となります。

(3) 財政状況

一般会計歳入のほぼ半分を占めるのが市税で、国や東京都に依存しない自主財源であることから、歳入に占める割合が高い方が望ましいことになります。しかし、今後、日本全体として生産年齢人口が減少することが予想されている中では、大幅な市税の増収を見込むことは難しい状況にあります。

歳出においては、職員数の削減効果により人件費は減少している一方で、社会保障制度に基づいて支出する扶助費は増加傾向にあります。平成 16 年度に約 354 億円だった扶助費は、平成 25 年度には約 618 億円と 10 年間で約 264 億円増加しており、約 1.7 倍になっています。

² 「八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略」第 1 章 人口ビジョン

(4) 本白書のデータから

ア 市民 1 人当たりの延床面積・・・1.97 m²

市民 1 人当たりの施設床面積は、中核市の平均 (3.24 m²) を下回りますが、多摩 26 市の平均値 (2.02 m²) とほぼ同じ数字となります。公共施設のあり方については、今後の人口減少や人口構造の変化、施設更新に伴う財政負担等を踏まえて検討していかなければなりません。

イ 施設の延床面積のうち学校施設が占める割合・・・61.3%

本市が保有する施設の延床面積 110 万 9 千 m²のうち、学校施設の占める割合は 61.3%となっており、続いて市営住宅 (6.4%)、清掃施設 (5.9%)、教育文化施設 (5.8%)、庁舎 (事務所含む) (4.9%) の順となっています。

施設類型別コストも学校施設の割合が大きいことから、児童・生徒数の減少に伴って生じている余裕スペース等を積極的に活用することを検討していく必要があります。

ウ 建築後 30 年を経過した建物の割合・・・58%

本市が保有する建物の延床面積のうち、建築後 30 年を経過した建物の延床面積の割合は 58%となっています。

昭和 56 年以前の旧耐震基準で施工された建物のうち、学校施設と一定規模以上の建物についての耐震化工事は、現在実施中の市民体育館を除いて完了しています。

しかしながら、耐震化工事を実施しても、建築年数を経た建物が増えるほど修繕費用等は増えていく傾向にあるため、更新時期を見据えた計画的な維持管理が必要です。

エ 今後 30 年間に必要となるコスト・・・約 3,755 億円

中長期保全計画コスト算出の対象となった建物と小・中学校にかかるコストの今後 30 年間の必要推計額は約 3,755 億円 (改築費用を含む) で、平成 56 年度の市民 1 人当たり負担額 (24,135 円) は、平成 25 年度 (18,558 円) の約 1.3 倍になります。

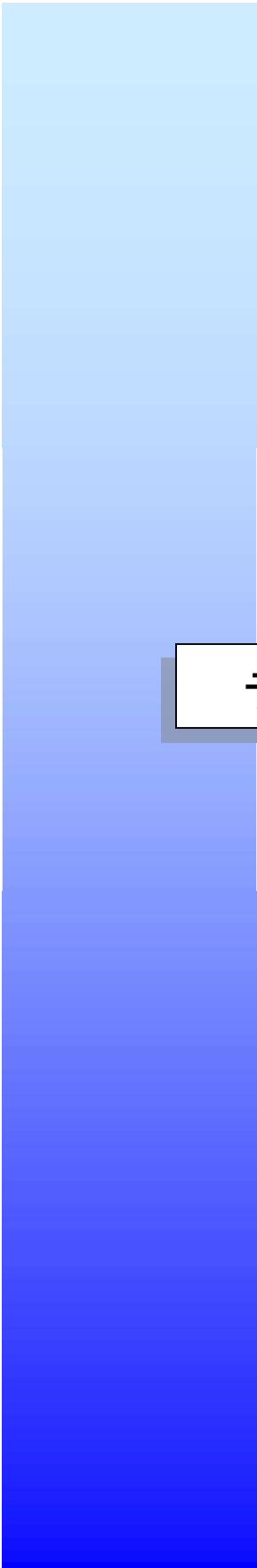
これまで見てきたように、人口減少や人口構造の変化により生産年齢人口が減少し、社会保障費の支出が増加することが想定されることから、今ある施設を現在の規模や数のまま維持管理していくことは極めて厳しい状況にあると言えます。

～ おわりに ～

今回の公共施設白書では、建物を中心とした施設の利用状況やコスト分析を行うとともに、施設にかかる中長期保全計画コスト（改築コスト含む）を将来人口推計で除した市民1人当たりの負担額を推計し、現状の施設を維持していくことの困難さを明らかにしてきました。

本白書から得られたデータを基礎として、本市の特性や将来人口の推計等を考慮した公共施設マネジメントの基本的な方針を同時に策定しました。今後は公共施設マネジメントを推進していくための全体計画を策定していきます。

また、これらの基本方針や全体計画は、総務省による「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」（平成26年4月22日）の項目を踏まえたものとし、本白書と併せて本市の「公共施設等総合管理計画」とする予定です。



データ編（第 4 章で使⽤したデータ）

庁舎

庁舎

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
1	本庁舎	元本郷町三丁目24-1	563,178,727	306,652,373	306,652,373	0	256,526,354	113,662,949	142,863,405

事務所

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
2	八王子駅南口総合事務所	子安町四丁目7-1	335,473,082	43,930,948	21,875,351	22,055,597	291,542,134	278,816,134	12,726,000
3	浅川事務所	高尾町1652-1	55,245,768	10,834,392	6,875,148	3,959,244	44,411,376	42,638,370	1,773,006
4	横山事務所	並木町15-15	55,413,644	4,660,129	3,496,364	1,163,765	50,753,515	48,976,123	1,777,392
5	館事務所	館町156	57,612,738	4,059,083	2,974,843	1,084,240	53,553,655	51,534,425	2,019,230
6	由木事務所	下柚木二丁目10-6	110,105,420	14,327,297	9,933,640	4,393,657	95,778,123	85,276,740	10,501,383
7	由木東事務所	鹿島111-1	58,221,091	9,301,915	8,350,514	951,401	48,919,176	42,638,370	6,280,806
8	南大沢事務所	南大沢二丁目27	141,757,619	65,008,553	51,541,026	13,467,527	76,749,066	76,749,066	-
9	元八王子事務所	大楽寺町419-1	118,504,942	8,142,330	3,705,017	4,437,313	110,362,612	107,363,416	2,999,196
10	恩方事務所	下恩方町3395	28,750,985	6,517,033	5,542,447	974,586	22,233,952	21,132,885	1,101,067
11	川口事務所	川口町908-1	37,112,641	3,955,020	2,982,258	972,762	33,157,621	30,478,561	2,679,060
12	加住事務所	加住町一丁目170-2	29,213,525	7,048,096	3,323,199	3,724,897	22,165,429	19,354,365	2,811,064
13	北野事務所	北野町549-5	103,039,891	17,925,783	13,577,968	4,347,815	85,114,108	82,974,268	2,139,840
14	由井事務所	片倉町119-4	50,820,673	6,072,337	5,029,522	1,042,815	44,748,336	41,956,156	2,792,180
15	石川事務所	石川町481	46,782,369	3,871,698	2,719,148	1,152,550	42,910,671	40,659,375	2,251,296

清掃施設

清掃施設

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
1	戸吹清掃工場(清掃事業所含む)	戸吹町1916	2,645,508,166	819,178,069	509,239,323	309,938,746	1,826,330,097	1,367,365,704	458,964,393
2	戸吹不燃物処理センター	戸吹町1916	559,272,713	300,027,332	246,008,330	54,019,002	259,245,381	101,443,309	157,802,072
3	プラスチック資源化センター	戸吹町1920	271,403,974	196,622,126	22,629,567	173,992,559	74,781,848	32,612,369	42,169,479
4	粗大ごみ等再生施設	戸吹町1925-1	6,056,734	416,461	416,461		0	5,640,273	1,406,945
5	館清掃事業所	館町2700	1,088,129,611	95,264,809	29,652,253	65,612,556	992,864,802	930,705,846	62,158,956
6	北野清掃工場	北野町596-3	509,623,872	296,243,132	163,652,286	132,590,846	213,380,740	92,286,540	121,094,200
7	南大沢清掃事業所	南大沢三丁目20	299,940,820	22,911,162	8,707,050	14,204,112	277,029,658	269,522,158	7,507,500

消防・防災施設

消防団器具置場

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
1	消防団第一分団器具置場	本町44-2	551,442	35,091	35,091	0	516,351	0	516,351
	消防団第一分団器具置場	明神町二丁目15	308,331	35,091	35,091	0	273,240	0	273,240
	消防団第一分団器具置場	子安町二丁目30	657,657	35,091	35,091	0	622,566	0	622,566
2	消防団第二分団器具置場	千人町二丁目19-16	124,722	35,091	35,091	0	89,631	0	89,631
	消防団第二分団器具置場	上野町67	610,758	35,091	35,091	0	575,667	0	575,667
	消防団第二分団器具置場	元本郷町一丁目1-12	177,507	35,091	35,091	0	142,416	0	142,416
3	消防団第三分団器具置場	大和田町五丁目11	169,641	35,091	35,091	0	134,550	0	134,550
	消防団第三分団器具置場	大和田町六丁目15-4	225,531	35,091	35,091	0	190,440	0	190,440
	消防団第三分団器具置場	中野上町四丁目9-9	135,072	35,091	35,091	0	99,981	0	99,981
	消防団第三分団器具置場	中野上町四丁目36-17	172,746	35,091	35,091	0	137,655	0	137,655
	消防団第三分団器具置場	中野山王二丁目28-3	502,423	35,091	35,091	0	467,332	0	467,332
	消防団第三分団器具置場	中野上町三丁目12	593,359	35,091	35,091	0	558,268	0	558,268
4	消防団第四分団器具置場	小宮町876-1	173,781	35,091	35,091	0	138,690	0	138,690
	消防団第四分団器具置場	石川町476	54,641	35,091	35,091	0	19,550	0	19,550
	消防団第四分団器具置場	高倉町20	188,271	35,091	35,091	0	153,180	0	153,180
	消防団第四分団器具置場	平町231-1	225,531	35,091	35,091	0	190,440	0	190,440
5	消防団第五分団器具置場	滝山町二丁目17-4	124,101	35,091	35,091	0	89,010	0	89,010
	消防団第五分団器具置場	谷野町452-3	233,811	35,091	35,091	0	198,720	0	198,720
	消防団第五分団器具置場	丹木町二丁目253-6	271,071	35,091	35,091	0	235,980	0	235,980
	消防団第五分団器具置場	加住町一丁目259-4	229,671	35,091	35,091	0	194,580	0	194,580
	消防団第五分団器具置場	宮下町941	248,301	35,091	35,091	0	213,210	0	213,210
	消防団第五分団器具置場	戸吹町196	258,651	35,091	35,091	0	223,560	0	223,560
	消防団第五分団器具置場	高月町1127	586,238	35,091	35,091	0	551,147	0	551,147
	消防団第五分団器具置場	高月町1162	277,281	35,091	35,091	0	242,190	0	242,190
6	消防団第六分団器具置場	檜原町1064-6	169,641	35,091	35,091	0	134,550	0	134,550
	消防団第六分団器具置場	犬目町10	115,821	35,091	35,091	0	80,730	0	80,730
	消防団第六分団器具置場	川口町2039	170,055	35,091	35,091	0	134,964	0	134,964
	消防団第六分団器具置場	川口町3335-2	173,781	35,091	35,091	0	138,690	0	138,690

	消防団第六分団器具置場	上川町3466-1	347,661	35,091	35,091	0	312,570	0	312,570
	消防団第六分団器具置場	美山町1926-6	472,171	35,091	35,091	0	437,080	0	437,080
7	消防団第七分団器具置場	下恩方町618	155,091	35,091	35,091	0	120,000	0	120,000
	消防団第七分団器具置場	下恩方町1694	696,042	35,091	35,091	0	660,951	0	660,951
	消防団第七分団器具置場	下恩方町3395	35,091	35,091	35,091	0	0	0	0
	消防団第七分団器具置場	下恩方町3415-1	506,608	35,091	35,091	0	471,517	0	471,517
	消防団第七分団器具置場	上恩方町873	162,396	35,091	35,091	0	127,305	0	127,305
	消防団第七分団器具置場	上恩方町2189	175,851	35,091	35,091	0	140,760	0	140,760
	消防団第七分団器具置場	小津町338	179,991	35,091	35,091	0	144,900	0	144,900
8	消防団第八分団器具置場	諏訪町13	145,091	35,091	35,091	0	110,000	0	110,000
	消防団第八分団器具置場	叶谷町884-5	482,832	35,091	35,091	0	447,741	0	447,741
	消防団第八分団器具置場	泉町1288	115,821	35,091	35,091	0	80,730	0	80,730
	消防団第八分団器具置場	式分方町288-2	229,174	35,091	35,091	0	194,083	0	194,083
	消防団第八分団器具置場	元八王子町一丁目80-3	632,079	35,091	35,091	0	596,988	0	596,988
	消防団第八分団器具置場	元八王子町二丁目1064	440,190	35,091	35,091	0	405,099	0	405,099
	消防団第八分団器具置場	元八王子町三丁目2251	140,661	35,091	35,091	0	105,570	0	105,570
	消防団第八分団器具置場	横川町538-5	212,904	35,091	35,091	0	177,813	0	177,813
	消防団第八分団器具置場	大楽寺町419-5	223,461	35,091	35,091	0	188,370	0	188,370
	消防団第八分団器具置場	上壺分方町413	35,091	35,091	35,091	0	0	0	0
	消防団第八分団器具置場	上壺分方町412-3	557,455	35,091	35,091	0	522,364	0	522,364
	消防団第八分団器具置場	川町128-292	412,452	35,091	35,091	0	377,361	0	377,361
9	消防団第九分団器具置場	散田町三丁目27-2	295,911	35,091	35,091	0	260,820	0	260,820
	消防団第九分団器具置場	散田町四丁目5-3	35,091	35,091	35,091	0	0	0	0
	消防団第九分団器具置場	散田町五丁目16	246,231	35,091	35,091	0	211,140	0	211,140
	消防団第九分団器具置場	並木町12-7	478,567	35,091	35,091	0	443,476	0	443,476
	消防団第九分団器具置場	長房町301-2	602,229	35,091	35,091	0	567,138	0	567,138
	消防団第九分団器具置場	長房町506-23	169,641	35,091	35,091	0	134,550	0	134,550
	消防団第九分団器具置場	長房町1289-28	596,421	35,091	35,091	0	561,330	0	561,330
	消防団第九分団器具置場	狭間町1816-1	143,145	35,091	35,091	0	108,054	0	108,054
	消防団第九分団器具置場	館町314	35,091	35,091	35,091	0	0	0	0
	消防団第九分団器具置場	寺田町847-1	146,457	35,091	35,091	0	111,366	0	111,366
	消防団第九分団器具置場	大船町232	179,577	35,091	35,091	0	144,486	0	144,486
	消防団第九分団器具置場	棚田町232-4	454,812	35,091	35,091	0	419,721	0	419,721
10	消防団第十分団器具置場	小比企町2892-2	578,776	35,091	35,091	0	543,685	0	543,685
	消防団第十分団器具置場	北野町550-2	304,191	35,091	35,091	0	269,100	0	269,100
	消防団第十分団器具置場	長沼町206-4	553,191	35,091	35,091	0	518,100	0	518,100
	消防団第十分団器具置場	打越町2001-5	438,057	35,091	35,091	0	402,966	0	402,966
	消防団第十分団器具置場	片倉町702-3	331,929	35,091	35,091	0	296,838	0	296,838
	消防団第十分団器具置場	みなみ野三丁目6-1	481,093	35,091	35,091	0	446,002	0	446,002
	消防団第十分団器具置場	小比企町1581	264,861	35,091	35,091	0	229,770	0	229,770
	消防団第十分団器具置場	緑町120-9	35,091	35,091	35,091	0	0	0	0
11	消防団第十一分団器具置場	東浅川町521-3	56,021	35,091	35,091	0	20,930	0	20,930
	消防団第十一分団器具置場	東浅川町23-22	173,781	35,091	35,091	0	138,690	0	138,690
	消防団第十一分団器具置場	東浅川町220-45	540,884	35,091	35,091	0	505,793	0	505,793
	消防団第十一分団器具置場	東浅川町1001-1	221,391	35,091	35,091	0	186,300	0	186,300
	消防団第十一分団器具置場	西浅川町19-2	482,832	35,091	35,091	0	447,741	0	447,741
	消防団第十一分団器具置場	西浅川町19	35,091	35,091	35,091	0	0	0	0
	消防団第十一分団器具置場	裏高尾町398-10	259,272	35,091	35,091	0	224,181	0	224,181
	消防団第十一分団器具置場	裏高尾町653	35,091	35,091	35,091	0	0	0	0
	消防団第十一分団器具置場	裏高尾町1486-1	421,191	35,091	35,091	0	386,100	0	386,100
	消防団第十一分団器具置場	高尾町885-5	35,091	35,091	35,091	0	0	0	0
	消防団第十一分団器具置場	高尾町1623-2	690,826	35,091	35,091	0	655,735	0	655,735
	消防団第十一分団器具置場	高尾町1948	144,387	35,091	35,091	0	109,296	0	109,296
	消防団第十一分団器具置場	高尾町2264	35,091	35,091	35,091	0	0	0	0
	消防団第十一分団器具置場	南浅川町3077-3	277,281	35,091	35,091	0	242,190	0	242,190
12	消防団第十二分団器具置場	大塚622-15	168,606	35,091	35,091	0	133,515	0	133,515
	消防団第十二分団器具置場	東中野497-3	235,674	35,091	35,091	0	200,583	0	200,583
	消防団第十二分団器具置場	堀之内二丁目9-12	412,472	35,091	35,091	0	377,381	0	377,381
	消防団第十二分団器具置場	南大沢二丁目18-2	144,801	35,091	35,091	0	109,710	0	109,710
	消防団第十二分団器具置場	越野8-9	306,261	35,091	35,091	0	271,170	0	271,170
	消防団第十二分団器具置場	下柚木二丁目10-6	304,191	35,091	35,091	0	269,100	0	269,100
	消防団第十二分団器具置場	上柚木1243	59,471	35,091	35,091	0	24,380	0	24,380
	消防団第十二分団器具置場	中山字3号450	146,457	35,091	35,091	0	111,366	0	111,366
	消防団第十二分団器具置場	鎌水121-3	270,657	35,091	35,091	0	235,566	0	235,566
	消防団第十二分団器具置場	越野728	35,091	35,091	35,091	0	0	0	0
	消防団第十二分団器具置場	別所一丁目14-13	455,114	35,091	35,091	0	420,023	0	420,023
	消防団第十二分団器具置場	松木21-11	445,882	35,091	35,091	0	410,791	0	410,791

防災倉庫

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
1	台町防災倉庫	台町二丁目366-3	127,719	0	0	0	127,719	0	127,719
2	天神町防災倉庫	天神町23-2㍻㍻	181,125	0	0	0	181,125	0	181,125
3	長房町防災倉庫	長房町506-23	171,810	0	0	0	171,810	0	171,810

4	高倉町防災倉庫	高倉町20	217,350	0	0	0	217,350	0	217,350
5	川口町防災倉庫	川口町919-15	238,050	0	0	0	238,050	0	238,050
6	館町防災倉庫	館町142-2	696,630	367,500	367,500	0	329,130	0	329,130
7	中野山王防災倉庫	中野山王三丁目2296-2	231,840	0	0	0	231,840	0	231,840
8	宮下町防災倉庫	宮下町1	310,500	0	0	0	310,500	0	310,500
9	下柚木防災倉庫	下柚木542-5	288,765	0	0	0	288,765	0	288,765
10	打越町高架下防災倉庫	打越町220-1	762,224	0	0	0	762,224	0	762,224
11	市立小宮小学校防災倉庫	小宮町1128-3	67,140	0	0	0	67,140	0	67,140
12	市立横山第一小学校防災倉庫	館町74	67,416	0	0	0	67,416	0	67,416
13	市立柗田小学校防災倉庫	柗田町571-2	55,109	0	0	0	55,109	0	55,109
14	市立美山小学校防災倉庫	美山町1892	266,331	202,650	202,650	0	63,681	0	63,681
15	市立松枝小学校防災倉庫	檜原町601-13	66,320	0	0	0	66,320	0	66,320
16	市立みなみ野中学校防災倉庫	みなみ野六丁目14-2	67,690	0	0	0	67,690	0	67,690
17	市立七国中学校防災倉庫	七国六丁目41-1	67,416	0	0	0	67,416	0	67,416
18	市立東浅川小学校防災倉庫	東浅川町550-22	61,396	0	0	0	61,396	0	61,396
19	市立由木東小学校防災倉庫	東中野1347	52,398	0	0	0	52,398	0	52,398
20	市立愛宕小学校防災倉庫	上柚木三丁目20	67,416	0	0	0	67,416	0	67,416
21	市立松木小学校防災倉庫	松木57-3	62,910	0	0	0	62,910	0	62,910
22	市立下柚木小学校防災倉庫	下柚木三丁目9	63,742	0	0	0	63,742	0	63,742
23	市立長池小学校防災倉庫	別所一丁目55	77,421	0	0	0	77,421	0	77,421
24	市立鉢水小学校防災倉庫	鉢水二丁目74	100,574	27,510	27,510	0	73,064	0	73,064
25	市立ひよどり山中学校防災倉庫	暁町三丁目1-1	67,416	0	0	0	67,416	0	67,416
26	市立由井中学校防災倉庫	片倉町553	66,974	0	0	0	66,974	0	66,974
27	市立陵南中学校防災倉庫	東浅川町553-9	53,302	0	0	0	53,302	0	53,302
28	市立別所中学校防災倉庫	別所二丁目28	60,054	0	0	0	60,054	0	60,054
29	市立松木中学校防災倉庫	別所一丁目34-1	73,881	0	0	0	73,881	0	73,881
30	子安市民センター防災倉庫	子安町二丁目6-1	63,619	0	0	0	63,619	0	63,619

その他公用施設

その他公用施設

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
1	打越町測定室	打越町1647-6	1,302,937	1,087,639	1,087,639	0	215,298	0	215,298
2	散田町測定室	散田町四丁目9	57,150	0	0	0	57,150	0	57,150
3	館町測定室	館町1097-66	3,101,596	3,046,471	3,046,471	0	55,125	0	55,125
4	下柚木測定室	下柚木498	1,154,912	1,015,592	1,015,592	0	139,320	0	139,320
5	川口町測定室	川口町2694-5	2,198,627	2,133,271	2,133,271	0	65,356	0	65,356
6	片倉町測定室	片倉町553	3,508,510	3,482,221	3,482,221	0	26,289	0	26,289
7	南大沢総合センター	南大沢二丁目27	76,780,917	76,780,917	76,780,917	0	0	0	-
8	北野衛生処理センター	北野町596-3	197,326,299	67,819,909	66,150,273	1,669,636	129,506,390	74,099,070	55,407,320
9	北野下水処理場	北野町596-3	1,013,200,199	765,576,794	758,437,744	7,139,050	247,623,405	94,903,349	152,720,056
10	北野衛生事業所	北野町596-8	288,291,708	83,249,901	990,607	82,259,294	205,041,807	200,879,448	4,162,359
11	南大沢水リサイクルセンター	南大沢二丁目1620-4	39,807,964	28,758,967	28,724,317	34,650	11,048,997	0	11,048,997
12	生涯学習スポーツ部散田会議室・散田倉庫	散田町二丁目37-1	1,389,876	712,494	712,494	0	677,382	0	677,382
13	スポーツ振興課倉庫	台町二丁目2	0	0	0	0	0	0	0
14	稲荷山行政資料保管等施設	寺田町1455-3	12,756,722	7,130,825	7,130,825	0	5,625,897	0	5,625,897
15	選挙用機材倉庫	宮下町1-1	116,189	19,790	19,790	0	96,399	0	96,399
16	館町書庫	館町156	1,109,925	376,110	376,110	0	733,815	0	733,815
17	市有林管理小屋	裏高尾町1887	3,240	0	0	0	3,240	0	3,240
18	学校営繕作業所	元本郷町二丁目21-1	0	0	0	0	0	0	0
19	道路交通部補修センター	中野上町四丁目10-15	1,398,087,587	1,036,685,802	22,030,597	1,014,655,205	361,401,785	353,527,282	7,874,503
20	教育センター	散田町二丁目37-1	234,028,213	197,216,914	22,768,906	174,448,008	36,811,299	12,253,760	24,557,539
21	男女共同参画センター	東町5-6	72,294,307	27,097,635	0	27,097,635	45,196,672	45,196,672	-
22	保健所	旭町13-18	1,885,747,645	1,299,608,782	20,131,590	1,279,477,192	586,138,863	582,944,944	3,193,919
23	消費生活センター	東町5-6	69,358,262	24,420,875	564,551	23,856,324	44,937,387	44,937,387	-

学校教育施設

小学校

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
1	第一小学校	元横山町二丁目14-3	85,062,009	62,630,849	39,185,401	23,445,448	22,431,160	18,195,871	4,235,289
2	第二小学校	八木町7-1	66,247,739	49,227,084	27,084,243	22,142,841	17,020,655	17,020,655	0
3	第三小学校	寺町29-15	133,187,526	73,835,143	32,196,657	41,638,486	59,352,383	16,884,375	42,468,008
4	第四小学校	明神町二丁目15-1	133,964,614	110,733,088	89,037,244	21,695,844	23,231,526	21,297,705	1,933,821
5	第五小学校	千人町三丁目7-7	93,602,813	62,373,635	37,286,378	25,087,257	31,229,178	30,421,834	807,344
6	第六小学校	子安町二丁目19-1	115,432,748	100,477,560	59,894,329	40,583,231	14,955,188	14,832,281	122,907
7	第七小学校	台町四丁目2-1	139,516,990	83,227,851	33,983,599	49,244,252	56,289,139	19,576,615	36,712,524
8	第八小学校	石川町2065	88,787,932	59,309,155	38,394,187	20,914,968	29,478,777	28,050,213	1,428,564
9	第九小学校	中野上町二丁目14-1	98,751,011	61,608,415	45,337,488	16,270,927	37,142,596	36,170,449	972,147
10	第十小学校	大和田町七丁目5-1	113,422,527	91,473,691	48,128,034	43,345,657	21,948,836	20,147,361	1,801,475
11	中野北小学校	中野山王三丁目1-1	35,113,763	23,906,353	11,462,684	12,443,669	11,207,410	10,549,672	657,738
12	清水小学校	中野山王三丁目25-1	132,592,940	115,585,549	80,594,558	34,990,991	17,007,391	15,633,294	1,374,097

13	大和田小学校	大和田町四丁目19-1	116,835,176	104,256,194	69,734,474	34,521,720	12,578,982	12,558,303	20,679
14	小宮小学校	小宮町1128-3	82,300,198	64,524,371	23,654,131	40,870,240	17,775,827	17,775,827	0
15	高倉小学校	高倉町67-2	79,011,904	43,257,930	22,366,949	20,890,981	35,753,974	26,836,851	8,917,123
16	宇津木台小学校	久保山町二丁目18	108,500,466	54,357,591	28,269,880	26,087,711	54,142,875	39,572,502	14,570,373
17	横山第一小学校	館町74	82,046,842	67,475,377	21,824,916	45,650,461	14,571,465	13,524,333	1,047,132
18	横山第二小学校	並木町26-1	65,416,322	46,996,667	22,933,415	24,063,252	18,419,655	14,504,871	3,914,784
19	散田小学校	散田町五丁目23-1	137,056,328	105,643,467	78,335,371	27,308,096	31,412,861	29,016,122	2,396,739
20	長房小学校	長房町340-4	54,748,225	32,845,895	15,856,463	16,989,432	21,902,330	19,951,580	1,950,750
21	船田小学校	長房町1041-2	140,730,832	110,754,366	84,600,774	26,153,592	29,976,466	25,659,108	4,317,358
22	館小学校	館町1097-15	108,160,432	69,067,107	57,172,053	11,895,054	39,093,325	31,186,029	7,907,296
23	山田小学校	山田町1553	110,907,056	83,133,744	56,093,375	27,040,369	27,773,312	17,599,417	10,173,895
24	櫛田小学校	櫛田町571-2	159,775,752	127,036,205	101,840,371	25,195,834	32,739,547	26,806,582	5,932,965
25	緑が丘小学校	寺田町405-5	133,950,700	83,791,702	65,811,585	17,980,117	50,158,998	38,810,344	11,348,654
26	元八王子小学校	武分方町761	72,905,458	58,514,390	21,760,033	36,754,357	14,391,068	13,558,099	832,969
27	元八王子東小学校	叶谷町1521	70,844,845	55,008,827	22,111,612	32,897,215	15,836,018	15,294,750	541,268
28	上巻分方小学校	上巻分方町799-2	76,577,043	60,676,561	19,241,932	41,434,629	15,900,482	15,049,775	850,707
29	城山小学校	元八王子町二丁目1767	88,823,957	60,138,231	19,044,405	41,093,826	28,685,726	21,516,062	7,169,664
30	武分方小学校	武分方町520-1	130,734,731	88,716,856	70,490,002	18,226,854	42,017,875	34,411,075	7,606,800
31	横川小学校	横川町305	123,711,911	90,975,256	72,713,495	18,261,761	32,736,655	24,317,155	8,419,500
32	恩方第一小学校	下恩方町1369	109,417,597	76,492,578	59,624,910	16,867,668	32,925,019	29,027,188	3,897,831
33	恩方第二小学校	上恩方町2193	48,953,623	21,304,358	10,262,076	11,042,282	27,649,265	23,349,234	4,300,031
34	元木小学校	下恩方町515-1	66,472,156	29,046,397	14,147,209	14,899,188	37,425,759	31,726,345	5,699,414
35	川口小学校	川口町3675	76,766,480	60,206,194	19,181,624	41,026,570	16,558,286	15,266,052	1,292,234
36	陶館小学校	犬目町56	84,953,449	43,012,447	18,767,159	24,245,288	41,941,002	37,746,863	4,194,139
37	上川口小学校	上川町1099	89,991,160	63,031,014	50,057,301	12,973,713	26,960,146	21,350,127	5,610,019
38	美山小学校	美山町1892	46,245,597	24,837,080	12,789,096	12,047,984	21,408,517	20,594,584	813,933
39	櫛原小学校	櫛原町1287-2	62,555,090	29,589,195	16,953,593	12,635,602	32,965,895	25,584,322	7,381,573
40	松枝小学校	櫛原町601-13	130,775,325	108,630,193	75,433,412	33,196,781	22,145,132	14,717,882	7,427,250
41	加住小学校	加住町一丁目191	80,258,762	40,838,769	23,577,036	17,261,733	39,419,993	37,300,065	2,119,928
42	由井第一小学校	打越町348-1	82,080,012	61,038,007	20,059,554	40,978,453	21,042,005	14,928,774	6,113,231
43	由井第二小学校	片倉町2180	58,208,273	26,591,451	14,631,324	11,960,127	31,616,822	29,626,311	1,990,511
44	由井第三小学校	小比企町1201	133,304,085	106,977,269	87,855,216	19,122,053	26,326,816	25,070,142	1,256,674
45	長沼小学校	長沼町707-3	145,217,446	135,366,212	97,995,232	37,370,980	9,851,234	9,737,059	114,175
46	片倉台小学校	片倉町1318	98,236,934	67,623,383	52,646,895	14,976,488	30,613,551	28,723,011	1,890,540
47	高嶺小学校	北野台四丁目21-1	90,491,732	70,097,027	32,774,150	37,322,877	20,394,705	13,959,213	6,435,492
48	みなみ野小学校	みなみ野六丁目14-1	100,166,245	43,751,535	20,596,841	23,154,694	56,414,710	40,814,325	15,600,385
49	七国小学校	七国五丁目27-1	149,987,622	106,766,590	49,982,843	50,783,747	49,221,032	16,610,943	32,610,089
50	みなみ野君田小学校	みなみ野四丁目3	105,590,109	62,619,173	18,246,560	44,372,613	42,970,936	14,351,756	28,619,180
51	浅川小学校	初沢町1335	137,216,458	116,450,617	82,297,659	34,152,958	20,765,841	15,259,559	5,506,282
52	東浅川小学校	東浅川町550-22	118,643,047	100,977,727	68,610,806	32,366,921	17,665,320	10,593,880	7,071,440
53	由木中央小学校	下柚木25	95,387,877	72,878,673	30,982,461	41,896,212	22,509,204	13,156,577	9,352,627
54	由木東小学校	東中野1347	83,197,852	62,939,694	17,686,718	45,252,976	20,258,158	13,614,986	6,643,172
55	由木西小学校	下柚木538-1	59,449,979	27,376,255	16,557,169	10,819,086	32,073,724	32,044,524	29,200
56	鹿島小学校	鹿島13	56,086,683	36,871,223	13,345,334	23,525,889	19,215,460	15,317,021	3,898,439
57	松が谷小学校	松が谷12	69,115,758	32,854,484	16,871,555	15,982,929	36,261,274	32,027,411	4,233,863
58	中山小学校	中山1155	71,694,715	41,022,022	28,369,613	12,652,409	30,672,693	23,990,009	6,682,684
59	柏木小学校	南大沢三丁目3	132,052,485	102,472,052	81,993,781	20,478,271	29,580,433	22,093,700	7,486,733
60	南大沢小学校	南大沢四丁目18	72,032,453	30,156,034	17,007,945	13,148,089	41,876,419	25,675,723	16,200,696
61	宮上小学校	南大沢五丁目10	67,210,773	40,118,184	19,449,325	20,668,859	27,092,589	27,092,589	0
62	秋葉台小学校	別所二丁目5	63,529,033	40,443,115	17,171,061	23,272,054	23,085,918	23,085,918	0
63	別所小学校	別所二丁目44	85,210,451	36,193,660	12,833,543	23,360,117	49,016,791	20,958,359	28,058,432
64	愛宕小学校	上柚木三丁目20	90,333,891	34,842,123	15,355,098	19,487,025	55,491,768	29,975,233	25,516,535
65	松木小学校	松木57-3	103,052,004	43,083,475	17,579,492	25,503,983	59,968,529	41,723,309	18,245,220
66	下柚木小学校	下柚木三丁目15	88,623,819	41,051,844	25,943,100	15,108,744	47,571,975	33,678,196	13,893,779
67	上柚木小学校	上柚木三丁目15	82,117,534	36,941,844	14,584,497	22,357,347	45,175,690	29,906,457	15,269,233
68	長池小学校	別所一丁目2275-1	86,234,479	54,632,303	14,664,914	39,967,389	31,602,176	17,082,115	14,520,061
69	鎌水小学校	鎌水二丁目74	141,925,027	60,788,319	16,526,143	44,262,176	81,136,708	19,426,740	61,709,968
70	旧浅川小学校案内分校	高尾町2357-1	0	0	0	0	0	0	0

中学校									
番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
71	第一中学校	石川町2957-1	68,083,615	48,814,336	20,713,835	28,100,501	19,269,279	14,842,292	4,426,987
72	第二中学校	中野上町四丁目28-1	101,400,289	93,155,663	68,544,370	24,611,293	8,244,626	2,888,467	5,356,159
73	第三中学校	子安町二丁目18-1	178,825,331	175,843,065	155,972,406	19,870,659	2,982,266	2,560,425	421,841
74	第四中学校	元本郷町二丁目21-1	57,176,255	42,719,549	17,164,324	25,555,225	14,456,706	7,269,477	7,187,229
75	第五中学校	明神町四丁目19-1	81,117,151	35,550,247	11,151,659	24,398,588	45,566,904	8,875,559	36,691,345
76	第六中学校	上野町97	57,146,166	31,078,398	8,889,359	22,189,039	26,067,768	9,819,978	16,247,790
77	第七中学校	散田町二丁目2-1	63,408,440	45,027,314	19,823,687	25,203,627	18,381,126	10,281,516	8,099,610
78	ひよどり山中学校	暁町三丁目1-1	95,193,850	81,528,151	58,729,512	22,798,639	13,665,699	6,336,033	7,329,666
79	甲ノ原中学校	中野町2639-2	44,110,330	28,897,291	11,346,990	17,550,301	15,213,039	7,464,956	7,748,083
80	石川中学校	石川町42-1	124,052,220	110,134,812	81,974,305	28,160,507	13,917,408	10,417,811	3,499,597
81	横山中学校	散田町五丁目22-36	77,927,469	39,706,628	14,402,775	25,303,853	38,220,841	7,385,242	30,835,599
82	長房中学校	長房町1041-1	91,170,523	78,993,463	55,654,547	23,338,916	12,177,060	7,475,852	4,701,208

83	館中学校	館町2786	77,437,025	70,580,974	60,012,457	10,568,517	6,856,051	2,956,705	3,899,346
84	櫛田中学校	櫛田町172	83,558,891	67,753,813	38,164,491	29,589,322	15,805,078	7,553,386	8,251,692
85	元八王子中学校	大楽寺町415	46,694,769	27,811,538	9,602,646	18,208,892	18,883,231	9,771,729	9,111,502
86	四谷中学校	四谷町555	166,323,642	154,294,079	134,824,736	19,469,343	12,029,563	7,479,489	4,550,074
87	横川中学校	横川町364	40,834,793	27,325,039	13,536,896	13,788,143	13,509,754	7,291,654	6,218,100
88	城山中学校	川町792-2	142,948,469	128,582,340	106,300,436	22,281,904	14,366,129	7,214,270	7,151,859
89	恩方中学校	上恩方町11	50,068,668	45,811,682	22,129,202	23,682,480	4,256,986	871,726	3,385,260
90	川口中学校	川口町2555	59,058,504	41,661,935	20,290,125	21,371,810	17,396,569	10,699,321	6,697,248
91	檜原中学校	檜原町1235	85,836,146	81,352,964	59,211,856	22,141,108	4,483,182	2,896,347	1,586,835
92	加住中学校	宮下町108-7	89,859,732	86,862,383	78,095,813	8,766,570	2,997,349	2,933,292	64,057
93	由井中学校	片倉町553	56,907,205	46,203,881	22,954,450	23,249,431	10,703,324	9,770,976	932,348
94	打越中学校	打越町349-1	64,623,254	50,492,743	20,149,676	30,343,067	14,130,511	7,674,736	6,455,775
95	みなみ野中学校	みなみ野六丁目14-2	103,957,008	61,445,605	34,207,818	27,237,787	42,511,403	5,626,013	36,885,390
96	七国中学校	七国六丁目41-1	68,513,782	35,626,588	9,953,239	25,673,349	32,887,194	9,739,049	23,148,145
97	浅川中学校	初沢町1370	102,269,243	94,545,617	74,255,202	20,290,415	7,723,626	6,033,859	1,689,767
98	陵南中学校	東浅川町553-9	62,070,909	33,591,642	12,588,480	21,003,162	28,479,267	9,918,891	18,560,376
99	由木中学校	下柚木790	106,873,640	91,442,465	72,321,578	19,120,887	15,431,175	14,161,677	1,269,498
100	松が谷中学校	松が谷23	112,502,445	101,531,360	74,985,095	26,546,265	10,971,085	7,042,879	3,928,206
101	中山中学校	中山1158-1	53,519,683	35,793,021	14,799,814	20,993,207	17,726,662	9,348,832	8,377,830
102	南大沢中学校	南大沢三丁目7	138,893,636	131,717,166	111,624,130	20,093,036	7,176,470	7,176,470	0
103	宮上中学校	南大沢五丁目5	50,616,386	39,592,578	12,352,954	27,239,624	11,023,808	9,245,465	1,778,343
104	別所中学校	別所二丁目28	57,464,076	27,869,869	9,625,291	18,244,578	29,594,207	9,875,076	19,719,131
105	上柚木中学校	上柚木三丁目17	71,211,091	29,984,347	9,208,141	20,776,206	41,226,744	8,264,881	32,961,863
106	松木中学校	別所一丁目34-1	97,654,480	47,829,028	20,700,578	27,128,450	49,825,452	9,050,884	40,774,568
107	鎌水中学校	鎌水二丁目67	92,666,507	39,543,763	16,575,881	22,967,882	53,122,744	9,950,515	43,172,229
108	高尾山学園小・中学部	館町2748	94,656,675	72,322,780	52,415,886	19,906,894	22,333,895	16,829,425	5,504,470

専修学校

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計			その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
				維持管理コスト	事業運営コスト				
109	看護専門学校	館町1163	120,422,151	60,541,749	7,382,011	53,159,738	59,880,402	49,765,127	10,115,275

市営住宅

市営住宅

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計			その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
				維持管理コスト	事業運営コスト				
1	西中野団地	中野町2546-2㌵	24,165,889	6,405,996	6,405,996	0	17,759,893	0	17,759,893
2	元本郷団地	元本郷町二丁目302-5	50,542,847	13,153,644	13,153,644	0	37,389,203	0	37,389,203
3	大和田台団地	大和田町四丁目1830-1	36,041,269	11,274,552	11,274,552	0	24,766,717	0	24,766,717
4	大和田団地	大和田町五丁目1989㌵	19,347,337	7,174,715	7,174,715	0	12,172,622	0	12,172,622
5	大谷団地	大谷町69-1㌵	23,661,479	8,028,848	8,028,848	0	15,632,631	0	15,632,631
6	高倉団地	高倉町62㌵	22,274,003	7,858,021	7,858,021	0	14,415,982	0	14,415,982
7	明神団地	明神町二丁目154-4	8,881,291	2,562,398	2,562,398	0	6,318,893	0	6,318,893
8	泉町団地	泉町1372㌵	12,879,954	11,274,552	11,274,552	0	1,605,402	0	1,605,402
9	長房第一団地	長房町92㌵	33,193,574	29,538,861	29,538,861	0	3,654,713	0	3,654,713
10	長房第二団地	長房町45-2㌵	4,326,980	3,929,011	3,929,011	0	397,969	0	397,969
11	恩方団地	上恩方町1797㌵	4,934,763	1,366,612	1,366,612	0	3,568,151	0	3,568,151
12	中野団地	中野上町三丁目3284㌵	3,160,291	3,160,291	3,160,291	0	0	0	0
13	檜原団地	檜原町1090㌵	3,858,149	3,843,597	3,843,597	0	14,552	0	14,552
14	初沢団地	初沢町1397-2㌵	256,240	256,240	256,240	0	0	0	0
15	小名路団地	西浅川町133-3㌵	256,240	256,240	256,240	0	0	0	0
16	新地団地	東浅川町31-28㌵	170,827	170,827	170,827	0	0	0	0
17	落合第一団地	高尾町2111	683,306	683,306	683,306	0	0	0	0
18	落合第二団地	高尾町1832-2	427,066	427,066	427,066	0	0	0	0
19	落合第三団地	高尾町2069-2㌵	256,240	256,240	256,240	0	0	0	0
20	川口団地	川口町1890-3	1,475,660	1,366,612	1,366,612	0	109,048	0	109,048
21	中原団地	東浅川町560-4	427,066	427,066	427,066	0	0	0	0

交通公園

交通公園

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計			その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
				維持管理コスト	事業運営コスト				
1	東浅川交通公園	東浅川町559	7,634,104	6,793,667	1,141,408	5,652,259	840,437	0	840,437
2	清川交通遊園	清川町43-1	6,851,262	5,871,972	614,239	5,257,733	979,290	0	979,290

文化・生涯学習施設

文化施設(ホール等)

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
1	市民会館	子安町四丁目7-1	389,916,370	191,505,464	61,338,854	130,166,610	198,410,906	0	198,410,906
2	芸術文化会館	本町12-14	318,322,091	126,223,960	31,951,135	94,272,825	192,098,131	0	192,098,131
3	南大沢文化会館	南大沢二丁目27	476,242,544	476,242,544	446,627,975	29,614,569	0	0	-
4	学園都市センター	旭町20-3	151,258,371	109,463,364	11,026,567	98,436,797	41,795,007	0	41,795,007
5	夢美術館	八日町8-1	108,729,276	97,819,404	553,776	97,265,628	10,909,872	0	10,909,872

生涯学習施設

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
6	生涯学習センター	東町5-6	438,448,422	167,929,478	124,286,574	43,642,904	270,518,944	92,304,072	178,214,872
7	生涯学習センター南大沢分館	南大沢二丁目27	113,714,110	100,527,814	84,401,946	16,125,868	13,186,296	13,186,296	-
8	生涯学習センター川口分館	川口町3838	36,464,871	16,320,305	319,470	16,000,835	20,144,566	13,186,296	6,958,270
9	姫木平自然の家	長野県小県郡長和町大門3515-29	53,880,860	45,596,055	1,996,055	43,600,000	8,284,805	0	8,284,805

図書館

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
10	中央図書館	千人町三丁目3-6	372,921,259	203,063,901	35,932,290	167,131,611	169,857,358	146,983,246	22,874,112
11	中央図書館 北野分室	北野町545-3	11,400,596	9,642,423	228,742	9,413,681	1,758,173	1,758,173	-
12	生涯学習センター図書館	東町5-6	188,730,597	77,965,711	788,183	77,177,528	110,764,886	110,764,886	-
13	南大沢図書館	南大沢二丁目27	241,935,290	162,817,514	116,202,503	46,615,011	79,117,776	79,117,776	-
14	川口図書館	川口町3838	85,324,574	41,874,445	16,040,524	25,833,921	43,450,129	36,921,629	6,528,500

博物館・史跡等

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
15	こども科学館	大横町9-13	195,665,287	124,366,174	17,533,987	106,832,187	71,299,113	52,745,184	18,553,929
16	郷土資料館	上野町33	56,316,656	24,479,403	5,780,073	18,699,330	31,837,253	30,855,933	981,320
17	絹の道資料館	鎌水989-2	7,835,202	4,914,700	4,914,700	0	2,920,502	0	2,920,502
18	史跡八王子城跡	元八王子町三丁目2715-2	13,221,755	12,520,122	12,520,122	0	701,633	0	701,633
19	八王子城跡ガイダンス施設	元八王子町三丁目2664-2	8,122,573	5,236,940	5,236,940	0	2,885,633	0	2,885,633
20	中田遺跡	中野山王三丁目12	1,598,827	1,570,099	1,570,099	0	28,728	0	28,728

コミュニティ施設

市民センター・市民集会所

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
1	子安市民センター	子安町二丁目528-2	21,587,771	15,006,359	0	15,006,359	6,581,412	0	6,581,412
2	台町市民センター	台町三丁目20-1	25,678,093	14,761,404	496,787	14,264,617	10,916,689	0	10,916,689
3	中野市民センター	中野町2726-7	22,487,014	13,859,199	195,608	13,663,591	8,627,815	0	8,627,815
4	大和田市民センター	大和田町5丁目9-1	21,254,252	14,626,483	566,007	14,060,476	6,627,769	0	6,627,769
5	浅川市民センター	高尾町1652-1	15,693,501	12,509,964	0	12,509,964	3,183,537	0	3,183,537
6	由木中央市民センター	下柚木2丁目10-6	12,869,889	12,869,889	463,192	12,406,697	0	0	0
7	南大沢市民センター	南大沢二丁目27南大沢総合センター3階	123,349,784	123,349,784	110,856,067	12,493,717	0	0	-
8	由木東市民センター	鹿島111-1	23,226,117	13,130,969	0	13,130,969	10,095,148	0	10,095,148
9	長房市民センター	長房町506-2	12,977,524	9,239,851	92,005	9,147,846	3,737,673	0	3,737,673
10	横山南市民センター	桐田町137-3	20,991,415	13,810,510	184,292	13,626,218	7,180,905	0	7,180,905
11	元八王子市民センター	上壺分方町746-1	23,915,738	16,232,690	1,495,573	14,737,117	7,683,048	0	7,683,048
12	恩方市民センター	西寺方町260-4	20,813,045	13,947,458	198,591	13,748,867	6,865,587	0	6,865,587
13	川口市民センター	川口町3838	22,675,143	12,109,305	371,103	11,738,202	10,565,838	0	10,565,838
14	加住市民センター	加住町一丁目338	22,630,558	13,217,717	339,819	12,877,898	9,412,841	0	9,412,841
15	由井市民センター	打越町42-1	16,399,347	12,655,347	0	12,655,347	3,744,000	0	3,744,000
16	由井市民センターみなみ野分館	みなみ野一丁目7-1片柳学園第三学生会館2階	41,447,408	41,447,408	29,383,200	12,064,208	0	0	-
17	北野市民センター	北野町545-3きたのタウンビル7・8階	103,594,879	103,594,879	91,098,706	12,496,173	0	0	-
18	石川市民センター	石川町438	25,483,795	15,593,678	193,351	15,400,327	9,890,117	0	9,890,117
19	横山市民集会所	並木町15-15	8,261,514	2,462,696	2,462,696	0	5,798,818	5,798,818	0
20	館市民集会所	館町156	4,891,686	1,651,170	1,651,170	0	3,240,516	3,240,516	0
21	元八王子市民集会所	大楽寺町419-1	5,231,705	1,735,359	1,735,359	0	3,496,346	3,496,346	0
22	恩方市民集会所	下恩方町3395	1,971,501	141,124	141,124	0	1,830,377	1,830,377	0
23	川口市民集会所	川口町908-1	4,755,777	2,433,522	2,433,522	0	2,322,255	2,322,255	0
24	北野市民集会所	北野町549-5	4,802,083	2,499,611	2,499,611	0	2,302,472	2,302,472	0
25	由井市民集会所	片倉町119-4	3,144,822	2,462,608	2,462,608	0	682,214	682,214	0
26	石川市民集会所	石川町481	2,130,358	1,461,243	1,461,243	0	669,115	669,115	0

地区会館

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
27	明神会館	明神町一丁目26-10	1,403,482	1,091,181	0	1,091,181	312,301	0	312,301
28	万町会館	万町27-1	1,616,275	1,084,270	0	1,084,270	532,005	0	532,005
29	天神会館	天神町23-2	2,288,865	1,437,834	0	1,437,834	851,031	0	851,031
30	山田会館	山田町1662-11	2,909,559	1,418,943	0	1,418,943	1,490,616	0	1,490,616
31	館町市民センター	館町115-1	2,034,922	1,024,042	0	1,024,042	1,010,880	0	1,010,880
32	榛名公園会館	寺田町847-1	1,181,411	981,251	0	981,251	200,160	0	200,160
33	横川会館	横川町559-2	2,528,073	1,544,746	0	1,544,746	983,327	0	983,327
34	川口東部会館	川口町1970-1	3,243,565	1,954,765	0	1,954,765	1,288,800	0	1,288,800
35	犬目会館	犬目町863	2,531,701	1,221,138	0	1,221,138	1,310,563	0	1,310,563
36	戸吹会館	戸吹町168-5	2,733,536	1,595,072	0	1,595,072	1,138,464	0	1,138,464
37	北野南部会館	北野台五丁目48-1	1,774,483	1,774,483	0	1,774,483	0	0	0
38	長沼春日会館	長沼町1246-1	1,217,684	1,217,684	0	1,217,684	0	0	-
39	平町会館	平町502-4	2,364,016	973,072	0	973,072	1,390,944	0	1,390,944
40	小宮会館	小宮町876-1	3,646,959	1,125,519	0	1,125,519	2,521,440	0	2,521,440

市民活動支援センター

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
41	市民活動支援センター	旭町12-1ファルマ802ビル5階	18,569,662	18,569,662	3,582,198	14,987,464	0	0	-

スポーツ施設

スポーツ施設

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
1	市民球場	台町二丁目2	29,577,598	22,877,062	21,280,273	1,596,789	6,700,536	0	6,700,536
2	市民体育館	台町二丁目3-7	82,008,941	62,065,134	36,570,304	25,494,830	19,943,807	9,536,610	10,407,197
3	市民体育館分館競技場	散田町二丁目37-1	19,000,346	15,315,214	9,027,582	6,287,632	3,685,132	0	3,685,132
4	甲の原体育館	中野町2726-8	134,590,001	103,130,310	5,601,298	97,529,012	31,459,691	0	31,459,691
5	滝方原運動場	高月町2401サキ	23,847,382	22,863,417	16,382,398	6,481,019	983,965	0	983,965
6	川町運動場	川町128	4,121,705	4,010,873	2,187,325	1,823,548	110,832	0	110,832
7	栢田運動場	栢田町517-1	5,921,309	5,412,359	5,290,559	121,800	508,950	0	508,950
8	富士森陸上競技場	台町二丁目2	54,847,129	53,958,983	52,076,318	1,882,665	888,146	0	888,146
9	富士森公園テニスコート	台町二丁目2	12,459,073	12,459,073	7,710,421	4,748,652	0	0	0
10	北野公園野球場	北野町585-1	8,414,549	8,414,549	45,673	8,368,876	0	0	0
11	高倉公園野球場	高倉町10	168,300	168,300	168,300	0	0	0	0
12	陵南公園内プール	東浅川町31	12,950,800	12,653,944	5,608,444	7,045,500	296,856	0	296,856
13	西寺方グラウンド	西寺方町713	1,376,145	1,376,145	225,427	1,150,718	0	0	0
14	上柚木公園ソフトボール場	上柚木二丁目19-1	3,715,668	3,715,668	11,559	3,704,109	0	0	0
15	上柚木陸上競技場	上柚木二丁目19-1	12,435,598	12,435,598	38,684	12,396,914	0	0	0
16	上柚木野球場	上柚木二丁目19-1	13,148,481	10,988,481	34,183	10,954,299	2,160,000	0	2,160,000
17	上柚木公園テニスコート	上柚木二丁目19-1	3,808,997	3,387,214	10,537	3,376,678	421,783	0	421,783
18	大塚公園野球場	松が谷66	5,651,421	5,651,421	30,675	5,620,746	0	0	0
19	大塚公園プール	松が谷66番地	4,733,184	4,733,184	25,691	4,707,493	0	0	0
20	大塚公園テニスコート	松が谷66	2,924,056	2,924,056	15,871	2,908,184	0	0	0
21	大平公園テニスコート	南大沢三丁目11	1,567,210	1,567,210	8,507	1,558,703	0	0	0
22	久保山公園テニスコート	久保山町二丁目48	1,525,137	1,525,137	8,278	1,516,859	0	0	0
23	内妻谷戸公園テニスコート	南大沢五丁目24	1,535,655	1,535,655	8,335	1,527,320	0	0	0
24	別所公園テニスコート	別所二丁目33-2	1,630,319	1,630,319	8,849	1,621,470	0	0	0
25	松木公園テニスコート	別所1-56-2	21,392,871	8,078,871	128,439	7,950,432	13,314,000	0	13,314,000
26	殿入中央公園テニスコート	館町2428	1,272,701	1,272,701	6,908	1,265,793	0	0	0
27	戸吹スポーツ公園テニスコート	戸吹町1746-1	12,061,231	12,061,231	66,916	11,994,315	0	0	0
28	戸吹スポーツ公園サッカー兼ラグビー場	戸吹町1746-1	31,788,769	29,359,575	162,888	29,196,687	2,429,194	0	2,429,194
29	戸吹スポーツ公園スケートパーク	戸吹町1746-1	11,066,338	10,844,528	60,166	10,784,362	221,810	0	221,810

子育て支援施設

保育園

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
1	子安保育園	子安町四丁目31-1	170,737,003	45,691,826	7,912,698	37,779,128	125,045,177	124,152,563	892,614
2	中野保育園	中野上町一丁目22-11	118,099,827	116,966,862	1,913,262	115,053,600	1,132,965	0	1,132,965
3	石川保育園	石川町2966-8	123,624,042	123,216,297	297	123,216,000	407,745	0	407,745
4	千人保育園	千人町三丁目5-17	161,100,064	50,833,346	13,054,218	37,779,128	110,266,718	109,609,808	656,910
5	高尾保育園	高尾町1737	169,517,117	45,691,826	7,912,698	37,779,128	123,825,291	122,744,391	1,080,900
6	恩方保育園	下恩方町1314	159,532,737	45,871,826	8,092,698	37,779,128	113,660,911	112,688,956	971,955

7	静教保育園	元横山町三丁目19-13	110,494,061	109,738,200	0	109,738,200	755,861	0	755,861
8	多賀保育園	元本郷町三丁目8-16	103,188,660	102,665,400	0	102,665,400	523,260	0	523,260
9	富士見台保育園	富士見町21-1	140,388,659	45,691,826	7,912,698	37,779,128	94,696,833	93,951,264	745,569
10	長房中央保育園	長房町588都営西29号棟	195,856,166	45,691,826	7,912,698	37,779,128	150,164,340	150,164,340	-
11	長房南保育園	長房町520都営54号棟	103,783,400	103,783,400	0	103,783,400	0	0	-
12	長房西保育園	長房町588都営西8号棟	166,966,150	166,966,150	0	166,966,150	0	0	-
13	津久田保育園1号館・2号館	中野山王三丁目6-3-1(1号館)	169,289,202	45,691,826	7,912,698	37,779,128	123,597,376	123,597,376	-
14		中野山王三丁目15-14-1(2号館)							
15	北野保育園	北野町570-12	161,184,710	51,033,826	13,254,698	37,779,128	110,150,884	109,609,808	541,076
16	元八王子保育園	貳分方町739	154,601,240	45,691,826	7,912,698	37,779,128	108,909,414	107,938,832	970,582
17	みなみ野保育園	みなみ野六丁目1-1	198,345,133	45,691,826	7,912,698	37,779,128	152,653,307	152,653,307	0

児童館

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
18	中野児童館	中野山王三丁目6-27	29,599,110	5,590,451	1,671,860	3,918,591	24,008,659	23,487,816	520,843
19	浅川児童館	初沢町1323	33,496,854	8,845,452	4,926,860	3,918,592	24,651,402	23,487,816	1,163,586
20	由木児童館	越野692-1	29,931,332	5,590,451	1,671,860	3,918,591	24,340,881	23,487,816	853,065
21	松が谷児童館	松が谷13	26,206,424	5,590,451	1,671,860	3,918,591	20,615,973	19,555,683	1,060,290
22	中郷児童館	長房町891-2	31,393,997	6,994,301	3,075,710	3,918,591	24,399,696	23,487,816	911,880
23	館ヶ丘児童館	館町1097-57	28,599,281	5,676,251	1,757,660	3,918,591	22,923,030	21,816,840	1,106,190
24	元八王子児童館	大楽寺町508-3	29,384,764	5,590,451	1,671,860	3,918,591	23,794,313	23,487,816	306,497
25	川口児童館	川口町3974	29,789,357	5,590,451	1,671,860	3,918,591	24,198,906	23,487,816	711,090
26	北野児童館	北野町549-9	33,902,507	9,763,451	5,844,860	3,918,591	24,139,056	23,487,816	651,240
27	南大谷児童館	大谷町46-1	27,773,037	5,590,451	1,671,860	3,918,591	22,182,586	21,816,840	365,746
28	中郷児童館長房分館	長房町341	6,363,778	5,750,975	1,832,384	3,918,591	612,803	0	612,803
29	松が谷児童館鹿島分館	鹿島2	6,430,421	5,590,451	1,671,860	3,918,591	839,970	0	839,970

学童保育所

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
30	八木町学童保育所	八木町7-1	26,582,881	26,582,881	495,951	26,086,930	0	0	-
31	千人町学童保育所	千人町三丁目7-7	37,738,327	36,538,918	587,451	35,951,467	1,199,409	0	1,199,409
32	第一小学学童保育所	元横山町二丁目5-1	20,553,118	20,553,118	3,274,271	17,278,847	0	0	-
33	第四小学学童保育所	明神町二丁目15-1	25,681,150	24,182,380	453,725	23,728,655	1,498,770	0	1,498,770
34	子安学童保育所第一クラブ	子安町一丁目37-1	14,628,504	14,628,504	343,451	14,285,053	0	0	-
35	子安学童保育所第二クラブ	子安町二丁目19-1	23,237,958	21,895,208	431,973	21,463,235	1,342,750	0	1,342,750
36	寺町学童保育所	寺町29-15	31,982,303	30,927,327	703,873	30,223,454	1,054,976	0	1,054,976
37	台町学童保育所	台町四丁目2-1	42,805,262	42,058,327	788,751	41,269,576	746,935	0	746,935
38	中野学童保育所	中野山王三丁目6-27	13,772,373	13,772,373	56,751	13,715,622	0	0	-
39	清水小学学童保育所	中野山王三丁目25-1	26,708,179	26,708,179	617,951	26,090,228	0	0	-
40	第九小学学童保育所	中野上町二丁目14-1	19,735,130	19,735,130	489,851	19,245,279	0	0	-
41	第十小学学童保育所	大和田町七丁目5-1	39,376,724	39,376,724	874,151	38,502,573	0	0	-
42	東浅川小学学童保育所	東浅川町550-22	20,975,712	19,944,755	404,783	19,539,972	1,030,957	0	1,030,957
43	浅川学童保育所	初沢町1323	30,887,548	30,887,548	56,751	30,830,797	0	0	-
44	下柚木学童保育所	下柚木三丁目4-1	21,245,490	21,245,490	471,551	20,773,939	0	0	-
45	由木西小学学童保育所	上柚木538-1	12,477,177	12,477,177	132,883	12,344,294	0	0	-
46	あたご学童保育所	上柚木三丁目5-10	20,363,324	20,363,324	472,751	19,890,573	0	0	-
47	上柚木小学学童保育所	上柚木三丁目15	20,671,824	20,671,824	416,651	20,255,173	0	0	-
48	中山小学学童保育所	中山1155	14,364,499	13,873,591	165,511	13,708,080	490,908	0	490,908
49	由木学童保育所	越野692-1	25,648,103	25,648,103	56,751	25,591,352	0	0	-
50	由木東小学学童保育所	東中野1347	29,316,331	28,379,232	524,419	27,854,813	937,099	0	937,099
51	鹿島学童保育所	鹿島2	16,611,847	16,611,847	56,751	16,555,096	0	0	-
52	松が谷学童保育所	松が谷13	26,195,974	26,195,974	56,751	26,139,223	0	0	-
53	南大沢学童保育所	南大沢三丁目8-1	23,094,913	23,094,913	550,851	22,544,062	0	0	-
54	南大沢西学童保育所	南大沢四丁目18	15,241,512	14,514,240	184,851	14,329,389	727,272	0	727,272
55	宮上学童保育所	南大沢五丁目20-11	22,005,140	22,005,140	392,251	21,612,889	0	0	-
56	まつぎ学童保育所	別所一丁目29-2	23,870,119	23,870,119	605,751	23,264,368	0	0	-
57	長池学童保育所第一クラブ	別所一丁目45-3	25,723,476	25,723,476	355,651	25,367,825	0	0	-
58	長池学童保育所第二クラブ	別所一丁目55	23,153,816	21,961,680	377,593	21,584,087	1,192,136	0	1,192,136
59	秋葉台学童保育所第一クラブ	別所二丁目12-4	16,085,626	16,085,626	407,851	15,677,775	0	0	-
60	秋葉台学童保育所第二クラブ	別所二丁目5	21,164,164	19,675,222	437,411	19,237,811	1,488,942	0	1,488,942
61	別所学童保育所	別所二丁目42-7	21,443,943	21,443,943	547,951	20,895,992	0	0	-
62	散田小学学童保育所	散田町五丁目23-1	27,170,673	27,170,673	636,251	26,534,422	0	0	-
63	山田小学学童保育所	山田町1553	25,331,216	23,372,987	546,171	22,826,816	1,958,229	0	1,958,229
64	長房学童保育所	長房町341	16,268,845	16,268,845	56,751	16,212,094	0	0	-
65	横山学童保育所	長房町450	26,577,928	25,674,004	1,670,221	24,003,783	903,924	0	903,924
66	船田小学学童保育所	長房町1041-2	23,363,595	23,363,595	508,151	22,855,444	0	0	-
67	櫛田小学学童保育所第一第二クラブ	櫛田町571-2	24,279,145	24,279,145	497,229	23,781,916	0	0	-
68	櫛田小学学童保育所第三クラブ	櫛田町554-11	10,608,994	10,608,994	1,646,949	8,962,045	0	0	-
69	館ヶ丘学童保育所	館町1097-57	16,712,700	16,712,700	56,751	16,655,949	0	0	-
70	寺田学童保育所第一クラブ	寺田町432-102	16,423,758	16,423,758	1,395,051	15,028,707	0	0	-

71	寺田学童保育所第二クラブ	寺田町405-5	21,340,420	19,764,992	437,411	19,327,581	1,575,428	0	1,575,428
72	元八王子学童保育所	式分方町761	33,020,951	31,495,646	589,675	30,905,971	1,525,305	0	1,525,305
73	上巻分方学童保育所	上巻分方町799-2	30,275,551	29,765,902	1,839,175	27,926,727	509,649	0	509,649
74	元八王子東小学学童保育所	叶谷町1521	19,270,908	19,270,908	447,151	18,823,757	0	0	-
75	横川学童保育所	横川町296-11	21,836,192	21,836,192	557,051	21,279,141	0	0	0
76	式分方小学学童保育所	式分方町520-1	24,904,009	24,904,009	421,097	24,482,912	0	0	-
77	城山学童保育所第一クラブ	元八王子町二丁目3351-15	17,304,789	17,304,789	325,151	16,979,638	0	0	-
78	城山学童保育所第二クラブ	元八王子町二丁目1767	13,644,775	13,644,775	294,651	13,350,124	0	0	-
79	恩方東学童保育所	下恩方町754-1	23,621,005	23,204,827	965,039	22,239,788	416,178	0	416,178
80	恩方西学童保育所	下恩方町1369	32,352,919	30,280,538	524,419	29,756,119	2,072,381	0	2,072,381
81	からまつ学童保育所	川口町1557-2	21,275,207	21,275,207	2,664,951	18,610,256	0	0	-
82	川口学童保育所	川口町3974	25,100,209	25,100,209	56,751	25,043,458	0	0	-
83	上川口小学学童保育所	上川町1099	9,128,854	9,128,854	111,131	9,017,723	0	0	-
84	檜原小学学童保育所	檜原町1287-2	18,603,511	18,603,511	377,593	18,225,918	0	0	-
85	美山小学学童保育所	美山町1892	13,744,862	13,012,676	138,321	12,874,355	732,186	0	732,186
86	加住小学学童保育所	加住町一丁目170-2	26,822,168	24,018,488	873,019	23,145,469	2,803,680	0	2,803,680
87	由井学童保育所	小比企町1201	29,270,744	26,897,624	383,031	26,514,593	2,373,120	0	2,373,120
88	片倉台学童保育所	片倉町1318	17,957,590	17,957,590	274,271	17,683,319	0	0	-
89	由井かたくら学童保育所	片倉町2186-5	31,117,169	30,281,789	5,679,905	24,601,884	835,380	0	835,380
90	七国小学学童保育所	七国六丁目42-1	32,419,972	30,870,097	676,683	30,193,414	1,549,875	0	1,549,875
91	みなみ野学童保育所第一クラブ	みなみ野一丁目9-3	22,472,125	21,863,545	471,551	21,391,994	608,580	0	608,580
92	みなみ野学童保育所第二クラブ	みなみ野一丁目1-1	16,708,262	16,708,262	3,262,640	13,445,622	0	0	-
93	みなみ野君田小学学童保育所	みなみ野四丁目3-1	26,355,920	24,554,939	600,551	23,954,388	1,800,981	0	1,800,981
94	北野学童保育所	打越町348-1	29,532,320	27,168,686	692,997	26,475,689	2,363,634	0	2,363,634
95	高嶺小学学童保育所	北野台四丁目21-1	17,178,403	17,178,403	334,089	16,844,314	0	0	-
96	長沼学童保育所	長沼町707-3	26,107,729	26,107,729	459,163	25,648,566	0	0	-
97	高倉小学学童保育所	高倉町67-2	22,497,041	21,573,209	410,221	21,162,988	923,832	0	923,832
98	石川学童保育所	石川町1920	21,134,506	21,134,506	453,251	20,681,255	0	0	-
99	小宮小学学童保育所	小宮町1128-3	26,109,608	24,306,170	703,873	23,602,297	1,803,438	0	1,803,438
100	久保山学童保育所第一第二クラブ	久保山町一丁目20-6	29,887,934	29,887,934	513,543	29,374,391	0	0	-
101	久保山学童保育所第三クラブ	久保山町二丁目18	17,674,111	17,674,111	247,081	17,427,030	0	0	-
102	大和田小学学童保育所	大和田町四丁目19-1	25,231,427	25,231,427	415,659	24,815,768	0	0	-
103	鎌水小学学童保育所第一クラブ	鎌水二丁目74	17,239,789	15,715,899	426,535	15,289,364	1,523,890	0	1,523,890
104	鎌水小学学童保育所第二クラブ	鎌水二丁目73	15,805,715	15,805,715	300,751	15,504,964	0	0	-
105	つくみ学童保育所第一第二クラブ	犬目町44-1	29,066,639	29,066,639	567,923	28,498,716	0	0	0
106	つくみ学童保育所第三クラブ	檜原町980-33	3,049,990	3,049,990	215,003	2,834,987	0	0	-
107	横山第一小学学童保育所	館町74	29,992,684	27,863,448	470,000	27,393,448	2,129,236	0	2,129,236

子育て支援施設

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計			その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
				維持管理コスト	事業運営コスト				
108	子ども家庭支援センター	東町5-6	93,381,308	34,192,012	828,686	33,363,326	59,189,296	59,189,296	-
109	地域子ども家庭支援センターみなみ野	みなみ野六丁目1-1	48,730,714	21,303,141	4,852,830	16,450,311	27,427,573	19,729,765	7,697,808
110	地域子ども家庭支援センター元八王子	大楽寺町419-1	36,094,821	13,782,344	2,295,625	11,486,719	22,312,477	19,729,765	2,582,712
111	地域子ども家庭支援センター南大沢	南大沢二丁目16	53,426,958	19,327,360	2,873,165	16,454,195	34,099,598	32,882,942	1,216,656
112	地域子ども家庭支援センター館	館町156	35,351,972	13,610,431	1,969,823	11,640,608	21,741,541	19,729,765	2,011,776
113	地域子ども家庭支援センター石川	石川町481	35,770,597	13,789,536	2,534,123	11,255,413	21,981,061	19,729,765	2,251,296
114	親子つどいの広場ゆめきず	旭町1-1セレオ八王子北館6階	21,761,091	15,262,795	5,778,336	9,484,459	6,498,296	6,498,296	-
115	親子つどいの広場堀之内	堀之内三丁目29-16金子スポーツ堀之内ビル1階	14,404,523	7,906,227	3,231,348	4,674,879	6,498,296	6,498,296	-
116	親子つどいの広場西八王子	散田町三丁目16-20シャトレ西八王子1階	13,439,285	6,940,989	2,159,070	4,781,919	6,498,296	6,498,296	-
117	親子つどいの広場檜原	檜原町539-3岩崎ビル1階	13,939,415	7,441,119	2,616,240	4,824,879	6,498,296	6,498,296	-
118	親子つどいの広場大和田	大和田町五丁目10-2 SYOJビル2階	14,062,145	7,563,849	2,780,040	4,783,809	6,498,296	6,498,296	-

産業振興施設

観光施設

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計			その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
				維持管理コスト	事業運営コスト				
1	八王子インフォメーションセンター	旭町1ハーンサキ	13,406,627	13,182,842	361,920	12,820,922	223,785	0	223,785
2	タヤけ小タヤけふれあいの里	上恩方町2030	149,765,835	103,451,942	5,648,216	97,803,726	46,313,893	0	46,313,893
3	高尾山麓駐車場	高尾町2250	37,876,804	37,567,398	37,567,398	0	309,406	0	309,406

産業振興施設

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計			その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
				維持管理コスト	事業運営コスト				
4	中心市街地活性化交流スペース	旭町12-1ファルマ802ビル5階	1,094,049	1,094,049	1,094,049	0	0	0	-
5	八王子しごと情報館	旭町10-2	10,279,355	10,279,355	3,379,199	6,900,156	0	0	-
6	道の駅「八王子滝山」	滝山町一丁目592-2	11,026,396	2,943,385	2,943,385	0	8,083,011	0	8,083,011
7	先端技術共同研究センター	中野上町四丁目8-5	6,220,131	6,220,131	6,177,623	42,508	0	0	-
8	先端技術開発・交流センター	旭町10-2	19,947,587	12,153,309	10,392,422	1,760,887	7,794,278	7,794,278	-

農林業施設

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
9	恩方農村環境改善センター	下恩方町3247-2	6,446,002	4,933,000	0	4,933,000	1,513,002	0	1,513,002
10	上川農村環境改善センター	上川町925-1	7,929,953	6,134,000	0	6,134,000	1,795,953	0	1,795,953

保健衛生施設

保健衛生施設

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
1	小児・障害メディカルセンター(療育診療棟・小児診療棟)	台町四丁目139-1	64,101,247	63,352,807	54,900,044	8,452,763	748,440	0	748,440
2	小児・障害メディカルセンター(夜間救急棟)	台町四丁目139-1	154,577,637	147,383,468	369,677	147,013,791	7,194,169	0	7,194,169
3	戸吹湯ったり館	戸吹町1798	63,711,709	48,365,571	0	48,365,571	15,346,138	0	15,346,138
4	保健センター	平岡町18-3	533,913,596	372,652,343	10,133,740	362,518,603	161,261,253	157,594,250	3,667,003
5	保健センター西寺方分室	西寺方町75-2	1,194,837	640,223	640,223	0	554,614	0	554,614
6	斎場	山田町1681-2	235,257,871	161,732,886	66,814,100	94,918,786	73,524,985	31,358,118	42,166,867
7	北野余熱利用センター	北野町596-3	220,760,967	179,982,644	25,378,256	154,604,388	40,778,323	0	40,778,323

福祉施設

高齢者福祉施設

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
1	大横保健福祉センター	大横町11-35	41,795,571	12,061,020	9,946,750	2,114,270	29,734,551	28,736,537	998,014
2	東浅川保健福祉センター	東浅川町551-1	366,735,969	190,496,586	127,996,982	62,499,604	176,239,383	122,173,832	54,065,551
3	南大沢保健福祉センター	南大沢二丁目27	310,570,525	166,637,390	108,888,592	57,748,798	143,933,135	143,933,135	-
4	南大沢保健福祉センター分室	南大沢二丁目17-5	5,288,963	3,031,724	3,031,724	0	2,257,239	0	2,257,239
5	恩方老人憩の家	下恩方町3395	12,453,400	11,654,740	0	11,654,740	798,660	0	798,660
6	長房ふれあい館	長房町588 都営長房アパート西1号棟1階	33,465,080	33,465,080	0	33,465,080	0	0	-
7	高齢者在宅サービスセンター長沼	長沼町1302-1	4,054,073	24,108	0	24,108	4,029,965	0	4,029,965
8	高齢者在宅サービスセンター石川	石川町1920	5,397,951	24,108	0	24,108	5,373,843	0	5,373,843
9	高齢者在宅サービスセンター中野	中野山王三丁目17-2	4,275,756	504,763	0	504,763	3,770,993	0	3,770,993
10	高齢者在宅サービスセンター長房	長房町588	2,907,165	24,108	0	24,108	2,883,057	0	2,883,057
11	高齢者在宅サービスセンターやまゆり	東浅川町551-1	0	0	0	0	0	0	-
12	地域包括支援センターゆうゆう	大和田町六丁目17-12	35,964,116	35,964,116	218,300	35,745,816	0	0	-
13	地域包括支援センター高尾	高尾町1610	31,009,516	31,009,516	218,300	30,791,216	0	0	-
14	地域包括支援センター左入	左入町372-4	36,167,216	36,167,216	218,300	35,948,916	0	0	-
15	地域包括支援センター中野	中野町2133-8	44,530,316	44,530,316	218,300	44,312,016	0	0	-
16	地域包括支援センター南大沢	南大沢二丁目17-5	35,802,916	35,802,916	218,300	35,584,616	0	0	-
17	地域包括支援センターめじろ	めじろ台二丁目55-5	32,931,916	32,931,916	218,300	32,713,616	0	0	-
18	地域包括支援センター長沼	長沼町1302-1 都営長沼第二アパート16号棟1階	38,849,716	38,849,716	218,300	38,631,416	0	0	-
19	地域包括支援センター川口	川口町908-1 川口事務所内	40,034,176	40,034,176	3,962,911	36,071,265	0	0	-
20	地域包括支援センター元八王子	上壺分方町71-4東京天使病院内	38,920,916	38,920,916	218,300	38,702,616	0	0	-
21	地域包括支援センター片倉	片倉町440-2	33,739,116	33,739,116	218,300	33,520,816	0	0	-
22	地域包括支援センター堀之内	堀之内1206	35,751,016	35,751,016	218,300	35,532,716	0	0	-
23	地域包括支援センター長房	長房町588	39,029,719	38,563,315	218,300	38,345,015	466,404	0	466,404
24	地域包括支援センター子安	子安町四丁目10-9	41,155,116	41,155,116	218,300	40,936,816	0	0	-
25	地域包括支援センターもとほち南	元八王子町二丁目1964-2	32,786,523	32,786,523	218,300	32,568,223	0	0	-
26	地域包括支援センター寺田	寺田町137-4	27,785,068	27,398,185	815,462	26,582,723	386,883	0	386,883
27	上野町高齢者交流施設	上野町90-8	995,641	995,641	995,641	0	0	0	0
28	シルバーふらっと相談室館ヶ丘	館町1097番地 館ヶ丘団地2-5-101	10,436,655	10,436,655	267,900	10,168,755	0	0	-
29	シルバーふらっとほむ館ヶ丘	館町1097番地 館ヶ丘団地2-5-101	4,928,290	4,928,290	429,040	4,499,250	0	0	-
30	シルバー見守り相談室長房	長房町588	10,477,423	10,477,423	0	10,477,423	0	0	-
31	高齢者活動コーディネートセンター	大横町11-35	2,086,000	2,086,000	0	2,086,000	0	0	-

障害者福祉施設

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
32	心身障害者福祉センター	台町二丁目7-22	54,638,898	53,545,074	3,017,491	50,527,583	1,093,824	0	1,093,824
33	障害者療育センター	長沼町1306-4	107,559,959	107,559,959	2,345,206	105,214,753	0	0	0

駐車場

駐車場

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
1	八王子駅北口地下駐車場	旭町1-81	339,456,388	103,430,488	25,494,252	77,936,236	236,025,900	0	236,025,900
2	旭町駐車場	旭町9-1	119,905,382	86,359,590	38,802,880	47,556,710	33,545,792	0	33,545,792
3	南大沢駐車場	南大沢二丁目27番地	212,557,066	212,557,066	199,199,703	13,357,363	0	0	0

自転車駐車場

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計			その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
				維持管理コスト	事業運営コスト				
4	北八王子駅自転車駐車場	石川町2953-4	618,556	61,311	19,557	41,754	557,245	0	557,245
5	小宮駅北口自転車駐車場	小宮町806-1	1,361,424	1,361,424	1,319,670	41,754	0	0	-
6	小宮駅南口自転車駐車場	小宮町787-7、784-12	449,035	449,035	407,281	41,754	0	0	-
7	京王片倉駅自転車駐車場	片倉町497-12先、497-1の内	78,757	78,757	37,003	41,754	0	0	-
8	松が谷自転車駐車場	松が谷1-1	77,981	77,981	36,227	41,754	0	0	-
9	八王子駅北口旭町ミニバイク駐車場	旭町4-23	0	0	0	0	0	0	-
10	八王子駅北口地下自転車駐車場	旭町1-61	0	0	0	0	0	0	-
11	八王子駅北口駅前駐輪帯	旭町9	0	0	0	0	0	0	-
12	八王子駅子安町バイク駐車場	子安町一丁目2	0	0	0	0	0	0	-
13	八王子駅南口地下タワー式自転車駐車場	子安町四丁目8	0	0	0	0	0	0	-
14	西八王子駅北口自転車駐車場	千人町三丁目1-25	0	0	0	0	0	0	-
15	西八王子駅北口第3自転車駐車場	千人町三丁目32-32	0	0	0	0	0	0	-
16	西八王子駅南口自転車駐車場	散田町三丁目8-22	0	0	0	0	0	0	-
17	西八王子駅南口臨時自転車駐車場	台町四丁目96-7	0	0	0	0	0	0	-
18	高尾駅北口臨時自転車駐車場	高尾町1576-4	0	0	0	0	0	0	-
19	片倉駅自転車駐車場	片倉町712-6	0	0	0	0	0	0	-
20	八王子みなみ野駅西自転車駐車場	みなみ野一丁目2	0	0	0	0	0	0	-
21	八王子みなみ野駅東自転車駐車場	兵衛一丁目102-1	0	0	0	0	0	0	-
22	南大沢駅北自転車駐車場	南大沢一丁目470	11,033,100	0	0	0	11,033,100	0	11,033,100
23	南大沢駅第1バイク駐車場	南大沢二丁目28	0	0	0	0	0	0	-
24	南大沢駅第2バイク駐車場	南大沢二丁目3,4	0	0	0	0	0	0	-
25	南大沢駅北自転車駐輪帯	南大沢一丁目444	0	0	0	0	0	0	-
26	ジョイ五番街通り自転車駐輪帯(5箇所)	-	0	0	0	0	0	0	-
27	南大沢駅中央自転車駐車場	南大沢二丁目455	5,378,400	0	0	0	5,378,400	0	5,378,400
28	南大沢大橋自転車駐車場	南大沢二丁目1620-1	8,553,600	0	0	0	8,553,600	0	8,553,600
29	八王子駅北口旭町自転車駐車場	旭町4-19	95,500	95,500	95,500	0	0	0	-
30	北八王子駅西口臨時自転車駐車場	石川町2951-4	285,219	285,219	243,465	41,754	0	0	-
31	北八王子駅東口臨時第1自転車駐車場	高倉町9-1	110,181	110,181	68,427	41,754	0	0	-
32	北八王子駅東口臨時第2自転車駐車場	高倉町9-1	110,181	110,181	68,427	41,754	0	0	-
33	山田駅第1自転車駐車場	緑町430-1	960,111	960,111	918,357	41,754	0	0	-
34	山田駅第2バイク駐車場	緑町425-1	814,774	814,774	773,020	41,754	0	0	-
35	狭間駅第1自転車駐車場	東浅川町543-1	61,311	61,311	19,557	41,754	0	0	-
36	狭間駅第2自転車駐車場	東浅川町543-1	61,311	61,311	19,557	41,754	0	0	-
37	高尾山口駅自転車駐車場	高尾町2151-1	61,311	61,311	19,557	41,754	0	0	-
38	中央大学・明星大学駅第1自転車駐車場	東中野240-1	61,311	61,311	19,557	41,754	0	0	-
39	中央大学・明星大学駅第2自転車駐車場	東中野346-1	61,311	61,311	19,557	41,754	0	0	-
40	大塚・帝京大学駅第1自転車駐車場	大塚(堀場橋上流左岸)	110,396	110,396	68,642	41,754	0	0	-
41	大塚・帝京大学駅第2自転車駐車場	大塚(堀場橋上流右岸)	110,396	110,396	68,642	41,754	0	0	-
42	楢原町自転車保管所	楢原町1306-1	7,542,325	7,274,116	2,032,716	5,241,400	268,209	0	268,209
43	長沼町自転車保管所	長沼町338-1	2,848,904	2,848,904	228,204	2,620,700	0	0	0
44	堀之内自転車保管所	堀之内三丁目24-1	3,766,469	3,766,469	1,145,769	2,620,700	0	0	0
45	八王子駅北口東自転車駐車場	明神町三丁目18-4	12,555,918	12,555,918	12,555,918	0	0	0	-
46	八王子駅南口自転車駐車場	旭町155-6先	12,418,800	12,418,800	12,418,800	0	0	0	-
47	八王子駅子安町第2バイク駐車場	子安町一丁目150-3,4	1,512,000	1,512,000	1,512,000	0	0	0	-
48	京王八王子駅中央自転車駐車場	明神町四丁目7-15	6,252,000	6,252,000	6,252,000	0	0	0	-
49	京王八王子駅中央第2自転車駐車場	明神町三丁目531-1	0	0	0	0	0	0	-
50	京王八王子駅南自転車駐車場	明神町三丁目596-3	4,445,577	4,445,577	4,445,577	0	0	0	-
51	西八王子駅北口第2自転車駐車場	千人町三丁目161-4	594,300	594,300	594,300	0	0	0	-
52	西ハサイクルパーク50自転車駐車場	千人町三丁目32-27	789,636	789,636	789,636	0	0	0	-
53	西八王子駅北口西自転車駐車場	千人町三丁目19-25	7,751,820	7,751,820	7,751,820	0	0	0	-
54	西八王子駅南口第2自転車駐車場	千人町三丁目161-2	594,300	594,300	594,300	0	0	0	-
55	高尾駅北口自転車駐車場	高尾町1199、1184-3	742,366	742,366	742,366	0	0	0	-
56	高尾駅北口臨時第2自転車駐車場	高尾町1211	4,814,592	4,814,592	4,814,592	0	0	0	-
57	高尾駅南口自転車駐車場	初沢町1231-26	742,366	742,366	742,366	0	0	0	-
58	高尾駅南口ミニバイク駐車場	初沢町1256-2	742,366	742,366	742,366	0	0	0	-
59	めじろ台駅自転車駐車場	めじろ台一丁目1-3	622,443	622,443	622,443	0	0	0	-
60	めじろ台駅バイク駐車場	めじろ台二丁目1775-3	1,178,300	1,178,300	1,178,300	0	0	0	-
61	八王子みなみ野駅東臨時バイク駐車場	兵衛一丁目4-1	861,439	861,439	861,439	0	0	0	-
62	長沼駅自転車駐車場	長沼町682-1	0	0	0	0	0	0	-
63	北野駅東自転車駐車場	打越町335-1	311,278	311,278	311,278	0	0	0	-
64	堀之内駅自転車駐車場	堀之内三丁目24-4	0	0	0	0	0	0	-
65	京王八王子駅東自転車駐車場	明神町三丁目169	3,144,906	0	0	0	3,144,906	0	3,144,906
66	北野駅西自転車駐車場	打越町241-1	0	0	0	0	0	0	0

その他公共用施設

その他公共用施設

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
1	緑町雲園	緑町222	20,212,844	17,502,621	1,278,520	16,224,101	2,710,223	0	2,710,223
2	甲の原雲園	中野町2647-8	12,224,363	11,960,693	808,545	11,152,148	263,670	0	263,670
3	南多摩都市雲園	南大沢三丁目1999-2	13,362,137	13,268,825	628,591	12,640,234	93,312	0	93,312
4	ボカボカ足湯	北野町596-3	2,035,442	1,876,134	584,999	1,291,135	159,308	0	159,308
5	子どもキャンプ場	上巻分方町36	2,514,075	2,038,080	789,555	1,248,525	475,995	0	475,995

貸付財産

貸付財産

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
1	医療センター内市区分所有建物	館町1163	5,543,061	0	0	0	5,543,061	0	5,543,061
2	学童集会所(万町)	万町111-2	500,854	0	0	0	500,854	0	500,854
3	学童集会所(南新町)	南新町16-4	0	0	0	0	0	0	0
4	高月集会所	高月町222-1ウチ	0	0	0	0	0	0	0
5	滝山台集会所	丸山町1-8ホ	62,534	0	0	0	62,534	0	62,534
6	陵南いちよう会館	東浅川町120	110,999	0	0	0	110,999	0	110,999
7	中心市街地活性化施設	横山町64-1	374,640	374,640	374,640	0	0	0	-
8	東京都西部公園緑地事務所等貸付地	高月町2371	0	0	0	0	0	0	0
9	本町40番貸付地	本町12-14	0	0	0	0	0	0	0
10	戸吹町会貸付倉庫	戸吹町168-5	66,594	0	0	0	66,594	0	66,594
11	(旧)長房子ども会館	長房町449-3	0	0	0	0	0	0	0
12	(旧)館町会館	館町1848-10	0	0	0	0	0	0	0
13	(旧)左入会館	左入町422	737,100	0	0	0	737,100	0	737,100
14	旧浅川支所	高尾町1735-1	873,562	873,562	873,562	0	0	0	0
15	旧食肉処理場	子安町一丁目40-24	805,183	0	0	0	805,183	0	805,183
16	旧食肉衛生検査所BSE検査室	子安町一丁目387-1	1,084,982	877,900	877,900	0	207,082	0	207,082
17	旧市立三本松小学校	松が谷1	12,531,594	4,121,438	4,121,438	0	8,410,156	0	8,410,156
18	旧第6分団器具置場	美山町1858-7	35,091	35,091	35,091	0	0	0	0
19	旧第11分団器具置場	東浅川町296-1	35,091	35,091	35,091	0	0	0	0
20	八王子長沼通所センター	長沼町1306-4	15,286,440	7,488,907	7,464,799	24,108	7,797,533	0	7,797,533

普通財産

普通財産

番号	財産施設名称	所在地	施設コスト合計	事業費計	維持管理コスト	事業運営コスト	その他コスト計	職員費 (施設常駐職員)	減価償却費
1	旧戸吹清掃事業所(ストックヤード)	戸吹町1920	1,796,909	0	0	0	1,796,909	0	1,796,909
2	檜原パーク・アンド・バスライド駐車場	檜原町501	1,794,327	1,726,100	608,895	1,117,205	68,227	0	68,227
3	旧由木支所	下柚木522ホ	0	0	0	0	0	0	0